

マシテモ是ハ一層注意シナケレバナラズト、
斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、殊ニ只今
御説ノ通り、其ノ地方ノ風土ニ依ル特殊ノ
病氣、左様ナモノニ對スル預防施設、又治
療施設ニ付キマシテハ、一般ノ學校ヨリモ
特別ニ考慮ヲ要スル、斯ウ考ヘテ居リマス
ノデ、此ノ點ニ付キマシテモ能ク關係當局
ト協力致シテ考ヘタイト思ヒマス

○加藤委員 私ハ文部當局ニ對スル質問ハ
是デ打切りマシテ、農林大臣ハ御見ヘニナ
ラテ居リマセスケレドモ、蠶絲局長ガ御居
テアリマスカラ唯一點御尋ヲ申上ゲタイ
ト思フノデアリマス、實ハ去ル二月十五日
ノ此ノ豫算總會ノ席上ニ於キマシテ、私ハ
相繼ト他ノ競争機、即チ科學纖維ト比
較研究ヲ爲サシメ生絲ヲシテ他ノ競争纖維
ヨリモ一段上ノモノニスルコトガ今日ノ急
務デアリ、是ガ爲ニ高級纖維ノ研究機關ヲ
設置スルコトハ、急務中ノ急務デアルト云
フコトヲ、實ハ力説致シタルデアリマスガ、
其ノ後聞モノク農林大臣ハ、蠶絲業界ノ權
威者ヲ御招キニナリマシテ、色々此ノ事ニ付
テ御懇談ガアツタヤウニ伺ツタデアリマ
ス、其ノ結果カドウカハ知りマセスケレドモ、
此ノ度追加豫算ニ御計上ニナリマシタ蠶絲科
學研究所ニ對シ之ヲ補助費トシテ、八万円計
上セラレテ居ルノデアリマス、私ハ之ヲ見テ實
ハ蠶絲業ノ爲ニ非常ニ喜ンダデアリマス、何
トナレバ蠶絲科學研究所ト云フモノハ未ダ會
我國ニ其ノ例ノナイ纖維ノ研究機關デア
リ、研究機關ガ出來マスル以上ハ、定メシ
蠶絲ト他ノ競争纖維トノ比較研究ガ十分ニ
出來ルデアラウ、而シテソレガ我蠶絲業界
ニ如何ニ偉大ナル貢獻ヲ爲スデアラウカヲ
想像シマシタ其時ニ於テ、私ノ多年唱導致

シタコトガ茲ニ其實現ノ萌芽ヲ顯ハシタ次
第デアルト考ヘ、衷心之ヲ喜ブト同時ニ、
農林大臣ノ機宜ヲ得タ其ノ處置ニ對シ滿腔
ノ敬意ヲ表スルモノデアリマス、併シウガ
ラ唯唯ニ八万円、是ダケノ補助金デ果シテ
其ノ大目的ヲ達スルコトガ出來ルデアリマ
セウカ、私ノ察スル所デハ僅ニ此ノ補助金
ノ八万円ソコヲ以テ、此ノ大事業ノ目的
ヲ達セシメヨウナドト云フヤウナシ宜イ御
考ヘハ何ソボ政府當局デモ持テレスニ違ヒナ
イト思フノデアリマスガ、一體此ノ蠶絲科學
研究所ナルモノハ如何ナル内容ニ依ツテ出
來ルノデアルカ、此ノ際其ノ全貌ヲ明カニ
セラルル方宜シクハナイカト考ヘルノデ
アリマス、而シテ吾々ハ之ニ依ツテ研究所
ナルモノガ、吾々ノ要望シテ居ル所ノ纖維
ノ科學的研究ガ、十分ニ出來ルカドウカト
云フコトノ批判ヲモシテ見タイト思フノデ
アリマスガ、之ニ對スル政府當局ノ御考ヲ
伺ヒタイノデアリマス

○吉田政府委員 新興纖維トシテノ「ナイ
ロン」デゴザイマスガ、是ハ生絲ノ前途ニ
對シテ脅威デアルト存スルノデアリマス、
之ニ對シテモ生絲ノ對策ヲモシテハ、何
ト申シマシテモ生絲ノ素質ヲ向上セセル、
ヒ換ヘマスレバ長所ハ益々發揮シテ、缺點
ヲ防除スルト云フコトガ、最も必要ダト考
ヘルノデアリマス、之ニ付キマシテハ根本
的ニ科學的研究ヲスルト云フコトガ、最
モ大事デアルト思フノデアリマス、從來色
色ト研究ハ致シテ居リマスガ、斯様ナ點ニ
付テノ研究ハマダ十分出來ナイ感ニガアリ
マスノデ、出來ルナラバ充實シタ研究機關
ヲ設立致シテ、早ク此ノ研究ヲ完成致シタ
イ、斯様ニ考ヘテ居タルノデアリマス、最

近業者トモ色々話ヲ致シマシテ、其ノ協力
ヲ得テ相當ノ寄附金ヲ集メマシテ、茲ニ財
團法人ヲ設立致シマシテ、之ニ依ツテ今
研究ヲ完成シテ行キタイ、斯様ニ話ガ繼リ
マシテ、既ニ設立ノ許可モ致シマシタ、目
下財團法人ノ登記申請中ト存スルノデアリ
マス、此ノ研究費ニ對シマシテ政府ニ於キ
マシテモ、或ル程度ノ助成金ヲ出スコトガ
必要デアラウト云フコトデ、豫算ヲ御願シ
テアルノデアリマス、寄附金ハ相當集ツテ
居リマスガ、今後出來ル限リ集メマシテ、内
容ノ充實ヲシタモノニシタイ、斯様ニ考ヘ
テ居ル次第デアリマス

○加藤委員 只今寄附金ト云フコトヲ申サ
レマシタガ、一體コレ位寄附金ガ集ツテ居
リ、又將來コレ位之ヲ集メラルル御考デア
ルカ、萬一其寄附金ガ十分ニ集マラナケレ
バ、政府ノ方其ノ不足分ヲ助成シテ、其
ノ研究ノ目的ヲ達セシメマウト云フ御考ヘ
ガルノカドウカ、萬一寄附金ノ集ツタダ
ケデ政府ハ餘リ之レニ力ヲ入レナイト云
フヤウナコトデハ、折角ノ計畫モ遂ニハ其ノ
目的ヲ達スルコトガ出來ズシテ中途半端ニ
終ルコトヲ思フノデアリマスガ、此ノ點ハ
如何デアリマセウカ

○吉田政府委員 只今集ツテ居リマス寄附
金ハ、重ダツタ業者、數少イ方カラノ寄附
金デアリマスガ、百七十萬圓バカリ集ツテ
居リマス、今後廣ク業界ニ寄附ヲ求メマシ
テ、出來ル限リ多クノ資金ヲ以テマシテ、
充實シタモノニシタイ、斯様ニ考ヘテ居リ
マス

○加藤委員「デネホン」會社ガ「ナイロン」
ト化學的構成ヲ發見スルマデニハ、數千萬
弗ヲ費シ、漸ク一樓ノ光明ヲ認メテカラ、

尙七百萬弗ト云フ多額ノ費用ヲ投ジテ、漸
クアレダケノ完成ヲ爲シタモノデアルト云
フコトヲ、吾々ハ聞イテ居ルノデアリマス、
然ルニ只今承ル所ニ依ルト、此蠶絲科學
研究所ノ爲ニ寄附金ヲ集ツタモノハ僅カニ
百七十萬圓デアルト云フコトデアリマスガ、
是デハ到底私ハ此ノ大目的ヲ達スルコトハ
出來ナイト思フノデアリマス、ドウカ折角
ノコトデアリマスカラ、モウ少シ馬力ヲ掛
ケテ、ウント澤山ニ寄附金ヲ集メラレテハ
如何デアるか、若シソレガ出來ナカツタ
ラバ、政府ハ此ノ際思ヒ切ツテ之ガ助成金ヲ
支出セラレテ然ルベキデアルト思フ、僅カ
八万円ソコヲ補助金ヲ以テ此ノ大目的ヲ
達セシメヨウト云フコトハ、餘リニモ過
宜イ考ヘノヤウニ思フノデアリマスガ、此
ノ點ニ付キマシテ今一應政府當局ノ御考ヲ
アル所ヲ伺ツテ置キタイ

○吉田政府委員 資金ノ問題ニ付キマシテ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ出來ル限リ努
力致シタイト思フノデアリマスガ、何ヨリモ人
デアルト思フノデアリマス、之ニハ役所、學校
其ノ他各方面ニ於ケル科學者、研究者ヲ網
羅致シマシテ、或ハ專門のニナル人モアル、
或ハ委託研究ヲアルト云フヤウナコトデ、
學者ヲ總動員致シマシテ、早ク研究ヲ完成致
シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、
資金ノ方モ今後トモ出來ル限リ努力致シタ
イト考ヘテ居ル次第デアリマス

○加藤委員 只今集ツテ居リマス寄附金ハ、
重ダツタ業者、數少イ方カラノ寄附金デアリ
マスガ、百七十萬圓バカリ集ツテ居リマス、
今後廣ク業界ニ寄附ヲ求メマシテ、出來ル
限リ多クノ資金ヲ以テマシテ、充實シタモノ
ニシタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○加藤委員 私ノ蠶絲ニ關スル質問ハ是ダ
ケニ致シマシテ、更ニ肥料關係ノ御尋ヲ致
シタイト思ヒマススケレドモ、對策部長ガ御
居ニナリマセスケレドモ、是ハ留保シテ置キ
マス、尙ホ大藏大臣ニ對スル質問モ、後期
大藏大臣ガ御出ニナルト思ヒマスカラ...

テ大體承認致シマシタ、唯一言申上ゲテ置キマスノハ、綱紀ノ肅正ト云フコトハ、司法部ガ最高調シテ居ラレルノデアリマス、...

シマシテモ、確實ニシテモ現在ノ時局カラ見テ、成ルベク多量ニ早ク生産シテ賣ヒタイコトハ、各方面ノ要望スル所デアリマス、...

云フ所ニ對シマシテハ、ドウカ鐵道大臣ニ於キマシテ更ニ調査シテ、次ノ議會マデニ何等カノ建設豫算ヲ計上ナサル豫定ガアリマセスカドウカト云フコトヲ、先ヅ伺ヒタイノデアリマス、...

鐵ノ自給自足ニ付テハ十六年ニ至ルト出來ル、斯ウ云フコトヲ言フテ居ラレタ、而モ鐵鐵ニ付テハ確信アルモノノ如クデアツクノデアリマス、...

キマシテハ、何ト言フテモ先ヅ日本語ヲ滿洲國ナリ、支那ニ早ク普及スルコトガ大事カトノ一ツデアリノデアリマス、...

ソレカラ第二番目ニ御尋シタイコトハ、若シ教科書ガ出來マシタラバ、取敢ス其ノ教科書ト相應スル爲メノ字引ガ要ルノデアリマス、...

人ハ語學ニ對シテ、殊ニ話ス言葉ニ對シテハ非常ニ天稟天分ヲ持ツテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、...

云フコトヲ、目下先輩ノ識者ガ非常ニ御苦心ナサツテ居ルヤウデアリマス、...

ナク御都合ガドウデアラウト、アナタノ御考ガドウデアラウト、是デ行クノデア
ル、絕對ニ之ニ賛成シテ貰ヒタイ、協力シ
テ貰ヒタイ、即チ政府ハ進ンデ米國ニ對シ
テ、新東亞ノ現實ニ微シ新秩序ニ協力ヲ求
メルト云フコトヲ、最後の要求ヲシテ、協力
シテ呉レカスレカ、イニスレカ、カ
カト云フコトヲ先ヅ我ヨリ米國ニ對シテ進
ンデヤルベキ時期デハナイカ、唯便々ト亞
米利加ノ海軍ノ勢力ガ擴充サレル、サウシ
テ蒋介石政権ガ我ニ向ツテ徒ラニ抗日ノ政
策ヲ續ケル、我ハ之ニ向ツテ益々深入スル
ト云フヤウナコトヲヤルニアラズシテ、先
ヅ以テ新東亞建設ニ向ツテ、英吉利ト亞米
利加ニ是等蒋介石政権ノ背後ニアル各種
ノ勢力ニ、進ンデ我ヨリ腹ヲ決メテ協力サ
セル、我方豫定ノ「コース」ニ彼等ヲ引入レ
ルト云フコトガ、絕對ニ必要デアラト思フ
ノデアリマスガ、政府ハ斯ル積極ノ外交ニ
出ヅル決意ガアルカドウカ、是等ノ諸點ニ
對シテ明快ナル御答辯ヲ戴キ、以テ全國民
ヲシテ最後の決意ヲセシムル時期ニ到達シ
テ居ルト思ヒマスノデ、此ノ機會ニ於テ總
理大臣、陸海軍大臣、外務大臣ヨリ、ソレ
ソレ御答辯ヲランコトヲ要求スル者デアリ
マス

○有田國務大臣 只今ノ御質問中私カラ御
答スル部分ニ付テ、先ヅ御答致シタイと思
フデアリマス、此ノ援將政策ト申シマスガ、
蒋介石政権ノ利益ニナルヤウナコトヲ、列
國ノ中デスルコトニ付キマシテハ、元來蔣
介石政権ヲ承認シテ居ル國家トシテハ、
其ノ國家ト蔣介石政府並ニ其ノ治下ニアル
部分トノ間ニ、色々ナ交通關係ガ生ズル
デアリマス、隨テソレ等ノ色々ナ行為デ關

係國ノ利益デアルト同時ニ、間接ニ蒋介石
政権ノ利益ニナルト云フコトモアルノデア
リマス、又サウ云フヤウナ間接ノナコトデ
ナクシテ、比較的直接的ニ蒋介石政権ノ利益
ニナルヤウナ行為ヲスルコトモアルノデア
リマス、是等ハ間接的ニ又直接的ニ蒋介石
援助ニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ或
ルモノニ付キマシテハ、是ハ其ノ國ガ蔣介
石政府ヲ認メテ、是ト交通致シテ居リマス
以上ハ、已ムヲ得ナイト思ハルモノモア
ルト思フノデアリマス、此ノ積極消極ト申シ
マスガ、或ハ直接間接ト、申シマスガ、援將
行為ニ付キマシテハ、例ヘバ借款ノ供與、
「クレヂット」ノ供與ト云フヤウナモノ、或
ハ武器彈藥ノ供給ト云フヤウナモノハ前者
ニ屬スルノデアリマス、又商取引ニ依ツテ
蒋介石政権ノ下カラ材料ヲ得ンタルモノ、
或ル種ノ「クレヂット」ヲ與ヘルト云フ風ノ
モノハ、場合ニ依レバ後者ニ屬スルノデア
リマス、其ノ他戰爭關係ノ物資若クハ資金ヲ
蔣介石ニハ與ヘテ居ルガ日本ニハ與ヘナイ
カト云フ風ナモノモアルノデアリマス、是ハ同
ジク蔣介石ノ援助トナルト思フノデアリマス、
而シテ是等ノ直接間接ニ蔣介石政府ノ援助
トナルコトヲヤウテ居ル諸國ニ付キマシテ
ハ、是ハ世間周知ノコトデアリマス、河野
君モ能ク御承知ノ通りデアリマス、
米國ト重慶政府トノ間ノ關係ハドウカト云
フ御答デアリマスガ、是亦米國ガ蔣介石政
權ヲ承認致シテ居リマス關係上、色々ナ實
易通商ノ關係ニ於テ、間接ニ蔣介石援助ヲ
爲シテ居ルト認メラレル場合ガアルノデア
リマス、二千五百万弗ノ借款ト云ヒ、最近
ノ二千万弗ノ借款ト云ヒ、何レモソレニ屬
スルト思フノデアリマス、又亞米利加政府

是ハ從來トモ隨分外務當局ニ於キマシテ
努力ヲシテ來タノデアリマスガ、結局將來
益、此ノ努力ヲ重ネルコトニ依リマシテ、我
ガ眞意ガ成程此處ニアルノダト云フコトニ
ナリマスレバ、自然ニ亞米利加ト雖モ我ガ
新東亞新秩序建設ニ協力シテ參ルヤウニナ
ルノデアリマスカラ、其ノ協力シテ來ルヤ
ウニナルヤウニ努力シナケレバナラズト思
フノデアリマス

ソレカラ次ニ海軍ノ問題ニナルト思ヒマ
スガ、是ハ海軍大臣カラ詳細ニ御答辯ガア
ルト思ヒマスガ、大體ノ所ヲ私カラ御答
シテ置キマス、亞米利加ノ軍備計畫ノ問題ニ
付キマシテハ、過日速記録ヲ拜見致シマス
ト、豫算總會ニ於テ三善委員カラノ御質問
ニ對シテ、海軍大臣カラ詳細ニ答辯セラレ
タヤウニ存ジマス、將來ドウ云フコトニナ
リマスカ知りマセスガ、我國ト致シマシテ
ハ常ニ最惡ノ場合ヲ考ヘテ置カナケレバイ
カスノデアリマス、是ガ爲ニハ、相當ノ用
意モ要リ、又ナルベキ準備ト云フモノガナ
ケレバナラズノデアリマスガ、海軍トシ
テハソレダケノ用意モ準備モアルコトト自
分ハ考ヘテ居リマス、併シナガラ今日ノ狀
況ニ於キマシテハ、今回協贊ヲ得マシテ豫
算ノ範圍ニ於テ、海軍ニ關スル限リニ於テ
ハ國防上聊カモ缺點ガナイト云フコトヲ自
分ハ考ヘテ居リマス、其ノ點ニ付キマシ
テ、詳細ハ海軍大臣カラ御答ガアルコトト
思フノデアリマス

其ノ次ニ全般的ノ禁輸問題デアリマスガ、
是ハ、一體全般的ノ禁輸ト云フコトハ、禁
輸スル國モ禁輸サレル國モ、是非非常ナ重
大ナ問題デアリマシテ、茲ニ一步ヲ誤ルト
當然來ルベキモノハ兩國間ノ危機ト思フ

ノデアリマス、私ノ考デハ、マサカ亞米利
加ハサウ云フ危機ヲ冒シテマデモ、日本ニ
對シテ全般的ノ禁輸ヲヤルト云フヤウナコ
トハマダ考ヘテ居リマセス、併シナガラサ
ウ云フ場合ノコトモ、考慮シナケレバナラ
ズノデアリマスノデ、其ノ點ニ付キマシテハ
十分ニ政府ト致シマシテ考慮ヲ致シテ居
リマス、但シ此ノ全般的ノ禁輸ヲ以テ、是ガ
國交斷絶ノ機會ト認ムベキヤト云フコ
トニ付キマシテハ、是ハ事重大デアリマス
ノミナラズ、一ツノ假定デアリマスノデ、
其ノ假定ヲ本トシテ然リ、或ハ否トノ御答
ハ此ノ際差控ヘタイト思フノデアリマス

其ノ次ハ、一體日本ノ物資不足、サウ云
フコトニ對シテ餘リニモ亞米利加ニ依存シ
テ居ルチヤナイカ、斯ウ云フ御話デアリマ
スガ、實ハ日本ニナイ物資ニ付キマシテ
ハ、亞米利加カラモ相當ノ輸入ヲヤウテ居
ルノデアリマス、併シナガラ我國ト致シマ
シテハ、特定ノ一國カラノ輸入ヲ求メル
ト云フヤウナ、サウ云フ特定國ニ依存シテ
アリマス、是ガ爲ニ從來能ク其ノ邊モ考慮
致シマシテ、政府ト致シマシテハ其ノ時ニ
應ジテ善處シテ參ツタ次第デアリマスガ、
將來ト雖モ能ク此ノ點ニ留意致シマシテ、
特定ノ國ニ依存シテ、イザ行詰ツ場合ニ
二進モ三進モ行カナイト云フヤウナコトノ
ナイヤウニ、十分ニ注意致スベキダト考
ヘテ居リマス、大體私カラ御答致シマスコト
ハ其ノ邊ノコトト思ヒマス

○吉田海軍大臣 河野委員ノ御質問ニ對シ
マシテハ、只今總理モ申サレタ通り、過般
三善委員ノ御質問ニ對シテ御答シテ置キマ
シタガ、アノ通りデアリマシテ、今日帝國

ガ、蒋介石政権ニハ或ル種ノ資材ヲ供給ス
ルガ、日本ニ對シテハ之ヲ供給シナイ、所
謂「モラル・エンバボー」ヲ或ル種ノモ
ノニ對シテハヤウテ居ルト云フコトハ、是
ハ遺憾ナガラヤハリ間接ニ蒋介石ヲ援助シ
テ居ルト云フ風ニ考ヘラレナイコトモナイ
ト思フノデアリマス、併シソレ等ノコトニ
付キマシテハ、米國政府トシテハ又米國政
府ノ言ヒ分ガアルト思フノデアリマスガ、
日本カラ見マスレバサウ云フ風ニ見ラレル
ノデアリマス、米國ガ今回ノ事變ニ關聯シ
テ、所謂東亞ノ新秩序ノ建設ノ本體ヲ十分
ニ掴メナイ、而シテ是ガ支那若クハ東亞カ
ラ外國ノ權益、或ハ米國ノ權益ヲ、或ハ經
濟的活動ヲ全部驅逐スルモノデナイカト云
フ風ノ誤解ヲ持ツテ居ルト云フコトハ、度
度ノ機會ニ於テ申述ベタ通りデアリマス、
又門戶開放機會均等主義ノ適用ニ付テ、從
前カラ主張ヲ屢次繰返シテ居ルト云フコ
トモ、是亦御承知ノ通りデアリマス、
此ノ事變處理ノ段階ガ進ムニ連レマシ
テ、米國ノ態度ハ益々強化シ、日米關係ハ
益々惡化スルノデハナイカト云フ點ニ付キマ
シテハ、是ハ一應左様ニ考ヘラレナイコト
モナイト思ヒマスガ、同時ニ度々申述ベテ
居リマス通り、日本ノ東亞新秩序ニ對スル
考ヘ方ハ、十分ニ説明ヲ致シテ居ル所デア
リマス、未ダ諒解セシムルニ至リマセスガ、
併シナガラ事變ガ段々ト平靜化シテ來ル、
即チ今日ニ於テハ大規模ノ戰闘ガ支那ニ於
テ行ハレテ居ル際デアリマスカラ、米國側
ノ誤解ヲ招キ、又日本ノ眞意ヲ徹底セシム
ルコトガ出來ナイト云フ風ノ事變ニ在ルト
思ハレルノデアリマスガ、此ノ事變處理ノ

ナラバ、是ハ合法的ナ措置ニ於テ、此ノ非常時局ニ於テハ解散シテ實ハナケレバ...

上ノ矛盾モ生ジテ居ルト思ヒマスガ、斯ウ云フ問題ハ政治上ノ基本問題デアリマス...

シキ政治ヲ行ツテ行ク、ソレガ趣意デアリマス...

アリマス、然ルニ茲ニ普通ノ兵士ト同ジク二箇年間兵役ニ服スルト云フヤウナコト...

シテ居ルノガ往々アリマス、然ルニ今日ニ於テハ更ニ軍需景氣ノ爲ニ他ノ轉職スル者...

ヲ成シテ居ル、之ニ對スル對策如何ト云フコトデゴザイマスガ、之ニ付キマシ...

用ニ付テハ特別ノ御盡力ヲ願ヒタイノデアリマス...

分ニ於テ此ノ徵兵延期ヲ免除シテ、政府ハ兵役法第四十一條ノ「戰時又ハ事變ニ際シ...

廢止シテモ宜イガ、現在ノ場合ハ是ハドウ
カト考ヘラレルノデアリマス、此ノ點ニ付
テ即チ第一ノ徵兵豫算學生ガ甚ダ多ク、之
ニ對シテ陸軍當局ハ如何ニ考ヘテ居ルカ、
第二ニ短期現役兵制度ノ實施ヲ延期スル考
ハナイカ、此ノ二點ニ付テ大臣ヨリ御明答
ヲ得タイト思フノデアリマス

○烟國務大臣 只今最上君ノ御意見ハ洵ニ
御尤モ何フノデアリマスガ、學生ノ徵兵
延期ヲモット制限シタラ宜イデハナイカト
云フ御意見デアリマスガ、現狀ニ於テハ學
生等ヲ右ノ處置ニ依ツテ徵集スル程度マデ
ニマダ達シテ居ラヌト考ヘルノデアリマ
ス、寧ロ現下ニ於キマシテハ學生ヲ專
心研究ヲ積ミ、體力ヲ練ラシメ以テ將來ノ
御奉公ニ萬遺憾ナキ時期シタガ方宜クハナ
イカト考ヘテ居ルノデアリマス

○最上委員 現在徵兵延期ヲ廢スル必要ハ
ナイト言ハレル又私モ餘リ賛成シナイガ、
ソレナラバ短期現役兵制度ノ廢止、是ハ今
年度カラ實施サレルノデアリマスケレド
モ、此ノ際ソレヲ一時止メテ、第二國民養
成ノ爲ニ陸軍ハ率先シテヤツテ貰ヒタイト
云フノガ私ノ意思デアリマスカラ、ドウ
カ此ノ點懸解ナナイヤウニ希望致シテ置キ
マス

私ハ第二點トシテ大藏省ノ當局ニ、本豫
算ニ盛ラレテ居ル共濟組合制度ノ問題ニ付
テ伺ヒタイノデアリマス、之ニ付テハ大要
他ノ人々カラ懸カレタヤウデアリマスガ、
其ノ内容ニ付テハ少シモ懸カレテ居ラナイ
ヤウデアリマス、今日提案サレタ共濟組合制
度ノ創設費豫算トシテハ、一般會計並ニ特
別會計トシテ三百二十七萬二千餘圓デア
リマス、又同補助費トシテ七十七萬二千
餘圓、合計四百四十五萬餘圓ト云フ莫大
ナル金額ニ達スルノデアリマス、是ハ十五
年度ノ半期分デアラルカラ、十六年度ニ於テ
ハ恐ラク是ガ一千万圓以上ニ上ルト云フ懸
大ナル案デアリマス、然ルニ之ヲ單ニ共濟
組合制度デアル、之ヲ先般私ハ大藏大臣ニ
言ツタコトガアル、斯ノ如キ懸大ナル豫算
支出ニ對シテ何等カ之ガ取替ヲスルヤウナ
コトガ出来ナクハ有名無實デアルト云フ
ノデ、茲ニ政府職員保險法案ヲ提案シテ
ハドウカト云フコトヲ、先ヅ閣議ニ於テ決
マル前ニ申上ゲタノデアリマス、既ニ決ツタ
以上ハ是レ以上申上ゲマセス、唯其ノ内容
ニ付テハ二三點キタイノデアリマス、新聞紙
上ニハ斷片的ニ出テ居ツテ、内容ノ如何ナ
ルモノカ分ラナイノデアリマス、先ヅ第一

律案ヲ以テ出セト云フコトヲ申シタノデア
リマスガ、政府ガ殊更ニ之ヲ法律ニ依ラズ
シテ、勅令等ニ依ツテ共濟組合制度ヲ設ケ
タノニハ、其ノ裏ニハ何カアルノデハナカ
ラウカ、即チ一般ノ共濟施設トシテモ、或
ハ之ヲ更ニ擴大シテ消費組合ト云フヤウナ
制度等ヲ設ケル考デシタノデハナイカ、若
シモサウ云フヤウナコトデ、特ニ共濟組合
制度トシタラバ、吾々ハ斷ズテ此ノ案ニ
賛成スルコトガ出来ナイノデアリマス、ソ
レカラ他ノ消費組合、或ハ大キナ一般ノ社
會施設ノ組合ニスルカ、斯ウ云フヤウナ
點デアリマス、ソレカラ何故ニ本案實施後
ニ於テハ、内地ノ各省ヲ初メトシテ外地等
十八箇所ニ此ノ組合ガ出来テ、サウシテ其
ノ組合員ガ各、組合指定サレタ醫者トノ
間ニ、色々ノ給付ニ對スル診斷書等ガ交付
サレルノデアルカラ、此ノ間何等カ不正行
爲、或ハ醫師ノ取締等ニ於テモ缺點點ガ
アルノデハナカラウカト心配スルノデアリ
マス、政府ハ斯ノ如ク年額一千万圓以上ヲ
算スル共濟制度ニ對シテ之ヲ一律ニシテ、此
ノ制度モ宜イカラ厚生省トカ、或ハ其ノ
他ノ省ノ所管トシテ、監督ヲ全國的ニ一律
ニスルト云フヤウナ方法ヲ以テナセ臨マナ
カツカ、此ノ二點ニ付テ大臣ヨリ御明答
ヲ得タイトデアリマス

○櫻内國務大臣 御承知ノ通り是ハ全ク特
殊ノ共濟組合デアリマシテ、今御話ノ如キ
ヤウナ考ヘ持ツテ居ラナイノデアリマス、
此ノ雙方ノ監督其ノ他ニ付キマシテハ、
共濟組合聯合委員會ト云フモノヲ以テマシ
テ、其ノ幹線等ヲスルヤウニ致スノデアリ
マス、將來ニ於キマシテ是ノ發展等ニ付キ
マシテハ、特ニ注意ヲシテ實行致ス考デア
リマス、之ヲ法文化シテハドウカト云フ
御質疑ガ前同デアリマシタガ、此ノ前御話ニ
ナリマシタ時ニハ、大體コソチガ出来テ居
ル時デアリマシタト、殊ニ是ガ政府職員
共濟組合ト云フ、即チ政府部内ノ共濟組合
デアリマスノデ、法文化セズシテ之ヲ實行
致シタヤウナ譯デアリマス、今後ノ此ノ共
濟組合ノ健全ナル發達ニ付キマシテハ、政
府ト致シマシテハ萬遺憾ナキ時期シテ行キ
タイト考ヘテ居リマス

○最上委員 最後ニ私ハ伺ヒタイノハ、現
在鐵道省ノ運信省等ニ於テハ現職員ノ共濟
組合制度ガアリマス、其ノ中ニハ更ニ進
ンデ年金制度ガアルノデアリマス、若シモ此
ノ政府共濟組合制度ガ出来タ場合ニ於テ、是
等ノ現在アル所ノ組合制度ヲドウスルカ、
一本建トスルカ、二本建トスルカ、又此ノ
年金制度ガアルラドウスルカ、更ニ是ハ外
地ノ小學校及ビ公民學校ノ教員ニモ適用サ
レルカ、又内地ノ代用教員ニモ全部適用サ
レルノデアルカドウカ、是等ノ點ニ付テ御
答願ヒタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 御承知ノ通り官業共濟組
合ハ雇員備員モ入ツテ居ルノデアリマスガ、
此ノ度ノハ職員ガ對象デアリマシテ、之ヲ
一本建トスルコト云フコトニ付キマシテハ、
何レ考慮ヲ致シタイト存ジマス

○谷口政府委員 外地ノ小學校、公民學校
ノ教員、ソレカラ内地ノ代用教員等ハ、今
回ノ所デハ含マデ居リマセス

○最上委員 マダ質問シタイコトガアリマ
スガ、モウ時間ガナイカラ……

○山本(若)委員長代理 松村光三君
○松村(光)委員 午前中總理大臣ニ對シマ
シテ補助金ヲ中心トシタル質疑ヲ致シマシ

ラデモ金ヲ出スト云フヤウナ行キ方デ、一千六百萬圓ノ金ヲ將來マデ出ス、ドンノ貸出サシテ、貸倒レハ埋メテヤルト云フコトデヤツテ居リマス。産金會社ト云フモノハ、金ノ借手ハナイカ、ト言ツテ尋ネテ歩イテ、中々借手ガナイガラ、要リモシナイ大キナ富豪ニ金ヲ貸シテ居ル、馬鹿々々シイコトデアリ、産金會社ノ今日ノ狀態ガ如何ナル狀態デアリカト云フコトハ、ハ多クヲ語ラナイ、政府ハ此ノ位ノコトハ御承知ノ答デアリマス、私ハ非常ニ憂慮ニ堪ヘナイと思フ、ソコデ結局ハサウ云フ不分明ナル二ツノ會社ガアルノダカラ、ハハツニシテシマツテ、サウシテ本格的ノ徹底シタル補助政策ヲ執ルト云フコトガ一番ノ明案ト考ヘル

○櫻内國務大臣 只今ノ御話ノ點ハ、衆議院ニ於テ稅制案ガ修正サレマシタ結果、貴族院ニ於テ其ノ修正ガ衆議院通リ決定致シタ場合ニ於ケル措置ニ付テノ御承知思ヒマ、此ノ問題ニ付キマシテハ、貴族院ガ衆議院ノ修正通りニ決定致スカ致サスカ、マダ確定致シマセス前ニ於テ、政府ガ之ニ向ツテ如何様ナル方法ニ依ツテ處理スルカト云フコトヲ明ニ申上ガルコトハ如何カト思ヒマスガ、斯様ナ場合ニ於テハ、當然ノ行キ道ト致シマシテハ、更ニ歳入補填ノ途ヲ講ジマシテ、其ノ歳入補填ノ途ヲ講ジタ案ヲ議會ニ提案シテ、御審議ヲ煩ハスベキ管デアルト思ヒマス、併シナガラ他ニ或ハ節約其ノ他ニ依ツテ、之ヲ補ツテ行ク方法ガアリト致シマスレバ、ソレヲ執ルコトモ一ツノ方法デアリマシテ、前例モアルノデアリマス、隨ヒマシテ何レノ方法ニ依リマスガ、未ダ決定致シマセヌノデ、私ハ明答ヲ致シ兼テマスキレドモ、左様ナル場合ガアルコトヲ豫想致シマシテ、至急ニ今明日ニ於テモ大體ノ方針ヲ決定致サウト考ヘテ居リマス。レドモ、只今ハマダ申上ゲル機會ニ至ツテ居リマセヌノデ、改メテ後ノ機會ニ於テ申上ゲタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 爲替相場決定ニ關スル機構ハドウナツテ居ルカ、ドウ云フ風ニ扱ツテ居ルカト云フコトデアリマスガ日本ニ於ケル爲替相場ノ決定ノ問題ハ、日本銀行ガ中心トナリ、正金銀行等ノ爲替銀行トノ間ニ於ケル協定ニ依ツテ此ノ相場ヲ決定シテ居ルノデアリマス、其ノ相場ノ基準ヲ何處ニ置クトカ云フコトハ、當然政府ガ定ムベキコトデアリマシテ、大藏省ガ之ヲ取扱ツテ決定シテ居ルヤウナ譯デアリマス

○櫻内國務大臣 爲替相場決定ニ關スル機構ハドウナツテ居ルカ、ドウ云フ風ニ扱ツテ居ルカト云フコトデアリマスガ日本ニ於ケル爲替相場ノ決定ノ問題ハ、日本銀行ガ中心トナリ、正金銀行等ノ爲替銀行トノ間ニ於ケル協定ニ依ツテ此ノ相場ヲ決定シテ居ルノデアリマス、其ノ相場ノ基準ヲ何處ニ置クトカ云フコトハ、當然政府ガ定ムベキコトデアリマシテ、大藏省ガ之ヲ取扱ツテ決定シテ居ルヤウナ譯デアリマス

○櫻内國務大臣 爲替相場決定ニ關スル機構ハドウナツテ居ルカ、ドウ云フ風ニ扱ツテ居ルカト云フコトデアリマスガ日本ニ於ケル爲替相場ノ決定ノ問題ハ、日本銀行ガ中心トナリ、正金銀行等ノ爲替銀行トノ間ニ於ケル協定ニ依ツテ此ノ相場ヲ決定シテ居ルノデアリマス、其ノ相場ノ基準ヲ何處ニ置クトカ云フコトハ、當然政府ガ定ムベキコトデアリマシテ、大藏省ガ之ヲ取扱ツテ決定シテ居ルヤウナ譯デアリマス

マシテ、剩餘金ヲ流用スルト云フヤウナ實情ニアツタノデアリマス、本年ハ昨年ノ如キ早業ハナイデアラウト思ヒマスキレドモ、左様ナルコトヲ考慮ニ入レテ掛リマシタ時ニ、大體ニ於テ此ノ程度ノ豫備金ヲ御協賛願ツテ置クコトガ必要デアリ、斯様ニ考ヘマシテ提案ヲ致シタヤウナ譯デアリマス

○櫻内國務大臣 爲替相場決定ニ關スル機構ハドウナツテ居ルカ、ドウ云フ風ニ扱ツテ居ルカト云フコトデアリマスガ日本ニ於ケル爲替相場ノ決定ノ問題ハ、日本銀行ガ中心トナリ、正金銀行等ノ爲替銀行トノ間ニ於ケル協定ニ依ツテ此ノ相場ヲ決定シテ居ルノデアリマス、其ノ相場ノ基準ヲ何處ニ置クトカ云フコトハ、當然政府ガ定ムベキコトデアリマシテ、大藏省ガ之ヲ取扱ツテ決定シテ居ルヤウナ譯デアリマス

○櫻内國務大臣 爲替相場決定ニ關スル機構ハドウナツテ居ルカ、ドウ云フ風ニ扱ツテ居ルカト云フコトデアリマスガ日本ニ於ケル爲替相場ノ決定ノ問題ハ、日本銀行ガ中心トナリ、正金銀行等ノ爲替銀行トノ間ニ於ケル協定ニ依ツテ此ノ相場ヲ決定シテ居ルノデアリマス、其ノ相場ノ基準ヲ何處ニ置クトカ云フコトハ、當然政府ガ定ムベキコトデアリマシテ、大藏省ガ之ヲ取扱ツテ決定シテ居ルヤウナ譯デアリマス

○櫻内國務大臣 爲替相場決定ニ關スル機構ハドウナツテ居ルカ、ドウ云フ風ニ扱ツテ居ルカト云フコトデアリマスガ日本ニ於ケル爲替相場ノ決定ノ問題ハ、日本銀行ガ中心トナリ、正金銀行等ノ爲替銀行トノ間ニ於ケル協定ニ依ツテ此ノ相場ヲ決定シテ居ルノデアリマス、其ノ相場ノ基準ヲ何處ニ置クトカ云フコトハ、當然政府ガ定ムベキコトデアリマシテ、大藏省ガ之ヲ取扱ツテ決定シテ居ルヤウナ譯デアリマス

○名川委員 斯ウ云フコトヲ押問答スルコトハ時間ガアリマセカラ避ケマスガ、併シ今申シマシタ通り、此ノ速記録ニ依リマスト、文部大臣ハ内部ニ紛争ガアツテ、其ノ校長ヲ置クコトハイカス、喧嘩ヲスルカ...

○名川委員 然ラバ三名ヲ下ルコトヲ得ナイト云フコトニナツテ居ル、ソレガ二名デアリナラバ、理事會ノ體ヲ成シテ居ナイデハナイカ、ソレガ適法デアルト云フ理窟ハ...

○名川委員 只今ノ政府委員ノ今後御注意ナルコト云フコトニ付テハ諒承致シマスガ、併シ重ネテ此ノ事ヲ説ク必要モナイノデア...

リマスルガ、アナタハ明ニ、要スルニ人物ノ非難ニナリマスカタト云フ人ナラハ、缺點ガアルガ如クニ主張セラレテ居ルノデアリ...

○名川委員 實ハ私共素人ナガラ、ソレハ多少疑問ヲ持ツテ居リマシタ、併シ前後ノ定款ノ文句ヲ綜合致シマシテ、ソレ...

○名川委員 只今ノ御致シマスガ、過般御尋致シマシタ時、此ノ長尾某ナル者ハ視學員...

ノガ来テ、報告ヲシテ、清水等ト話ヲシテ斯ウ云フ惡イ事ガアルト云フ嘘ノ報告ヲシテ、サウシテ河合ヲ追出シテ、其ノ長尾ト...

○名川委員 先程私ガ御致シマシタ中ニ誤リガアリマスノデ、謹ンデ訂正ヲ致シタイ、今後學校ノ横カラノ奮ヒ取、斯ウ...

○名川委員 次ニ御致シマスガ、過般御尋致シマシタ時、此ノ長尾某ナル者ハ視學員...

トハ認メラレテ居ル、ソレノ取調ニ行ツタ者ヲ直チニ後ノ校長ニスルト云フコトハ如何ナモノデアルカト云フコトヲ言ツタ所ガ、...

○名川委員 只今ノ御致シマスガ、過般御尋致シマシタ時、此ノ長尾某ナル者ハ視學員...

○名川委員 只今ノ御致シマスガ、過般御尋致シマシタ時、此ノ長尾某ナル者ハ視學員...

スガ法制的ノ知識ニ暗イノデアリマシテ、其ノ論斷ヲ下シマスニ至ルマデハソレゾレノ専門ノ局員ノ意見ヲ徵シマシテ、定款ノ解釋ニ差支ナイト云フ意見ノ具申ニ基...

○名川委員 然ラバ三名ヲ下ルコトヲ得ナイト云フコトニナツテ居ル、ソレガ二名デアリナラバ、理事會ノ體ヲ成シテ居ナイデ...

イヤウニ考ヘマス、實ハ私共素人ナガラ、ソレハ多少疑問ヲ持ツテ居リマシタ、併シ前後ノ定款ノ文句ヲ綜合致シマシテ、ソレ...

○名川委員 然ラバ三名ヲ下ルコトヲ得ナイト云フコトニナツテ居ル、ソレガ二名デアリナラバ、理事會ノ體ヲ成シテ居ナイデ...

イト言ウテ居ル、サウ云フ次第デアリマスカラ、十分ニ此ノ點ニ付テモ御調査ヲ願ヒタイ、今後學校ノ横カラノ奮ヒ取、斯ウ...

○名川委員 先般御尋致シマシタ中ニ誤リガアリマスノデ、謹ンデ訂正ヲ致シタイ、今後學校ノ横カラノ奮ヒ取、斯ウ...

所管ノ二千三百餘萬圓ノ補給金ハ、日本發電會社ガ其ノ電力ヲ修正スレバ、是ハ國家ガ補給ニ必要ナイノデアリマシテ、其ノ電力國家管理案ノ審議ノ際ニ於キ...

○名川委員 只今ノ御致シマスガ、過般御尋致シマシタ時、此ノ長尾某ナル者ハ視學員...

於テ篤ト研究致シマシテ、之ヲ指導シテ居ルコトト考ヘマス、殊ニ況ンヤ今日低物價政策ヲ堅持致ス建前カラ行キマス、電力料金を値上スルト云フコトハ、餘程考慮致サナケレバナラス點デアリマシテ、一概ニ値上ラスルト云フコトニ付キマシテ、御説ニ共鳴致シ兼ネルノデアリマス、要シマスルニ會社ノ經營ニ付キマシテ十分ナル監督ヲシ、指導シテ參リマシテ、サウシテ低廉ナル電力ヲ以テ是ガ經營ヲヤツテ行ケルト云フ風ニスルコトヲ希望致スノデアリマス、政府今回ノ補給金ハ、御承知ノ通り法律ノ定メタル所ニ依ツテ給與シナケレバナラナイノデアツテ、是ハ已ムヲ得ズ致ス次第デアリマス、其ノ點ニ付テハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○三土委員長 連日質問ヲ試ミタノデアリマスガ、此ノ間ニ於テ國務大臣ガ他ノ方ノ關係カラ出席ガ甚ダ少カツタト云フヤウナ爲ニ、質問シタイ方デマダ出來ナイ方モアリ、甚ダ不満足ト思ヒマスガ、會期ガ切迫致シテ居リマスカラ、之ヲ以テ質問終了ト致シタイト思ヒマスガ、御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○三土委員長 ソレデハ左様ニ致シマス、明日ハ討論ヲヤリマス、成ベク早ク午前中ニ決定シテ、其ノ儘本會議ニ移サウト思ヒマス、併シ或ル會派ニ於テマダハツキリト態度ヲ決メテ居ラヌ所ガアルヤウデアリマスカラ、其ノ時間ノ餘裕ヲ取リマス爲ニ二十時半カラ開會致シマス、本日は是ニテ散會致シマス

午後六時三十分散會

昭和十五年三月二十五日印刷

昭和十五年三月二十六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 院 豫算委員會會議錄(速記)第二十七回

會 議
昭和十五年三月二十四日(日曜日)午前十一時十八分開議

出席委員左ノ如シ
委員長 三土 忠造君
理事中村三之丞君 理事田村 秀吉君
理事山本 芳治君 理事岸田 正記君
理事石坂 豐一君 理事猪野毛利榮君
理事田原 春次君

小川輝太郎君 眞鍋 勝君
眞鍋 儀十君 前田房之助君
平川松太郎君 吉植 庄亮君
松浦 伊平君 塚本 重藏君
山元龜次郎君 原 夫次郎君
森下 國雄君 稻田 直道君
笠井 重治君 清水徳太郎君
窪井 義道君 大本貞太郎君
牧野 良三君 矢野庄太郎君
松村 謙三君 小谷 節夫君
加藤 知正君 川崎 克君
村松 久義君 池田 秀雄君
三木 武夫君 最上 政三君
山崎達之輔君 清瀬 一郎君
末松借一郎君 松尾 四郎君
小笠原三九郎君 増永 元也君
吉田 賢一君 松村 光三君
出席國務大臣左ノ如シ
内閣總理大臣 米内 光政君
外務大臣 有田 八郎君
大藏大臣 櫻内 幸雄君
陸軍大臣 畑 俊六君

出席政府委員左ノ如シ
海軍大臣 吉田 善吾君
農林大臣 島田 俊雄君
文部大臣 松浦鎮次郎君
拓務大臣 小磯 國昭君
司法大臣 木村 尚達君
內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君
厚生大臣 吉田 茂君
逓信大臣 勝 正憲君
鐵道大臣 松野 鶴平君

法制局長官 廣瀨 久忠君
企畫院總裁 竹内 可吉君
對滿事務局次長 荒川 昌二君
對滿事務局事務官 竹内 徳治君
内閣情報部長 熊谷 憲一君
興亞院總務長官 柳川 平助君
興亞院部長 日高信六郎君
外務事務次官 小山 谷藏君
外務參事官 小高長三郎君
外務書記官 石井 康君
內務事務次官 鶴見 祐輔君
內務參事官 青山 憲三君
內務書記官 灘尾 弘吉君
大藏事務次官 木村 正義君
大藏參事官 松田 正一君
大藏省主計局長 谷口 恒二君
大藏省主稅局長 大矢半次郎君
大藏省理財局長 相田 岩夫君
大藏省銀行局長 入間野武雄君
大藏省爲替局長 中村孝次郎君
大藏書記官 永井 勻君

大藏書記官 植木庚子郎君
大藏書記官 氏家 武君
專賣局長官 花田 政春君
陸軍事務次官 三好 英之君
陸軍參事官 宮崎 一君
陸軍主計中將 石川半三郎君
陸軍主計大佐 森田 親三君
海軍事務次官 松山常次郎君
海軍參事官 小山邦太郎君
海軍主計中將 武井 大助君
海軍主計大佐 爲本 博篤君
海軍大佐 矢野 英雄君
海軍大佐 千田 金二君
司法事務次官 星島 二郎君
司法參事官 子爵高木 正得君
司法省民事局長 坂野 千里君
司法省刑事局長 黒川 涉君
司法書記官 石田 壽君
文部參事官 仲井開宗一君
文部普通學務局長 中野 善敦君
文部書記官 永井 浩君
文部省普通學務局長 安井 章一君
農林省畜産局長 岸 良一君
農林省蠶絲局長 吉田 清二君
農林省書記官 岡本 直人君
農林省書記官 加藤鐵五郎君
農林省書記官 山本 茂君
商工事務次官 小島 新一君
貿易局長官 武知 勇記君
逓信事務次官 藤生安太郎君
逓信參事官 藤生安太郎君
逓信省經理局長 手島 榮君

電氣廳長官 平井出貞三君
航空局長官 藤原 保明君
鐵道事務次官 宮澤 裕君
鐵道參事官 大島 寅吉君
鐵道省經理局長 池井 啓次君
拓務事務次官 松岡 俊三君
拓務參事官 男爵加藤 成之君
拓務省管理局長 副島 勝君
拓務省殖産局長 植場 鐵三君
拓務省拓務局長 安井誠一郎君
拓務書記官 森重 干夫君
朝鮮總督府政務總監 大野綠一郎君
朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君
朝鮮總督府鐵道局長 山田新十郎君
臺灣總督府總務局長 森岡 二郎君
臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君
樺太廳長官 棟岡 俊一君
厚生省職業部長 内藤 寛一君
厚生書記官 川村 秀文君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
(第一號)昭和十五年度各特別會計歳入
加案
(第二號)昭和十五年度各特別會計歳入
歳出豫算追加案
(第三號)豫算外國庫ノ負擔下ナルベキ
契約ヲ爲スヲ要スル件
○三土委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、第
二號、昭和十五年度歳入歳出豫算追加案、
特第二號、昭和十五年度各特別會計歳入歳
出豫算追加案、第三號、豫算外國庫ノ負
擔下ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、此ノ

三案ヲ一括シテ討論ニ入りマス、討論ハ通告順ニ依ツテ之ヲ許シマス、中村三之丞君

○中村委員 只今議題トナツテ居リマス昭和十五年追加第二號各案ニ對シマシテ、吾々ノ希望條項ヲ附シテ賛成ノ意ヲ表シマス、先ツ其ノ條項ヲ朗讀致シマス

一、政府ハ物價物資統制消費規正及配給機構ヲ整備シ速ニ適正物價ヲ定メ開取引ヲ根絶スヘシ

一、石炭木炭「マツチ」主要食糧農産物肥料飼料等ノ増産若ハ供給確保ニ對スル助成金獎勵金買取價格補償金ニ關シテハ其ノ運用ニ萬全ヲ期シ以テ増産ト低物價政策トヲ並行セシメ併セテ國民生活必需品ノ供給確保ニ努ムヘシ

時局經濟ノ完遂ヲ圖ルコトガ現内閣ノ使命ナルト申サナレバナリマセス

日本發送電株式會社ニ對スル配當補給金二千三百餘萬圓ガ、豫算案議ノ上ニ於ケル問題トナツタコトハ、政府殊ニ逕信大臣ノ諒承セラレテ居ル所デアアル、何人ト雖モ、日本發送電株式會社ガ昨下半年以降、國策會社トシテノ機能發揮ニ適宜ノ處置ヲ課シナカ

次ニ政府ノ注意ヲ喚起致シタイコトハ、最近兎角特別會計濫設ノ傾向ナルコトデアリマス、既設ノ特別會計ハ臨時軍事費特別會計ヲ含メマシテ現ニ四十二、本會議ニ提出セラレクセテ合セマシテ、四十九ノ多キニ達スルデアリマス、我が會計法第三十九條ハ特別會計ノ設置ヲ認メテ居リマス

一ノ原則カラ遠ザカリ、其ノ弊害モ少クナカツタノデアリマス、隨テ大正十四年ニハ特別會計ノ整理廢合ガ斷行セラレ、三十一ニ減少致シタノデアリマス、尤モ其ノ後世態ハ變遷シ、殊ニ今次事變ニ際シ、戰時財政經濟處理ノ爲特別會計ノ設置ハ或ル程度ニ於テ已ムヲ得ザルモノガアルコトヲ認メ

一ノ原則カラ遠ザカリ、其ノ弊害モ少クナカツタノデアリマス、隨テ大正十四年ニハ特別會計ノ整理廢合ガ斷行セラレ、三十一ニ減少致シタノデアリマス、尤モ其ノ後世態ハ變遷シ、殊ニ今次事變ニ際シ、戰時財政經濟處理ノ爲特別會計ノ設置ハ或ル程度ニ於テ已ムヲ得ザルモノガアルコトヲ認メ

マシケレドモ、事變ノ了ラト同時ニ、特別會計ノ整理廢合ノ斷行ハ蓋シ免ルベカラザルモノアリト考ヘルノデアリマス、此ノ點特ニ政府ニ考慮ヲ求ムル次第デアアル

千七百餘萬圓、第二號一億一千六百餘萬圓、十五年度本豫算五十八億二千二百餘萬圓ヲ合算致シマスルナラバ、六十億九千七百餘萬圓ニ上リ、之ニ臨時軍費費四十四億六千萬圓ヲ加ヘ、マシケレドモ、當初約三百三億

一ノ原則カラ遠ザカリ、其ノ弊害モ少クナカツタノデアリマス、隨テ大正十四年ニハ特別會計ノ整理廢合ガ斷行セラレ、三十一ニ減少致シタノデアリマス、尤モ其ノ後世態ハ變遷シ、殊ニ今次事變ニ際シ、戰時財政經濟處理ノ爲特別會計ノ設置ハ或ル程度ニ於テ已ムヲ得ザルモノガアルコトヲ認メ

シト強調致シタノデアリマス、吾々ハ現内閣ノ政治的性格ニ鑑ミテ、茲ニ之ヲ重ネテ引用シ、政府ノ考慮ト實踐トヲ強ク要望シテ已マザル者デアリマス、以上ヲ以テ賛成ノ理由ト致シマス

○三土委員 山本芳治君

一、政府ハ勞務動員計畫及輸送計畫ヲ確立整備シ且資材ノ優先的配給ヲ行ヒ以テ石炭ノ増産ニ萬遺憾ナキヲ期スベシ

一ノ原則カラ遠ザカリ、其ノ弊害モ少クナカツタノデアリマス、隨テ大正十四年ニハ特別會計ノ整理廢合ガ斷行セラレ、三十一ニ減少致シタノデアリマス、尤モ其ノ後世態ハ變遷シ、殊ニ今次事變ニ際シ、戰時財政經濟處理ノ爲特別會計ノ設置ハ或ル程度ニ於テ已ムヲ得ザルモノガアルコトヲ認メ

豫算案ノ適例ハ日發會社デアリマス、日發會社ノ機能ヲ十分ニ發揮シ得ナカツタコトハ、今日天下ノ公論デアアル、本年度ノ追加豫算ニ於キマシテ配當補給金ガ出テ居リマスルガ、若シ會社ノ經營宜シキヲ得タナラバ、斯様ナ補給金ヲ支出スルノ必要ガナカ

アル、政府ハ此ノ機械的ナル低物價政策ニ拘泥シテ、飽マデモ之ヲ支持センガ爲ニ、獎勵金、助成金ノ交付ヲ茶ヲ濁サウト考ヘテ居リマスルガ、元來不自然ナル獎勵金、助成金ト云フモノハ經濟的ニ不合理ナル結果ヲ來ス、即チ物價ノ消費者ニ物價ヲ負擔サ

○三土委員 石坂豊一君

一ノ原則カラ遠ザカリ、其ノ弊害モ少クナカツタノデアリマス、隨テ大正十四年ニハ特別會計ノ整理廢合ガ斷行セラレ、三十一ニ減少致シタノデアリマス、尤モ其ノ後世態ハ變遷シ、殊ニ今次事變ニ際シ、戰時財政經濟處理ノ爲特別會計ノ設置ハ或ル程度ニ於テ已ムヲ得ザルモノガアルコトヲ認メ

居ラス、寧ろ對症療法的ニ、安キヲ求メテ、統制の諸政策ヲ現ハレタノデハナイカト云フコトヲ、二三年ノ財政經濟狀態ノ經過進

デ、原則規定ハ、物資ノ大増産計畫、國家ガ今日ノ需給困難ヲ事能ク切抜ケルニ、有

リ、肥料ノ問題ハ肥料ノ増産ノ問題ヲ産ミ、其ノ生産ノ問題ハ原料ノ供給ノ問題ヲ産

間ノ實例ニ於テ日常見聞スル所デゴザイマ

ヲ持ツテ之ヲ行ハルコト、或ハ又他ヲ責メルコト急ニシテ自ラ反省スルコトガナカ

コトデアリマス、之ニ付テ例ヘバ統制違反ガ二百餘件アルト云フヤウナコトハ、私

支辨ニ致シマシテモ、之ヲ公債ニ依リマシ

スガ、私共ハ要スルニ惡循環ヲ助長スル結

第四ノ問題ハ、積極的ニ國家及ビ國民ノ經濟生活ノ原理ニ付キマシテ、此ノ際飛躍

第三ノ委員 傍聴人ノ發言ヲ禁ジマス

○三土委員長 傍聴人ノ發言ヲ禁ジマス

農工商兩當局ニ對シマシテハ、都市ト

昭和十五年三月二十六日印刷

昭和十五年三月二十六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 院 豫算委員第一分科(外務省及)會議錄(速記)第一回

會議

昭和十五年二月十六日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

主任 松尾 孝之君

池田 秀雄君

窪井 義道君

守屋 榮夫君

兼務

田村 秀吉君

最上 政三君

櫻井兵五郎君

川崎 克君

石坂 豊一君

原 夫次郎君

三宅 正一君

小山 亮君

出席國務大臣左ノ如シ

出府政府委員左ノ如シ

外務政務次官

外務參事官

外務省東亞局長

外務省歐亞局長

外務省亞米利加局長

外務省通商局長

外務省條約局長

外務省情報部長

外務省調査部長

外務書記官

小山 谷藏君

小高長三郎君

堀内 干城君

西 春彦君

吉澤清次郎君

山本 熊一君

三谷 隆信君

須磨彌吉郎君

松宮 順君

石井 康君

主任ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和十五年年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年各特別會計歳入歳出豫算案中外務省所管
豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中外務省所管

○松尾主任 是ヨリ豫算第一分科ヲ開會致シマス、豫メ一寸申上テ置キマスガ、本日八時前午後外務省關係ノ質疑ヲ了リマシテ、明十七日午前ニ拓務省、午後八時ニマシテ、十九日午後拓務省所管、此ノ順序ヲ進ミタイト思ヒマス、質問ハ御申出ノ順ニ依ツテ許可致シタイト思ヒマス、多數ノ場合ハ總會ノ發言順序ノ例ニ依リタイト思ヒマス、尙ホ參考資料ノ御請求ハ只今外務大臣ノ御説明後ニ御申出ヲ願ヒタイト思ヒマス、拓務省ノ分モ明日拓務大臣ノ説明後ニ御申出ヲ願ヒタイト思ヒマス、レデハ外務大臣

○有田國務大臣 昭和十五年度ノ外務省所管一般會計歳出豫算要求額ハ經常部二千三百六十五萬五千七百七十四圓、臨時部四千四百七十四萬四千三百三十八圓、合計六千四百四十九萬三千二百一十二圓アリマス、之ヲ前年度ノ豫算額ニ比較致シマスルト、經常部ニ於キマシテ二百六十一萬九千九百九十四圓、臨時部ニ於キマシテ三百五十一萬三千三百二十五圓、合計六百十三萬四千五百一十七圓ノ増加ト相成テ居リマス、今其ノ増減事項ノ主ナルモノニ付テ説

明致シマス、先ツ増加ノ事項ト致シマシテハ、第一ハ外務本省機構擴充ニ要スル經費三十一萬六千餘圓アリマス、是ハ現下ノ變轉極リナキ國際情勢ニ對處シ、帝國外交政策遂行上遺憾ナカラシムル爲、外務本省機構擴充整備ヲ爲サントスルモノデアリマシテ、東亞局、調査部、歐亞局、情報部、官房各課等ノ擴充整備ヲ行ヒマス外、新ニ南洋局ヲ設置スル等ノ爲必要ナル經費デアリマス

第二ハ在外公館新設等ニ要スル經費百二十七萬千餘圓デアリマス、是ハ帝國ノ國際的地位並ニ外交、通商關係ノ益、重大機微ヲ加ヘツツアル現狀ニ鑑ミマシテ、「ウルグアイ」國ニ帝國公使館ヲ、希臘國「アテネ」ニ帝國外交官駐在事務所ヲ、東阿弗利加「ナイロビ」支那「南昌、澳門、北米」ニ「デンヴァ」漢洲「メルボルン」ニ「セレベス」島「マカッサル」伯國「クリチバ」支那ノ新郷、北米「ヒューストン」ノ各地ニ帝國總領事館、領事館又ハ分館ヲ新設致シマス外、在「アムステルダム」帝國公使館ヲ大使館ニ、太原、石家莊、山海關、蘇州、蕪湖、黑河等ノ各館ヲ總領事館若ハ領事館ニソレソレノ昇格スル爲必要ナル經費デアリマス

第三ハ在外公館機能充實ニ要スル經費百四十萬四千餘圓デアリマス、是ハ時局ノ進展ト國際情勢ノ推移ニ即應シマシテ、在外公館機能ノ活潑ナル運行ヲ期スル爲、支那、滿洲、南洋等ニ於ケル先機關ノ充實及ビ在外ニ於ケル電信、情報機關ノ整備、要務、司法事務職員ノ増員等、専ラ在外公館ノ機能ヲ充實強化スルニ必要ナル經費デアリマス

第四ハ在外邦人子弟教育費、補助ノ増加百二十八萬三千餘圓デアリマス、邦人ノ海外發展殊ニ事變後支那ニ進出セル邦人ノ激増ニ伴ヒマシテ、之等子弟モ亦著シク増加致シマシク結果、是ガ教育費ノ増額補助ヲ必要トスルニ至リマシタ爲、計上致シマシタ

第五ハ在支領事館警察擴充ニ要スル經費二百六十八萬六千餘圓デアリマス、是ハ事變後支那ニ於ケル邦人ノ進出ト治安ノ現狀トニ鑑ミマシテ、居留民ノ保護取締、秩序維持等ノ完備ヲ期シ、邦人ノ健全ナル發展ヲ計ル爲、在支領事館警察ヲ擴充強化スルニ必要ナル經費ヲ計上致シマシタ

第六ハ移民保護指導ニ要スル經費七十二萬千餘圓デアリマス、在外邦人ノ發展ヲ促進シ、以テ我ガ國力ノ伸張ニ資スル爲、海外移民ノ保護指導上必要ナル施設ヲ爲スニ要スル經費ヲ計上致シマシタ

第七ハ通商振興費ノ増加六十四萬七千餘圓デアリマス、帝國ノ經濟的現狀ニ鑑ミマシテ、通商貿易ノ振興ヲ圖ルコトノ最モ緊要ナルヲ認メマシテ、前年度ニ引續キ之ヲ計上致シマシタ

第八ハ國際文化事業ニ關スル經費百四十八萬四千餘圓デアリマス、本邦文化ノ海外紹介ニ依リ、眞正ノ日本精神ヲ世界ニ闡明シ、帝國ニ對スル認識ヲ啓發是正スルコトノ極メテ緊要ナルヲ認メマシテ、文化事業部ノ

擴充ヲ行ヒマス外、是等事業助長ノ爲メ必
要ナル經費ヲ計上致シマシク
第九八臨時外交施設ニ關スル經費七百七
十一万四千餘圓デアリマス、是ハ滿洲事變

之ヲ計上致シマシク次第デアリマス
他方減少ノ事項ト致シマシテハ、既定經
費ノ節約、在外公館ノ廢館等ヲ行ヒマシテ

デアリマス、第四ハ助成費ノ增加三五五千
圓デアリマス、是ハ東方文化學院及ビ東方
文化研究所ニ對シ各其ノ研究調査事業ヲ助

第十一八海外在留民臨時調査ニ要スル經
費十二万七千餘圓デアリマス、本年十月全
國一齊ニ施行セラレマス豫定ノ國勢調査ニ

先ツ歲入ニ付テ申シマス、償還金收入ニ
於テ二十九万八千餘圓、運用利殖金收入ニ

以上ヲ以テ外務省豫算ノ大要ヲ説明致シ
マシク、細目ニ互リマシテハ御質問ニ應ジ
御答辯致シマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛

第十二八營繕ニ要スル經費百五十九万三
千餘圓デアリマス、是ハ廈門領事館官舎其
ノ他ノ修築、密山領事館外一館ノ修築及官

其ノ養成費ヲ増加交付スルノ必要ガアリマ
スノ計上致シマシク、第三ハ補助費ノ増

○石井政府委員 問ニ答フト思ヒマス
○松尾主査 ソレハヨリ實感ニ入りマ
ス——星一君

第十三八爲替相場ノ變動ニ基テ經費ノ増
加五百九十一万八千餘圓デアリマス、我が
對外爲替相場ハ近年著シク低落致シマシク

加六千餘圓デアリマス、是ハ日華學會ニ於キ
マシテ留學生指導監督機關トシテ新ニ教育

○星委員 私人主トシテ支那ノ文化事業及
ビ支那ノ事變地ニ於ケル宣撫班ノ關係ニ付

一ツ御願シタイノデアリマス、此ノ對支文
化事業部ハ北清事變ノ賠償金ヲ以テ今カラ
二十年近ク前カニ外務省ニ出來マシク、丁

事業ハ外務省ガ——是ハ興亞院ニモ色々
ノ關係ガアルカモ知ラズ、外務省ガ茲ニ本當

考ヘテ居ル、勿論支那ノ民心ヲ捉ヘルコト
モ必要デアル、ソレハ志レテハナラズノデ

ト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ
ト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ
ト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ

○有田國務大臣 只今皇君ノ御話ノ點ニ付
テハ御同感デアリマスガ、外務省ノヤツテ

○星委員 ヤハリ大臣ノ御説明ヲ聽イテ
モ、私ハ外務省ノヤツテ居ル仕事ハ外國人

必要である、秩序ノナイ所へ持つて行つて
東洋ノ高遠ナル理想ノ研究ヲヤツテ見たり
テ、ソレハ先ノコトダ、現實デナケレバナ
ラス、所謂文化事業モ吾々ハ支那國民ニ利
益ヲ與ヘル爲ノモノデナケレバナラスノ
事カラ、支那國民ニ何モ與ヘナイ對支文化
事業ナラバ、ソレハヤナイモ同ジコト
ス、サウ云フコトヲ言フテ東洋ノ哲學ノ研
究ナドヲヤツテ行クト、支那人ノ方ハ、俺
ノ方ガ本家本元ト云フノデス、私モ此ノ
間上海ニ行キマシタ、汪ニ會フツラドウカ
ト云フカラ、會ハヌト云ツタ汪ニ會フト大
抵喋ルコトデハ汪ニ負ケテシマフ、喋ル
コトト書クコトトハ向フハ大本ダカラ、喋
ツテ居ルコトトヤレル、ソノコトトハ駄
目ダト云フノデス、私ハソレト同ジコト
デ、今ノヤウナ文化事業ヲヤツテ行クト
支那人ニ馬鹿ニサレマス、ソレヨリモ本當
ニ支那人ヲ救フテ行クノダ、歐羅巴ガ東洋
ニ出テ來タ時ニ、ドウ云フ方法デ出テ來
タカ、ソレガ文化ニドレダケ貢獻シタカ
ト云フコトヲ知レバ分ルコトデアリマス
カラ、サウ云フヤウニ是ハドウシテモ
考ヘ直シテ、之ヲ外務省ガ教ヘテヤラセバ
ナリマセヌ、外務省ガ主トナツテヤル、
是カラ外務省ノスル事ハ大キイノデスカ
ラ、支那ハ世界ノ一部分ダシ、日本モ無
論ノコトダ、ダカラ世界ヲ考ヘズシテ支
那ヲ處理シテ行クコトハ出來マセヌ、
日本ハ小サナ川ノ魚ヲ獲ツテ、ソレヲ刺
身ニシテ食フコトハ吾々ノ長所カモ知レ
ナイ、併シナガラ支那ト云フ大キナ國
ノ料理ノ仕方ハ、是ハ中々小サナ川ノ魚
ツテ居タ習慣ノ人デハ出來ナイと思ヒマ
ス、ソレデ支那ヲドウ云フ風ニ料理シテ行ツ

ト仲間カラ勸誘ヲ申込マレテ居ルガ、私ハ
先生ノ言フ通りニ絶對トシテ友人仲間カ
ラ追寄サレテモシマセヌト云ウテ來マシタ、
ソノ風デスカラ、此ノ宜撫班ヲ教ヘルコ
トモ必要デスケレドモ、今ココニ一番大切
ナコトハ、亞米利加ガ基督教ヲ以テ彼處
支那ノ民衆ヲ救ハウトシテヤツテ居ル基督
教ノ大キナ事業ガアリマス、此ノ事業ニ日
本ガ共鳴スルコトガ、之ヲ助ケテ行クコ
トガ、是ガ支那事變ノ處理ノ上ガラモ一
要ナ事ダラウト思ヒマス、此ノ米國ノ一
外ノ國モアリマスケレドモ米國ガ一番デ
カラ、此ノ米國ノヤツテ居ル宣教師ノ團體
ヲ日本ガ心配シテ、アレガアツテハ此ノ後
東洋ノ新秩序ヲ樹テルノニ困ルト云フヤウ
ナ、ソノ小サナ心、弱イ心デハ、東亞
ノ新秩序ガ出來ヌト思ヒマス、私ハ、伊藤
公ガ朝鮮ノ統治ヲナツテ赴任スル時ニ附
テ行ツタ者デアリマス、伊藤公ハ私ニ言
ヒマシタ、當時七十五萬弗亞米利加カラ朝鮮
ノ基督教信者ニヤツテ居ルト云フコトヲ大
變苦ニシマシタガ、コンナコトヲ言フニシ
朝鮮ノ良クシテヤルコトハ出來マセヌ、コ
ンナコトハ苦ニスルニ及ビマセヌト私話
シマシタ、其ノ通りデ、朝鮮ニ於ケル基督
教ノ宣教師ハ朝鮮統治ニハ何ノ害モアリマ
セヌ、ソレデアリマスカラ私ハ亞米利加ガ
爲サントスル事ヲ助ケテ行ツタ宜宜ト思
フ、ソレハ日本モ外務省ガアツテ一
千萬元位金ヲ……モツト出シテ宜イデセウ
ガ、一千万圓モ二千万圓モ出シテ、サウ
テ米國ノ宣教師ノ團體ヲ助ケル、サウ
シテ彼等ト一緒ニナツテ、日本ガ亞米利加
ヘ行ツテ彼等ノ寄附金募集ヲシテヤツ
宜イト思フ、之ヲセズシテドウシテ支那ノ

ル、ソレヲ覺悟シテ、サウシテ彼等ニ過去
ノ歴史ヲ繰返サシメナイヤウニスルコト
ガ、今度ノ東亞永遠ノ安定確保デアラウト
思フノデス、此ノ間ツイ十日位前デスカ、
九州ニ蔣介石ノ飛行機ガ飛ンデ來ルト
言フテ、氣象ヲ「ラチオ」デ知ラセナカ
ツタ、國民ハ明日ニモ逆襲ニ來ルカト心
配シテ居ツタ、コンナコトモ吾々ハ覺悟
シテ宜イノダ、併シ心配スル必要モ何モ
ナイノダ、ソレハ支那人ノ缺點デス、支
那ノ歴史ヲ見レバ分ル、其ノ彼等ノ歴史
ヲ繰返サシメナイヤウニスルノデナケレバ、東
亞ノ新秩序モ出來ナイと思ヒマス、一ツ
外務大臣ニウシテ考ヘテ戴イテ、サウシ
テ追加豫算デモ宜イカラ、餘リ大キイコ
トヲ言フト最初カラ出來ニクイカラ、一
千萬圓位、外國ノ宣教師ヲ助ケテ行ク
コトヲ豫算ヲ提出シテ貰ヒタイト思フ
ノデアリマス、大臣ニ其ノ御考ガアリ
マス、是ガ、是ガ、是ガ、是ガ、大
キナ對支文化事業ニ對シテ、コンナ小
サナ豫算デハ足りマセヌ、外務省ハ一
億位ノモノヲ要求シタツテ、國民ハ要求
シテ仕方ニ依ツテハ満足スルト思ヒマ
ス、外務大臣ノ之ニ付テノ所見……
決心ヲ一ツ臆キタイト思ヒマス

ラ宜イカ料理ト云フテ語弊ガアリマスガ、
支那人ニ満足ヲ與ヘルコトノ出來ル立
派ナ料理ガ出來ルカ、所謂東亞新秩序ガ
出來ルカト云フコト、私ハ揚子江ノヤウ
ナ神經ヲ持つノデナケレバ支那ハ理解
出來ナイト、此ノ間モ上海ニ行ツテ
叫ンデ來タ所以デアリマス、平和ト云
フモ先立ツモ、平和ト云フモ、秩序ガ
アツテ平和デス、デスカラドウシテ
高遠ナル理想ハ後廻シニシテ、ソレヨ
リモ現在デアリマス、之ヲ一ツ
外務大臣ニ篤ト考ヘテ戴キタイト思
ヒマス、ソレカラ今度伺ヒタイコトハ、
宣撫班ノコトデアリマス、何ト云フ
名前カ知レマセヌガ、私ハ日本ノ人ガ
行ツテ宣撫班ヲヤツテ居ルガ、此ノ
宣撫班ノコトハ餘程考ヘナケレバ
ナラスト思ヒマス、日本カラ行ツ
テ宣撫班ノ人ニハ、隨分宣撫班ガ
難シイノ事ヤウナ事ヲシテ居ル
ガ澤山アルト云フコトデアリマス、
日本ハ今度ノ戰爭ガドウ云フ目的
カト云フコトデアリマス、口ニ
ニコソ云フケレドモ、出テ行ツテ
居ル兵隊ニモ宣撫班ニモ、本當ニ心
ニ底カラ理解シテ居ルコトナ
イヤウデアリマス、是ハ東亞
ノ新秩序ヲ作り行ツテ居ル兵隊
ニモ宣撫班ヲ讀マセラゲル一ツ
ノ本出來テ居ナイヤウデアリマス、
如何ニモ新聞雜誌ヲ送ツテヤツ
タリ、慰問品ヲ送ツテヤルコト
モ必要デアリマセヌ、併シナガラ
聖戰ニヤウナコトナケレバ駄目
ダト思ヒマス、ソコデ此ノ宣
撫班ナドモ、自分ハドウ云フ事
ヲシタラ宜イカト云フ教科書ガ
出來テ居ナイト思フノデアリマス、
ソレデスカラ澤山ノ金ヲ取ツテ
酒バカリ飲ンデ居ル、私ガ世話
シテ送ツテヤツタ者ハ酒ヲ飲
マス、オモ酒ヲ飲マ

○有田國務大臣 只今星君ノ申サレ
タヤウニ、今日ノ時局ト云フモノハ極
メテ重大デアリ、又支那四億ノ民衆
ノ人心ヲ把握スルコトヲ云フヤウ
ナコトハ、言フハ易クシテ行クコト
ハ中々困難ナコトデアルト思フ
ノデアリマス、斯ウ云フ風ナ際ニ今
星君ノ言ハレタヤウニ、國內ニ僅カ
ナ事ヲ摩擦スルカ、御五ニ擧
取リテヤスルト云フヤウナコト
ト行ツテハ、到底此ノ時局ヲ
乗り切リ得ルモノデハナク、又
四億ノ支那人ノ心ヲ把握ス

ト仲間カラ勸誘ヲ申込マレテ居ルガ、私ハ
先生ノ言フ通りニ絶對トシテ友人仲間カ
ラ追寄サレテモシマセヌト云ウテ來マシタ、
ソノ風デスカラ、此ノ宜撫班ヲ教ヘルコ
トモ必要デスケレドモ、今ココニ一番大切
ナコトハ、亞米利加ガ基督教ヲ以テ彼處
支那ノ民衆ヲ救ハウトシテヤツテ居ル基督
教ノ大キナ事業ガアリマス、此ノ事業ニ日
本ガ共鳴スルコトガ、之ヲ助ケテ行クコ
トガ、是ガ支那事變ノ處理ノ上ガラモ一
要ナ事ダラウト思ヒマス、此ノ米國ノ一
外ノ國モアリマスケレドモ米國ガ一番デ
カラ、此ノ米國ノヤツテ居ル宣教師ノ團體
ヲ日本ガ心配シテ、アレガアツテハ此ノ後
東洋ノ新秩序ヲ樹テルノニ困ルト云フヤウ
ナ、ソノ小サナ心、弱イ心デハ、東亞
ノ新秩序ガ出來ヌト思ヒマス、私ハ、伊藤
公ガ朝鮮ノ統治ヲナツテ赴任スル時ニ附
テ行ツタ者デアリマス、伊藤公ハ私ニ言
ヒマシタ、當時七十五萬弗亞米利加カラ朝鮮
ノ基督教信者ニヤツテ居ルト云フコトヲ大
變苦ニシマシタガ、コンナコトヲ言フニシ
朝鮮ノ良クシテヤルコトハ出來マセヌ、コ
ンナコトハ苦ニスルニ及ビマセヌト私話
シマシタ、其ノ通りデ、朝鮮ニ於ケル基督
教ノ宣教師ハ朝鮮統治ニハ何ノ害モアリマ
セヌ、ソレデアリマスカラ私ハ亞米利加ガ
爲サントスル事ヲ助ケテ行ツタ宜宜ト思
フ、ソレハ日本モ外務省ガアツテ一
千萬元位金ヲ……モツト出シテ宜イデセウ
ガ、一千万圓モ二千万圓モ出シテ、サウ
テ米國ノ宣教師ノ團體ヲ助ケル、サウ
シテ彼等ト一緒ニナツテ、日本ガ亞米利加
ヘ行ツテ彼等ノ寄附金募集ヲシテヤツ
宜イト思フ、之ヲセズシテドウシテ支那ノ

モノト思フテ居リマシタガ、ソレハ事實ニ無根ノコトヲ御發表ニナツタノデアリマス...

○須藤政府委員 十二月ノ初メカラ中頃ニ掛ケマシテ、天津問題ノ中色々ナ問題ニ付テ...

○小山委員 ドウモ話ガ非常ニ抽象的デ、私ノ聽カウト思フコトガハツキリシナイ...

○有田國務大臣 交渉ニハ時ニ依ツテ或ハ好轉スルヤウナ情勢ヲ示サウナ時モアリ...

ノ發表ヲ御願スル次第デアリマス ○有田國務大臣 時局同志會ガ外交問題ニ...

○小山委員 私共時局同志會ガ特ニ外交問題ヲ重大視致シタル理由ハ、是ハ外務當局ト...

○有田國務大臣 本件ニ付キマシテハ、マダ折角交渉ノ最中デアリマスカラ、其ノ交渉ノ内容ニ付テハ...

○小山委員 私ハ從來ノ外交ノ交渉ノ經過ヲ見テ必ズ感ジサセラレマスコトハ、事實ガ發生以來事變解決ノ爲ニ...

テ、儘力私ハ阿部内閣時代と思ヒマスガ、英吉利側ニ對シテ、支那ハ中立國デア...

○小山委員 時間ノ制限ヲ付ケテ居ラスト仰シヤイマスガ、國際法ニ明記シテアル...

民ノ保護ト云フヤウナコトカラ來テ居ルコトデアリマス、支那ト日本トノ間ノ實際上...

○小山委員 一點淺間丸事件ニ關シテ伺ヒタイ點ガアリマス、ソレハ先般本會議...

○有田國務大臣 英吉利ノ方ト話シタノハ、法律論ハ法律論デアリマスガ、二十一...

○小山委員 サウスストルハ是ハ少シ重大ナ事ニナルノチヤナイカト思フノデス、獨...

○有田國務大臣 日本ノ方デハ獨自ノ見解ニ基キテ、アノ告示ニアルヤウナ方針...

ツテ居リマス、總テノ法律、例ハバ九箇國條約ニシテモ其ノ他國際公法ニシテモ、自...

○小山委員 私ハ上海ノ駐兵權ト云フモノニ對シテ疑問ヲ持ツテ居ル、北京、天津ノ...

○有田國務大臣 別ニ條約上ノ根據ハナイデアリマスガ、アノ方面ノ治安維持ト云...

○小山委員 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○有田國務大臣 日本ノ取扱ハ交戰國ニ對シテ一律ニ適用セラルベキモノデ、其ノ間...

○小山委員 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○有田國務大臣 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○有田國務大臣 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○小山委員 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○有田國務大臣 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○小山委員 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○有田國務大臣 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○小山委員 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○有田國務大臣 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○有田國務大臣 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○小山委員 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○有田國務大臣 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○小山委員 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○有田國務大臣 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○小山委員 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

○有田國務大臣 薩州ニ對シテハ、或ハ郵船會社、商船會社等ハ左様ニ通關ヲ出シマシテ、サウ云フ...

ノデアリマス、ソレカラ又情報ノ蒐集ニ當ツテモ、私外交官ガ外交官トシテ、マサカ外交官同志デ交流ト居ルトハ思ヒマセ

ハ特別ナル情報ヲ得ル爲ニ巡閱使ヲ出ストカ云フコトニ付テ、新ナル考慮ヲ加ヘラ

○有田國務大臣 洵ニ御同感デアリマシテ、時々人ヲ海外ニ遣ハシテ、或ハ巡閱使ナ

○松尾圭査 一寸御語り致シマス、委員外

○中山福藏君 中山君、質問應答トモ十分以内ニ御願シタト思ヒマス

ハ、恐ラク近キ將來ニ於テ日米通商航海條約ト云フモノハ廢棄サレルグラウト言ツテ

遺憾ト致シマス、尙ホ進ンデ今日デモ遲クハナイ、例ヘバ總理大臣デアッタ人、若規

ハ、恐ラク近キ將來ニ於テ日米通商航海條約ト云フモノハ廢棄サレルグラウト言ツテ

○有田國務大臣 交渉ヲシタトカシナイト

○中山福藏君 第二ノ點ハ、近ク亞米利加

○有田國務大臣 鷹ト考究致シテ置キマス

○中山福藏君 白瀬中尉ガ探檢ニ行カレ

○有田國務大臣 白瀬中尉ガ探檢ニ行カレ

ヲ感奮興起セシメル一ツノ事實デアルト思

○中山福藏君 出來ルダケ積極的ニ其ノ點

最後ニ現在海外ニ駐在シテ居ル日本ノ使

○有田國務大臣 大島大使ハ職ヲ去ツテ居

○水谷委員 二點外務大臣ノ御所見ヲ御

○中山福藏君 白瀬中尉ガ探檢ニ行カレ

○有田國務大臣 鷹ト考究致シテ置キマス

○中山福藏君 白瀬中尉ガ探檢ニ行カレ

○有田國務大臣 鷹ト考究致シテ置キマス

○中山福藏君 白瀬中尉ガ探檢ニ行カレ

○有田國務大臣 鷹ト考究致シテ置キマス

○中山福藏君 白瀬中尉ガ探檢ニ行カレ

○有田國務大臣 鷹ト考究致シテ置キマス

○中山福藏君 白瀬中尉ガ探檢ニ行カレ

承知致シマセヌ、又開放ラズル其ノ條件等ニ付テハ、是ハ軍事上ノ必要其ノ他カラ多ク少ノ條件ヲ附スルト云フコトハ已ムヲ得ナイト思フノデアリマスガ、ソレ等ニ付テハ目下ソレノ研究中デアルト承知致シテ居リマス、サウシテ其ノ開放ト云フヤウナコトモ、他ニ重大ナル豫期シナイ出来事ガ發生シナイ限りハ、ソレ程遠クナイ内ニ開放セラレモノデアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ是ハ先程モ御話シタヤウニ一ニ軍ノ必要ニ依ツテ閉チテ、軍ノ必要ガ緩和シタカラ之ヲ開クト云フ軍ノ聲明デアリマスカラ、私カラ此ノ點ニ付テ的確ナルコトヲ此處デ申上ケル立場ハナイノデアリマス、其ノ程度デ御諒承ヲ願ヒマス

○水谷委員 次ノ點ハ九國條約破壞ニ關シマシテ、豫算總會、本會議等デ色々論議サレマシテ、ソレニ對シテ其ノ程度外相ガ極メテ強固ナル御答辯ヲサレテ居リマス、其ノ意見ハ大體諒承出来ルノデゴザイマスガ、若シ九國條約ト云フモノノ破壞ガ問題ニナルナラバ、是ハ新ニ成立スル所ノ新中央政府ニヤラスベキ所ノ問題デアツテ、日本ガソレニ對シテ兎ヤ角言フベキ問題デハナイ、若シ九國條約ト云フモノヲ破壞スルナラバ、汪兆銘氏ノ政權、所謂新シイ中央政府權デヤラスベキモノデアリ、是ガ本條約其ノ他ノ色々ノ條件カラ見テ妥當デアラウト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ關シテ外相ノ御意見ヲ御同致シマス

○有田國務大臣 租界ノ問題ニ治外法權ノ問題ニ付テハ、確ニ昨年チウ云フ風ニ申上ゲマシタガ、ソレト今度ノ九國條約破壞ト云フヤウナコトト同ジヤウナ、或ハ類似ト考ヘ方デ果シテ行ケルカドウカ、私モ一寸考ヘ統一ノ思想ヲ統一ガ出来ナイノデアリマスガ、...

○水谷委員 時間ノ都合上モウ一點ダケ點イテ、私ノ質問ヲ終ルコトニ致シマス、新中央政府ト重慶政府ノ關係ニ付テハ、是マデ總理大臣並ニ外務大臣方度々御言明ニナリマシタヤウニ、重慶政府ガ御意解體ノ上新政府ノ傘下ニ入ルコトヲ期待スルト云フコトデアリマスガ、併シナガラ是ハ棚カラボタ餅式ニ、コチラガチツトシテ居ツデアチラ

政府ヲ御意解體セシムルニハ、或ル程度大キナ芝居ヲ日本ハ打タナクチヤ出来マセヌ、是マデアレ位争ヒ、又現ニ争ウテ居ル重慶政府ガ、御意解體シテ新政府ノ傘下ニ入ルコトヲ期待スルト申シマシテモ、是ハ中々言フベクシテ行ヘル事柄デハナイト思フノデス、ダカラ私ハサウ云フ意味ニ於キマシテ、此ノ場合時期ハ何時デアツテモ、此ノ所謂新政府ヲ對手ニセズト云フ旗印ヲ再檢討シナクテハナラヌチヤナイカト思フノデゴザイマスガ、極メテ問題ガ深刻ナ問題デゴザイマスカラ、是レ以上其ノ點ニ關スル明確ナル御答辯ヲ煩ハシマセヌガ、以上ノ意見ヲ附シテ私ノ質問ヲ終ルコトニ致シマス

○有田國務大臣 一點誤解ヲ防グ爲ニハツキリ致シテ置キタイト思ヒマス、私ハ蔣介石ヲ對手トセズト云フ日本ノ方針ハ變ツテ居ナイノダト云フコトヲ、私カラ申上ゲテ置キタイノデアリマス

○松尾室長 是ニテ外務省所管ニ關スル質疑ノ通告者ハ全部終了致シマシタ、次會ハ明日午前十時カラ此ノ委員室デ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

○有田國務大臣 蔣介石ヲ對手ニセズト云フ方針ハ今日尙ホヤハリ變ツテ居ナイノデアラウト思フノデアリマス、御意解體シテ來レバ之ヲ受入レルト云フコトハ、モウ抗日容共ノ蔣介石デナク、抗日容共ノ重慶政府デナイト云フコトニナル譯デアリマス、初メノ蔣介石ヲ對手ニセズト云フコト今ノ方針トハ同ジコトデアラウト思フノデアリマス、別ニ方針ヲ變ヘタトカ、變ヘナケレバナラヌトカ云フヤウナコトニハ考ヘラレナイノデアリマス

第七十五回帝國議會 院 豫算委員第一分科(外務省及)會議錄(速記)第二回

會 議
昭和十五年二月十七日(土曜日)午前十時十五分開議

出席委員左ノ如シ

主席 松尾 孝之君

池田 秀雄君 松村 謙三君
山本 厚三君 窪井 義道君
星 一君 守屋 榮夫君

兼務

田村 秀吉君 篠原 陸朗君
最上 政三君 中島彌團次君
櫻井兵五郎君 小川郷太郎君
川崎 克君 安藤 正純君
牧野 良三君 石坂 豊一君
三善 信房君 森下 國雄君
岸田 正記君 原 夫次郎君
水谷長三郎君 三宅 正一君
田原 春次君 小山 亮君

同日第二分科所屬員森下國雄君ハ本分科兼務ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ

拓務大臣 小磯 國昭君

出席政府委員左ノ如シ

拓務政務次官 松岡 俊三君
拓務參與官 男爵加藤 成之君
拓務省管理局長 副島 勝三君
拓務省殖産局長 植場 鐵三君
拓務省拓務局長 安井誠一郎君
拓務書記官 森重 千夫君
朝鮮總督府政務總監 大野綾一郎君
朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

第一類第二號 豫算委員第一分科會議錄 第二回 昭和十五年二月十七日

朝鮮總督府鐵道局長 山田新十郎君
臺灣總督府總務局長 森岡 二郎君
臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君
樺太廳長官 棟居 俊一君
南洋廳長官 北島謙次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年年度各特別會計歳入歳出豫算案中拓務省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中拓務省所管

(特第一號)昭和十五年年度各特別會計歳入歳出豫算追加案中拓務省所管

○松尾主席 是ヨリ會議ヲ開キマス、本日ハ拓務省所管ノ豫算ニ入りマス、先ヅ大臣カラ御説明ヲ願ヒマス——小磯拓務大臣

○小磯國務大臣 昭和十五年年度拓務省所管一般會計及特別會計豫算ニ付キマシテ其ノ概略ヲ御説明申上ゲタイト存ジマス

先ヅ拓務省所管一般會計ノ分ニ關シマシテ御説明致シマス、昭和十五年年度豫定經費要求額ハ總計五千五百八十四万三千餘圓テアリマシテ、之ヲ昭和十四年度豫算ニ比較致シマスト、八百四十三万一千餘圓ノ増トナルノデアリマス、斯ノ如キ増加ヲ來シマシタ所以ハ、主トシテ臨時部ノ滿洲開拓民ニ關スル經費ニ於テ一千二百六十七万七千餘圓ヲ増加シタコトニ因ルモノデアリマス

次ニ主要新規事項ニ付キマシテ大體ノ御説明ヲ申上ゲマス、先ヅ拓務局機構充實ニ要スル經費テゴザイマス、我國ト致シマシ

テハ南方諸地方トノ緊密ナル關係ノ増進ニ努メ、以テ經濟的提携ニ遺憾ナキヲ期シツツアル次第テゴザイマシテ、同方面ニ對スル移民及ビ海外拓殖事業ノ指導獎勵ニ關シ、更ニ一層是方實ヲ舉ゲタイト存ジマシテ、拓務局ノ機構ヲ擴充スルコトトシ、是ガ所要經費三万餘圓ヲ計上致シマシタ

次ニ移民及ビ拓殖事業臨時調査ニ要スル經費デアリマスガ、東亞ノ新事態ニ直ニ關シ、移民及ビ拓殖事業ニ伴フ拓殖事業等、種々調査研究ヲ加フルノ必要ニ迫ラレテ居リマスノデ、昭和十四年度ニ引續キ之ニ要スル經費トシテ十六万九千餘圓ヲ計上致シマシタ

次ハ南洋及ビ南米方面ニ於ケル移民及ビ海外拓殖事業ノ保護獎勵費デアリマス、南米移民ハ歴史モ古ク其ノ數約二十五万ノ多數ニ達シ、彼我ノ通商貿易等ノ關係ニ於キマシテモ、多大ノ貢獻ヲ爲シテ居ルヤウ状態デアリマスガ、斯ル状態ヲ更ニ助長致シマス爲、本年度モ引續キ優良ナル移民ヲ相當數送致シタイト存ジマシテ、是ガ所要經費五十八万三千餘圓ヲ計上致シマシタ

次ニ南洋及ビ南米方面ニ於ケル拓殖事業ノ指導獎勵ニ關スル經費トシテ八百四十一万二千餘圓ヲ計上致シマシタ、右ノ中南洋地方ニ對スル分百六万三千餘圓、南米地方ニ對スル分三十四万八千餘圓トナツテ居リマス、尙ホ本年紀元二千六百年記念祝典ノ舉行セラルルニ際シマシテ、海外各方面ヨ

リモ多數同胞ノ歸朝者ガアル見込デアリマスノデ、此ノ機會ニ種々懇談致シタイト存ジマシテ、是ガ經費五万圓ヲ計上致シマシタ、本經費ハ祝典舉行ノ時期ノ關係上、昭和十五年年度ニ於テ改メテ要求致ス次第デアリマス

次ハ滿洲開拓民ニ關スル經費テゴザイマス、滿洲開拓事業ノ重大ナル使命ニ關シマシテハ、敢テ發言ヲ要セヌ所デアリマスガ、東亞ニ於ケル新局面ノ展開ニ伴ヒ、之ガ急速且ツ圓滑ナル實施ハ、更ニ一層其ノ重要性ヲ加フルニ至リマシタノデ、御承知ノ如ク曩ニ臨時滿洲開拓民審議會ニ於テ、之ガ方針ニ關シ檢討ヲ煩ハス所ガゴザイマシタ、其ノ結果極メテ有効適切ナル答申ヲ得マシタノデ、之ヲ參考トシテ今後之ガ促進ニ付テ、ソレノ必要ナル措置ヲ講ズルコトト相成リマシタ、ソコデ本年度ニ於キマシテハ、集團開拓農民一万六千戸、集合開拓農民三千戸、分散開拓農民五百戸、商工共ニ他開拓民七百戸、青年義勇隊三万人ヲ送致スルコトトシ、之ニ伴ヒ中央及ビ地方ニ於ケル開拓民事務進行ノ爲メ機構整備、其ノ他諸般ノ事務處理ニ要スル經費等總計三千五百七十二万二千餘圓ヲ計上致シテゴザイマス

次ニ青年勤勞奉仕隊ニ要スル經費五十六万二千餘圓テゴザイマスガ、是ハ青年ヲ以テ勤勞奉仕隊ヲ編成ノ上滿洲國ニ派遣シ、同國ニ於ケル建設作業ニ對シ勤勞奉仕ヲ爲サシムルコトト致シマシテ、其ノ所要經費

ヲ計上致シマシタ、右ハ文部、農林兩省ニ於テモ、之ガ實施ニ必要ナル經費ヲ計上シテゴザイマスガ、各其ノ主管事務ニ從ツテ、之ガ円滑ナル遂行ヲ期シタイト存ジマス

特別會計豫算ガゴザイマス 以下各外地特別會計豫算ノ主要新規事項ニ付概略ノ御説明ヲ致シマス、各外地ノ特別會計豫算ハ、何レモ内地ノ一般會計ノ豫算編成方針ニ準據シ、極力節用ヲ旨トシ、既定經費ヲ付テモ出來得ル限りノ節約ヲ致シタ

業ノ獎勵、輸出資金前貸損失補償及ビ輸出補償制度ノ實施等ニ要スル經費四十七萬九千餘圓ヲ豫定致シマシタ、衛生ニ關スル經費ト致シマシテハ、結核預防會朝鮮地方本部經費補助等、總計三十二萬餘圓ヲ計上ガゴザイマス、車對策ニ關シ

三十三萬四千三百七十七千餘圓、其ノ本年度額額五百九十九萬二千圓、電氣信號設備費總額七百四十六萬餘圓、其ノ本年度額額二百二十一萬二千餘圓等デアリマス、營繕及

二萬六千餘圓、初等教育制度改善準備費ニ師範教育機關擴充及ビ新營ニ要スル經費百三十八萬三千餘圓、臺北帝國大學其ノ他諸學校整備擴充、國語普及獎勵、青年訓育費、指導等ニ要スル經費二百二十三萬五千餘圓、總計四百二十四萬五千餘圓ヲ計上致シ

交通及ビ通信ニ關シマシテハ、臺灣ノ現下ノ發展狀況ニ即應スル爲メ、是ガ施設ニ付キ特ニ留意致シマシタ所デアリマシテ、鐵道及ビ通信ノ事業増進等ニ要スル經費二千六十九萬三千餘圓、臺北第二飛行場設置費

ハ、樺太神社遊藝場ニ要スル經費十萬圓、中學校ノ新設、工業學校ノ開設、公立水產學校官立移管、拓殖學校擴充其ノ他學校教育、社會教育及ビ社會事業施設ノ充實ニ要

群島ハ地理的ニ國策上重要位置ヲ占メテ居リマスト共ニ、經濟上ノ價值亦尠クアリマセズノデ、交通、通信、産業振興ノ諸施設

講ノ上御協賛ヲシテ...

同ツテ分ツテ居ルノデアリ...

○小磯國務大臣 滿洲ニ開拓民ヲ送出スル...

要デアルト云フ觀點カラ、國策トシテ決メ...

○松尾主査 是ヨリ通告願ニ依ツテ...

○小磯國務大臣 御尋ノ目的ニ關シ...

○山本委員 先日ノ豫算總會ニ於テ...

○山本委員 全國的ニ一箇村カラ一人位ノ...

ツテ來ル、又土木工事ノ方ハ...

ウカ、之ニ對スル御意見ガ...

知ノ如ク農村ハ農閑期ト...

ス、ソレデハナリ行ク志願者モ比較的多ク...

盛シニスコトガ宜カラウト考ヘテ居リマス、サウ云フ力ヲ以テナラバコシナ僅六寸十七寸ノ木ハ引ツコ抜イテ行キマス、サウ云フ...

ヤツテ頂戴シタイと思ヒマスガ、大臣ノ之ニ對スル所見ヲ御伺致シタイと思ヒマス...

造ルノニハ鐵ガ要ルノダ、斯ウ言フケレドモ、鐵バカリガ輸送ヲ助ケルモノチヤナイ...

木造船ノ保險料何トカスルト云フコトヲ早速ヤツテ頂戴シタイ、之ニ對スル大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマス...

モナク滿洲肺炎ニナツテ死シマヒマシタ、マルデ殺シニナツト同様ナモノデアリ...

ノ他ノ機關ハ、金融商事ト云フ點ニ於テ移民ニ普及利益ヲ普及セシメツアルコトハ...

リマスガ、サウスルト亞米利加人ガ二百人モ日本語ヲ習ハウトシテ入ツテ來ル...

デハアリマセス、朝鮮デモ滿洲デモ、北支デモ、又北海道拓殖デモ、斯ウ云フ技術者ヲ...

ツテ行ク、ソレニ必要ナル所ノ民族ノ移動
ト云フコトハ必然的ニ又チラネバナラズト
云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、之ヲ要
スルノニ、南スベキカ北スベキカト云フコ
トハ、一概ニ一方ニ偏シテ極論スベキモノ
ニアラズシテ、ヤハリ舊原君ガ言ハレタ
ウナ趣旨ニ於テ進ムベキモノデアアル、斯
ウヘテ居リマス

第二段ノ、然ラバ世界政策ニ邁進スル日
本ノ文化體系ハドウスルノカト云フノデア
リマスガ、私ハ甚ダ生意氣ヲ申上ゲルヤウ
デアリマスケレドモ、一體皇國日本ノ同胞
ニシテ、今日本當ニ皇國日本精神文化ト云
フモノヲ體得シテ居ル人ガ果シテ幾人アル
ダラウカト痛憤スル一人ナノデアリマス、
明治初年以來七十年治メトシテ批判檢討ノ
違ナク西洋文物ヲ吸收シ來リ、サウシテ今
日最高學府ト言ハレル所ノ帝大ニ於テ、其
ノ大學令ノ第一條ニ何ト書イテアリマスカ
「大學ハ國家ニ須要ナル學術ノ理論及應用ヲ
教授シ其ノ種典ヲ攻究スルヲ以テ目的ト
シ」此處マデハ宜イデスケレドモ「幾人アル
陶治及國家思想ヲ涵養ニ留意スヘキモノト
ス」ト云フ程度ニ示サレテ居ル、其ノ高等學
府カラ出テ居ル所ノ人々ガ總テ我ガ皇國日
本ニ於ケル文化體系ヲ「リード」シテ居ル、
モウ少シ私ハヤハリ報本反始ノ精神ニ立脚
シ、皇國日本ノ肇國ノ當時ニ振返ツテ、サ
ウシテ天照大神ノ御下シニナリマシク三大
神勅カラ檢討ヲ始メテ、天皇ヲ中心トシ
奉ル此ノ君國、君民不二一體ト云フ境地ニ
於テ、サウシテ齋鏡ト稱シテ神勅デアリマ
シタカ、詰リ惟神ノ大道ヲ主體トシ、齋庭稻
穗デスカラ重要ナル物資デス、之ヲ添ヘテ
行クト云フコトニ依ツテ、天壤ト共ニ窮リ

ナカルベキ皇運ヲ扶翼シテ行クノダト云フ
コトガ日本精神ノ基調ト思フノデアリマ
ス、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、ソレガ日本精神
文化ノ源泉ト思フノデアリマス、是ガ即
チ惟神ノ大道デモアリ天皇道デモアルト思
ヒマス、祭政一致ト云フコトヲ能ク言ハレ
マスガ祭ト云フコトハ神人一體ノ境地ニ入
ルコトト考ヘマス、神人一體ノ境地ニ入
ルコト云フ考デ以テ、一切萬事ヲ決裁シテ行ク
ト云フノガ政事ヲラウト思ヒマス、斯ウ云
フヤウナ考ヲ基調トシテ、即チ皇國日本ノ
精神文化、是サヘ持ツテ行ケバ、是ハモウ
世界廣シト雖モ、何時カハ總テ此處ニ自然
的ニ合流シ來ルベキモノデハナカラウカ、
是カラ言ヒマス、支那ニ於ケル王道ノ如
キ備、總テ惡ク言ヘバ低級ナモノデアリ、
如キ、總テ惡ク言ヘバ低級ナモノデアリ、
總テガ皇道、日本精神文化ト云フモノノ中
ニ育マレ來ルト云フ風ニナラネバナラズモ
ノト思ヒマス、ソコデ第二ノ御質問ニ仰セ
ニナリマシタ日本ノ世界政策上必要ナル文
化體系ト云フノハ何處ニ置クノカト云フコ
トニナリマスレバ、私ハ日本精神文化ト云
フモノノ源泉ヲ索メテ、其ノ源泉ニ立脚シ
テ、吾々ノ一切ノ行動ヲ律スルコト云フコト
ニ依ツテ、初メテ之ヲ解決シ得ル問題デア
ラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、饒舌ヲ
弄シマシテ相濟ミマセ

○舊原委員 幸ニ拓務大臣ノ高遠ナル理想
ト御努力ト承ルコトガ出來マシテ洵ニ結
構デアリマシク、第一點ニ付テハ大體感想
ノ同ジモノガアルヤウニ承リマシタ、第二
ノ文化ノ中樞ノ問題ニ對シマシタハ、主ト
シテ精神文化ニ重キヲ置イテ御進ニナ
ルコト云フコト洵ニ私共衷心カラ賛成デア
リ
マス、又其ノ御方針ヲ將來御出デニナラ
ルコトヲ希望シマスガ、併シ文化ニハ私
ハ精神文化ノミニ之ヲ限定シテ御考ヲ載ク
コトヨリモ、民族ハ民族自體ノ經濟生活、
民族自體ノ道徳ノ所謂形而上ノ生活、斯
ウ云ツタヤウナ方面ガ兩々相俟ツモノデア
ラウト存ジマス、主トシテ人間ノ力ガ精神
的ニ生ズルコトハ無論デアリマスルガ、又
經濟的ニ生ズル、言葉ハレバ人類ノ生活
ト云フモノヲ物ノ方面カラ見タ場合ト、精神
的ノ方面カラ見タ場合、之ニ依ツテ觀點ガ
マシテハ、幸ニ文化方面ノ中、精神文化ノ主
タル重心點ニ付テ深イ御確信ヲ持ツテ居
ラウコトハ洵ニ結構デアリマス、其ノ
後ノコトハ洵ニ色々方法論ニ入りマセウカ、
此ノ程度ニ致シテ御高見ヲ傾聽致シ置キ
マス
次ニ拓務大臣ハ軍人デ居ラツシヤイマス
カラ、故ニ軍事費トノ連絡ニ付テ一點御
尋致シテ見タイト思ヒマス、自今ノ我が帝
國ノ進軍ニ對シテ國防ノ充實、特ニ最善ノ
進歩ヲシテ居ル大國トシテ武力上ノ角逐
ヲ來スト云フコトノ豫想ヲ以テマシテ、我
國ノ國防ニ革新的ノ進歩ヲ加ヘナクテハチ
ライ、斯ウ云フ時代デアリマスルカラ、
併セテ其ノ必然ノ結論ト云フモノハ、國防
費ノ負擔ト云フモノガ、從來ハ財政的ノ傾向
ハ寧ロ受身ノ立場ニ於テ始終計畫シテ居
マシタガ、此ノ事態自身ヲ直觀シマス、進
シテ國防ノ負擔ノ財政的解決ヲ圖ラナケレ
バナラス、斯ウ云フ情勢ガマトモニ出來テ
來タト私ハ存ジマス、事變自體ガ半面ニ於
テハ軍事行動デアルト同時ニ、半面ニ於テ
ハ經濟事件デアルト云フコトハ是ハ國交的

バ之ヲ獨逸ノ例ニ付テ見マス、國防費ヲ
抑ヘル、言換ヘレバ國防費ニ制限ヲ加ヘル
ト、警察ノ擴張ノヤウニナツテ「ジョーボー
」ノ制度ノヤウナモノガ此處ニ現ハレテ來ル、
是ハ等シク治安ヲ目的トシ、一旦有事ツタ
場合ニ武力ニ訴ヘル、此ノ代用作用或ハソ
レ自身デアルカモ知レマセウガ、サウ云フ
仕事ヲ圖ルト云フ場合ニ於テハ、一方デ抑
ヘラレタラ一方ニ行ク、斯ウ云フコトガ必
然的ニ生ジテ來ル、是ハ偶、現ハレタ現象カ
モ知レマセウガ、サウ云フ風ニナツテ來ル
ヤウニ思フ、斯ウ考ヘマシク場合ニ、御尋
シタイコトハ、第一點ハ外地會計ト云フモ
ノハ國防費ヲ負擔シテハ惡イト云フ原則ガ
何カアルノカ、是ハ用兵上或ハ統治上サウ
云フ御考ガアルノデアリマセウカ、第二點
ハ其ノ地ノ治安共ノモノニ對シテハ國防費
ヲ負擔シテモ宜イコト云フコトガ假定セラ
レタ場合ニハ、寧ロ統治ノ方式ヲ、國防費
自身ヲ自分デ支辨シ號令スルコト云フコトノ
關係ガ必要デハナカラウカ、此ノ點ニ對シ
テハ所謂統治ノ機構ト云フモノヲ變ヘル必
要ガアルノデアラウカ、實際ノ必要デナシ
ニ、理論的ニ之ヲ變ヘル必要ガアルノデア
ラウカナカラウカ、此ノ二點ヲ御尋シテ置
キマス
○小磯國務大臣 是ハ法制上ノ理論トシテ
ハ私能ク存ジマセウ、併シ通念ト致シマシ
テモ、外地モ國防費ノ負擔ヲスル方ガ妥當
デハナイカト考ヘテ居リマス、左様ナ見地
カラダト思ヒマスガ、豫算書ニ御覽ノ如ク、
十五年度ニ於テハ朝鮮ハ五千五百万圓、臺
灣ハ二千三百三十六万圓、樺太ハ六百七十
七万圓ノ繰入金ヲ臨時軍事費ノ方ニ入レテ
居リマス、此ノ觀念ハ實ハ兩三年前來外地

ニ於テ論議サレテ居ツタ問題デアリマス、
吾々ハ今日此ノ戰ヲ見テ居ル、銃後ノ後援
ヲヤツテ居ル、ケレドモ國防費ヲ負擔シテ
居ラツタ云フノハイカニシテヤナイカト云
フ聲ガ官民ノ間ニアツタノデアリマス、幸ヒ
十五年度ノ臨時軍事費繰入金ガ、十四年度
ニ比較致シマシテ更ニ増額ヲサレテ現ハレ
テ來タト云フコトハ、私共喜ブベキ現象ト思
ヒマス、如何ナル割合ニ於テ將來此ノ國防
費ヲ負擔セシムベキカト云フコトハ、相當
稅法ノ何カノ方面カラ考ヘラレナケレバ
ナラス問題ダト思ヒマスガ、通念ト致シマ
シテハ私ハ負擔スルコト云フコトノ方ガ妥當
デヤナイカト考ヘテ居リマス
第二ノ御質問ハ、ソコデ外地ガ國防費ヲ
負擔スルコトスルナラバ、ソレヲ中央ノ一般
會計ノ中ニ入レナイデ、各外地毎ニ何等カ
妥當ニ之ヲ運用シ、隨テ外地ノ機構ト云フ
モノヲ相當改正シタラドウカ、ソレニ對
スル意見ハドウカ、斯ウ云フ御質問ト拜承
致シマシタ、外國ノ國ニ依ツテハサウ云フ
例ガゴザイマスケレドモ、私共從來研究シ
來ツタ軍事上ノ見地カラ考ヘマス、軍ト
云フモノハ是ハ國防國家ヲ建設シテ行カ
ケレバナイマセウ立場上、多々益ヲ辨ジマス
ケレドモ、冒頭ニモ御話ノアリマシタ如
ク、國力、財政ト云フ問題トモ混同シ合シ
建設シテ行カケレバナラズノデアリマス
カラ、當然或ル程度ニ限定セラレネバナ
ラマセウ、隨テ國軍ト云フモノハ國家ノ國防
方針或ハ作戰方針ノ示ス所ニ基キ、自分ノ
企圖スル時機ニ企圖スル方面ニ必要ナル兵
力ヲ傾注スルコトガ必要デアリマス、隨テ
其ノ集散離合ト云フコトヲ最モ迅速ニヤツ
テ行カネバナイマセウ、朝鮮ニ於ケル軍隊

事實ニ屬スル物的設備其ノ他ノ設備ト云フ
ヤウナモノハ、其地ノ治安ニモ固有ノ關係
ガアリ致シマスカラ、之ヲ負擔シテ載クト云
フコトハ治安維持ノ上ニモ若干ノ意義ガ
アルノデハナカラウカ、朝鮮ノ國境防備、今
ハ國境ハ殆ド無クナリマシタガ、國境
防備等ニハ殆ド警察ノ方ガ軍隊ト等シイ
ヤウナ武裝ヲシテ居ラレル、是ハ小サイ間
題デアリマスガ、サウ云フコトヲ拜見シタ
ノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ見地カラ
言ヒマスナラバ、是ハ治安ニ役立ツナラバ、
此ノ非常時ニ於テ軍ニモ役立ツヤウナ設備
ニ、出來得ルナラバ財政的ニ之ヲ轉用スル
コトガ出來ナイデアリマセウカ、斯ウ云フ
點デアリマス、之ヲ運用スル上ニ於テハ寧
ロ今ノ統帥權ニ干與サセテ載ク人間ガ最高
ノ地位ガ必要デアルト云フナラバ、是ハ寧
ロ各國ノ方ハ統帥ノ人間ノ方ガ一番最高ノ
官ヲ仰付ケラレテ、サウシテ其ノ人間ガ一
方デハ軍ノ司令官モスレバ、行政モヤル、
行政ハ實際得意ナイ關係ガアルカモ知レ
マセウカ、ココニ大キナ役人ガ居ル、大キ
ナ文治的ノ役人ガ居ル、斯ウ云フ形ニナツ
テ居ルノデハナイカト思ハレルノデアリマ
ス

○小磯國務大臣 御説一應御尤モト思ヒマ
ス、國防ノ第一線ニアツテハ、今篠原君ノ
言ハレタ通りト思ヒマス、故ニ過去ニ於ケ
ル關東州ハ現役ノ大中將方關東都督トナリ
マシテ、サウシテ軍治文治兩方ヲ掌握ヲシ
テ居ラレマシタ、是ガ正ニ今篠原君ノ申述
ベマシタ所ヲ實現シテ居ツタモノト思ヒマ
ス、又朝鮮方其ノ當初伊藤統監時代ニ於テ
ハ何カサウ云フコトガアツタヤウニ記憶シ
テ居リマス、併シ今ヤ此ノ朝鮮ニセヨ、其

ノ他ニセヨ、殆ド内地ト同ジヤウナ状態ニ
ナツテシマツタノデアリマシテ、篠原君ノ
仰セニナリマシタ御意見ガ現實ニ於テ何處
ニ採用セラルベキモノデアルカト申シマス
レバ、私ハ滿洲ト思ヒマス、滿洲ハ機構
ノ實體方違ツテ居リマスガ、御趣旨ノヤウ
ニ今働キツツアリマス、固ヨリ是ハ外國デ
アリマスカラ、屬領トカ或ハ外地ト一律ニ
申述ヘルコトハ少シ無理ダト思ヒマスケレ
ドモ、大體ニ於テサウ云フ精神ニ則ツテ動
イテ居ルモノト考ヘマス

第二段ニ、以上ノ問題ハ姑ク措イテ、兎
モ角モ一方ニ警察ガアリ、一方ニ軍隊ガア
リ、ドウモ二重施設チヤナイカ、斯ウ云フ
仰セデアリマス、是モ見様ニ依ツテハサウ
云フ風ニ考ヘラレルカモ知レマセウ、併シ
内地ニ於ケル軍隊ハ一意専心鍊成ト云フコ
トノ爲ニ夙夜努力シテ居ルノデアリマシテ、
何等カ突發事故ニ依ツテ戒嚴デアルト云フ
ヤウナコトガ布カレマセウ限リハ、是ハ本
當ノ鍊成ニ從事シテ、一切ノ治安ト云フコ
トニハ關係シテ居リマセウト同ジヤウニ、
朝鮮ニ於テモ臺灣ニ於テモ、是ハ全クノ軍
隊ノ鍊成ト云フコトニノミ携ツテ居ルノデ
アリマシテ、此ノ地方ノ治安ト云フ問題ニ
ハ何等ノ交渉ヲ持ツテ居ラヌノデアリマス、
唯臺灣軍ニセヨ、朝鮮軍ニセヨ、防衛ト云
フ任務ガアリマス、アノ防衛ト申シマスル
ノハ、詰リ國境ノ防衛並ニ戰時事變ノ際ニ
於ケル國內ノ交通、其ノ外ノ問題ニ關シテ
防諜上、或ハ敵性ヲ有スル者ノ反逆行爲ト
云フヤウナ事態ニ應ズル爲ノ防衛デアリマ
シテ、平時ニ於テハ全ク警防ト云フヤウナ
方面カラハ立退カサレタヤウナ境地ニアル
ノデアリマス、サウ云フヤウナ關係ニアリ

マスルノデ、兎モ角モ今日拓務省ノ管轄下
ニアリマスル外地ニ關スル限リハ、ヤハリ
内地ト同様ノ關係ニアルモノト御承知願ヒ
タイト思フノデアリマス

○森下主査代理 本日は是ニテ散會致シマ
ス、次會ハ明後十九日午後一時ヨリ當委員
室デ開會ヲ致シマス
午後四時十分散會

昭和十五年二月十七日印刷

昭和十五年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

會議

昭和十五年二月十九日(月曜日)午後一時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

主査 松尾 孝之君

池田 秀雄君

山本 厚三君

星 一君

兼務

田村 秀吉君

最上 政三君

櫻井兵五郎君

川崎 克君

牧野 良三君

三善 信房君

小笠原三九郎君

三宅 正一君

小山 亮君

松村 謙三君

窪井 義道君

陸原 陸朗君

中島彌次郎君

小川郷太郎君

安藤 正純君

石坂 豊一君

森下 國雄君

原 夫次郎君

田原 春次君

植村甲午郎君

山本 熊一君

戸塚九一郎君

粟屋 仙吉君

仙吉君

辻 謹吾君

小島 新一君

松岡 俊三君

成之君

植村甲午郎君

山本 熊一君

戸塚九一郎君

粟屋 仙吉君

辻 謹吾君

小島 新一君

松岡 俊三君

成之君

植村甲午郎君

山本 熊一君

戸塚九一郎君

粟屋 仙吉君

辻 謹吾君

小島 新一君

松岡 俊三君

成之君

植村甲午郎君

山本 熊一君

戸塚九一郎君

粟屋 仙吉君

辻 謹吾君

小島 新一君

松岡 俊三君

成之君

植村甲午郎君

山本 熊一君

戸塚九一郎君

粟屋 仙吉君

辻 謹吾君

小島 新一君

松岡 俊三君

成之君

植村甲午郎君

拓務省管理局長 副島 勝君

拓務省殖産局長 植場 鐵三君

拓務省拓務局長 安井誠一郎君

拓務書記官 森重 千夫君

朝鮮總督府政務總監 大野 謙一郎君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

朝鮮總督府鐵道局長 山田新十郎君

臺灣總督府總務局長 森岡 二郎君

臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君

樺太廳長官 棟居 俊一君

南洋廳長官 北島謙次郎君

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 手代木隆吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中拓務省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中拓務省所管

(特第一號)昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案中拓務省所管

○松尾主査 是ヨリ會議ヲ開キマス——中島彌次郎君

○中島委員 拓務大臣ニ御尋申上ゲマスガ

日本ノ今日ノ國是ニテアル東亞新秩序ノ建設ト云フ、新ナル大キナ重大ナル使命ヲ日本ハ負ウテ居ルノデアリマシテ、國民ヲ擧ゲテ之ニ邁進セシケレバナラヌ秋デアリマス、隨テ外地ノ統治ニ付キマシテモ、此ノ統治ノ根本觀念カラ、之ニ一致スルヤウナ方針ノ下ニ統治シテ行カナケレバナラヌト云フコ

トヲ私共ハ感ズル次第デアリマスガ、從來ノ統治ノ方針ト異ツタ觀點カラ、之ニ對應シタ統治ノ方法ニ付キマシテハ、外地ノ朝鮮臺灣等ニ於テドウ云フ方針デアリマス、ル御考デアリマセウカ、換言スレバ總理大臣ノ施政ノ方針ノ演説ノ中ニ、事變處理、是ガ爲ニハ國防國家ノ建設、軍備ノ充實、國民精神ノ昂揚、國民生活ノ確保、經濟的發展、斯ウ云フコトヲ擧ゲテ居リマシテ、此ノ手段ト致シマシテ、生産力ノ擴充ト貿易ノ振興、日滿支ヲ通ズル綜合經濟計畫ノ實施、低物價政策ノ下ニ物資ノ増産、配給ノ適正ヲ期スル、官民協力シテ統制經濟ヲ強シ、國民生活ノ確保ニ十分ナル力ヲ致シ、米穀其ノ他重要生活品ニ對シテハ生産、供給、配給ノ適正ヲ確保スル、是等ノコトハ無論總理大臣ノ施政ノ方針ノ演説ニアリマスガ、内地バカリデアリマセズ、外地ニ於キマシテモ亦此ノ方針ノ下ニ各般ノ統治ノ政策ヲ立テナケレバナラヌト考ヘマス、即チ朝鮮ニ於キマシテハ、之ニ對應スル爲ニ精神ノ方面ニ於テ半島人ヲドウ云ウヤウナ方法ヲ指導シテ行ウテ、東亞ノ新秩序ノ建設ノ爲ニ上下一致シテヤラスノデアアルカ、又産業方面ノ計畫ト致シマシテハ、朝鮮、臺灣共ニドウ云フヤウナ方針デアリマシテ、行クノデアリマスルカ、詰リ精神ノ方面ト、物的方面ト、即チ心ノ方面ト物ノ方面ト雙方カラ致シマシテ、統治ノ根本方針ヲ、此ノ新ナル出發點カラドウ云フヤウニシテ、如何ナル方針ヲ臨ムノデアリマスルカ、大

臣ノ其ノ邊ニ對スル御心構ヘヲ御伺ガ出來レバ洵ニ結構ト考ヘマス、殊ニ朝鮮統治ノヤリ方ト云フコトハ滿洲ニモ影響シ、支那ニモ影響ヲスルノデアリマス、臺灣ノヤリ方ガ對岸ノ福建省ニ影響シテ、日本ガ將來ニ於テ大キナ支那ト云フモノト如何ニシテ提携シテ行クカト云フヤリ方ニ付キマシテ、滿洲三千万、支那五億ノ民衆ニモ大變ニ響クコトデアアルト考ヘマスカラ、斯ウ云フ新シキ態勢ノ下ニ於テハ、新シキ外地ノ統治方法ガナケレバナラヌト考ヘマス、ソレニ付キマシテノ大臣ノ御考ニナツテ居ル所ヲ、人的方面、即チ精神ノ方面ト、ソレカラ物的方面、即チ産業の方面トヲ、臺灣、朝鮮ニ互リマシテ、大體ノ方針ヲ承ルコトガ出來マスレバ結構ト思ヒマス、細目ニ互リマシテハ、御答辯ノ如何ニ依リマシテ又御尋申上ゲヨウト思ツテ居リマス

○小磯國務大臣 外地統治ノ根本方針ト致シマシテハ、既ニ御承知ト思ヒマスガ、一視同仁ノ御聖旨ヲ奉體シ、民度ヲ向上シ、内外精神ノ一體ノ境地ニ於テ融合シツツ、全日本ト云フ境地ニ於テ進マセヨウト云フノデアリマス、少シク具體的ニ申上ゲマス、朝鮮ハ精神の指導方針ト致シマシテハ、内鮮一體ト云フ、スローガンノ下ニ、我等ハ皇國臣民ナリ、忠誠以テ君國ニ報ゼント云フ方針ヲ進マセツツアリマス、臺灣亦總督初メ臺灣總督府統治者ガ總テ島民ノ皇民化ト云フコトヲ爲シ努力ヲ傾倒シツツアリマス、物的方面ニ申シマスルト、朝鮮ハ日滿

支ヲ一體トスル新秩序ノ建設ト云フコトノ爲ニ邁進スル爲メ...

シテモ教育ニ置カネバナラス、殊ニ児童教育カラ先ヱ以テ力ヲ注グ必要ガアラウト云...

各、違ツタ民族ノ形モ内容モアリマスカラ、違ツタ方法ヲ行ク必要モアラウト思ヒマス...

非常ナカラ以テ朝鮮ノ人々ノ間ニ浸潤シテ居ル譯デアリマス、尙ホ又御承知ノ...

ハ、本島人ヲシテ忠良ナル臣民ヲラシメルト云フコトニ力ヲ入レテ居ル譯デアリマス...

在ル、殊ニ帝國臣民タル基礎的性質ノ錬成ヲセシメマス...

永キニ互ル習慣ヲ改メマスコトハ、中々容易ナコトデアリナイ...

ウニ、日本精神、總督府ノ精神其ノモノガ島民ノ精神其ノモノニナルヤウニ、能ク御...

地ニ於キマシテハ、外地ノ青年ハ斯ウ云フコトヲ非常ニ希望シテ居ル、朝鮮ト比較シテ考ヘルガケノ頭ヲ臺灣ノ島民モ持ツテ居ル、此ノ點ニ於キマシテ同ジヤウナ特別任用令ヲ適用スルコトヲ云フコトガ、私ハ統治上ニ於テモ最モ良イ事ナクハナラズト考ヘル、内地ト同ジヤウニ有資格者ヲ以テヤルト云フコトハ、是ハ青年ノ希望ヲ塞ギ、人材ノ登用ヲ塞グモノデアリマス、將來ニ於テ是ハ所謂島民ト日本内地ヲ結付ケルベキ一ツノ大キナ連絡機關ニナルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付テノ解決方法ハ如何デアリマスカ

○森岡政府委員 御承知ノ通り臺灣ハ統率後四十有餘年ニナツテ居リマス、教育モ進ミ、内地ニ於テ高等教育ヲ受ケル者モ多數出テ居リマス、隨テ其ノ者ノ激増ニ依ツテ、文官トシテ定マラレテ居リマス試験ヲ受ケ登用サレタル程度方進ニテ參ツテ居ルモノト思フテ居リマス、御承知ノ通り朝鮮ト臺灣トノ歴史カラ考ヘマシテ、朝鮮ニ於テハ既ニ併合當時ニ文物制度ヲ舊韓國時代ニ相當進シテ居ツタマツデアリマスガ、臺灣ハ制度方整ハナイ所デアリマシテ、隨テ其ノ當時サウ云フ風ヲ特別任用ヲ致スベキ方面ノ者ハ比較的少クッタ、デヤナイカト思フテ居リマスガ、其ノ後四十有餘年間ニ於キマシテ文物制度方整ツテ參ツテ居リマスコトガ臺灣トシテハ進ニテ居ルノチヤナイカ、斯ウ考ヘル譯デアリマス、今後本島人ヲシテ益々高等教育ヲ受ケサセ、サウ云フ方面ニ進メルヤウニ致シタイト思フテ居リマス、但シ資格ヲ要セナイ特別任用以下ノ者、是ハ私ハ數ハ記憶致シテ

居リマセヌガ、非常ニ多數居リマスコトハ事實デゴザイマス

○中島委員 内地ト文物ハ殆ド同ジヤウナ程度ニ進ニテ居レバ進ニテ居ル程、知事トカ經濟部長トカ課長トカ云フヤウナ人モヤハリ採用スル途ヲ講ジテヤル方ガ私ハ宜イト思フ、況ヤハ八紘一字ノ精神ヲ以テ大陸ニ進出セントスル我國ノ今日ニ於キマシテハ此ノ點ハ大イニ考ヘテ戴キタイ、朝鮮ノ統治ノヤリ方ト云フモノガ滿洲北支ニ影響スル如ク、臺灣ノヤリ方ハ直ダ對岸ノ廣東或ハ福建、其ノ方面ニ影響スルノデス、日本ノヤリ方ハドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ、支那人ガ臺灣朝鮮ヲ通ジテ所謂外地統治政策、其ノ他日本人ガ外地ヲドウ云フ風ニシテヤツテ居ルカト云フコトヲ見ル、支那モ亦或ル意味ニ於ケル所ノ外地ノ存在デアルノデ、日滿支ノ經濟提携、相互連關レバナラヌ時ニ當リマシテ、五百萬ノ人口ニ對シテ日本人ガマダ斯ウ云フコトヲ考ヘルト、向フノ人モ日本統治ニ對シマシテ或ル失望ヲ感ゼザルヲ得ナイコトニナツテ來ルト思ヒマス、此ノ點ニ對シテハ新ナル出發點ヲ以テ行カレシコトヲ希望致シマス、ソレカラ郡守デアルトカ村長ニ當ルヤウナ人ハ、最近ニ於テハ朝鮮ノ方ハドウナツテ居リマスカ、大部分ハ朝鮮人ヲ以テヤツテ居リマスカ、臺灣ノ末梢神經デアラ所ノ街庄ニ付テハ、内地人ト本島人トノ割合ハ大體ドウ云フ風ニナツテ居ルノデスカ

○大野政府委員 郡守ハ大體朝鮮人ト申シテ宜シイト思ヒマス、其ノ他極少少數ノ内地人ガ之ニ任ジテ居リマス

○森岡政府委員 今觀合ヲハツキリ申上テ發ネマスケレドモ、御承知ノ通り臺灣ニ於キマシテハ郡守ハ警察權ヲ持ツテ居ル譯デアリマシテ、警察權ト獨立シテ居ラス譯デアリマス、サウ云フ關係カラ致シマシテ、比較的郡守ニ採用シナイ時期ハアツタヤウデアリマスガ、最近ハコトニ三年間郡守ニ本島人ヲ採用致シテ居ル者モアル譯デアリマス、街庄長ニ付キマシテハ委任官待遇、判任官待遇ノ者ガアリマスガ、其ノ多クハ本島人ガ其ノ局ニ當ツテ居ル譯デアリマシタヤウニ、文物ガ内地ニ劣ラヌ程進ニテ居ルト云フナラバ、此ノ點ニ於キマシテモ郡守村長ノ如キモ島民ヲ成ベク多ク登用サレテ行クコトヲ云フ方針ニ出テ方ガ私ハ宜イト思ヒマスガ、拓務大臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ

○小磯國務大臣 私ノ觀察致シマス所デハ、臺灣ノ在籍民ハ一衣帶水ノ對岸支那人カラ來渡ツテ來タ調ハバ華僑デアリマス、此ノ事實物證前マデニ於ケル私共一般ノ考ト致シマシテハ、是ハヤハリ日本ト云フモノニ對スルヨリハ、彼等ハ支那人ト本國、本籍地ヲ有スルモノデアアルト云フヤウナ思想ヲ持ツテ居ル者ガ少クナイノデハナカラウカ、斯ウ思フテ居リマシタ、只今森岡長官カラノ説明ノ中ニ其ノ點ニハ具體的ニ屬レテ居リマセヌシタガ、ドウモ左様ナ空氣ガ相當原因ヲ形成シテ居ツタノデハナイカト思ヒマス、然ル所、事實動勢以後臺灣在籍民ハ、其ノ籍ヲ臺灣ニ有スル故ヲ以テ對岸ノ支那人カラ相當ノ迫害ヲ蒙リマシタ、ソコデ反轉シテ臺灣在籍民ハ、吾々ハ最早

支那ニ本國ヲ有スルト云フヨリハ、眞ニ日本ノ人デアアルト云フ境地ニ於テ進マナケレバ福祉ヲ増進スル所以デハナイト考ヘルニ至ツタト仄聞シテ居リマス、サモアルベキ事デハナイカト思ヒマス、左様ナ見地ニ於キマシテ舊來ハ兎モ角、今後ハ中島君ノ御説ノ如ク、少クモ漸ヲ以テ朝鮮ト同ジヤウナ委ニ於テ、是等ノ官公吏更其ノ他ノ方面ニ於テモ重要視シテ行ツテモ差支ナイト云フ風ニ向ヒツアルモノト思ヒマス、幸ヒ森岡長官ノ説ノ如ク教育モ非常ニ進ニテ來テ居ルコトデアリマシタ、恐ラク中島君ノ御説ノ如ク將來ハ推移シテ行クモノデアラウト觀察シテ居リマス

○中島委員 洵ニ御尤モ御答辯デアリマシテ私満足致シマス、ドウカ其ノ方針ヲ以テ臺灣ニ於テモ青年ヲ登用スル意味ニ於テヤツテ戴キタイ、吾々ハ臺灣ドコロデハナイ、支那ト終世ニ緒ニ行クコトヲ云フデアリマスカラ、臺灣ナンカニ於テハ一層其ノ精神ヲ行カナケレバナラヌ、是ハ枝葉末節ニ拘泥シテ居ルコトデハナイト思フノデス、現在ヤツテ居ルコトガ、丁度支那ニ對スル關係ニ於テ今後ノ統治ニ非常ニ影響シテ來ルノデアリマスカラ、明敏ナル拓務大臣ガ私ノ言ヲ説ニ御贊同下サイマシタ以上ハ、森岡長官ハ臺灣ニ歸ラレテカラ能ク總督ト打合セラサレマシテ、是カラ其ノ方針ニ依ツテ進マレシコトヲ希望致シマス

ノデアリマス、物價ノ問題、國民生活安定ノ問題ハ重大問題デアリマスカラ、是等ノ内地ノ低物價政策ニ呼應シテ、ソレカラ滿洲方面カラ煽リテ居ル物價ノ昂騰ニ對シテ丁度安定策ヲ講ジテ居ルカ、島民ノ生活ノ最小限度ノ生活確保ニ努力サレツツアルノデアリマスカ

○大野政府委員 只今ノ朝鮮ノ産業政策ニ付キマシテノ御質疑デアリマスガ、大體ニ於キマシテ朝鮮ノ産業ハ、從前ニ於キマシテハ農業ヲ基調トシテ進ニテ參ツテ居ツタノデアリマスガ、此ノ數年ニナリマシテ異常ナル動力或ハ資源ノ發見ニ依リマシテ、非常ニ工業ノ方面ニ進出ヲ致シテ居ル譯デアリマス、隨テ今日ノ時局ニ際シテハ生産力擴充ノ方面ニ於ケル重要ナル部面ヲ擔當シナケレバナラスコトニナツテ居リマス、隨ヒマシテ工業ハ申スニ及バズ、又其ノ他ノ工業ニ於キマシテモソレノ非常ニ發達ヲ遂ゲテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアアルト考ヘテ居リマス、今御示シノ物價ノ問題デアリマスガ、是ハ内地ト滿洲ノ丁度中間ニ位シテ居リマス爲ニ、色々ノ點ニ於キマシテ困難ヲ呈スル場合ガアルノデアリマス、即チ物資ニ依リマシテハドウシテモ内地カラ供給ヲ受ケナケレバナラヌモノガデアリマス、或ハ又滿洲カラ供給ヲ受ケナケレバナラヌモノ、左様ナ點ニ付キマシテハ非常ニ注意ヲ拂ヒマシテ、ソレノ具體的ノ問題ニ付テ處理ヲ致シテ居ル譯デアリマス、併シ申スマデモ内地ノ物價政策、所謂低物價政策ヲ執ツテ居リマスノデ、其ノ趣旨ニ則リマシテ、朝鮮ニ於キマシテモソレノ物價委員會等ノ組織ヲ設ケマシテ、内地ノ

物價政策ト說ミ合セテ物價ノ抑制ニ力ヲ致シテ居ル譯デアリマス

立テテ居リマシテ、十餘年後ニ於キマシテハ二七百萬「ピクル」ノ増産計畫ヲ立テテ居ル譯デアリマス、圓「ブロック」園内ハ昨年ハ約四百八十萬「ピクル」位僅カ出シタ管デアリマス、尙ホ四百萬「ピクル」以上ハ今後モ之ヲ出シテ行クベキコトニナツテ居リマス、是ハ中央各方面トノ話合ノ結果、ノコマデアドウ致シマシテモ出サナケレバナラナイコトニナツテ居ル譯デアリマス

○中島委員 臺灣ニ於キマシテ産業政策ハドウ云フ方針デ今後臨ムノデアリマセウカ、臺灣ハ曩ニ農業本位トシテ居ツタガ、是カラ南方發展ノ基地トシテ、又其ノ方面ニ於ケル關係ニ於テ工業化スルコトモ必要デアルト云フコトヲ拓務大臣ガ仰シヤラレマシテ、大體ノ輪廓ハ分ツタノデアリマスガ、具體的ノ問題ト致シマシテ、臺灣ニ於ケル米ト砂糖、是等ニ付キマシテノ將來ノ方針ハドウ云フヤウニヤツテ行ク方針デアリマセウカ、例ハ先ツ砂糖政策カラ承リマセウカ、此ノ砂糖ノ政策ハ北支ニ於ケル日本カラノ物資供給關係ト重大ナル關係ヲ持ツノデアリマシテ、臺灣ノ砂糖政策ノ根幹ハ、内地ノ消費ヲ充シテ其ノ上ニ於テ「ブラス」ノ最近ノ統計ニ依リマシテ「二千二百五十萬「ピクル」ダケノ生産ガアルヤウデアリマスガ、内地、臺灣ノ消費ハ大體一千八百四十萬「ピクル」ダケデ、差引四百六十萬「ピクル」位ガ輸出力ニナツテ居ルヤウデアリマセウカ、此ノ四百六十萬「ピクル」位ノ輸出力ヲ維持シテ行ク、具體的ニ言ヘバ日本ハ今北支ノ中國聯合準備銀行ノ中聯券ト云フモノノ價值ヲ維持セネバナラヌ責任ガアル、ソレハ中聯券ガ「リシ」シテ居ルカラデアリマス、而シテ最近私モ北支ニ行ツテ見テ參リマシタガ、非常ニ物價ハ昂騰致シ、中聯券ガ其ノ反對ニ下落ノ傾向ヲ進ツテ居ル、之ヲ維持シテ物價ノ昂騰ヲ抑制スルガ爲ニハ色々ナ方法モアリマセウ、具體的ニ根本問題ニ付テハ其ノ問題ダケ大體分科會デ私共議論致シマシタガ、ソレハ別ト致シマシテ、兎ニ前モ最近ノ所デハ物ヲ持ツ

テ行ツテ、物資ヲ豐富ニシテ貨幣ノ價值ヲ維持スルヨリ方法ガナイ、ソレ以外ニアルトスレバ所謂「バル」手離シシマフヨリ外ハナイガ、是ハ大變ナコトデ政府ノ方デモ決心ガ付カナイデセウ、併シ臺灣ノ砂糖政策ノ見地ニ立ツテ、マダ此ノ上ニ砂糖ヲ増産サセテ、今申シマシタ四百八十萬「ピクル」位支那ニ持ツテ行ク餘裕ハアリマセウガ、其ノ餘裕以上ニテはカラドレダケノ生産ヲ増加シ、其ノ方面ニ持ツテ行クコトヲ考テ御持ニナルノデアリマセウカ、臺灣總督府ニ於テ出版セシメテ見マシタ、米ハ十年間ニ二萬九千甲歩ノ增加ヲ圖リ、廿二萬八千甲歩ノ増加ヲ圖ル計畫ノヤウニ承知シテ居リマスガ、是等ノ關係カラ致シマシタナラバ、ヤハリ輸出ノ方面ニ向ツテ砂糖ヲ益々増加セシムル方針ヤツテ行クコトヲデアリマスガ、其ノ點ニ付テ御話ヲ願ヒタイ

○森岡政府委員 只今臺灣ニ於ケル産業ニ關スル方針ニ付テノ御話デアリマスガ、先程大臣カラ御話ガアリマシタヤウニ農業方面ニ付テ進ニテ參ツテ居リマスガ、尙ホ爲スベキ方法ガ相當アリマス爲ニ、其ノ方ニ力ヲ入レマス同時ニ、又臺灣ニ於ケル色ナ狀況ヲ考ヘマシテ、更ニ臺灣ノ工業化ヲ圖ルコトヲ云フコトニ大體ニ於テナツテ居ル、譯デアリマス、砂糖ニ付テノ御話デアリマシタガ、大體砂糖ニ致シマシテモ又米ニ致シマシテモ、内地ニ於ケル各方面トノ連繫ノ下ニ、臺灣ノ米、砂糖ノ生産額ヲ考ヘナケレバナラヌノデ、臺灣獨自デ、内地其ノ他ヲ考ヘテ行カナイデ獨自ニヤルト云フコトハ今日ハ許サレナイ譯デアリマス、砂糖ニ付キマシテハ御承知ノ通り十餘年計畫ヲ

○中島委員 大體砂糖ノ點ハソレ分リマシタ、米ノ問題ニ付テハ、サウ致シマシタ、一方砂糖ハ今森岡政府委員ノ言ハレタ二七百萬「ピクル」ヲ十餘年間ニ増産シ、四百八十萬「ピクル」ヲ今マデ圓「ブロック」ハ出ツテ居ル譯デアリマス、故ニ米トノ問題ガ起ツテ參リマシテ、面積ニ於テ詰リ米ノ方ヲ唯ツテ行カナケレバ砂糖ノ方ガ伸ビ得ナイト云フコトニナツテハ來マセヌカ、其ノ點ハドウ御考デアリマスカ

○森岡政府委員 米ト砂糖トノ關係デアリマスガ、大體今マデハ水田ニ於ケル砂糖耕作ハ約三分ノ一餘デアリマシテ、後ノ三分ノ二足ラズト云フモノハ畑作デアツテ居ツタマシテ、ドウ致シマシテモ米ノ増産ガ必要ダト云フコトデ、今期ニ於テハ臺灣ニ於テモ増産計畫ヲ立テマシテ、水田ニ於ケル蔗作ヲ或ル程度畑地ニ持ツテ參ルト云フコトニヤツテ居リマスノデ、隨テ畑地ニ於ケル蔗作ヲ伸バシテ行クノデナケレバ、ドウシテモ砂糖ノ供給ニハ合ハナイコトニナル譯デアリマス、水田カラ幾分蔗作ヲ畑地ニ持ツテ參リマスガ、併シ畑地ハ御承知ノヤウニ水田ヨリモ收穫歩合ガ著シク少クナツテ

第一類第二號 豫算委員第一分科會議錄

第三回 昭和十五年二月十九日

六

六

居リマス爲ニ、隨テ水田同一ノ面積ヲ畑地ニ殖ヤシタカラト云フテ同額ノ收穫ハ得ラレナイ譯デアリマス...

○中島委員 昨年来穀管理案が出マシタ時ノ臺灣總督府ノ政府委員ノ御説明ニ依リマ...

○森岡政府委員 別ニ私ハ變ツテ居ルトハ思ヒマセス、米及ビ米以外ノ有用作物ト云...

○中島委員 少クモ吾々が去年御説明ニ承ツテ居リマス...

○森岡政府委員 十五年度ニ於ケル米ノ特別會計ニ於テ純利益ハ約一千四百萬圓ニナ...

○中島委員 サウシマスト十七年度ニ繰入レルベキ所ノモノヲ、餘リ運ケタルカラ...

○森岡政府委員 サウシマスト十七年度ニ繰入レルベキ所ノモノヲ、餘リ運ケタルカラ...

○中島委員 サウシマスト十七年度ニ繰入レルベキ所ノモノヲ、餘リ運ケタルカラ...

○森岡政府委員 サウシマスト十七年度ニ繰入レルベキ所ノモノヲ、餘リ運ケタルカラ...

○中島委員 サウシマスト十七年度ニ繰入レルベキ所ノモノヲ、餘リ運ケタルカラ...

○森岡政府委員 サウシマスト十七年度ニ繰入レルベキ所ノモノヲ、餘リ運ケタルカラ...

○中島委員 サウシマスト十七年度ニ繰入レルベキ所ノモノヲ、餘リ運ケタルカラ...

○森岡政府委員 サウシマスト十七年度ニ繰入レルベキ所ノモノヲ、餘リ運ケタルカラ...

○中島委員 サウシマスト十七年度ニ繰入レルベキ所ノモノヲ、餘リ運ケタルカラ...

○森岡政府委員 サウシマスト十七年度ニ繰入レルベキ所ノモノヲ、餘リ運ケタルカラ...

現ハレテ來タヤウデアリマス、是ハハハリ砂糖モ増加シ、米作モ増加スル、斯ウ考ヘ...

○小磯國務大臣 數字ノ詳細ニ關シテ私モ能ク存ジマセヌガ、大體四百萬乃至五百...

○中島委員 米モ砂糖モ共ニ増産セネバナラスト致シマス...

○森岡政府委員 是ハ先ニ申上ゲマシタ米穀管理案ニ關スル御答辯ノ際ニ、各種重要...

○中島委員 八回トカ十三回トカ云フコトノ基礎ガ、邊ニアリマス...

○森岡政府委員 八回トカ十三回トカ云フコトノ基礎ガ、邊ニアリマス...

○中島委員 八回トカ十三回トカ云フコトノ基礎ガ、邊ニアリマス...

○森岡政府委員 八回トカ十三回トカ云フコトノ基礎ガ、邊ニアリマス...

○中島委員 八回トカ十三回トカ云フコトノ基礎ガ、邊ニアリマス...

○森岡政府委員 八回トカ十三回トカ云フコトノ基礎ガ、邊ニアリマス...

○中島委員 八回トカ十三回トカ云フコトノ基礎ガ、邊ニアリマス...

○森岡政府委員 八回トカ十三回トカ云フコトノ基礎ガ、邊ニアリマス...

○中島委員 八回トカ十三回トカ云フコトノ基礎ガ、邊ニアリマス...

○森岡政府委員 八回トカ十三回トカ云フコトノ基礎ガ、邊ニアリマス...

○中島委員 八回トカ十三回トカ云フコトノ基礎ガ、邊ニアリマス...

ノコトデアリマス、隨テ臺灣ニ於キマシテ
モ増産計畫等ヲ致シテ居リマスガ、本年ノ
收穫期ニ於キマシテ、果シテ米穀事情ガ如
何ニナルカト云フコトハ、是ハソレハ、米
穀通ノ方カラ見ラレバ見透シガ付カカモ
知レマセスガ、私共増産計畫ガ完成致シマ
シ場合ニ於テハ、果シテ今日ノ米價ガ維
持サレカドウカ、或ハ場合ニ依リマシテハ
米價ガ安クナルノデハナイカ、萬一不幸ニ
シテ不作ヲ來シマシレバ、今日ノ米價ハ或
ハソレ以上ニナルカモ知レマセスガ、大體
ニ於テ各方面トモ増産計畫ニ非常ニ力ヲ致
サレテ居ル以上ハ、現在ノ米價以上ニナラ
ズ、或ハ以下ニナルノデハナイカト云フコ
トガ豫想サレル譯デアリマス、其ノ際ニ於
キマシテ、臺灣ニ於キマシテハ、御承知ノ
通り第二期作米、即チ本年ノ秋ニ收穫致シ
マスルモノノ買入價格決定ハ植付前ノ五月
デアリマス、其ノ際ニ買入價格ヲ決定致シ
テ居リマス、而シテ若シ愈々買入價格ニ
於キマシテ米價ガ著シク下落シタト云フ時
ニ、其ノ下落シタ値段デ買入ラレト云フコト
ニナレバ、相當ノ價格デ買入ラレルベキコ
トヲ豫想シテ米作ヲ致シテ農民ニ對シテ、
農家經濟ノ上ニ於キマシテモ非常ニ不安ヲ
來ス譯デアリマスカラ、サウ云フ際ニ買入
價格ノ或ル程度ニ維持出來ルヤウナ風ニ、
残りノ半分ハ充テタイト思ツテ居ル譯デア
リマシテ、是ガ一面又直接還元シテ増産計
畫ニ資シヨウト云フコトデ、是ハ私ハ臺灣ノ事情ニ
最モ即シクモノデアルト考ヘテ居ル次第デ
アリマス

ト、十三回ノ所モ五回ノ所モ出テ來マス、
其ノ根據ヲ擧ゲヨト言ヘバ、調査シタモノ
ヲ持ツテ居リマスカラ擧ゲテモ宜シイノデ
アリマスガ、臺灣ノ米價ハ、蓬萊米ノ基隆
ノ倉庫渡シテ買ハ一石ニ付テ二圓六錢四
錢ト云フコトニナツテ居リマスカラ、東京
マデノ原價ハ三十二圓八錢九錢ニナル、府
ハ之ヲ新聞ニ依リマス、一石三十九圓九
十四錢デ農林省ニ賣ツテ居ル、農林省、米
穀會社ハ手數料ヲ取ツテ居ナイ、隨テ差引
七圓五錢府ガ儲ケルト云フコトニナツテ來
ル、是ハ蓬萊米ノ三等デスガ、丸糶ニナリ
マス、三等ガ一石三十二圓十三錢ノ基隆
ニ於ケル相場、東京マデノ運賃ガ二圓六十
四錢、ソレヲ合セマスト三十四圓七十七錢
トナル、府ハ之ヲ一石ニ付テ四十八圓十錢
ニ農林省ニ賣ツテ居ルヤウニ間イテ居ルノ
デアリマスカラ、差引ト十三圓三十三錢
ト云フモノガ出テ來ルヤウニ思ヒマス、此
ノ算盤ガ正シイトシマス、片方デハ七圓
五錢、片方デハ三圓三十三錢ヲ儲ケテ居
ツテ、五圓ドコロノ話チヤナイヤウニ思フ
ノデスガ、ドウ云フ算用デ五圓ト云フモノ
ガ出テ來タノデスガ

○松尾至奎 中島君、マダ大分掛リマスカ
モウ少シアリマス
○中島委員 是ハ大分實情ノ通告者ガ澤
山アリマスカラ、簡單ニ願ヒマス
○中島委員 斯ウ云フコトヲ等ツテモ仕方
ガアリマセ、時間ガアリマセスカラ、
要スルハ私ノ結論ト致シマシテハ砂糖ト云
フモノト米トガ衝突シテ來セシカト考ヘ
ル、砂糖ヲ奨励スレバ米ノ作付段ガ減ツ
テ來ル、然ルニ米ハ非常時ニ於テ總對ニ必
要デアル、此ノ砂糖ヲ奨励シテ米ヲ減少セ
シムルヤウナ政策ガ、去年カラ私共反對シ
テ居ルノデアリマスガ、果セルハ、十四年
ノ第一期ニ於テハ、毎年四百七十八萬石位
來ルノガ、三百八十萬石カ來テ居ナイ、
是ガ非常ニ減少ニナツテ居ル、總務府ノ發
表ニ依ルト、前年ノ下期ニ於ケル所ノ五百
十萬石デスカ、アノ數字ハ信用スベキ數字
デセウカ、ドウモ私共臺灣ニモ相當量氣ガ
好クテ米ガ消費サレル、ソレカラ又本年ノ
農林省トノ契約ハ三十萬石持ツテ來イト
言ツクニ拘ラズ、ソレダケ出ナイト云フ、臺
灣總務府ト農林省トノ交渉ニ付キマシテ、
二十八萬石カ臺灣總務府ハ出サナイト云
フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレ
ニ付キマシテ今年ノ一月中ニ買上テ居ル
ノハソレニモ滿タナイヤウナ状態デアル
ニ拘ラズ、昨年ノ五十五萬石ト云フ下期ノ
總務府ノ發表ト云フモノハ少シ多ク見積ツ
キタイ、モウ一ツハ、今農林省委員ハ各
地ニ於テ米ガ増産ニナル、ダカラ米ハ下
ル、下ツタ時ニ三四ノ中ノ半分ヲ買入價格
ヲ維持出來ルヤウニ充テルノダト云フコト
デアリマスガ、是ハ大キナ問題デ、各地ト

ツテ來テ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤ
ウナ關係デアリマスカラ、我方關東軍ニ於
キマシテハ、否陸軍ニ於キマシテハ、斯様
ナ關係カラ致シマシテ、今年度ノ豫算ヲ見
マスルト滿洲事件費及ビ滿洲事變公債ト云
フモノハ全ク消エテ無クナツテシマツタ、
一方ニ於キマシテハ滿洲事變公債ト云フモ
ノハ赤字公債支辨スルコトニナリ滿洲事
件費ト云フモノハ行動費タケテ臨時軍事費
ノ中ニ入り、設備費、初年度、施設費ト申シ
マスガ、斯ウ云フモノハ一般會計ノ兵備改善
ノ中ニ、或ハ航空防空充實ノ中ニ、陸軍ノ豫
算ノ中ニ入ツテシマヒマシテ、全然滿洲事
變公債ト云フモノハ消エテシマヒ、滿洲事
費モ消エテ、豫算カラ見マスと滿洲事件ト
云フ觀念ハ無クナツテシマツタ、是ハ陸軍
及ビ大藏省ニ質問スルト、滿洲、治安ガ維
持サレタカラ最早滿洲事件ト云フモノハナ
イ、日本國民ノ頭カラ滿洲事件ト云フモノ
ハ拂拭スベシト云フ考カラサウナツテ參
ト云フコトデアリマス、果シテサウデ
リマスカラ、拓務省ノ滿洲移民計畫ト云
フモノハ此ノ間大臣ガ豫算總會デ御答辯サ
レマシテ、私共豫算委員會ガ、全ク是
ハ人的資源ヲ植付ケルト云フコトハ、洵ニ
必要デアリマス、滿洲ニ物的資源バカリデ
ナク、人的資源ヲ植付ケナケレバナラス
云フコトヲ言ハレマシタコトハ、私共非常
ニ同感デアリマス、果シテ然リトスレバ、
今ヤ滿洲事件費ト云フモノガ無クナリ、滿
洲事變公債方無クナルトスルナラバ、茲ニ
於テモ滿洲獨立以來十年ニ近カカント
シテ居ル時ニ於キマシテ、此ノ成果ヲ見ル
コトハ洵ニ結構デアリマス、茲ニ此ノ滿洲
統治ノ關係——統治ト云フトオカシイガ、

對滿關係ノ機構ヲ改善スル必要ハ大臣ハ認
メナイノデアリマスカ、移民ダケ、即チ人
的資源ダケヲ滿洲ニ植付ケルトガ、拓務
省ニ於ケル管轄アル、物的資源、即チ産
業方面ノ指導開發ト云フ點ニ付キマシテハ、
是ハ拓務省ノ管轄テナイト云フコトデナク、
人的、物的資源ヲ統一シテ、拓務省ノ管轄
トシテ一元化スルト云フコトガ、最早今日
ノ滿洲國ノ治安ニ鑑ミ、或ハ滿洲統治以來
十年間ノ今日ノ實情ニ鑑ミマシテ、其ノ方
ガ私ハ宜クハナイカト思フ、私ハ其ノ人的
關係ト、物產關係トヲ離レテシマツテ、之
ヲ離シテ監督官廳ニ置クト云フコトハ、洵ニ
事務簡捷ノ上カラ行キマシテモ、又滿洲國
ニ對スル日滿支一體ノ關係カラ行キマシテ
モ、其ノ方ガ私ハ最モ有効切デアルト云
フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、大臣ハ如
何デアリマスカ、是ハ重大ナル機構ノ改革
ノ點デアリマスカラ、大臣ノ明快ナル御答
辯ヲ得タイノデアリマス、是ハ滿洲事件ト
云フモノガ無クナツテシマツタト云フノデ
アリマスカラ、果シテサウナレバ、所謂機
構ノ改革ト云フコトモ必要デアルト私ハ考
ヘマス、今移民計畫ダケヲ拓務省ガヤツテ
居ルガ、是ハヤハリモウ一步進ンデ滿鐵ノ
監督共ノ他滿洲ニ於ケル産業ノ指導監督ヲ
拓務省ガヤラナケレバナラス云フ城ニ達
シテ居ルノデハナイカト思フ、滿洲開發ノ
状態カラ考ヘマシテ、一方ニ於テハ國防ト
云フモノガ非常ニ重大化致シ、滿洲國境ガ
日本ノ國境ニナツタト云フコトヲ考ヘマス
ト、其ノ方面ニ於ケル國防力ノ集中ト云フ
コトガ非常ニ重大デアリマスカ私ハサウ
考ヘマスガ、此ノ點ニ付テ大臣ノ御考ヲ承
リタイ

○森岡政府委員 米ノ昨年ノ五百十二萬石
ト云フハ、是ハ信ズベキモノカト云フ御
答デアリマシタガ、是ハ御信用ヲ願ツテ結
構デアリマス、當時豫想致シテ居リマシタ
ノガ、五百六萬石、實收ガ六萬石減テ五百
十二萬石ニナツタ譯デアリマス、尙ホ食糧
問題ハ只今ノ御話ノ如ク時局柄カラ申シマ
シテモ最モ重要ナル問題デアリマス、臺灣
ニ於キマシテモ食糧ノ確保ニ付キマシテハ
於キマシテ、平年ノ如ク容易ニ入手出來ナ
イ譯デアリマシテ、出來ルダケ肥料ノ入手
ヲ圖リマスルト同時ニ一面又當局ニ於テ自
給肥料ノ増成ヲ圖リマシテ從來ノ自給肥料
ヨリモ約三割方増成スルヤウニ致シマシテ、
有ニル方法ヲ盡シマシテ増産致シタイト考
ヘテ居ル次第デアリマス

○小磯國務大臣 中島君ノ第二ノ質問タ
ル、日本ノ對滿機構改正ノ必要ナキヤト云
フ問題ニ對スル御答デゴザイマスガ、私共
滿洲事件費ト云フモノガ打切ラレル打切
ラレナイニ拘ハラズ、斯ノ如ク段々落著キ
タル現情ニ鑑ミマシテ、機構ノ改善ヲシタ
ラ宜イデハナイカト云フ考ヲ持ツテ居リマ
ス、左様ナ意味ニ於テ關係者方面寄リ
交渉ヲ始メテ居リマスケレドモ、御承知ノ
如ク我が在滿機構ハ今日軍司令部、軍司令
官ト云フモノヲ主體ニシテ居リマス、サウ
ト云フコトニナリマス、各方面ニ相當ノ

セラフツアアリス此ノ戦時状態ニ於キマシテハ、格別、落著キヲ見セテ参リマシタ今日ノ情勢ニ於キマシテハ、滿洲事件費ト云フモノガ豫算面ニ於テ打切ラレル、打切ラレヌニ拘ラズ、之ヲ機構改正ニ依リマシテ、ヤハリ朝鮮ト同ジヤウナ立場ニ於テ、中央國務ノ統一ニ入レテ行クノガ至當ナル事態ニ向ヒツツアルモノト考ヘテ居リマ

石坂(雲)委員 次ニ私ハ先般拓務大臣ヨリ、私の會合デアリマシタケドモ、樺太ニ於テ豫算ニ關係ナク石炭ノ開發ヲスルト云フ御意見ヲ伺ツタノデアリマスガ、多分封鎖炭田ノ開發ニ付テノ御所見デアラウト考ヘテ居ツタノデアリマス、義ニ樺太ヨリ聞ク所ニ依リマス、拓殖開發會社ノ案ガ出マシテサウシテ審議中ニ、石炭ノ會社ヲ重テ起シト云フ計畫ヲ以テ、樺太長官ノ契約ガ目下未決ノ儘ニアルト云フコトヲ伺ツタノデアリマス、私ハ樺太ノ産業ガ最初漁業ヨリ次ニ林業ニ移リ、又其次ニ今鐵業ニ移ツテ石炭開發ニナツテ居ルト思フデアリマス、之ニ付テハ民間ノ豫イデ居リマス、鑛山ト共ニ、封鎖炭田ノ開發モ必要デア

更新セラレル所ノ作物ヲ植エル農業ヲ入レテ、永久ニ彼ノ地ニ民族發展ノ資源ヲ植エルコトガ必要デアルト思フデアリマス、就イテハ豫算ノ限度モアルシ、又樺太ノ方ニ於テ拓殖會社トシテ資金ヲ入レル、斯ウ云フ特殊ノモノモナイデアリマスカラ、樺太廳ニ於テ唯一無二持ツテ居ル所ノ封鎖炭田ヲ資源トシテソレヲ開發シ、其ノ利益ヲ以テ一面拓殖ノ方ニソレヲ併用シテ行クト云フ考ヘ方ガ私ハ正シイノデハナイカト思フデアリマス、昨今何トカ云フト直グ石炭ヲ掘レバ宜イト云フヤウナコトヲ申シマスガ、ドウモ其ノ點ハ餘リニ今マデ在

得ナイカモ知レマセヌ、併シ遲レタリト雖モ今日著手ヲスルコトガ必要デアルト考ヘテ居リマス、ソレデ拓殖會社ノ設置デアリマスガ、是ハ御聞及ビグサウデスガ、樺太長官モ一ツノ案ヲ持ツテ来テ居リマス、拓務省ニ於テモ亦研究中デアリマス、能ク其ノ内容ヲ檢討致シマシテ、最モ適切デア

ト云フ處マデ出来テ居テ、*レール*ガカイ、*レール*ガアレバ枕木ナドハ豐富ニアル處デアリマスカラ直グニモ敷ケルノデアリマスケレドモ、ソレガ手ニ入ラスト云フヤウナ状態ニアリマスカラ、有力ナル大臣ニ於カレマシテハ此ノ點ヲ考慮セラレテ、鐵道ヲ敷設セラレルト共ニ、*レール*ノ配給ガ優先的ニ樺太ノ方ニモ行クヤウニ御配慮ヲ願ハレヌモノデアラカ、其ノ邊ノ御心配ヲ願ヒ、併セテ御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

イト思ヒマス
次ハ樺太ニ於ケル教育ノ状態デアリマス、先般私或ル集會ノ時ニ行ツテ見マス、彼ノ地ニ於テ中等教育ヲ受ケマシテ東京ニ進出シテ居ル人ベカリ百五十人モ来テ居ルト云フヤウナ状態デアリマス、今日ハ彼ノ地ニ於テソレ程文化ガ進ンデ居ルノデア

ガ爲ニ、今マデニ於テモ餘リニ開發ガ遅レテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマシテ、此ノ點ニ極メテ御同情ノ深イ且ツ有力ナル大臣ニ於カレマシテハ、一段ノ御配慮ヲ仰

石坂(雲)委員 拓務大臣ニ對シマシテ二三ノ點ヲ御伺致シマス、第一ハ我國ノ南方政策ニ對スル拓務大臣ノ具體的ノ御方針如何ト云フコトデアリマス、我國ノ國策ハ北進又南進、是ガ國策デアルト豫テ私共考ヘテ

ヲ基調トスル世界發展ヲ御實現ハシニナツタモノト拜察致シマス、果シテサウトスルナラバ、日本ノ向フ所ハ北進デアルトカ南進デアルトカ云フ風ニ偏極スベキモノニア

漸次増加シツツアリ、中學校數モ増設ヲシテ來テ居ル今日デアリマスノデ、遠カラズ專門學校程度以上ノ學校ノ設置ヲ必要トスル時代ニ迫リツツアルモノト私共モ考ヘテ居

小磯國務大臣 御承知ノ如ク樺太モ人口

石坂(雲)委員 私ハ此ノ間ニ於テ日本發

松尾主査 石坂繁君

要ナル方策ヲ講ズルト云ヘバ、私ハ滿洲ノ地ニ對シテハ、私ハ滿洲ノ地ニ對シテハ、...

○小磯國務大臣 今日青少年義勇軍募集ノ...

○石坂委員 滿洲義勇軍其ノ他滿洲ノ...

○小磯國務大臣 北米、中南米方面ニ於テ...

南滿洲ノ方面ニ於キマシテモ、自由移民或ハ...

○石坂委員 移民問題ニ關シテモウ...

○小磯國務大臣 北米、中南米方面ニ於テ...

其ノ他ハ公共團體ノ手ニ依ツテ、此ノ內地...

ニ内地ニ歸朝シテ居ル者ニ對スル特殊ノ學校施設、或ハ地方ニアル學校ニ對スル特殊ノ補助ト云フヤウナ方面ノコトデ、現ニヤツテ居ラレテ事ガアツタラバ、其ノ具體的ノコトヲ承リタイノデアリマス、其ノ御答辯ダケ承リマシテ私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス。

○小磯國務大臣 多少知ツテモ居リマスガ、細カイトニ屬シマスノデ、政府委員カラ答辯致サセマス。

○安井政府委員 只今拓務省ガ自ラヤツテ居リマスル海外教育協會ノ施設ハ御存ジノ通りダラウト思ヒマス、其ノ他民間ノ斯ウ云ツテ第二世教育ニ參畫シテ居リマスルモノニ、政府ガドノ程度ニ補助シテ居ルカト云フ御質問ノヤウニ拜聽致シマスルガ、只今デハ早稻田ノ國際學院、其ノ他二三ノ團體、學校等ニ補助ヲ致シテ居リマスル程度ト、更ニ各府縣ノ海外移住協會、或ハ海外協會トカ中シマスルサウ云ツテ團體ニ、極メテ少額デアリスルガ定期的ニ補助ヲ致シテ居リマス、其ノ程度デアリマス、ソレカラ外務省ハ只今外務省自體ノ手ニ依ツテ二世ノ教育ハシテ居ナイト承知シテ居リマス。

○田原主査代理 三善信房君

○三善委員 私人先程石坂委員ノ質問ニ對シテ拓務大臣ガ、我國ノ農村ノ將來ニ付テ重大ノ發言ヲナサツタト思ヒマスカラ、此ノ點ニ付キマシテ特ニ御致シタイト思ヒマス、我國ノ農村ハ御承知ノ通り耕地ノ面積六百万町歩、農家戸數五百六十万户、一戸平均一町歩餘ノ小農デアリマスルガ、拓務大臣ハ先程滿洲移民ト云フコトニ關聯シテ、我國ノ農村ハ現在ノヤウナ僅力一町歩餘ノ耕作反別ヲ以テシテハ農村ノ福利ヲ増

進スルコトハ出来ナイノデ、將來ハ二町歩ニ爲サナケレバナラス、サウスルト先ツ二百万六十万户ノ餘剩努力ガアル、此ノ餘剩努力ガ適當ニ調整シテ行ケバ、滿洲移民ノ如キハ敢テ困難ハナイ、斯ウ云フヤウナ御答ハ、我國ノ將來ノ農村ヲ三百万户ニシテ行クト云フ御方針ヲ持ツテ御居デニナルノデアリカ、之ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス。

○小磯國務大臣 私人農林當局デゴザイマセヌノデ、内地ニ於ケル農家ノ戸數ハ三百万戸ニセイト云フコトヲ限定的ニ申上ゲタルデハゴザイマセヌ、假ニ二町歩ツツ配當スルト致シマスルナラバ、二百六十万户ノ過剩努力ヲ見シ得ルコト云フ計算ニナリマスカラ、ソレ故ニサウ澤山トハ思ハレナイ移民ヲ滿洲ニ送スルコトハ無理ナリイデハナイカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマ

○三善委員 只今ノ私ニ對スル御答辯ト、先程ノ御發言トハ多少内容ガ違フテハ居ナイカト思ヒマス、今ノヤウニ假定ノ下ニ言ハレタノデナクシテ二百六十万户ノ餘剩努力ガアルデハナイカ、此ノ餘剩努力ニ對シテ適正ニ調整シテ行ツタナラバ、滿洲移民ノ如キハ無理ナリイデハレタ、速記録ヲ見マセヌト分リマセヌガ、私ハ決シテアナタノ舉動ヲ取ル譯デアアリマセヌ、アナタガ假定ト云フコトニシテ考ヘラレレニシマシテモ、我國ノ農村ヲ一體ドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレカ、サウ云フ假定ヲサレレ其ノコトガアナタノ日本ノ農村ニ對スル見方ガ違フテハ居ナイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘルデアリマス、勿論日本ノ農村ハ、一町歩餘ノ耕作反別ヲ以テシテハ小農國トシテ無理

デアラウ、併シナガラ私共ハ日本ノ今日ノ農家ノ爲メ、今日日支事變方起ツテ以來、我方皇軍ガ速進速勝致シテ居ルコトハ、是ハ農村ニ純朴ナル所ノ農民ガ居リ、サウシ皇軍ニ從軍シテ居ル者モ其ノ七割ハ農民デアル、而モ斯ウ云フ事變ニ當ツテ人的資源ガ農村ニ豐富ニアレバコソ、此ノ時局ヲ乗切ルコトガ出来ルト思フ、若シアナタノ言ハレルヤウニ三百万戸トシテ、日本ノ農村ヲ半數ト爲シタ場合ニ、斯ウ云フ非常時ガ起ツタトシタラアナタハドウ云フ風ニ御考ニナルノデアリカ、吾々ハ勿論日本ノ農村ヲ、成ベク多クノ反別ヲ耕作スルヤウニ仕向ケテ行キタイ、ソレニハ有ニル方策ヲ講ジテ、或ハ開墾、或ハ土地ノ改良、或ハ多角形農業ニ依ツテ日本ノ農村ヲ福利ヲ増進シテ行キタイ、斯様ナ考ヲ持ツ者デアリマスガ、アナタハ果シテ其ノ今假定セラレタ三百万戸ヲ以テ適當ト御考ニナルノデアリカ、唯ソレハ一ツノ例ニ言フタダケデ、決シテソレヲ以テ適當トハ思ハス——或ハアナタハソレヲ適當ト御思ヒニナルナラバ、御思ヒニナル所ノ御信念ヲ伺フテ置キタイト思ヒマス。

○小磯國務大臣 私人先刻モ御斷リシマシタ如ク、農林當局デアリマセヌノデ、此ノ際國家ノ方針ガ、農民ヲ三百万戸ニスルノデト云フヤウナコトヲ言フ意味ニアラズシテ、サウ云フ風ニモ計算シ得ルカラト斯ウ申上ゲマシタ、併シナガラ私人トシテノ意見ヲ申上ゲマスルナラバ、三善君ト少シク其ノ觀點ヲ異ニスルノデアリマス、私ハ棉花栽培ニ專ラ努力スルコトニナリ、之ニ對シテ棉花栽培協會ガ協力ヲシテ、愛シ得ル限リ指導ノ任ニ當ラウト云フヤウナ程度ニナツテ居リマス。

次ハ種羊デゴザイマスガ、滿洲方面ニ於ケル所ノ種羊ニ關シテハ、東亞種羊協會ガアリマスガ、大ナル活動ハシテ居リマセヌ、支那ノ方面ニ於ケル種羊ハ北支ニ於テ百万頭、蒙疆ニ於テ二百万頭ノ優良ナル種羊ヲ飼育スルコトヲ目標ト致シマシタ、五十万頭程度ノ金額ヲ以テ今日之ヲ進メテ居リマス、併シマシテ如何ナル成績ヲ擧ミ得ルカト云フ點ニ關シマシテハ、遺憾ナカラ目途ガ立ツテ居リマセヌ。

○三善委員 只今棉花羊毛等ニ付キマシテハソレノ機關ガアツテ之ヲ指導シ、或ハ獎勵シテ居ルト云フデアリマシタ、唯北支百萬頭、蒙疆ニ二百萬頭ノ種羊ヲ獎勵スルト云フデアクシテ、私ガ聽キタイノハ、具體的ニ朝鮮ノ現在ノ實情ハドウ云フ風ニナツテ居テ、五年後十年後ニハドウ云フ風ニナル、或ハ滿洲ノ棉花羊毛ハドウ云フ風ニナツテ來ルカ、北支ハドウ云フ風、ソコデ我國ノ要求スル所ノ棉花ニ對シテドレダケ供給ガ出來ル、或ハ羊毛ニ對シテドレダケ供給ガ出來ルト云フコトノ具體的計畫ガアリマスナラバ、其ノ計畫ト、現在ハドノ程度デアルクト云フコトヲ承知致シ

弟、其ノ他農家ノ存在ト云フコトガ日本國ニ於ケル堅實ナル思想ヲ向上シ、サウシテ色々ノ難局ヲ打開シ來ツタト云フ實績ニ付テハ、全然三善君ト其ノ感ヲ同ジウ致シマス、併シナガラ現ニ御覽ササイマセ、吾々ガ例ハ軍隊ニ於テ色々ノ職業ヲ調査致シマシタ結果、六割ハ農家ノ子弟デアアル、斯ウ云フ風ニ統計ニ現ハレテ居リマセカレドモ、ソレハ畢竟スルニ農家ノ生レデアツテ、大部分ハ農家ニ居リマセヌ、皆商店若クハ工場ニ行ツテ居リマス、是ニ於テカ農家ノ戸數デアルトカ人員デアルトカ云フヤウナモノハ、モウ少シ慎重ニ檢討スル必要ガアルノデ、漫然タル生レト云フヤウナコトニ依ツテ片付ケル譯ニ行カヌト思フノデス、殊ニ今日吾々ガ農家ニ、國力ヲ進展ニ於テ大ナル期待ヲ掛ケテ居ルコトヲ所以ノモノハ、傳統的ニ實質剛健ナル生活ニ染シテ來テ居ル結果デセウ、明治初年以來吾々ハ批判檢討ヲ追ナク西洋文物ヲ取入レテ、物質的文化ニノミコトヲ第一義的ニシテ、物質的文化ニノミ憧レ來ツテ居ルコトヲ結果ガ、漸次日本國民ノ精神ヲシテ下リ坂ニ向ハシメテ行キツツアルモノト思フノデス、之ヲ挽回スル爲ニハ、農民ダケニ吾々ガ期待スルコト云フコトハ、是ハ大ナル間違デアアル、正ニ全國ノ國民ニ對シテ本當ノ剛健ナル日本精神ト云フモノヲ、職業、生レノ如何ニ拘ラズ、植付ケテ行クト云フコトコソ、日本ノ剛健ナラシメル所以デアハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス。

○三善委員 實質剛健ノ思想ヲ養成スル上ニ付テハ、單リ農村ニ俟ツベキモノデアナイ、勿論其ノ通りダト思ヒマス、又アナタハ、農村ノ子弟ト云ハレルケレドモ、ソレハ農

○大野政府委員 只今朝野ノ棉花種羊ニ關スル御質問ガゴザイマシタガ、朝鮮ニ於ケルマシテハ前總督時代ニ於ケルマシテ、御話ノヤウニ北支南洋棉花云フヤウナ標題ノ下ニ、北ノ方ニ主トシテ種羊ヲ獎勵シ、南ノ方ニ棉花ヲ獎勵致シテ居ツタノデアリマス、其ノ後段々研究ノ結果色々ノ試験ヲ致シマシテ、北ノ方ニモ棉花ガ、所謂陸地棉花ガ可ナリ適當デアルクトヲ發見致シマシタ、是ハ龍岡等ノ試驗場ニ於ケルマシテ試験ヲ致シマシタ所、大變良イ成績ヲ得マシテ、在來棉ニ代ツテ段々北ノ方ニモ進展ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又北支ト申シマスガ、南ノ方デモ羊ノ繁殖ヲ致シテ見マスルト、相當ノ效果ヲ擧ゲテ居ルヤウナ譯デアリマス、棉花ニ付キマシテハ昭和八年カラ計畫ガ立ツテ居リマシタ、十七年度マデニ三十五萬町歩、約五億万円ノ計畫ヲ立テテ進行致シテ居リマシタ、昨年ノ如キハ稀有ノ早産デアリマシタガ、御承知ノヤウニ割合ニ棉花ハ早産ニ堪ヘ得ル關係デアリマスカ、譯デアリマス、斯様ナ譯デアリマスルカ、此ノ計畫ヲ持續シテ參リマスナラバ、豫定ノ效果ヲ擧ゲルコトハ決シテ困難ナリイデハレカト云フコトハ只今申シマシタヤウナ狀況デアリマスノデ、昭和九年ニ計畫ヲ立テテ居リマス、是モ滿洲方面ヨリ年々種羊ヲ購入致シテ居リマシタ、逐次其ノ數ヲ増シテ居リマス、最初飼養致シマシタ時ニ於ケルマシテハ、色々風土ニ慣レナ

羊ノ飼育ト云フコト、朝鮮ニ五十萬町歩ノ土地ヲ拓イテ棉花ヲ栽培シ、滿洲ニ五百五十萬町歩ノ土地ヲ拓イテ棉花ヲ栽培シ、サウシテ我國ノ棉花ノ需要ニ相當重大ナル役割ヲ持タセウト云フコト、計畫セラレタノデアリマスガ、其ノ後南洋北支ト云フコトガ政府ノ言ハレタヤウナ實情ガ現ハレテ居ナイト思ヒマス、又滿洲ニ於ケル所ノ棉花及ビ羊ニ付テモ、其ノ後ノ實績ハ必ズシモ政府ノ豫定ニ副ウテ居ラヌト思ヒマス、尙ホ私ハ北支ノコトヲ考ヘマスルト、一層棉ト羊ト云フコトニ付テハ關心ヲ持タナケレバナラスコトダト思ヒマスガ、ドウシテモ日滿支三國ガ棉花羊毛ニ對シテ自給自足ノ途ヲ講ズルニ付テハ、此ノ點ハ餘程考慮シナケレバナラスコトダト思ヒマス、之ニ對シテ如何ナル計畫ガアルカ、又現在如何ナル實績ヲ擧ゲラレテ居ルカ、此ノ點ヲ具體的ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス。

○小磯國務大臣 棉花羊毛ノ問題ニ關スル御意見ハ洵ニ御尤モデゴザイマス、尤モ滿洲ハ對滿事務局、支那ハ興亞院ニ於テ其ノ殆ド全部ヲ振ツテ居リマス、拓務省ト致シマシテハ拓務機關ヲ持ツテ居リマス棉花栽培協會ト東亞種羊協會ト云フモノヲ活躍セシメルコトニ依リ、是等ノ兩機關ニ支援ヲシツツアル程度デゴザイマス、先ツ滿洲ニ付テ申上ゲマスルナラバ、滿洲ハ御承知ノ邊境附近以南一面ニ棉花ヲ栽培セタイト云フノデ、棉花栽培協會方面ヨリ種ヲ買イダグコトデアリマス、朝鮮カラ種ヲ持ツテ行ツタコトガゴザイマス、ケレドモ是ガ又三善君御承知デモゴザイマセウガ、餘リ良イ成績ヲ收メテ居リマセヌ、支那方面ニ付テ申上ゲマスルナラバ、棉花栽培協會ガ彼

ノ方面ニ於テ活躍ヲシテ居リマスル外、拓務當局カラ事務官ヲ送出致シマシタ、サウシテ支那ニ於ケル棉花栽培ノ進歩ヲ圖ツテ貰フ爲ニ、何等カ適當ノ機關ヲ設置ヲ懸念致シマシタ、其ノ結果北支——華北デアリマスガ、華北棉花改進會、華中棉花改進會ト云フモノガ出來マシタ、サウシテ是等ガ棉花栽培ニ專ラ努力スルコトニナリ、之ニ對シテ棉花栽培協會ガ協力ヲシテ、愛シ得ル限リ指導ノ任ニ當ラウト云フヤウナ程度ニナツテ居リマス。

○小磯國務大臣 政府委員カラ答辯ヲ致サシテ思ヒマス。

○大野政府委員 只今朝野ノ棉花種羊ニ關スル御質問ガゴザイマシタガ、朝鮮ニ於ケルマシテハ前總督時代ニ於ケルマシテ、御話ノヤウニ北支南洋棉花云フヤウナ標題ノ下ニ、北ノ方ニ主トシテ種羊ヲ獎勵シ、南ノ方ニ棉花ヲ獎勵致シテ居ツタノデアリマス、其ノ後段々研究ノ結果色々ノ試験ヲ致シマシテ、北ノ方ニモ棉花ガ、所謂陸地棉花ガ可ナリ適當デアルクトヲ發見致シマシタ、是ハ龍岡等ノ試驗場ニ於ケルマシテ試験ヲ致シマシタ所、大變良イ成績ヲ得マシテ、在來棉ニ代ツテ段々北ノ方ニモ進展ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又北支ト申シマスガ、南ノ方デモ羊ノ繁殖ヲ致シテ見マスルト、相當ノ效果ヲ擧ゲテ居ルヤウナ譯デアリマス、棉花ニ付キマシテハ昭和八年カラ計畫ガ立ツテ居リマシタ、十七年度マデニ三十五萬町歩、約五億万円ノ計畫ヲ立テテ進行致シテ居リマシタ、昨年ノ如キハ稀有ノ早産デアリマシタガ、御承知ノヤウニ割合ニ棉花ハ早産ニ堪ヘ得ル關係デアリマスカ、譯デアリマス、斯様ナ譯デアリマスルカ、此ノ計畫ヲ持續シテ參リマスナラバ、豫定ノ效果ヲ擧ゲルコトハ決シテ困難ナリイデハレカト云フコトハ只今申シマシタヤウナ狀況デアリマスノデ、昭和九年ニ計畫ヲ立テテ居リマス、是モ滿洲方面ヨリ年々種羊ヲ購入致シテ居リマシタ、逐次其ノ數ヲ増シテ居リマス、最初飼養致シマシタ時ニ於ケルマシテハ、色々風土ニ慣レナ

第一類第二號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日

○植栽政府委員 日本棉花栽培協會が拓務省ニゴザイマシテ、或ハ東亞植栽協會が拓務省ニゴザイマシテ、全般的ノ棉花栽培並ニ綿羊飼育ノ關係ニ携ツテ居リマス...

○三善委員 只今ノヤウニ南洋群島ノ島民ガ比較的教育ノ程度ガ低イニ拘ハリマセズ、時局ヲ認識シ、獻金スル者モアルコトハ洵ニ喜バシキ現象デゴザイマス...

滿洲此ノ方面デ、全部一定ノ計畫ヲ以テヤツテ居ルノデアリマスガ、日本ノ現在ノ過去五箇年平均ノ需要量ガ約十二億斤、其ノ増加趨勢ヲ考ヘマスト、大體十七億斤ノ確保ガ得ラレタラバ、日本ノ紡績業トシテモ面白カラウ、斯ウ云フ問題ガ一ツアリ...

○三善委員 大體分リマシタガ、ハツキリシタ數字ヲ聽クコトガ出来ナイノ遺憾トシマス、私ハ我國ノ棉花羊毛ト云フモノガ如何ニ重要ナル部門ヲ占メテ居ルカト云フ...

○北島政府委員 南洋群島ノ島民ハ現在約五万人居リマス、事變前カラ此ノ群島ノ島民ハ御承知ノ通り非常ニオトナシノ...

内地人ト協力シテ一段ノ緊張ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

此處ニ居ル島民ガ將來ドウダト云フヤウニ、要スルニ統治上面白クナイコトヲ信者ニ向ツテ言ツテ居ツタノハ大體御話ノ通りダト...

ニ拘ラズ、未ダ其ノ審理ヲ爲サズシテ置クヤウナコトハ、益、斯ウ云フ感情ヲ土民ノ間ニ増長スルヤウナ念ヲ起サスモノデハナカ...

モゴザイマスシ、ドウシテモ調査ニ慎重ヲ期スル點モゴザイマシテ、色々ト手續上還延シタ嫌ヒハゴザイマスガ、出来ルダケ早...

○北島政府委員 只今御質問ニナリマシタヤウナ邪教ヲ唱ヘマシテ、相當ノ島民ガソレニ參照ト申シマスカ、或ル程度所謂信者ガ居リマシテ、今度ノ事變ニ絡ミマシテ只今御話ノヤウニ日本ガ負ケルコトカ、或ハ又...

○田原主査代理 三善君、アト五六分、大體四時半ト云フコトニ願ヒマス

○北島政府委員 御質問デハナイヤウデゴザイマスガ、只今ノ問題ハ邪教—宗教ト云フ言葉ヲ使フノガ疑ハシイ位ノ幼稚ナモ...

○櫻井委員 ソレデハ其ノ事實ハ外務大臣ニ聽クヨリ致シ方ハゴザイマセウカラ、其ノ點ハ此ノ程度ニ致シマスケレドモ、從來外務省ノ南方ニ對スル者ハハ極メテ弱イ...

フコトヲ私ハ切ニ要望スルノデアリマス
ソレカラ次ニ先達テモ滿洲移民ノ問題デ
勞力問題ガ出テ、大臣ハ他ノ會ニ於テ勞力
不足トハ思ハヌト云フ御答辯デアツタヤウ
デアリマス、此ノ人口問題ハハツキ
リ決メテ置カレタイト思フ、私ハ税ノ委員
會ニ出テ、獨身者ガ比較的重課セラレル、
是ハ多分人口國策カラ來タモノダラウト思
ツテ見テ見マス、大蔵當局ノ答辯ニ依
ルトソレハ偶然デアツテ、何モ人口國策カ
ラ出タモノデハナイ、厚生省ハ新聞一頁程
ノ色々ナ人口國策問題ヲ發表セラレテ居ル
今日マデノ議會ノ經過ニ見マス、其ノ人
口國策ガ何處ニモ現ハレテ來テ居ラナイ、
拓務省ハ人口國策ニ付テ確タル案ヲ決メテ
レテ、國民ニ其ノ考ヘ方ヲ徹底サセテ置タ
ト云フコトガ必要ナコトデアリマス、
現ニ角今ハ戰時狀態デアリマスカラ、平常
ト異ツタ場合デアリマスケレドモ、斯ウ云
フ點ガハ非常ニ憂慮セラレルト思ヒマス、
今マデ日本ハ世界デ人口増加率ノ一番多イ
國ダ、私モ實ハサウ考ヘテ居ツタ、サウ考
ヘル人モ多カッタト思フ、尙少シク研究
ヲシテ見マス、人口増加ノ率ノ多イノハ
日本ヨリモ支那ガ多イ、ソノ聯ガ多イ、サ
ウシマスト四億三千万ト二億ノ間ニ挾マレ
タ吾々日本人、ソレ支ニ正而作戦ダ、正
而作戦ダト言フ今日張合ツテ居ル場合、
將來ノ人口消長ト云フモノカラ考ヘタ人
口國策ヲ考ヘルト、吾々ハ憂慮ニ堪ヘヌモ
ガアルト思フ、幸ヒ厚生省ガ人口國策ヲ考
ヘラレテ居ルコトハ洵ニ結構ダト思ヒマス
レドモ、是ガ實際ノ施設ノ上ニ現ハレテ來
テ居ラナイ、是ハ私ハ拓務省ガ重大ナル技
ニ任務ガアルト思フガ、人口國策ヲハツキ

切立テテ置カナイデハ、移民スルコトモ移
民ヲ取止メルコトモ出來ナイト思フ、若シ
人口ガ足ラナイト見タナラバ、移民スルコ
トハ出來ナイイデハ、餘ルト見タナラ
バ移民シテカケルベナラス、餘ルト云フノハ
内地ダケノ話デアリ、其ノ上デ尙ホ近キ將來
ノ國際關係ノ上ニ於テ、支那トカ、ソノ聯トカ
ヲ考ヘルト、サウシテ吾々ノ集團生活ヲ愈
益、進展サシテ行カト云フ上カラ考ヘマシテ
モ、故ニハツキリシテ人口國策ヲ立テテ、
之ヲ政策ノ中ニ織込シテ行カト云フコトハ
至極適當ダト考ヘマス、此ノ點ニ關ス
ル大臣ノ御見解ヲ承ツテ置キタイト思フ
○小磯國務大臣 第一點、ドウモ拓務大
臣ハ南方政策ガ少シ弱イノデアリカト云
フ御話ヲ御聽ト受ケマシタガ、此ノ問題
ニ付キマシテハ一日昨來度々出マシタ問題
タノデ、其ノ席上不幸櫻井君ガ居テ
ニナリマセシテカラ遺憾デアリマスガ、
強クヤリマスカラ御承テ置キマス
ソレカラ人口國策ノ問題デスガ、是ハ櫻
井君ト私ハ全然感同ジウスル者デアリマ
ス、唯拓務省ト云フ境地ニ於キマシテ、如
何ナル形式程度ニ厚生省ニ助力シテ參ルカ
ハ是カラ少シク検討ヲシマシテ、適當ナリ
ト思フ方式ニ於テ進シタイト思ヒマス
最後ニ此ノ二ツノ問題ヲ併セテ申上ケマ
スガ、南方ニ對スル政策ニセヨ、人口問題
ノ解決ニセヨ、私ハ櫻井君ト全ク感同ジ
ウシテ進シタイ一人デアリマスコトハ、故
ニ申上ケルマデモナイノデアリマス、
時ニ此ノ兩者トモハハ八紘一宇ノ具現ニ
向ツテ邁進スルモノダト思ヒマス、八紘一
宇ハ空想ナリト云フコトデアリカト云フ、

各朝鮮ニハ朝鮮總督府、臺灣ニモ臺灣總督
府、南洋廳及ビ樺太廳ガアリマス、其處
デヤツテ居ル等デアリマスガ、ソレニ何カ
御不足ガアルノデアリマセウカ、若シ外國
デアルト云フコトニナリマス、是ハ外務
省ノ管轄ニナリマス
○田原委員 詰リ本省ニ厚生課ノ如キモノ
ガ出來ルコトガ外國ノ方ニ影響ガアルトス
レバ、朝鮮總督府、臺灣總督府等ノ外地ノ
官廳ニサウ云フモノヲ設ケテヤルベキモノ
デアルト私ハ考ヘマス、併シ是ハ今年ノ豫
算ニモ出テ居リマセウカ、今ハ強ク希望
ヲ申上ゲテ置タ程度ニ止メテ置キマス
ソレカラ朝鮮總督府ノ政府委員ニ御承致
シマスガ、ノモンハ、死致シマシタ
大分縣ノ或ル兵士デス、出征前ニ朝鮮ニ居
リマシテ簡易保險ニ入ツテ居ツタノデアリ
マスガ、戰死致シマシタノ地籍ノ親父ガ
保險金ヲ請求シマシタ所ガ、所屬中隊長
ノ健康證明ガ付カケレバ渡セナイト云
フ、然ルニ所屬中隊長モ一緒ニ戰死シテ居
ル、其ノ中隊長ハ全部戰死シテ居ツタノデ
アリマス、昨年九月カラ今年一月中旬マデ
文書ニ依ツテ朝鮮總督府ノ方ト連絡ヲ取ツ
テ居リマスガ、テツトモ進マデ居リマセウ
ノデ、大分縣ニ於テハ簡易保險ハ是ハ複雑
保險デアツテ、テツトモ簡易デアイト云ツ
テ非常ニ失望シテ居ルノデスガ、戰死者ノ
場合ノミナラズ、一體ニ勸誘ハ非常ニ致シ
マスケレドモ、拂フ時ニ非常ニ出シ渡ル嫌
ガアル、僅カナ金額デアリマスカラ、何カ
此ノ機會ニ御調ニナリマシテ至急ニ遺族ニ
其ノ保險金ガ入ルヤウニシテ戴キタイト思
ヒマス
○大野政府委員 徒後ノ支援ニ付キマシテ

將來トモ御鞭撻ヲ願ヒタイト思ヒマス
○櫻井委員 私人ハ是デ宜シウゴザイマス
○松尾委員 ソレデアリト申ス
○田原委員 拓務省本省ノ省內ダケノ問題
デ二三意見ヲ述ベテ大臣ノ御考ヲ承リタイ
ト思フノデアリマス、一ツハ外地官吏ノ名稱
ノ問題デアリマスガ、臺灣ニ行キマス都
府郡守ト云ヒ、地方ノ縣ナラバ書記官デ
アルベキ警察部長、內務部長等事務官ト
云ヒ、朝鮮ニ於テモ府長ト云フベキモノヲ
府尹ト云フ、特ニ外地ノ官吏ノ名稱ヲ内地
ノ官吏ト差別シテ使用シテ居ルノハドウ云
フ御積リデアリカ、之ヲ内外同一ノ名稱ニ
スルコトガ必要デハナイカト思ヒマスガ、
大臣ノ御考ヲ承リタイ
○小磯國務大臣 私深ク此ノ問題ヲ研究シ
テ居リマセウガ、是ハ舊來ニ於ケル慣習ヲ
尊重シタノデハゴザイマスマイカ、果シテ
サウト致シマスナラバ、内地ノ行政組織ニ
於ケル名稱ト必ズシモノ同ジウスル必要
モナイノデアリカト考ヘテ居リマス
○田原委員 相當ノ時期ガ経テバ、習慣モ
亦統一シテ全國ノニナルベキモノデアリマ
シテ、無論色々ノ事情ガアツタコトト思ヒ
マスガ、今後ニ於キマシテハ、ハハ統一サ
レタ方ガ宜クハナイカ、ソレ等ノ地方ノ官
吏ノ感傷モ感シガ、幾ラカ内地ノ官吏ノ
感傷ト違ツテモイカスト思ヒマシテ希望シ
テ置キマス
ソレカラ拓務省ハ元來色々仕事ハアリマ
セウガ、特ニ在外同胞ニ付テ色々ヲ保護指導
等モシナケレバナラヌモノデアルト信シマ
ス、然ルニ昨年モ實ハ問題ニナツタノデア
リマス、南洋廳管内ノ南洋興發ノ使ツ
テ居リマス農民ノ待遇ノ問題デアルトカ、

ハ、朝鮮ニ於キマシテハ官民共ニ其ノ力ヲ
盡シテ居ル譯デアリマシテ、只今ノヤウナ
事實ガゴザイマスレバ、十分取調ベテ速ニ
善處スル積リデアリマス、左様御承知ヲ願
ヒマス
○田原委員 是ハ一般的行政機構ノ問題ニ
入ルノデアリマスガ、支那、滿洲ニ對シマ
シテ拓務省ハ機關トシテ何モ持ツテ居ナイ
ノデアリマス、然ルニ滿洲ニ對シテハ、滿
洲移民ヲ獎勵スル仕事ハ拓務省ガヤツテ居
リマスガ、滿洲ノ全般ノ色々ナコトニ付キ
マシテハ對滿事務局ガヤツテ居ル、ソレカ
ラ支那ニ對シテハ又興亞院ト云フモノガ別
箇ニ出來テ居ルノデアリマシテ、成程色々
外政、軍事其ノ他ノ關係ガアルカラ、内閣
直屬ノ機關デアリカト云フベキモノケレドモ、
現地ニ旅行致シマシテ吾々ノ感ズルコトハ、
中央官廳ニ於テハ外地並ニ支那、滿洲ヲ總
括シタ一ツノ鞏固ナル獨立者ガアツタ方ガ
宜イノデアリカ、事務的ニモ又政策ノ上
ニ於キマシテモ其ノ方宜イノデアリカ
ト考ヘルノデアリマス、將來何レハ民間ノ
間ニモ、又政府側ニ於キマシテモ、行政機
構ノ改革等問題ニナツテ居ルノデアリマ
シテ、其ノ中ノ一聯トシテ私共考ヘルコト
ハ、現在ノ拓務省ヲ改組シ、ソレカラ興亞
院ト對滿事務當局ヲ合流セシメマシテ、東
亞省ノ如キモノヲ作ツタラドウカ、サウシ
テ樺太ノ如キハ最早相當ノ年月ガ経ツテ居
ルカラ、是ハ所謂内地ノ府縣同様にシタラ
ドウデアリカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマスガ、
大臣ノ御所見ハドウデアリマセウカ
○小磯國務大臣 田原君ノ御意見ハ一案ト
考ヘマス、尤モ既ニ出來上ツテ居リマスル
今日、今後之ヲ如何ニ善處スベキヤガ問題

ト思ヒマス、具體的ニ申上ゲマスルナラバ、
先ヅ以テ對滿事務局ハ遠カラザル將來ニ於
テ拓務行政ノ中ニ合併サレベキモノト思ヒ
マス、興亞院ハ事務モノヲ生ラレタ
モノデアリマス、事務モノ終極ニ於テ
適當考慮セラレベキ機關デアリカト考ヘ
テ居リマス
○田原委員 今年ハ紀元二千六百年デアリ
マシテ、色々ナ催シガ國內ニモアリマス、
是等ノ催シニ在外同胞ノ外地及ビ外國ノ雙
方カラ、一定ノ標準ノ下ニ選ビマシテ此
盛典ニ參列セシム、其ノ感激ノ光榮ヲ彼等ガ
再ビ居住地ニ歸リマシテカラ頌フシメルト
云フコトハ、日本人ノ海外發展ノ將來ニ於
キマシテ、又現在向フニ生レテ居リマスル
二世、三世ノ心理的ナ救養ノ助長ノ材料ト
致シマシテモ、非常ニ有效ナモノデアルト
確信スルノデアリマス、然ルニ拓務省デ二
千六百年紀念ニ對スル豫算ヲ取ツテ居ルヤ
ウデアリマス、洵ニ輕少デアリマシテ、
是レ位ノ吝ツタレタ金デハ、到底世界各國
ニ行ツテ居リマス同胞ノ幾人ヲモ招待ス
ルコトガ出來ヌト思ヒマス、是ハ併シナガ
ラ豫算ヲ伴フコトデアリマスカラ、如何ニ
餘計希望致シマシテモ出來ナイデアリマセ
ウガ、ソレコデ諸外國ニ居ル人々ノ希望ガ參
ツテ居リマス、是ハ丁度日本カラ例ヘバ國
際勞動會議ニ行キマス場合、正式代表ノ
外ニ隨員ヲ參加セシメラレルガ如ク、向フ
カラ正式ノ代表ハ豫算ノ關係カラ少數デア
ルト致シマシテモ、偶ハ私用ヲ以テ地籍
歸ツテ居ル者、或ハ又自費ヲ以テ歸リ得ル
者、斯ウ云フモノヲ隨員或ハ參加者程度ニ
稱シテ隨員ヲ稱シマシテ、參加ヲ認メマシテ、
是等ノ祝典ニ對シテノ喜ビヲ領メソカ至當

デハナイカ、又親切ナリヤラハナイカト
考ヘルノデアリマス、サウ云フ氣持ヲ
以テ今年ノ計畫ヲ進メラレテ居ルカドウ
カ、御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス
○小磯國務大臣 田原君ノ御述ニナリマシ
タ御趣旨ニハ賛成デアリマス、拓務省ノ
企業ト致シマシテハ、二千六百年ノ意義ア
ル年ニ於テ内地ニ參リマスル在外同胞ヲ、
參リマシタ上ニ之ヲ招待モシ、指導モシ、
サウシテ田原君ノ述ベラレマシタヤウナ目
的ヲ達成スルヤウニ企圖シテ居リマス
○田原委員 伊太利ノ南米ニ對スル政策ヲ
見マス、一年ニ一回南米各國、アルゼ
ンチン、或ハ「ブラジル」等ニ居留シテ居ル
伊太利ノ間カラ、其ノ土地ニ生レテ居ル者
タハ在留伊太利ノ間カラ相當多數ノ人間
ヲ母國ニ招キマシテ、是ハ南米ダケデナク、
恐ラク阿弗利加モ入ツテ居リマセウガ、在
外伊太利國民會議ノ如キモノヲ催シ、ムソ
リーニカ自ラ其ノ會合ニ出マシテ、或ハ國
内ノ情勢ヲ話シ、又激動ヲスルト云フヤウナ
コトヲヤツテ居リマス、獨逸モソレヲヤツテ
居リマシテ、南米ノ獨逸人ノ多イカラハ、
其ノ土地ニ生レテ居ル人ノ多イカラハ、必ズ一
度ハ伯林ニ行クヤウニナツテ居リマス、ソレ
等ノ積金モシテ居リ、又教育機關等モ備ツテ
居リマス、ソレコデ本年二千六百年ノ祝典ヲ
機會ニ、左様ナ催シガアリマスナラバソレ
更ニ當該ノモノト致シマシテ、在外日
本人代表者會議ノ如キモノヲ設置サレテハ
如何デアリカ、特ニ朝鮮或ハ臺灣或ハ南洋
群島等ニモ多數ノ人ガ行ツテ居リマスガ、
政治的ニ中央ニ發言スル機會ガ少イノデア
リマス、僅ニ朝鮮、臺灣等ニ在職致シマシ
タ官吏ノ中デ勸進員等ニナツテ貴族院デ

ソレカラ比律濱、或ハ其ノ他「ブラジル」等
ノ會社ニ働イテ居リマス勞働者ノ待遇ノ
問題デアルトカ云フヤウナモノガ起ル
マシタノハ、拓務本省内ニ特ニ勞働課ノ如
キ、或ハ厚生課デモ宜シイガ、移民ヲ専門
ニ世話スル課ガ必要デアリカ、斯ウ云
フコトヲ進言シテ居ルノデアリマスガ、今
年ノ豫算ニモサウ云フコトハ盛ラレテ居リマ
スケレドモ、斯様ナコトヲ主張スル意味
ハ、外地ニ於キマシテ色々ノ事業會社ハ東
京ニ本店或ハ支店ヲ持チ、或ハ隨時代表者
ヲ出シマス、十分中央政府ト連絡モ
取レマスカラ宜シイノデアリマスケレドモ、
地方ノ外地ニ居リマス日本人個々ノ問題ニ
付キマシテハ、陳情スル機關トシテハ特定
ノモノガナイノデアリマス、其ノ爲ニ特ニ
サウ云フ厚生課ノ如キモノヲ必要トスルト
云フ意見ヲ吾々ハ持つテ居ルノデアリマス
ガ、大臣ハ之ニ對シテドウ云フ御考デアリ
マスカ、承ツテ置キタイト思ヒマス
○小磯國務大臣 一寸御質疑ノ點ガ分リマ
セウガ、外地ト仰セニナリマスノハ拓務省
ノ管轄内ニ於ケル外地ヲ仰セニナルノデス
カ、外國ヲ指スノデス
○田原委員 拓務省ノ管轄ノ中ニ南洋課モ
アリ、南米課モアリマスカラ……
○小磯國務大臣 外地ニ於ケル居留民ト仰
シタルノハ……

第一類第二號 豫算委員第一分科會議錄
第三回 昭和十五年二月十九日

七六

發言スル位ノモノデ、取付ク所ガナイ、現在向フニ活動シテ居ル者ヲ内地ニ代表セシムルニハ、法制的ニ議員ニナラナクテモ、代表者會議ノ如キモノヲ毎年一週間位東京デ開キマシテ、個人デハ拜觀出來ナイヤウナ所ヲ拜觀サセ、又或ハ功勞アル者ニ對シテハ木蓋、感狀ト云フヤウナモノヲヤツテ獎勵スル、斯様ニ致シマシタラバ、外地ニ在住ノ日本人ノ中央政府ニ對スル氣持ガ必ズ一年ニ一回集マルヤウナコトニナリマシテ、今後ノ海外植民政策ヲ立案スル上ニ於キマシテ、直接現地ノ聲ヲ聽クニ非常ニ便利ダト思ヒマス、今回ノ御催シヲ左様ナ形デ常設サレルヤウニ望ムデ居ルノデアリマスガ、大臣ノ御所見ヲ承リタイと思ヒマス

○小磯國務大臣 現地ニ於ケル民ノ聲ハ、各其ノ地ニ在リマス所ノ行政機關ヲシテ聽カセル機構ヲ備ヘ、サウシテ聽イテ居リマス、外地ニ居リマス人々ヲ成ベク多ク内地ノ事情ニ親炙サセ、認識ヲ深カラシムルト云フ趣旨ニ付テハ全然贊成デアリマス、カルガ故ニ外地ニ於ケル各官廳ハ、必ズジモ時ヲ一定ニ決メテアルトハ申シマセヌガ、機會アル度毎ニ各種ノ團體ヲ東京其ノ他内地方面ニ派遣ヲ致シマシテ、視察見學セシムル、ソレニ相當ナル指導ヲ行ヒツツアリマス、此ノ機會ニ於テ改メテ左様ナ常設機關ヲ各官廳ニ設ケヨウト云フ考ハ、只今ノ所デハ持ツテ居リマセヌ

○田原委員 朝鮮臺灣南洋等ニ官廳ノアリマス所ハ、色々ナ注文不平ガアリマシテモ先ヅ(ソレ等ノ機關ニ懇ヘ出ルコトモ出來マスガ、南洋デアルトカ南米デアルトカ或ハ其ノ他ノ地方、所謂外地ニ出テ居リマ

ス在留同胞ニ對シマシテハ、一部ハ外務省ニ於ケル先領事ガ其ノ保護ノ任ニ當ツテ居リマスモノ、兎角領事ハ短カクレバ一年、長クモ三年位デ他ニ轉勤ヲ致シシマヒマスルシ、又領事ノ現地ニ於ケルカリ方ヲ見テ居リマス、他ハ外交官デアアル、外交ヲヤルノガ本職デアツテ、在留同胞ノ世話ハ副業デアアルカノ如キ言動デアアル、然ルニ外國デアレバアル程、數ハ少クテモ日本人間ニ諸ノ問題ガ起リ勝チデアリマス、ソレ等ノ國ノ法律トノ問題デアルトカ、或ハ日本内地トノ關係ノ問題デアルトカ、權限ナ行政事務ガアリマス、然ルニ行政事務ニ關スル經驗ナク、唯外交官試驗ニ通過ツタト云フダケテ領事ニナツタ人ハ、將來大使、公使ニナルコトヲ望ムデ居リマシテ、領事トシテ十年、二十年モ一定ノ土地デ在留同胞ノ世話ヲスルコトヲ氣持ガナイノデアリマスカラ、兎角色々ノ問題ガ起リ勝チデアリマス、拓務省ハ海外發展ヲセル同胞ノ保護指導ト云フ上ニ於キマシテ、斯ウ云フ色々ナ苦情ヲ持込ミ所ヲ持ツテ貴ハナクレバナラヌト思ヒマス、然ルニ從來サウ云フ機關ガゴザイマセヌ爲ニ、吾々ノヤウソレ等ノ地方ヲ旅行スル者ニ頼リマシテ、或ハ手紙ヲ以テ、或ハ人ガ参リマシテ色々ナ事情ガアルノデアリマス、澤山アリマスガ、時間モアリマセヌカラ其ノ中ノ一ツヲ取上モアリマシテ事情ヲ明瞭ニシ、經過ヲ申上ゲ、サウシテ拓務省ノ御方針ヲ件セテ御伺シテ見ヨウト思フノデアリマス

是ハ事變前デアリマシタガ、ビルマニ居リマス在留同胞ガ白小豆ヲ内地ニ輸出シテ居リマシタ、是ガ日本ノ爲替政策ノ關係デ輸入禁止ニナツタノデアリマス、所ガ輸入禁止ニスル大藏省側ノ肚デハ、唯爲替ノ關係ダケデアツタノデアリマスガ、輸入禁止ニナツタ爲ニ「ビルマ」在留同胞ハ生活上非常ナ不安ヲ感ジマシテ代表東京ニ派遣致シマシタ色々ナ陳情シマシタ結果、昨年ノ一月カラ「ビルマ」在留同胞ノ耕作スル白小豆デアアルガ故ニ、特ニ輸入ヲ許サト云フコトナツテ、一部復活シテ居リマス、ソレカラ「シンガポール」ニ居リマス日本人ノ護照裁培業者ニ對シマシテモ、相當爲替政策ノヤカマシイ今日デアリマスガ、事業資金トシテ出サウト云フコトニナリマシテ、爲替政策上相當ノ緩和ヲ見テ居リマス、斯様ナ例ハ「ブラジル」ニ於キマシテモアツテ、二十二萬ノ在留同胞ハ主トシテ農民デアリマスガ故ニ、共同販賣、共同購入或ハ相互金融或ハ醫療設備ト云ツタヤウナ、所謂内地デ言ヒマスと産業組合的ナ施設ヲ獎勵致シマシテ、話ヲ聽キマス拓務省デアリマスガ、外務省デアリマスカ、ハツキリ覺エテ居リマセヌガ、相當補助モ致シマシテ、現在「ブラジル」在留同胞ノ中ニ百七十カカノ産業組合ガ各村ニ出來テ居リマス、ソレカラ南洋ニ於キマシテハ長官モ居ラレマスガ、「サイパン」「パラオ」等ニ信用組合ガ漸次殖エツツアルノデアリマシテ、是モ在留同胞ノ相互ノ金融機關デアリマシテ、拓務省カラ補助ガアリト云フコトモ聽イテ居ル譯デアリマス、又滿洲ニ於キマシテハ御承知ノ如ク集團農民ニ對シマシテ色々ナ渡航費ノ補助ニ始マシマシテ、合作社ナドヲ作りマシテ、産業組合ニ準ジテ共同運動ヲ獎勵シテ居ル譯デアリマス、斯様ナ中ニ於キマシテ今問題ニナツテ居リマスノハ、比律賓「ダバオ」ニ在留同胞ノ問題デアリマシテ、是ハ拓務省

上ゲテ御所見ヲ承リタイ、是ハ生産組合ガ出來マシタ時ニ、直チニ「ダバオ」ニ居ル商館側カラ出テ反對意見デアリマシテ、現在「ダバオ」日本トノ麻取扱ツテ居ルモノハ太田興業、古川拓殖外五社、合計七社アリマス、金額ハ二百四五十萬圓ト思ヒマス、日本ノ軍需用品、水産資材トシテノ漁網、ロープ、是ハドウシテモ「マニラ」麻デナケレバナラス、然ルニ此「マニラ」麻ヲ生産シテ居ル同ジ日本人ガ、現地デアク買付ケテ、内地ニ高ク賣付ケテ居ル、ソレダケ日本ノ金ガ逃ゲル譯デアアル、而モ公定相場ハアルガ、實際ハ公定相場デナイ、三倍ニモ上廻リマシテ、輸入業者ナルモノガ「ロープ」製造業者ニ切符ガアツテモ渡サナイト云フ状態デアリマシテ、水産増産上甚ダ迷惑サシテ居ルデアリマス、是ハ一ツニ此ノ七軒ノ輸入業者ニシテ輸入ヲ任シテ居ル結果、水産増産上甚シキ迷惑ヲ日本ニ與ヘテ居ル、現ニ八百名ノ百姓ガ三十年ノ苦闘ノ後ニ、商人ニ購サレテ居ルト云フノデ、漸ク内地ノ農民並ミニ日體マシテ、産業組合ニ準ジテ生産組合ヲ作ツテ日本ニ來タ來タカラ、私ハ拓務省ニ行ツタラ宜カラウト云ツタ、ソレハ何故カト云フト、拓務省ハ海外在留同胞ヲ保護シテ呉レル機關デアアル、商工省ハ同ジ日本ノ官廳デアツテモ、稍商業工業的ナ建前カラ見ルノデアアルカ、南洋ノ百姓ナドガ來テモ親切ニ話ヲ聽イテ呉レスカモ知レス、外務省ハ外交官本職デアアルカラ、移民共下リ居レト云フヤウナ譯デ、能ク話ヲ聽イテ呉レスダラウ、其ノ中間ヲ取ツテ呉レルノハ拓務省カモ知レナイト云フワ行ツタノデスガ、今

ニ於カレマシテハ、數回現地ノ代表ガ見エマシテ陳情サレテ居ルノデ御存ジダラウト思ヒマス、今日ハ商工省ノ貿易局、ソレカラ外務省ノ通商局、内地ノ麻ノ需要者ニ關係アル農林省ノ水産局ノ方ニモ御列席願ヒマシテ、私少シク代辯シテ各省ノ御意向ヲ明確ニシタイト思フノデアリマス、陳情書ノ一部ヲ讀ミマス、昨年ノ十二月一日ニ「ダバオ」麻生産組合カラ代表者トシテ上原仁太郎、榎本榮七ト云フ二名ガ上京致シマシテ、陳情書ヲ外務大臣、拓務大臣、商工大臣、大藏大臣、農林大臣、企業院總裁宛ニ出シテ居リマス、其ノ中ノ要點ヲ申シマス、日本ニ輸入サレル「マニラ」麻ハ從來極少數ノ輸出商ト輸入業者ノ手ヲ經テ「ミ」取扱ハレル關係上常ニ之等ノ中間在者ニ依リ利益ヲ奪斷サレ居ル結果ニ有之候其ノ爲メ吾々生産者ハ折角汗水流シテ生産シタ麻モ之ヲ安價ニ販賣スルノ止ムナキ事情ニ置カレ常ニ生産費ストラ倒リ(現在ノ如キ戰時ハ例外トシ)收支價ハズシテ苦境ニ陥ル場合極メテ多ク有之候斯クテハ折角三十數年ニ互リ凡ル困難ヲ忍ビ苦辛シテ漸ク開拓シタ南方唯一ノ據點モ或ハ放棄スルコト無キヤト憂慮ニ堪ヘザル次第ニ有之候此處ニ於テ吾々ハ強固ナル生産者ノ團體組織ノ上ニ立脚シテ生産販賣ノ合理化ヲ圖リ以テ「ダバオ」在留邦人ノ發展ヲ將來共續セシムル爲メ今般「ダバオ」麻生産組合ヲ創立シ組合員ノ生産者ノ手ヲ經テ直接供給致シ度ト候本組合ハ現在ノ所組合員八百名一箇年ノ生産額八萬俵乃至十萬俵ニシテ既ニ比律賓政府ノ認可モ得候「ミ」ナラス現地ニ於テハ「ダバオ」州知事「ダバオ」市

長其ノ他ヨリ熱誠ナル聲援ヲ受ケテ其ノ成功ヲ期待サレ居ル次第ニ有之候申スマデモ本組合ガ其ノ生産者ヲ母國ニ輸入シ内地ノ消費者ヘ直接供給ヲナス事ハ日本ニ於ケル「マニラ」麻ノ低物價實現ハ勿論「ダバオ」同胞麻生産者ノ利益モ増進シ「云々、斯ウ云フヤウナ意味デアリマス、積イテ「而シテ」之レガ爲メ「ダバオ」ニ於ケル麻商館又ハ内地ノ麻輸入業者ニ對シテ死活問題ヲ惹起セシメルガ如キ事ハ毫モ無之モノト確信致シ候尙ホ吾々ハ時局ニ鑑ミ戰時經濟ノ範圍内ニ於テ現ニ日本ニ輸入サレツツアル數量ノ内吾等生産組合ニモ割當テ輸入許可相成度懇願致シ居ル次第ニ有之候「云々」次デアリマス、所ガ之ニ對シテ内地ノ官廳側カラ「ダバオ」領事ニ行ツテ居ル傳ヘラレル「サジエ」ト寫シテ見タノデアリマスガ、之ニハ中々問題ニナルモノガ出テ居ルノデアリマス、是モ果シテ何處カラ出タカ明カニシタイト思フノデアリマスガ、是等ノ文章全體ヲ見ルト、麻生産組合ヲ認可シナイヤウナ建前カラ調査ノヤウニシカ見ヘナイ、全部ハ省略致シマスガ、肩書ハ斯ウナツテ居リマス、「ダバオ」麻生産組合ニ對シ本邦ヘノ輸入許可ノ可否ヲ決定スルニ付キ考究スベキ事項「サウシテ」「ダバオ」在留邦人ノ一部ニ「マニラ」勢力ヲ争ヒニ基テ對立感情及何等カ爲ニセントスル策動ニ胚胎シタリト思惟セラルル點ノ多キハ甚ダ遺憾トスルコトコトナリ「其ノ次」ハ「商館側トノ對立抗争ヲ一層激化シ血ヲ流シテ洗ハラサスニ至ラバ」管ニ指導官廳ノ威信ヲ失墜スルノミナラス邦人ノ海外發展上、支障ヲ來タスコト少シトセズ、惟フニ「マニラ」麻ノ如キ市價ノ變動甚ダシキ國際的商品ヲ本組合ノ如キ自治

的團體ヲシテ取扱ハシムルコトハ適當ナラズト認ムル處ナラガ假ニ組合ヲシテ取扱ハシムルコトガ是ナリトスルモ之ガ可否決定ニ付キテハ左記ノ諸點ニ付キ究明スル處ナカルベカラズ「云々」ト云ツテ、五點バカリ擧ゲデアリマスガ、概略申上ゲマス、第一點、事業計畫ノ周密ナルヲ要スト「云々」ト云フト、此ノ計畫ガ非常ニ周密ニナツテ居ナイト云フコトヲ御イテ居リマス、ソレカラ第一「資金」ノ用意ナカルベカラズ「ト」シテ、第二「資金」ノ生産組合ハ第一回ノ拂込五萬、第二回ハ「生産組合」ハ一回ノ拂込五萬、第三回ハ「生産組合」ハ一回ノ拂込五萬、第四回ハ「生産組合」ハ一回ノ拂込五萬、以外ハ借入金ニ依ラントスルモノノ如ク「生産組合」ハ一律當リ儲ニ五、六ソ「シ」ヨ拂込ミタルノ「ミ」ニシテ組合資金ノ大部分ヲ他ヨリノ融資ニ仰ギ得ベシトハ思ハズ「云々」ト云フトアリマシテ、要スルニ資金ガ足りナイトナレバ損失モ覺悟セザルベカラズ「一」市況ノ低落ニ依リテ損失ヲ招クア免レズ「ト」書イテアル、第四「組合」ノ中心人物ハ當ヲ得ザルベカラズ「其ノ中」ハ「中心人物」タルモノハ事業經營ニ練達有能ナル「ミ」ナラズ組合内外ノ信望ナカルベカラズ然ルニ組合内外ノ信望アリトスルモ組合外ニ於テ指揮セラルル如キ人物ヲ用フルニ於テハ事業進行ノ円滑ヲ期スル所以ニアラズ加之生産組合事業ヲ運営スル上ニ其ノ道ノ經驗者ヲ置カザルベカラザル處組合提出ニカカワル事業計畫ノ杜撰粗糲ナルニ鑑ミルモ事業者手迄ノ相談相手トナリ行クノ「事業」ノ中心人物タルベキ斯道ノ經驗者ヲ側近ニ有セザルモノノ如ク又「事業」者手迄此ノ種人物ヲ求めメントスルモ既に出入業者ヨリ同情ヲ持ラザル生産組合トシテハ容易ノコトニ非ザルベシ「之」ニ對スル私ノ意見ヲ申

マデノ經過デハ拓務省ガ商工省、外務省ノ通商局ナドヨリモモツト小心翼々トシテ、慎重ヲ極メテ、半年モ在留同胞ガ來テ居ルニ拘ラズ、チツトモ話ガ進ンデ居ラナイ、私ノ憂ヘルコトハ、色々ナ反對理由デアリマセウ、併シ比律賓政府ガ生産組合ヲ認可シテ居ル、此ノ事實ハ如何ニ日本ノ官廳ガ輸入ヲ認めナクテモ變リハナイノデアリマス、又在留同胞ハ僅ニ一萬七千人シカ居リマセヌニ拘ラズ、事變以來陸軍ニ對シテ飛行機一臺、海軍ニ對シテモ同ジク飛行機一臺、其ノ他國防費等進シテヤツテ居ル、サウ云フ人々ガ今度自分ノ手デ作ツタ品物ヲ日本ニ持ツテ來ヨウトスルノニ、規則上イカスト云フト、在外同胞ノ母國ニ對スル心情ハドウナルカ、是非非常ニ大キナ問題ダト思ヒマス、日本ノ役所ガ相手ニナツテ呉レト云フコトニナレバ、相手ニナツテ呉レナクテモ宜イ、英米ニ澤山賣レヘテ賈ハスト困ルト思ヒマス、

長クナツテ恐縮デアリマスガ、他ニ代辯スル者ガアリマセヌカラ申上ゲテ置キマス、此ノ領事館ニ出テ居ル調査書ニ反駁ヲ加ヘテ見マス、一番中心ニナツテ居ルハ第四ノ「組合」ノ中心人物ハ當リ得ザルベカラズ「ト」云フ所デアリマシテ、現地ニ於テハ自作農ヲ代表シテ居リマス爲ニ、「ダバオ」在留領事トハ時々議論シタコトハ事實デアリマス、領事ハ二年位シカ居リマセヌカラ事實ヲ知ラナイ、結婚問題トカ呼寄七問題トカ、時ニ領事ノ所ヘ行ツテ議論スルコトガアル、現地ニ於テハ領事ガタツタ一人ノ日本ノ官吏デアアルカラ威張ツテ居ル、書記生

ノ如キハ殿様ノヤウナ氣持ニナツテ減多ニ面會シナイ、サウ云フ所デ議論スルノデア...

校經營費ハ其ノ三千戸ノ自作農ガ出シテ居...

大會社デアアル所ノ太田興業ト古川拓殖ト...

ノ工商省ガ切符ヲ割當テテ、才前ノ所ハ...

致シマスナラバ、是コソ輕率ナル斷案ヲ下...

ノ取扱ヒニ付テノ御話ガアリマシタカラ、...

ニ缺點ガアルトハ思ヒマセヌ、デアリマス...

イ間ニ互ツテ我國ノ國力ヲ絕對ニ低下ス...

○辻政府委員 在外ニ於キマシテ今日經營...

○星委員 豫算委員會及分科會ニ於テ小...

○手代木隆吉君 時間ガ大分遅レテ居リマ...

○小磯國務大臣 學校ニ於ケル學生生徒ノ...

○山本政府委員 「ダバオ」ニ於ケル産業組...

○松尾圭查 星一君

○手代木隆吉君 時間ガ大分遅レテ居リマ...

○小磯國務大臣 學校ニ於ケル學生生徒ノ...

テ、假ニ故ニ樺太材ヲ五十万石特別ニ配給セラレマスナラバ、之ニ依ツテ少クモ千六百万圓ノ外貨獲得ガ出来ルノデアリマス、而シテ現在此ノ箱材ヲ製造致シマスル工場ガ、名古屋、和歌山ニアルノデアリマスガ、之ニハマダ此ノ五十万石ノ資材ヲ消化スルニ十分ナル餘剰能力ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、是ハ何等ノ助成モ要サナイ、又何等ノ犧牲モ拂ハズニ、唯丸太ヲ五十万石樺太カラ供給スルコトニ依ツテ、此ノ一千六百万圓ノ外貨獲得ガ直ニ可能ナラバ、リマス、斯ウ云フ關係ニアルノデアリマスガ、此ノ輸出貨材トシテ特別ニ樺太材ヲ供給サル御意思ガナイカドウカ、色々樺太ノ林政ニ付テハ從來承ツテ居ル所モアリ、或ハ既ニ過伐デアルトノ御意見モアリマスケレドモ、前カラ申シマス通り、是ハ所謂臨時ノ對策デアリマスカラ、故ニ年々五十万石或ハ百万石假ニ過伐致シマシテモ、樺太林政ノ根本的ニ破壞スルヤウナコトハ絕對ニナイト私ハ思フノデアリマス、其ノ見地ヨリ此ノ五十万石ノ資材ヲ供給サル御意思ガアルカナイカヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、拓務大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小磯國務大臣 樺太ニ於ケル伐採量ハ當局トシテ考ヘテ居ルヨリ非常ナ過伐ニナツテ居ルノデアリマス、御承知デゴザイマセウガ、要存置林年伐八百五十万石、ソレカラ不要存置林年伐二百六十万石、ソレニ未利用デアリマシタ林材カラ之ヲ集約的ニ伐採シテ行キマス爲ニ、年額百六十万石、合計一千二百七十万石位ヲ適當トシテ居ルニモ拘ラズ、現在既ニ百七十万石ヲ伐採シテ居ルノデアリマス、併シ今時代方時代デアリマス

シ、是非必要デアルトスララバ、樺太當局ト致シマシテハ、更ニ過伐ヲモ厭ハズ伐採スルト云フ氣分ダケハ持ツテ居リマス、併シ箱材ト云フヤウナ問題ニナリマシテハ、私ハ詳細ニ能ク承知シテ居リマセウカラ、樺太長官カラ御答ヲ申上ゲルコトニ致シマセウ

○樺居政府委員 只今大臣カラ御答ニナツタ通りデアリマシテ、殆ド私カラ別ニ附加ヘル必要ヲ感ズナイノデアリマスガ、特ニ箱材ダケニ問題ガ限定サレマスララバ、取扱ノ角度モ若干變ルカト思フノデアリマスガ、併シ樺太材ニ對シテハ、他ノ方面カラモ相當強ク望ミアルノデアリマシテ、現ニ樺太材ニ現在依存致シテ居リマシテ、ソノコトニハ、會社カラモ、外國資材等ノ輸入難、或ハ増産ト云フヤウナコトニ關聯致シマシテ、本年度カラ年期賣渡ガ解消致シマスノデ、其ノ後ノ始末ニ付テ相當熱心ヲ御希望ガアルノデアリマス、其ノ外申上ゲナイノデアリマスガ、歐洲方面カラモ相當大ニ要求ガアルマス、是等ノモノヲ只今大臣カラ御話ガアリマシタ如キ非常ニ過伐状態ニ於テ尙ホ處理シ得ルカドウカト云フコトハ、吾々非常ニ苦心ヲ感ズテ居ルノデアリマス、一種板挟ミノヤウナ状態ニ立ツテ居ルノデアリマス、力ニ餘裕ガアリマシテ、國家非常ニ際ニ樺太ノ資源ガ儘ニ立派ニ御役ニ立ツコトガ出来マスコトハ、固ヨリ吾々ノ本懐ト致ス所デアリマスガ、殆ド七百五十萬石或ハモツト以上ノ過伐状態ヲ今後相當期間繼續シナケレバナラナイコトガ現實ノ状態ニナツテ居リマスノデ、斯様ナ際ニ、吾々行政當局ト致シマシテハ、良心的ニ仕事ヲ運デ參リマス上カラハ、努メテ斯様ニ過伐

状態ヲ少シク緩和シテ行キタイト云フコトヲ念頭ト致シテ居リマス、箱材業者カラモ屢々陳情ヲ承ツテ居リマスガ、其ノ都度バムヲ得ザル事情ヲ申述ヘマシテ御諒解ヲ得テ居ル次第デアリマス、併シ只今ノ貿易關係カラ申シマスレバ、樺太材ガ著目ナル非常ニ關心ヲ持ツテ居ルコトニ關シマシテハ、十分ニ考慮致シテ居リマス、萬全ヲ盡ス心持ハアリマスガ、非常ニ苦境ニ立ツテ居ルト云フコトニ付キマシテモ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○手代木隆吉君 大臣並ニ長官ノ御答辯デ考慮ノ餘地ハアルヤウニ考ヘラレルノデアリマシテ、其ノ點ヲ諒ト致シマスガ、只今長官ノ御話ノ中ニ、コトバ、資材ノコトニ付モ御話ガアツタノデアリマスガ、樺太ノ蓄積量ト尙ホ成長率及ビ樺太ノ造林ノ計畫、色々左様ナモノヲ對照致シマシテ、又現在ノ伐採量、左様ナモノカラ推算致シマスレバ、中々餘裕ハナイト云フヤウナ結論ニ達ウシテモ到達スルコトト考ヘルノデアリマス、併シナガラ、コトバ、資材ノ問題ニ付テハ、是ハ科學ノ進歩ガアリマセウシ、尙ホ我國ノ南進政策ガ著々進捗シテ行クコトニナリマス、私ハ南洋方面ニ於テ至ツテ短期間ニ成木スル所ノ樹種ガアツテ、而モソレ等ハ「ル」及び其ノ他ノ樹木ナリ何ナリノ資材ニ十分ニ關合フモノガ多量ニ得ラレル、斯ウ云フ將來ヲ私ハ特ツテ居ルト思フノデアリマス、隨テ樺太百年ノ大計ト云フコトヨリ言ヒマスナラバ、大臣ノ言ハレル通り、又言ヒマスナラバ、大臣ノ言ハレル通り、又直接樺太ヲ扱ツテ居ラレル長官ノ考ヘラレル通りデアリマスケレドモ、私ハモウ少シ所謂大所高所ト申シマスカ、或ハ長イ目ト申シマスカ、サウ云フ所カラ考ヘマシテ、

ソレ程樺太ヲ、何時マデモ木材ニノミ依存シテ、ソレニ依ツテノミ樺太ガ開發サレルトカ、或ハ樺太ガソレニ依ツテ振興スルト云フコトバカリ考ヘル必要ハナイト私ハ思フノデアリマス、而モ時ハ所謂非常時デアリ、サウ長イ間ハ繼續スルコトデハナイノデアリマス、而シテ箱屋ガ彼此要求ガアルト云ウテモ、是ハ單ナル箱屋ノ利害關係デハナイノデアリマシテ、私ノ申上ゲルノハ、冒頭ニ申上ゲマシタヤウニ、今日ノ時局カラ貿易振興ガ国力ヲ停止サセナイ唯一ノ手段方法デアル、是ガ國策ノ第一位デアルト考ヘルノデアリマスカラ、ソレニ副フ爲ニ、多量ニ伐ツテ居ル上カラ言ヘバ五十万石ト云フモノハ大シクモデハアリマセウ、五十万石ヲ出セバ、故ニ千六百万圓ノ外貨ガ獲得出来ル、斯ウ云フコトガハツキリ分ツテ居ルナラバ、モウ一段ノ御考慮ヲ願ヒマシテ、而シテ此ノ原木ノ供給ニ對シテハ十分ナル條件ヲ附シテ、他ニ流用ナドスルコトノナイヤウニ、全部ハ輸出ニ充テラレルヤウナコトニ、一ツノ管理方法ナリ何カノ監督方法ヲ加レバ宜イノデアリマスカラ、左様ナコトトモ考ヘラレテ、是非此ノ點ハ實現スルヤウニ此ノ上トモ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、之ニ對シテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小磯國務大臣 實現セシメタイト云フ意圖ヲ以テ研究スルコトニ致シマス

○手代木隆吉君 次ハ南洋材ノ輸入ニ對スル關係デアリマスガ、御承知ノ通り現在ハ爲替資金ノ制限ヲ受ケテ居リマス爲ニ、事實前約半額ノ輸入ヨリナリノデアリマス、事變前約二百五十万石デアツタモノガ今日ハ正ニ其ノ半分ニツテ居リマス、而モ亦是ガ尙

本尙ホ過減スルヤウナ状態ニテリマス、ソレハ我國ノ爲替ノ關係ノ惡化、或ハ物價ノ騰貴、或ハ外地ニ於ケル税金ノ増額ト云フヤウナコトニ依ツテ、此ノ數額ガ段々減ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ今日ノ此ノ輸入ニ對シマシテハ、百八十万圓ダケハ輸出ノ責任ヲ負ハセラレテ居ルノデアリマス、左様ナ關係ニアルノデアリマシマシテモ、「ラワン」材ヲ主トシテ言フノデアリマスガ、「ラワン」材ノ原料ニスル「ペニヤ」ノ需要ガ激増致シタノデアリマス、是ハヤハリ歐羅巴大戰ノ影響デアリマシテ、瑞典、諸國邊リカラ入ツテ居リマス所ノ品物ガ出ナクナツタ、特ニ英吉利ノ如キ年々十億圓モノ木材ヲ輸入スル所デハ非常ニ打撃ヲ受ケテ居ル、ノミナラズ此ノ戰爭關係デ非常ニ木材ノ需要ヲ増シテ居ル、尙、今日我國ニ對シテ一口百万圓トカ五十萬圓トカ云フヤウナ註文ガ殺到シテ居ルノデアリマス、平時ノ時ニハ三千圓トカ五千圓トカ或ハ一万圓トカ云フヤウナ小口ガ多いノデアリマスガ、今日ハ左様ニ多量ノ註文ガ殺到シテ居ルガ、之ヲ受ケ切レナイデ居ルノデアリマス、此ノ點ニ對シマシテ、何トカ輸入ヲ緩和シテ、サウシテ之ヲ輸出ニ振向ケ、外貨獲得ヲ圖ルト云フヤウナコトヲ考ヘナケレバナラスコトデアリマスガ、現在ノ樺太ハドウシテモ是ハ增加スル譯ニハ行キマセウカラ、故ニ新ニ南洋材ノ輸入ニ所謂輸出「リンク」ノ制度ヲ設ケテ、サウシテ輸入ヲスル、ソレヲ製品ニシテ之ヲ輸出ヲスル、假ニ一千万圓ノ「ラワン」、「ペニヤ」ヲ輸出スル、サウスルト一千万圓ダケノ原木

ヲ輸入スルトナラバ、現在約百八十万圓見當デアリマスカラ、故ニ百二十五万石ノ「ラワン」材ノ輸入ガ出来ル、此ノ一千万圓ノ輸入ヲスル爲ニハ、其ノ中四十万石ヲ製品ニスレバソレデ一千万圓ノ輸出ハ出来ル譯デアリマス、サウナルトソコニ百八十万石殘ル、之ヲ國內ノ需要ニ充テルモ宜シ、或ハ又其ノ八十五万石ノ中カラ又之ヲ製品ニシテ海外ニ輸出スルモ宜シ、兎モ角モモツトモツト此ノ南洋材ノ輸入ヲ盛ニシテ、サウシテ故ニ先程カラ申上ゲテ居ルヤウナ目的ノ達成ニ充テル、尙又現在國內ニハ非常ニ木材ノ供給ガ足りマセウ爲ニ、所謂木材飢饉ト云フヤウナ状態ヲ來シテ居ルノデアリマスカラ、ソレデ一部分ハ其ノ飢饉ノ緩和ヲ圖ルコトモ出来ル譯デアリマス、是ハ獨リ拓務省ノ關係ダケデナク、爲替ノ關係、或ハ輸出入ノ關係デ大藏省ヤ商工省ニモ關係ノアルコトデアリマスガ、拓務省ノ立場カラ申シマスレバ、ヤハリ、故ニ南洋ニ伐採權ヲ持ツテ居ル會社ガ現ニ十三カアルヤウデアリマスガ、是等ガ輸入制限ヲ受ケテ實際事業ガ縮小サレテ居ル、斯ウ云フヤウナ色々ナ權益ヲ持ツテ居リナガラ十分活用ガ出来ナイデ居ルノデアリマスカラ、サウ云フモノヲ大イニ活用サセルコトモ出来ル、所謂權益ノ擴張ガ出来ル、サウシテ資材ノ獲得ガ出来ル、貿易ヲ振興スルコトガ出来ル、是等ヲ考ヘレバ所謂一石三鳥ト云フヤウナコトニナルノデアリマス、是等ノ點ニ付テ、拓務當局トシテ如何ナル御所見ヲ持ツテ居ルノデアリカ、大イニ是等ノ事ノ實現スルヤウニ御考慮ニナル御意思ガアルカドウカ、之ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○小磯國務大臣 南洋材ノ輸入緩和ニ關シマシテハ、實ニ業者方面ヨリ色々ノ意見ヲ聽イテ居リマス、此ノ問題ニ關シマシテハ財務、貿易兩當局ト能ク相談ヲ致シマシテ、善處方研究ヲ致シタイト思ヒマス

○手代木隆吉君 只今大臣ノ御答辯デアリマシタガ、ドウゾ十分ニ御考慮ヲ願致シタイト思ヒマス、次ニハ公用材ノ供給ニ關スル問題デアリマス、公用材ノ內容ハ詳細クハ申上ゲマセウ、是ハ其ノ數ヲハツキリ申上ゲルコトヲ差控ヘマスガ、相當ナ多量ヲ額ニ達シテ居ルノデアリマス、尙ホ又所謂「ブロッタ」ニ出マス所ノモノ、是等モ多イノデアリマスガ、現在國內デ生産致シテ居ル所ノ木材ノ數量ハ、約八千万石ニナツテ居ルヤウデアリマス、輸入材ガ之ニ加ハル譯デアリマスガ、其ノ中カラ多量ノ公用材ヲ供給スルガ爲ニ、非常ニ木材供給難ニ陥ツテ居ル、御承知ノ如ク全國ノ木材取引ノ大手筋ハ、東京、名古屋、大阪デアリマス、此ノ三市場デ大體賄フノデアリマスケレドモ、近頃デハ此ノ三市場デアリマス、一道三四府四十三縣各府縣ニマデ行ラヌヤウナ状態ニナツテ居ルノデアリマス、所ガソレニ對シマシテ是等ノ多量ノ木材ハ、國有林ト民有林ト何レカラ多ク出シテ居ルカト申シマス民有林ノ方ガ非常ニ多ク出シテ居ル、其ノ出シテ居ル割合ヲ見マスト、丁度國有林ヨリ民有林ノ方カラ三割七分程度尙供給致シテ居ル、而シテ蓄積量ヲ見マスト、國有林ヨリ民有林ノ方ガ三割七分少イノデアリマス、是ハ皆細カナ統計ガアリマスカレドモ、ソレハ殊更ニ申上ゲマセウガ、割合デ申シマス、民有林

ノ方ハ國有林ヨリモ三割七分蓄積量ガ少イ分違ニ多ク出シテ居ル、斯ウ云フ關係カラ民有林ノ濫伐ト云フコトニナルノデアリマス、而シテ其ノ結果所謂治山水ト云フコトニ付テ色々ナ影響ヲ及ボスヤウニナツテ來テ居リマス、此ノ點カラ公用材ノ供給ニ付テ考慮ヲ要スルト思フノデアリマス、蓄積量ノ少イ所ノ民有林カラ多ク供給ヲ受ケテ居ル、而モ國有林ノ方ハ原木ヲ出ス上ニ於テ、民有林ヨリモ手輕ニ出來ルコトニナツテ居ル、是ハ一概ニドレモモト申スノデハアリマセウケレドモ、概シテ國有林ノ方ハ伐採ニモ運搬ニモ都合ガ宜シイ、民有林ノ方ハソレ等ノ點ニ於テハ不利益ガ多イノデアリマス、サウ云フヤウナ色々ナ比較ノ問題モアリマスガ、原料ノ少イ所カラ餘計持ツテ來ルヤウナコトハ遊デアルカラ、何トカ公用材ダケハ最も多ク蓄積ヲシテ居ル國有林、即チ拓務省ノ關係カラ申シテ樺太材、又內務省ノ關係カラ申シテ北海道材、又農林省ノ關係ニ於テハ内地ノ國有林、其ノ他御料林ハアリマスカレドモ、是ハ除外致シマシテ、此ノ國有林ノ中カラ多ク供給スルヤウニシタナラバドウデアるか、是ハ公用材ヲ要求スル方面ト、是等ノ國有林ノ關係者ト相談ヲナサレバ、直チニ話ハ付ク譯デアリマス、要ルダケノ數量ヲ適當ニ按持致シテ、各、其ノ要求ニ應ズレバ宜イノデアリ、左様ナコトト致シマスレバ民有林ノ濫伐モナクナツテ來、治山水ノ關係ノ憂モナクナル、而シテ非常ニ所謂木材飢饉ニ悩ムコトニナレバ、是ハ緩和サレル、ソレデ私ハ故ニドレダケノ程度ヲ出セバ大體間ニ

合カト云フコトヲ申シマス、現在固有林ノ出シテ居ル數量ノ二割位ヲ多ク出シサヘスレバ、宜シト思フノデアリマス、二割程度餘計ニ出サセル、ソレカラ餘前ニ申上ゲマシタ樺太材ノ輸出ニシテ輸出シタ代價ニ依ッテ、或ハ米材ナリ南洋材ナリ或ル程度ノ輸入ヲスル、公用材ノ點ニ付テモウ一點考ヘルコトハ米材、南洋材ヲ公用材ニ相當利用スベキモノデアルト考ヘルデアリマス、ナゼカト云ヘバ、非常ニ太ク長イ所ノ材ヲ隨分要求サレルヤウデアリマス、之ヲ現在ノ固有林カラ供給スルコトニナルト容易デアリマセヌ、内地ニシマシテモ、北海道ニシテモ、樺太ニシテモ、太クサウシテ長イ物ヲ出セト云ハレテモ、是ハ中々容易ナコトデアリマセヌ、然ルニサウ云フモノハ假ニ輸出ニデモ向ケテサウシテ其ノ代價ニ依ッテ、安イ所ノ米材ナリ南洋材ナリヲ入レテ、之ヲ持つテ行ケバ、ソレテ所謂強ク大キイ、斯ウ云フモノヲ用ニ合セルコトガ出来ル、是ハ一舉兩得ト云フコトニナルデアリマセヌ、斯ウ云フヤウナコトガアルノデアリマスカラ、斯ウ云フ點モ是ハ併セテ考フベキコトデアル、公用材ハ少クモ民有林カラ供給サセヌ、固有林カラ供給サセ、サウシテ而モ固有林ノ中、輸出ニ適スルモノハ之ヲ輸出サセテ、ソレニ依ッテ長ク太イモノハ南洋材ナリ、米材ニ依ッテ之ヲ用ニ合セル、斯ウ云フヤウナ所ニ行クベキモノダト思ヒマス、而シテ先程申上ゲマシタ通り大體ニ於テ、固有林ハ現在出シテ居ル二割程度増産スレバソレノ間ニ合フノデアリマス、此ノ點ニ付テ拓務當局、及ビ内務關係者ハ北海道長官ノ御意見、農林省ノ山林局長ノ御答辯ヲ得タイト

○小磯國務大臣

拓務關係ニ於テハ、公用材ニ持つテ行キマス爲ニハ、ドウシテモ樺太カラ持つテ行クヨリ仕方ガナイ、樺太材ニ於キマシテハ先刻申上ゲマシタ通り、今日ノ伐採量ハ大分過伐ニナツテ居リマスケレドモ眞ニ必要デアルトスレバ更ニ多少ノ期待ハ出来ルカモ知レルト云フ考ヲ持つテ居リマス、需要ノ程度等ニ鑑ミマシテ、必要ニ應ジ、關係當局ト相談ノ結果善處致シタイト思ヒマス、外國材ノ輸入緩和ニ關シマシテハ先刻御答辯申上ゲタ通りデアリマス

○農林政府委員

私ハ水産局長デアリマシテ、先程電話私ニ來イト云フコトデアリマシタガ、ソレハ山林局長ノ問題デアツタカトハナイカト思ヒマス、今交渉シテ居リマス

○戸塚政府委員

只今ノ御話ノ北海道ニ關スルコトデアリマスガ、私モ寧ろ手代木サシヨリハ精シクナイノデ、北海道ノ全體ノ事情ハ十分ニ辨ハマセヌ、殊ニ御話ノ中ニ、民有林ノ方ガ伐尺出シニクイノニ、無理ニ其ノ方カラ多ク伐ツテ居ルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、私ノ考ヘル所デアハ左様ニ考ヘテ居リナイノデアリマス、是ハ企畫院其ノ他政府當局ト十分研究致シマシテ、公用材ノ供出量ヲ決メテ、只今年ニ實行シツツアル所デアリマス、唯民有林方面ガ伐尺ニ陥リ過ギテ、治山治水ノ上ニマデ害ク所ガアルト云フ御話デアリマシタガ、此ノ點ハ全ク御同意デアリマシマス、併シ其ノ原因ハ別ノ方カラモ考ヘラレルノデアリナイカト云フヤウニ思ヒラレルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ北海道シテハ、今後治山治

○手代木隆吉君

農林當局ノ答辯ハ後デ伺フコトニ致シマスガ、山林經營ノ問題ニ關係シマシテ一言申添ヘテ置キタイト思フコトハ、ヨク過伐トカ濫伐トカ言ヒ、又一方ニハ所謂施業案ト云フモノヲ拵ヘラレテ、一定ノ計畫ノ下ニ經營ヲサレル斯ウ云フコトハ固ヨリ當然デアリマスケレドモ、樺太ニシテモ、又北海道ニシテモ、内地ニシテモ、ドウモ伐尺ガケデ、之ヲ造林スルト云フコトガ甚ダ遅レテ居ルト私ハ思フ、樺太ニシマシテモ所謂木ヲ賣ツテ收入ヲウツト上ゲテ居リナガラ、ソレヲドレダケ還元シテ居ルカト云フト、収入ノ三分一ニモ充タナイ或ハ二割ソコノ位ヲ森林費ニ還元シテ居ル、斯ウ云フコトハ一體宜シクナイト私ハ思フ、北海道モ同様デアリマス、内地モ同様デアリマス、私ガ専門家ノ意見ヲ叩イタ所ニ依リマシレバ、少クとも六割位ハ還元シナケレバイケナイ、山ハ伐ルベキモノデアアル、ドン／＼伐ツテ跡ハ植樹イデ行クコトガ、所謂山ノ利用

水ノ上カラ考ヘマシテモ、今少シク山林政策ヲ恒久的ニ立直サナケレバナラスト存ジマシテ、著任々其ノ調査ニ掛ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、御承知ノ通り民有林ニ付テハ、マダ十分施業案ガ成立ツテ居ラナイ所モ多クイデアリマス、此ノ點ニ付テハ今明確ニ御答申上ゲル所マデ參ツテ居リマセヌケレドモ、十分今後注意シテ參リタイト思フテ居ルノデアリマス、尙ホ國有林ノ方ヲ何割カ増シテ、民有林カラハ公用材ヲ出サナイヤウニシテハト云フ御話デアリマシタガ、是ハ全國的ノ問題ニ無論關聯スルノデアリマスガ、先程樺太長官カラ御話ガアリマシタヤウニ、特殊ノ方面カラモ本年度以降ノ厄大ナル要求ガアルノデアリマス、サナキダニ國有林ハ過伐ニ陥ツテモ相當増伐ヲシナケレバナラスト云フ覺悟ヲ目下致シテ居ルヤウナ状態デアリマス、此ノ點ニ付テハ實ハ其ノ要求ト、吾々ノ方デ應ジ切レル限度トノ開キガ相當ニアリマス、此ノ點ニ付テハ實ハ苦慮致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○手代木隆吉君

只今ノ御答辯ノ中北海道長官ノ御話ハ、民有林々々ノ御話デアリマスガ、民有林ハ北海道シテハ國有林ニ比シテハ供出量ハ少クナツテ居リマス、漸ク國有林ノ八分ノ一ヨリナイヤウデアリマス、濫伐トカ、過伐トカ云フコトハ、餘リ認メラレナイト云フ御話デアリマスガ、サウ云フヤウナ極ク割合ガ少イ點カラ、サウ云フ感ジヲ持つテ居ラレルノダラウト思ヒマス、内地府縣ノヤウニ民有林ノ非常ニ多イ所、是ハ確ニ今申上ゲタヤウナ濫伐、過伐ガ行ハレテ居ルノデアリマス、而シテ特別ニ此ノ際北海道長官ニ申上ゲタイト思フ

○戸塚政府委員

先程私ノ申上ゲタノヲ、北海道ノ民有林ハ濫伐ニハ陥ツテ居ラナイト云フハ申上ゲタヤウニ御聽取デアツタヤウデアリマスガ、私ハアベコベニ、内地ハ勿論デアリマスガ、北海道ト雖モ既ニ積易ク實現出来ルト思フノデアリマスカラ、此ノコトガケラ附加ヘマシテ、委員外トシテ大分長イ時間ノ頂戴致シマシタコトヲ、茲ニ感謝致シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○松尾主査

是ニテ質疑ノ全部ヲ終リ致シマシタ、次會ハ明後二十一日午前十一時二十分カラ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會

過伐ニ陥ツテ居ルノデ、今後ヲ慎レテ恒久的ノ対策ヲ講ジタイ、斯ウ云フ風ニ申上ゲタノデアリマス、又國有林ニ付テ三割デモ五割デモ大丈夫ダト云フ御話デアリマスガ、或ハ蓄積量ノミカラ考ヘマシテ、左様ナ結論ガ出テ參ルカモ知ラマセヌ、併シ北海道ニハマダ殆ド手ヲ著ケナイ山、手ヲ著ケラレナイ山ガ大方アリマス、是ガ爲ニハ伐尺出スベキ手段、詰リ道路トカ、サウ云フ風ナ施設ガ講セラレナケレバ、其處マデハ出サレナイ、現在施業案ヲ立テテ輪伐ヲ致シテ居リマスル範圍デハ、只今ノ計畫ニ依ッテ本年ナリ來年ナリノ計畫ニアル所ノモノガ一杯ノ状態ニアル、是ハ私赴任初メデアリマスガ、永年經驗ノアル者カラ十分聽取致シテ居ル所デアリマス、其ノ邊ハ誤解ヲ戴カナイヤウニ願ヒマス

○松尾主査

此ノ場合私モ樺太ノ問題ニ付キマシテ、一二點拓務當局ニ御尋シタイト思ヒマス、ソレハ先刻石坂豐一委員ガ一寸御述ニナツタ、北海道ニ合併ノ問題デアリマスガ、之ニ付テ拓務大臣ハ御意見ヲ發表セラレマセヌデシタガ、大臣ノ御所見ヲ此ノ際承リタイト思ヒマス

○小磯國務大臣

第一ノ樺太ヲ北海道ニ合併スル問題ニ關シテノ拓務當局ノ意見ト云フ御質疑デアリマス、私共ノ考ヘト致シマシテハ、樺太其ノモノノ地理的關係カラ申シマシテ、是ハ末長く獨立スベキ運命ヲ持子、更ニ他ノ發展ヲスベキ將來性ヲ持つテ居ルトモ考ヘラレマスノデ、北海道ニ合

ハ、樺太ト北海道トノ比較カラ申シマス、北海道ノ方ハ所謂原木ニ非常ニ餘裕ヲ持つテ居ル、此ノ點ハ私ノ調査スル所ニ依ッテ明瞭デアリマス、特ニ北海道ハ尙ホ所謂成長率ニ對シテ伐尺餘地ガ相當ニアル、樺太ハ成長率ニ對シテノ關係ハ、確ニ其ノ點カラ見マシテ現在ニ進メバ過伐ニナルデセウガ、北海道ハ現在ノ伐採量ダケハ決シテ過伐ニハナラナイ、成長率ダケモ伐尺ツテ居ラナイ、斯ウ云フ關係ニアルノデアリマス、此ノ點ハ將來公用材ト云ハズ、民材ニ於テモ、北海道ノ國有林ハ、我が國內ニ於ケル木材ノ供給關係ニ於テ大イナル役割ヲ持つテ居ルモノダト云フコトハ、能ク是ハ御諒解ヲ願フテ置カナケレバナラスト思フノデアリマス、サウ云フ點カラ是ハ出来ルダケ北海道モ多ク伐尺ベキデアルト思フ、成長率ニ連スルダケモ、今伐採ヲシテ居ラヌノデアリマスカラ、成長率ニ比シテハ尙ホ相當ニ伐採スル餘地ガアル、此ノ點カラ言ヘバ、今申上ゲマシタ公用材ヲ引受ケルナント云フ點ニ於テモ、北海道ハ尙ホ餘裕綽々タルモノガアルト云ハナケレバナラナイノデアリマシテ、前ニ申シマシタノハ、二割ト云フコトヲ平均申シタノデアリマスガ、北海道ハ三割デモ四割デモ暫クノ間引受ケテモ差支ナイト思フノデアリマス、サウ云フ點ハ、赴任初メダト云フ御話デアリマスカラ、御尤モデアリマスガ、能ク御考察ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○戸塚政府委員

先程私ノ申上ゲタノヲ、北海道ノ民有林ハ濫伐ニハ陥ツテ居ラナイト云フハ申上ゲタヤウニ御聽取デアツタヤウデアリマスガ、私ハアベコベニ、内地ハ勿論デアリマスガ、北海道ト雖モ既ニ積易ク實現出来ルト思フノデアリマスカラ、此ノコトガケラ附加ヘマシテ、委員外トシテ大分長イ時間ノ頂戴致シマシタコトヲ、茲ニ感謝致シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○松尾主査

是ニテ質疑ノ全部ヲ終リ致シマシタ、次會ハ明後二十一日午前十一時二十分カラ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會

○手代木隆吉君

農林當局ノ答辯ハ後デ伺フコトニ致シマスガ、山林經營ノ問題ニ關係シマシテ一言申添ヘテ置キタイト思フコトハ、ヨク過伐トカ濫伐トカ言ヒ、又一方ニハ所謂施業案ト云フモノヲ拵ヘラレテ、一定ノ計畫ノ下ニ經營ヲサレル斯ウ云フコトハ固ヨリ當然デアリマスケレドモ、樺太ニシテモ、又北海道ニシテモ、内地ニシテモ、ドウモ伐尺ガケデ、之ヲ造林スルト云フコトガ甚ダ遅レテ居ルト私ハ思フ、樺太ニシマシテモ所謂木ヲ賣ツテ收入ヲウツト上ゲテ居リナガラ、ソレヲドレダケ還元シテ居ルカト云フト、収入ノ三分一ニモ充タナイ或ハ二割ソコノ位ヲ森林費ニ還元シテ居ル、斯ウ云フコトハ一體宜シクナイト私ハ思フ、北海道モ同様デアリマス、内地モ同様デアリマス、私ガ専門家ノ意見ヲ叩イタ所ニ依リマシレバ、少クとも六割位ハ還元シナケレバイケナイ、山ハ伐ルベキモノデアアル、ドン／＼伐ツテ跡ハ植樹イデ行クコトガ、所謂山ノ利用

○戸塚政府委員

先程私ノ申上ゲタノヲ、北海道ノ民有林ハ濫伐ニハ陥ツテ居ラナイト云フハ申上ゲタヤウニ御聽取デアツタヤウデアリマスガ、私ハアベコベニ、内地ハ勿論デアリマスガ、北海道ト雖モ既ニ積易ク實現出来ルト思フノデアリマスカラ、此ノコトガケラ附加ヘマシテ、委員外トシテ大分長イ時間ノ頂戴致シマシタコトヲ、茲ニ感謝致シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○松尾主査

是ニテ質疑ノ全部ヲ終リ致シマシタ、次會ハ明後二十一日午前十一時二十分カラ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會

<p>○議案第一號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>	<p>○議案第二號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>	<p>○議案第三號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>	<p>○議案第四號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>
<p>○議案第五號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>	<p>○議案第六號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>	<p>○議案第七號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>	<p>○議案第八號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>
<p>○議案第九號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>	<p>○議案第十號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>	<p>○議案第十一號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>	<p>○議案第十二號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>
<p>○議案第十三號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>	<p>○議案第十四號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>	<p>○議案第十五號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>	<p>○議案第十六號 豫算委員第一分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日</p>

昭和十五年二月二十日印刷

昭和十五年二月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 豫算委員第一分科(外務省及拓務省所管)會議錄(速記)第四回

會議 昭和十五年二月二十一日(水曜日)午前十一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

主席 松尾 孝之君

池田 秀雄君

森井 義道君

守屋 榮夫君

兼務

田村 秀吉君

最上 政三君

櫻井兵五郎君

川崎 克君

牧野 良三君

森下 國雄君

小笠原三九郎君

水谷長三郎君

田原 春次君

石坂 繁君

出席國務大臣左ノ如シ

外務大臣 有田 八郎君

拓務大臣 小磯 國昭君

出席政府委員左ノ如シ

外務參與官 小高長三郎君

外務省東亞局長 堀内 千城君

外務省歐亞局長 西 春彦君

外務省亞米利加局長 吉澤清次郎君

外務省通商局長 山本 熊一君

外務省調査部長 松宮 順君

外務書記官 石井 康君

拓務政務次官 松岡 俊三君

拓務參與官 男爵加藤 成之君
拓務省管理局長 副島 勝君
拓務省殖産局長 植場 鐵三君
拓務省拓務局長 安井誠一郎君
拓務書記官 森重 千夫君

朝鮮總督府政務總監 大野藤一郎君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

朝鮮總督府鐵道局長 山田新十郎君

臺灣總督府總務局長 森岡 二郎君

臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君

樺太廳長官 榎居 俊一君

南洋廳長官 北島謙次郎君

主在ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 手代木隆吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中外務省及拓務省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中外務省及拓務省所管

○松尾主在 是ヨリ會議ヲ開キマス、前會ニ農林省ノ政府委員ノ御答辯ガ保留ニナツテ居リマスカラ、此ノ際御答ヲ願ヒマス

○田中政府委員 前會ハ丁度役所ノ方ニ歸ツテ居リマシテ、間ニ合ヒマセヌデ恐縮致シマシタ、御質問ノ要旨ガハツキリシテ居ナイノデ答辯ガ如何カト思ヒマスガ、又御質問ニ依ツテ御答辯致シマス、軍需工業ノ用材ヲ成ベク國有林カラ供給スルヤウニト云フ御質問デアツタト承ツテ居リマスガ、私共ノ管轄致シテ居リマス國有林關係ニ於

キマシテハ、實ハ平和時ニハ、成ベク治水、國土保安其ノ他林力ノ維持等ニ付キマシテ、計畫的ニ相當伸張性ヲ以テ林業經營ヲヤラシテ居ルノデアリマスガ、併シソレハ結局斯ウ云フ非常時ニ於キマシテ、成ベク國家ノ御用ニ役立テセルト云フ意味モ持ツテ居ルコトト私ハ確信シテ居ルノデアリマス、特ニ國有林カラ用材ヲ出來ルダケ供給スルト云フ考ヲ以テマシテ、出來得ル範圍ニ於キマシテ施業計畫ノ變更マデ致シマシテ、軍需其ノ他ノ要求ニ應ジテ居ル次第デアリマス、殊ニ特殊材、例ハ樺等ノ如キ特殊材ハ國有林ニ負フ所ガ多分ニアリマスノデ、之ニ付キマシテハ特別ノ増産ノ豫算マデ載キマシテ、又今後ニ於キマシテモ御協賛ヲ願フテ、其ノ増産ヲ圖フテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○手代木隆吉君 此ノ間ノ質問ニ對シテ大體今ノ御答辯デ宜シイ譯デアリマスケレドモ、唯私ハ先達テハ、大體二割程度國有林ノ増産スルガ適當ダト思フ、又北海道ノ如キハモット伐採スル可能性ヲ持ツテ居ルト云フ話ヲ致シタノデアリマスガ、公用材ヲ國有林ニ依存スルガ宜イト云フコトハ、要スルニ民有林ノ過伐若クハ濫伐、是ト限ミ合シテノ話デアツタノデアリマシテ、隨テ其ノ目的ヲ達成スルノニハ、少クモ二割以上ノ増産ヲ國有林ニ致サナケレバナラス譯ナノデアリマス、殊ニ農林省ノ所管ニ係ル國有林ハ、東北ハ非常ニ多ク持ツテ居ルノ

デアリマスガ、一面ニハ此ノ爲ニ所謂東北ノ振興ヲ妨ガテ居ルトマデ言ハレテ居ルノデアリマス、統計ノ上カラ御覽ニナツテモ分ル通り、岩手縣ニシテモ青森縣ニシテモ殆下國有林ヲ覆ハレテ居ルヤウナ感ガアルノデアリマシテ、斯様ナ處ニ於テハヨリ一層多ク伐採スルコトガ、地方ノ振興ノ爲ニモ必要デアルト思フノデアリマシテ、今ノ局長ノ御答辯中、有事ノ際ニ御役ニ立ツコトモ國有林ノ一ツノ使命トシテ考ヘテ居ツタノコト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、ソレト相違シテ斯様ナコトヲ尙ホ一ツノ理由ト致シテ、特ニ多ク伐採スルト云フコトヲ考ヘテ載カナケレバナラスシ、今申上ル通り、少クモ二割以上増産シマセヌト、民有林ノ過伐濫伐ヲ防グ譯ニモ行カズ、又現在ノ國內ノ木材需要ヲ緩和スル譯ニモ行カズノデアリマス、此ノ點ニ付テ或ル程度ト云フボンヤリシタコトデナク相當ナ、今申上ルヤウナ程度ニマデ伐採ナサル御意思ガアルカドウカ、其ノ點ヲモウ一度御伺シタイト思ヒマス

○田中政府委員 二割程度以上國有林ノ伐採ヲセヨトノ御話デアリマスガ、實ハ私共ノ計畫デハ、今割合ヲ記憶シテ居リマセヌガ、二割内外、或ハ二割以上ニナリハシナイカト思ツテ居リマス、勿論此ノ事變前カラ言ハバ二割以上ニナツテ居ルト思フノデアリマス、昨年ニ比較致シマシテモ相當増伐スル計畫デアリマス、實ハ御承知ノ通りニ努力資材等ノ不足、殊ニ東北方面ハ案外

第一類第二號 豫算委員第一分科會議錄 第四回 昭和十五年二月二十一日

九〇

昭和十五年二月二十一日印刷

昭和十五年二月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 院 豫算委員第二分科(內務省及司法省所管)會議錄速記第一回

會議

昭和十五年二月十六日(金曜日)午前十時三十七分開議

出席委員左ノ如シ
主席 金井 正夫君
堤 康次郎君
名川 侃市君
大木貞太郎君
三宅 正一君

衆務
中島彌團次君 工藤 鐵男君
石坂 豊一君 原 夫次郎君
田原 春次君 牧野 良三君
出席國務大臣左ノ如シ
內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君
出席政府委員左ノ如シ
內務參與官 青山 憲三君
內務省神社局長 中野與吉郎君
內務省地方局長 挾間 茂君
內務省警保局長 山崎 巖君
內務省土木局長 成田 一郎君
內務書記官 灘尾 弘吉君
內務書記官 三好 重夫君
北海道廳長官 戸塚九一郎君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中內務省所管
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中內務省所管
(第一號)昭和十五年度歳入歳出總豫算案追加案中內務省所管

○金井主査 是ヨリ第二分科會ヲ開會致シ

第一類第三號 豫算委員第二分科會議錄 第一回 昭和十五年二月十六日

マス、議事ニ入ルニ先チマシテ御諮リ致シ
タイコトガゴザイマス、第二分科會ハ御承
知ノ通り內務省及司法省所管ノ豫算ヲ議
題ト致スノデアリマスガ、分科會ノ日程ハ
當初六日ト定メラレテ居リマシタガ、豫算
總會ノ時間ガ延ビマシテ、豫定ヨリ延期致
シマシタ關係上、分科會ハ三日間ト云フコ
トニナツテ居リマス、極メテ短イ時間内ニ
多クノ御質問ガアルダラウト存ジマスカラ、
此ノ際議事ノ進行上各省別ニ審議ヲ願ヒタ
イト存ジマス、內務省、司法省ノ順序ニ致
シタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセス
カ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○金井主査 御異議ガナレバ其ノヤウニ
決定致シマス
又御質問ノ日程ハ、大體左ノ通りニ定メ
タイト思ヒマス、內務省所管ハ本日ノ午前
ト午後、司法省ハ明日十七日ノ午後、十九日
ハ午前中ダケデゴザイマスカラ、是ハ內務
省所管ノ残りノ御質問ヲシテ載キタイト存
ジマスガ、左様決定スルコトニ御異議ゴザ
イマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○金井主査 御異議ナシト認メマス、尙ホ
議事ノ都合上多少豫定ニ變更ガアルカモ知
レマセヌガ、ドウゾ其ノ邊ノコトモ御諒承ヲ
願ツテ置キマスソレデハ內務省所管ノ豫算
ヲ議題ニ供シマス、大臣ガ御見エニナリマ
セスカラ御見エニナルマデ暫クお待ちヲ願
ヒマス、內務大臣ガ御見エニナリマシタ

カラ、是カラ內務省所管ノ豫算ニ付テ御説
明ヲ願ヒマス、內務大臣
○兒玉國務大臣 昭和十五年度豫算案領ヲ
御説明申上ゲタイト思ヒマス、昭和十五年
度內務省所管一般會計豫算ノ要求額ハ、經
常部ニ於キマシテハ三億三千六百八十六萬
餘圓、臨時部ニ於キマシテハ一億七千三百
九十五萬四千餘圓、合計五億千八百一十一萬
九千餘圓デアリマシテ、之ヲ前年度豫算額三
億三千四百五十萬圓ニ比較致シマス
ルト、經常部ニ於キマシテ一億九千二百七
十六萬九千餘圓增加致シマシテ、臨時部
ニ於キマシテ一億二千九百九十九萬九千餘圓
ヲ減少致シテ居リマス、差引合計ニ於キマ
シテ一億七千九百四十六萬九千餘圓ヲ増加
致シテ居リマス、而シテ十五年度豫算ニ於
ケル増減ノ大要ニ關シマシテハ、豫定經費
要求書中ニ於テ各事項毎ニソレノ説明ハ
致シテアリマスガ、其ノ主要ナルモノニ付
テ概要ヲ茲ニ申述ベタイト存ジマス
先ツ神社ニ關スル經費ト致シマシテ、神
祇院設置ニ要スル經費二十三萬餘圓、神宮
關係施設整備ニ要スル經費二十萬圓、阿蘇
神社社殿修築並境内整理ニ要スル經費二萬
千餘圓、護國神社祭資供給ニ要スル經費二
萬五千餘圓ヲ計上シテ居リマス、地方財
政ニ關スル經費ト致シマシテ、地方稅改正
ニ伴ヒ要スル經費二億七千八百四十七萬二
千餘圓、町村吏員充實助成ニ要スル經費五
百七十萬圓、町村吏員互助施設助成ニ要ス

ル經費百萬圓、部落振興ニ要スル經費三十
萬圓ヲ計上シテ居リマス、警察施設ニ關ス
ル經費ト致シマシテ警察費連帶支辨金ノ増
加千二百四十三萬七千餘圓、經濟統制ニ伴
フ警察機構整備ニ要スル經費四百九十六萬
餘圓ヲ計上シテ居リマス
次ニ土木ニ關スル經費ニ付キマシテハ、
之ヲ河川、港灣及道路ニ大別シテ御説明致
シマス、河川ニ關スル經費ト致シマシテ、
庄川、猪名川及ビ菊池川新規三河川改修
ニ要スル經費ノ本年度年割額五十萬圓、
阿武隈川及ビ蘆田川二河川改修費追加ニ要
スル經費ノ本年度年割額十三萬餘圓、
信濃川維持ニ要スル經費ノ追加五萬餘圓、
直轄砂防工事追加ニ要スル經費ノ本年度年
割額十萬八千餘圓、府縣砂防工事助成費追
加ニ要スル經費ノ本年度年割額二百一十四
千圓、中小河川改良助成ニ要スル經費ノ本
年度所要額四十八萬千餘圓、災害防除施設
費補助ニ要スル經費百萬圓ヲ計上シ、港灣
ニ關スル經費ト致シマシテ、關門海峡改良
ニ要スル經費ノ本年度年割額二百萬圓、八
戸港修築並補助ニ要スル經費ノ本年度年割
額十五萬圓、土崎港及和歌山港修築並補助
追加ニ要スル經費ノ本年度年割額三十七萬
三千餘圓、地方港灣改良助成ニ要スル經費ノ
本年度所要額二十八萬千餘圓、臨海地帯造
成ニ要スル經費ノ本年度年割額五十萬圓、
道路ニ關スル經費ト致シマシテ、道路改修
及助成ニ要スル經費五百八十五萬七千餘圓、
國道改良ニ要スル經費四百七十四萬五千餘

第一類第三號 豫算委員第二分科會議錄 第一回 昭和十五年二月十六日

向分ヲナイデハ困ル、是ハ來月位ニナルト

申シマスルヤウニ、農村ノ者ハ自分ノ屋敷

○石坂委員 引續キ質疑ヲシテ差支アリマ

○金井主査 差支アリマセス

○石坂委員 此ノ際内相ニ差意イデ何ツテ

○石坂委員 引續キ質疑ヲシテ差支アリマ

○石坂委員 引續キ質疑ヲシテ差支アリマ

○石坂委員 引續キ質疑ヲシテ差支アリマ

○石坂委員 引續キ質疑ヲシテ差支アリマ

○石坂委員 引續キ質疑ヲシテ差支アリマ

○石坂委員 引續キ質疑ヲシテ差支アリマ

○石坂委員 引續キ質疑ヲシテ差支アリマ

○石坂委員 引續キ質疑ヲシテ差支アリマ

○石坂委員 引續キ質疑ヲシテ差支アリマ

ニナツテ居ルヲデアリマスガ、ドウモ其ノ取締ガ本當ニ出來テ居ラナイト思フノデアリマス、開取引ハ殆ド公然ト行ハレテ居ルト云フノガ今日ノ現狀デアラウト思フノデアリマスガ、併シ私ハ一面カラ言ヘバ、是ハ無理カラスコトデ、此ノ取締ノ衝ニ當ツテ居ル係員ノ數ト云フモノハ非常ニ少シト思フノデアリマス、私ノ郷里ハ人口約十萬ノ地方ノ中都市デアリマスルガ、其處ニドレダケノ經濟統制ノ取締ノ係員ガ居ルカト云フコトヲ聞イテ見マスルト、僅ニ警察署ニ五人ノ取締員ガ居ルダケデアリマス、人口十萬デゴザイマシテ、取締ヲ受ケル方ノ業者ハ大方三千ヲ超エテ居ルト思ヒマスガ、其ノ三千ヲ超エテ居ル業者ニ對シテ、僅ニ五名ノ取締ノ係員シカ居ラスノデアリマスカラ、是ハ取締ガ出來スノガ當然デアラウト思フノデアリマスガ、併シ斯ウ云フ狀態デウツチヤツテ置キマス、私ハ困ツタ結果ニナラウト思フノデアリマス、此ノ取締ノ係員ノ少イト云フコトハ、私ノ地方ダケデハナク、主ニ是ハ全國大體斯ウ云フ比例デ行ツテ居ルト思フノデアリマスガ、一體是デ取締ガ出來ルト御考ニナツテ居ルノデアリマセウカ、ドウカ内務大臣ノ御所見ヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマス

シテ居ルノデアリマス、併シ一面ニ於テハ警察全體ヲ有機的機能ニ依リマシテ、全般的ニ經濟警察ニ向ツテ力ヲ協力セルコトニ致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ、必ズシモ今日ノ經濟警察ノ力ガ十分ナリトハ考ヘナイノデアリマス、併シ一面カラ考ヘテ見マス、警察官ニ對シテハ實ニ同情スベキ點ガアリマスノデ、今マデノ警察官ノ働キトハ全ク違フタ經驗ノ無イ方面ニ向ツテ働カナレバナラヌヤウナコトニ相成ツテ居リマスノデ、隨ヒマシテ經濟警察ニ於キマシテハ、成ベク犯人ヲ起サヌヤウニ、豫防的ヲ趣旨トシテ行ツテ居ルノデアリマス、又民間ニ於キマシテモ價廉ナイモノデアリマスカラ、知ラズ識ラズ其ノ經濟警察ノ御厄介ニナルト云フヤウナ場面ヲ生ジテ來マスノデ、此ノ點ハ警察官ニモ氣ノ毒デアリマス、又一般民衆ニモ氣ノ毒ナ點ガ多キアル、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、警察側ノ立場ト致シマシテハ、數ノ問題ヨリハ寧ろ經濟警察ニ屬スル人ノ知識ナリ經驗ナリヲ、モウ少シ充實シテ行ク必要ガアルト思ツテ居ルノデアリマス、地方ニ於キマシテハ其ノ必要ニ應ジマシテ、民間トノ懇談會ヲ開キ、又度々講習會ヲ致シマシテ經濟知識ヲ與ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、併シ此ノ經濟的ノ問題ト云フモノハ中々素人ニハ急ニ心得難イモノデアリマスノデ、今日ニ於テモ經濟警察官ノ機能ガ必ズシモ十分ナリトハ申セナイノデアリマス、又數ニ於テモ必ズシモ是ノ十分ナリトハ考ヘテ居リマセウ、併シ差當リ私ノ考ヘテ居リマスノニハ、此ノ經濟警察官ノ能力ヲ發揮シテ、數ノ少イ點ヲ補ツテ行クコトガ先ツ第一歩デハナイ

カト考ヘテ居ルノデアリマス、現ニ此ノ間電氣ノ統制令ガ出マシテ、是ハ何デモ「メー」トル」ヲ検査スレバソレデ宜イノデ、極ク簡單ナコトデアアルト言ヒマスケレドモ、私自身考ヘテ見テモ、電氣ノ知識ガ一ツモナイ者ガ工場ナリ何ナリニ入ツテ、メーターヲ見テ、ソレデ検査ヲシロト言ハレテモ、タシテモ能力ヲ發揮スルコトガ出來ナイノデカカト云フヤウナコトニ致シマシテ、其ノ下準備ヲ致シタヤウナコトデアアルノデアリマス、只今御話ノヤウナ風ニ必ズシモ今日ノ數ガ十分ナリトハ申セマセウケレドモ、一面ニ於テハ願ハタハ警察官ノ能力ヲ充實致シマシテ、サウシテ少イナガラモ民衆ニ迷惑ヲ掛ケズ、而シテ此ノ統制經濟カヲ起リマスル缺點ヲ豫メ防止スルコトガ出來ヤウナ風ニ努力シタイト考ヘテ居ルカ第デアリマス

○見玉國務大臣 此ノ經濟統制令ヲ起ツテ參リマスル色々ノ弊害、殊ニ現在ニ於テ現ハレテ居リマス所ノ色々ノ弊害ハ、是ハ取締ノ方面ヨリモ根本ニ於テ物價政策ナリ需給ノ關係ナリヲ建直スニアラズンバ、如何ニ經濟警察ガ活動致シマシテモ是ガ益蓋ナシカシイチヤナイカト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ一面ニ於テハ物價政策ナリ需給ノ關係ヲシテ適正ナラシムルト同時ニ、ソレニ順應致シマシテ、此ノ經濟警察ノ活動ヲ滑カニシテ行キタイト思フノデアリマセウガ、ソレニ伴ヒマシテ補助機關トシテ青年團ナリ又警防團ナリヲ使ツタラドウカト云フ御話ハ一應御尤ノヤウニ考ヘマスルガ、

是ハ取締ノ方ニ青年團ナリ警防團ナリヲ使ヒマスヨリハ、寧ろ新シク統制令ガ出マシタナラバ其ノ統制ノ趣旨ヲ徹底セシムル方ニ、サウ云フ團體ノ活動ヲ促シテ、而シテ一般民衆ノ統制經濟ニ關スル知識ヲ高め而シテ其ノ法ニ觸レナイヤウナ風ナ助長的ノ方面ニ向ツテ活動シテ貰フ方ガ有效チヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ無論取締モ一面ニ於テハ十分ニシナケレバナリマセウノデ、只今御話ノ點ニ付キマシテハ當局ニ於テ篤ト一ツ考慮シテ見タイト、斯ウ思ツテ居リマス

○大本委員 内務大臣ハ物價並ニ物價ノ前途ニ對シテ私共考ヘテ居ルヨリハ大分樂觀ヲサレテ居ルヤウデアリマスガ、内務大臣ガ御考ニナツテ居ルヤウナ風ニ行ケバ洵ニ結構デアラウト思ヒマスルガ、私共ハドウモサウ云フ風ニ行カヌノチヤナカラウト云フコトヲ心配ラシテ居ルノデアリマス、多少ソコニ私共ノ見解ト内務大臣ノ見解トノ相違ガアルヤウニ思ヒマスルガ、兎ニ角此ノ問題ハ十分ニ御研究ヲ御願シタラト思ヒマス

○見玉國務大臣 日用品殊ニ食料品ノ價格並ニ需給ノ關係ヲ滑ラカニスルコトハ政府トシテ全力ヲ盡サナケレバナラヌコトト思フテ居リマス、不幸ニシテ其ノヤリ方ガ不十分デアリマシタル場合ニ於テハ、只今御話ノヤウナ場合ヲ生ジナイトハ限ラナイト思フノデアリマス、併シ其ノ時ニ當ツテドウ云フ風ニ用意ラシテ居ルカト云フ御質問ニ對スル御答ハ甚ダ難シイ問題デアアルノデアリマスガ、私トシマシテハ今日ノヤウナ國民情勢ニナツテ居リマスル所ニハ、成ベク國民ト共ニオ互ニ理解シ合フテヤルコトヲ滑ラカニ氣分ヲ滑ラカニ置クコトガ大事ダト思ヒマス、隨テ私ト致シマシテハ、飽クマデモ政府ノ所信ヲ坦懐ニ世間ニ示シ、又

シ政治ノ問題ニ付キマシテハ、最悪ノ場合ヲ考ヘテ之ニ對應スル方法ヲ御講ジニナツテ置ク必要ガアラウト思フノデアリマス、之ニ火ガ付イテ後ニ騒イダ所ガ、ソレハ何ニモナラスノデアリマスルカラ、ドウカ其ノ點ハ一ツ斯ウ云フ不詳ナ問題ガ起ラスヤウニ御努力ヲ御願致シマスルコトハ固ヨリデアリマスルガ、若シ萬々一左様ナコトノ起ツタ場合ニハ、間髪ヲ容レズ是ガ取締ノ出來マスルヤウニ、十分ノ御用意ヲ御願シテ置キタイト思フノデアリマス

譯デアラウト思フノデアリマスルガ、併シ是ニモ私共ハ限度ガアルト思フノデアリマシテ、如何ニ素質ノ宜イ人ト申シマシテモ、實際ニ生活ガ出来ナイ、非常ニ生活上ノ壓迫ヲ受ケルヤウニナリマスルト、自ら其處ニ緊張シテ精神ガ弛緩スルコトニナルデアラウト思フノデアリマスルガ、内務省ハ斯ウ云フ階級ノ官吏モ多ク包容シテ居ラレド、デアリマスルガ、之ニ對シマシテ内務大臣ノ御所見ヲ承ツタラト思フノデアリマス

○兒玉國務大臣 只今ノ警察官其ノ他給料ノ低イ官吏ノ生活状態ニ付テノ御話、洵ニ御尤ノコトト考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ私ト致シマシテハ、最も多ク下級ノ官吏ヲ統制シテ行クベキ立場ニアリマスルノデアリマス、何トカ致シマシテ此ノ物價騰貴ニ伴フ今日ノ情勢ニ應ジマシテ、官吏ト致シマシテハ忍ブダケノコトハ忍ビマスケレドモ、御話ノヤウニ之ニモ限度ノアルコトデ、國家財政ガ許シマスルナラバ、甚ニ何等カノ増俸ト云フコトモ考ヘテ見タイト思フテ居ルノデアリマス、差當リノ所ニ於キマシテハ、地方其ノ他ニ於キマシテ、豫算ノ範圍内ニ於テ増給ヲ早メルトカ、或ハ特別手當ヲアルトカ云フヤウナコトニ依リマシテ、出來ルダケ優遇ノ途ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス、併シ是トモ十分ナコトトハゴザイマセスケレドモ、取敢ズ只今申上ゲマスヤウナ方法ヲ以テマシテ、幾分ナリトモ其ノ苦痛ヲ輕クシタイト考ヘテ居ルノデアリマス、實ハ今日ノ閣議ニ於キマシテ、新聞ニモ出テ居リマスル家族手當ノ問題ヲ決メテ發表スルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、是モ亦其ノ一助ニナルコトトハ

アリマス、是モ亦其ノ一助ニナルコトトハ思ヒマスルガ、只今御話ノヤウナ點ハ政府トシテモ財政ノ現状ト比ベマシテ、或ル機會ニ於テ考ヘナケレバナラス大切ナコトト私ハ考ヘテ居リマス

昨年ノ暮アタリノ實情ヲ見テ居リマスルト、斯ウ云フ階級ノ官吏ハサウ買溜ナドヲ澤山スル譯ニイカスノデアリマスルカラ、ヤレ米ガナイ、醬油ガナイト云フテ、繁激ナ勤務ヲ終ヘテ歸ツテ來テ、サウ云フ物ノ買入レニ走ツテ居ルヤウナ實情ヲ見マスルト、洵ニ氣ノ毒ニ思ヒマスルシ、又治安ノ上カヲ申シマシテモ、斯ウ云フ状態長ク地ツテ置イテハ、甚ダ心配ニ堪ヘスと思フノデアリマスルガ、ドウカ此ノ消費組合ノコトニ付テハ特ニ御研究ヲ御願シタイト思フノデアリマス、御所見ヲ承ルコトガ出來マスレバ仕合セデアリマス

○兒玉國務大臣 消費組合ノ問題ハ、今日ノ需給ヲ滑ラカニスル點カラ見マシテモ、亦其ノ他ノ點カラ見マシテモ、洵ニ必要ナコトデアツテ、又研究スベキ問題ト思フテ居リマスガ、只今御話ノヤウニ、從來鐵道ニ於キマシテハ、鐵道ニ於ケル特殊ノ事情カラ消費組合ガ非常ニ廣汎ニ成長シテ行ハレテ居ルノデアリマス、今日吾々ガ苦シク居リマスル其ノ一ツハ、必需品ヲ得ルコトガ困難ト云フヤウナコトモアリマスルガ、其ノ點カラ考ヘマスルト今日ノ事情ニ適應シテオ五ニ消費組合ヲ作りマシテ、レ等ノ不便ヲ除クコト云フ事柄ハ洵ニ時宜ニ適シタル一ツノ考案ト一層ニ感ズルヤウナ譯デアリマス、此ノ點ハ特ニ一ツ研究ヲ致シマシテ、官吏ヲシテ、金ノミナラス、物ノ供給ニ於テモ出來ルダケ不便ノナイヤウニ心配スルコトニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

届過ギルト云フヤウナ意見ガ内務省ノ方ヘ出マシテ、其ノ後ノ統制ノ方針ハ大分變ツテ居ルヤウナコトモ聞イテ居リマスガ、内務大臣ハ此ノ問題ニ對シテ如何ナル御意見ヲ持ツテ居ラレドデアリマスカ、御意見ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 新聞統制ノ問題ハ、御話ノヤウニ前々内閣デアリマスカ、一齊ニ全國ノ新聞ノ實情ヲ調査致シマシテ、所謂一口ニ言フト、惡徳新聞ト申シマスカ、是等ト認メル所ノモノハ成ベク整理合併サセテ、地方民ノ餘リ迷惑ニナラナイヤウニト云フ意味合ニ於キマシテ、之ヲ整理統制ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、ソレト同時ニ又一面ニ於テ必要ナル新ナル新聞ヲ許可致シタル數モ可ナリ多イデアリマス、必ズシモ一縣一新聞ト云フコトヲ理想トスル必要ハナイト考ヘマスルノデ、適當ナル言論機關デアリマシテ、ソコニ民意ノ發達、輿論ノ反映ヲハツキリ致シマス場合ニ於キマシテハ必ズシモ一縣一新聞ト限ル必要ハナイト思ヒマス、唯今ノ所謂惡徳新聞ナルモノハ一ツ整理モシ、又一面ニ於テ、此ノ言論ノ上ニ於テ治安ノ維持ノ上ニ差支アルモノニ付キマシテハ、相當制ヲ加ヘテ行カケレバナラスデアリマスルガ、統制ヲ極端ニシナケレバナラスト云フヤウナ考ハ持ツテ居ラスデアリマス

豫算委員第二分科會議錄
第一回 昭和十五年二月十六日
第一類第三號

○金井主査 開會致シマス、午前二引續キ
午後一時二十分閉議

○金井主査
午後一時二十分閉議
午後一時二十分閉議

○金井主査
午後一時二十分閉議
午後一時二十分閉議

○金井主査
午後一時二十分閉議

○金井主査
午後一時二十分閉議

○金井主査
午後一時二十分閉議

○金井主査
午後一時二十分閉議

御願シテノデアリマシテ、欲ナ話ヲ申上
ガルヤウデアリマスガ、本年ハ第一位トシ
テ大蔵省ノ方ニ豫算ヲ御請求ヲ御願シタイ
ノデアリマス。

ソレカラモウ御伺シタイノハ、中央
モ同様ノ事情ト思ヒマスガ、地方ノ縣廳ナ
ドデハ、課長ト云フモノガ、高等文官ノ試
驗ニ合格シテ半年カ一年内務省其ノ他
ノ事務ヲ練習ヲシテ、地方へ出て来テ一躍
シテ課長ニナツテ、數十人、多イノハ數百
人ノ部下ヲ指揮シテ事務ニ當ラレテ居ルノ
デアリマスガ、ドウモハハ私ハ皆ク行ツテ
居ラヌト思フデアリマス、何サマ學校ヲ
出て半年カ一年事務ヲ見習ツテ、サウシテ
ヤツ来テ、斯ウ云フ最モ責任ノ重イ仕事
ニ當ルノデアリマスカラ、十分ニ業積ヲ舉
ゲルコトガ出来ヌト云フノハ私ハ當然ナコ
トデアラウト思ヒマス、要スルニ在來ノ習
慣ト申シマスカ、内規ト申シマスカ、左様
ナモノガ私ハ惡イデアラウト思フデアリ
マス、特ニ近頃ノヤウニ、府縣ノ事務ガ
非常ニ繁劇ニナリマシタルシ、又其ノ權能ガ
強化サレマシタル今日ニ於テハ特ニソレヲ痛
感スルノデアリマス、又一方突然ヤツ来
テサウ云フヤウナ重イ責任ヲ持タサル年
ノ若イ青年官吏ノ人々ト致シマシテモ、

十分ニ練習ノ出来テ居ラヌ練達シテ居
ラヌノ、急ニ重イ責任ヲ持タサルコト
ハ、却テ有難迷惑ヲハナイカト思フノ
デアリマス、私共ノ考トシテハ、地方ノ府
縣ナド課長トシテ重イ責任ヲ負擔スル人
ハ、ナハリ判任官カラ叩キ上ゲテ練達能
ナ人ヲ其ノ衝ニ當ラシテ、サウシテ中央カ
ラ來タ若イ高文ノ試験ヲ通ツテ居ル人デ、
將來知事トナリ又中央へ歸ツテ局長次官トナ
ルヤウナ人々ハ、其ノ下テ事務ヲ練習ヲサ
ナドヲ特ニ判任官カラ叩キ上ゲテ練達能
ナ人ニヤウシテ居リマスガ、非常ニ好評デ
アリマス、皆ガサウ云フ課長ハ喜ンデ迎ヘ
テ居ルノデアリマスルガ、ドウモ、聞ク所
ニ依リマスルト、如何ニ地方長官ガサウ云フ
コトヲ痛感シテヤラウト思ヒマシテモ、一
ツノ内規ガアツテ、或ハ内規ナク、規
定カモ分リマセムガ、自由ニナラヌト云フ
コトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、是ナド
ハ洵ニ馬鹿々々シイ話デ、サウ云フ人ヲ迎
ヘル一般ノ部下ト致シマシテモ、亦地方ノ
民衆トシテモ、洵ニ是ハ迷惑ナコトデア
リ、殊ニ事務ニ慣レヌ中ニ、サウ云フ衛
當ヲサレテ苦勞ヲセネバナラス若イ人々ニ
取ツテモ、其ノ苦勞ハ有難クナイコトデ、コ
ンナコトハ私ハドウシテモ改正ヲセネバ
ラヌト思ヒマスルガ、只今ノ官吏制度ノ改
正ニ付テモ、サウ云フコトヲ加味シタイト
云フ御話デ、斯ウ云フコトガ加味サレルコ
トニナツテ改正サレルコトニナレバ、相互
ノ利益ハ非常ナモノデアラト考ヘルノデア
リマスルガ、此ノ點ニ付テハ是非十分ナ御
研究ヲ願ヒタイト思ヒマス。

ソレカラ地方制度ノ改正ノ問題デアリマ
スガ、承ル所ニ依リマス、本年ハ御提出
ニナラヌサウデアリマスガ、如何ナル理由
デ本年御提出ヲ御見合セニナツタルデアリ
マスカ、急ニ斯ウ云フ改正ヲ行フ必要ガナ
イト云フヤウナ御考デアリマスガ、御聽カ
セテ願ツタラト思ヒマス。

○見五國務大臣 地方制度ノ改正ハ、大イ
ニ其ノ必要ヲ實ハ認メテ居ルノデアリマス、
御承知ノヤウニ多年ノ問題デアリマスルノ
デ、地方制度調査委員會ニ於テモ、色々ノ

御議論ノ末ニ、成案ヲ得タモノデアリ、又
問題ガ難カシクテ、マダ解決ニ至ラナイモ
ノモアルノデアリマス、而シテ其ノ一部分
デモ、此ノ議會ニ出シタル宜イチャナイカ
ト云フヤウナ御議論ヲ承ルノデアリマスケ
レドモ、此ノ地方制度ヲ一貫シテ之ヲ檢討
シテ見テ、今日ノ時代ニ之ヲ適應シテ、將
來日本ノ自治制度ニ貢獻スルノニ、ドノ形
ガ一番宜イカト云フコトニ付キマシテ、私
ト致シマシテノ檢討ガ十分デナイノデアリ
マス、隨ヒマシテ十分ナモノ、信念ノナ
イモノヲ此ノ議會ニ出シマシテ、將來ニ禍
ヲ貽スヤウナコトガアツテハ相成ラヌト存
ジマシテ、今議會ニハ遺憾ナガラ提出ヲシ
ナイト云フコトニ致シタルデアリマス、議
會後ニ於キマシテ、一貫シテ之ヲ檢討ヲ加
ヘマシテ、出来ルガク審査ヲ急ギ、而シテ
出来ルガク早日時期ニ於テ御審議ヲ仰ダヤ
ウナ機會ニ到達シタイ、斯様ニ考ヘテ居リ
マス。

○大本委員 地方制度ニ付キマシテハ、私
ハ改正スベキ點ガ大分アラウト思フノデア
リマス、殊ニ下級ノ自治團體ノ選舉ノ方法、
制度ナドニ至ツテハ、大分私ハ改正ノ必要
ガアラウト思フノデアリマシテ、私共ガ常
ニ痛感ヲ致シマスルハ、選舉ナドニ付テハ
出来ルガク一ツ範圍ニヤリタイ、又精銳ニ
ヤラスコトヲ考ヘネバナラスト思フノデア
リマス、所ガ現在ノ地方ノ下級自治體ノ議
員ノ選舉ナドハ、如何ニ精銳ニヤラウト思
ツテモ、ヤレヌヤウナ制度ニナツテ居ルト
私ハ思フノデアリマス、丁度五六年前、後
藤内務大臣ノ當時ニ、地方制度ノ改正ノ案
ガ出マシテ、私共モ其ノ當時委員ニナツテ
居ツタルデアリマスガ、一體地方ノ市町村

官トシテ許サレテ居ル範圍ニ於テ、課長
ナドヲ特ニ判任官カラ叩キ上ゲテ練達能
ナ人ニヤウシテ居リマスガ、非常ニ好評デ
アリマス、皆ガサウ云フ課長ハ喜ンデ迎ヘ
テ居ルノデアリマスルガ、ドウモ、聞ク所
ニ依リマスルト、如何ニ地方長官ガサウ云フ
コトヲ痛感シテヤラウト思ヒマシテモ、一
ツノ内規ガアツテ、或ハ内規ナク、規
定カモ分リマセムガ、自由ニナラヌト云フ
コトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、是ナド
ハ洵ニ馬鹿々々シイ話デ、サウ云フ人ヲ迎
ヘル一般ノ部下ト致シマシテモ、亦地方ノ
民衆トシテモ、洵ニ是ハ迷惑ナコトデア
リ、殊ニ事務ニ慣レヌ中ニ、サウ云フ衛
當ヲサレテ苦勞ヲセネバナラス若イ人々ニ
取ツテモ、其ノ苦勞ハ有難クナイコトデ、コ
ンナコトハ私ハドウシテモ改正ヲセネバ
ラヌト思ヒマスルガ、只今ノ官吏制度ノ改
正ニ付テモ、サウ云フコトヲ加味シタイト
云フ御話デ、斯ウ云フコトガ加味サレルコ
トニナツテ改正サレルコトニナレバ、相互
ノ利益ハ非常ナモノデアラト考ヘルノデア
リマスルガ、此ノ點ニ付テハ是非十分ナ御
研究ヲ願ヒタイト思ヒマス。

ソレカラ地方制度ノ改正ノ問題デアリマ
スガ、承ル所ニ依リマス、本年ハ御提出
ニナラヌサウデアリマスガ、如何ナル理由
デ本年御提出ヲ御見合セニナツタルデアリ
マスカ、急ニ斯ウ云フ改正ヲ行フ必要ガナ
イト云フヤウナ御考デアリマスガ、御聽カ
セテ願ツタラト思ヒマス。

○金井圭章 午後二時十分開議
○中島委員 大臣ニ御致シマスルガ、大
臣ハ本年度出サレマシタ豫算ニ付キマシテ
モ、閣議ニ於キマシテ十分ニ御承知ノコト
デアラウト思ヒマスルガ、百三億ノ中ニハ
非常ニ重大ナル軍備ノ費用ガアリマシテ、
殊ニ陸軍ノ軍備ノ費用ガアルノデアリマス、
其ノ陸軍ノ軍備ノ費用ト致シマシテハ、豫
算ニアリマスル通りニ、之ヲ集計致シマスル
ト、細カイコトハ申上ゲ兼ねルノデアリ
マスガ、兵備ノ改善費、航空、防空費、作
戰資料費、即チ今度ノ新國防計畫ハ此ノ三
ツカラ成ツテ居ルノデアリマス、之ヲ合計
シテ見マスルト、大昭和十五年年度以降四
箇年乃至六箇年間に於テ三十五億九千七百
萬圓ト云フ金ヲ使フコトニナツテ居ルノデ
ス、私ガ豫算總會ニ於テ陸軍大臣ニ質問致
シマシタ時ニ於テハ、此ノ三箇年間に國際
情勢ヲ見テ是ダケノモノヲ計上シテアルト
云フコトデアル、是ハ御承知ノ通り是ダケ
ノ軍隊ヲ日本ノ國內ニ所謂兵備ノ改善ニ依
ツテ作り、ソレカラ作戰資料、又航空防空
ト云フヤウナモノヲ整備スル計畫ヲ致シテ
居ルコトニ付キマシテハ、從來ノ國軍ト一
變シテ状態デアリマシテ、人員ニ於テモ二
十萬ノモノナラバ何十萬要ルカ、是ハ秘密
ニシテ置キマスルガ、數十萬ノ増加ニナツテ
來マスシ、又陸軍ノヤリ方デハ支那ニ於テ
師團ヲ増設シツツ、内地ニ於テハ又補充隊
ト云フモノヲ作ツテ留守部隊ト一精ニナツ
テ相當大キナモノガ出來ツアルノデス、
全ク今ノ生産擴充ノ計畫、今ノ關係ハ昭和十
一二年頃ノ二十萬單位ノ軍隊ヲ稱軸ト致シ

マシタモノデアリマシテ、此ノ國防計畫ヲ
大臣ハ閣議ニ於テ是認サレ、サウシテ本議
會へ提出サレタト致シマシタラバ、此ノ
國防計畫ハ、ソレ支兩面ノ作戰モアルカラ絶對
的ニ必要デアラト陸軍大臣ハ答辯サレテ一
厘一毛モ負カラナイモノデアラト云フヤウ
ナ御答デアリマシタ、サウシマシタル、此ノ
モノガ出來タダゲデハ動カナイ、能ク研究
シテ見マスルト、内務省ニ關係スル點ガ非常
ニ重大デアリマシテ、少クトモ今ノ内務省
ノ土木局ニ於キマスル所ノ港灣關係ニ於キ
マシテ、神戸港トカ、大阪、八幡、門司、
下關、博多ト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、
此ノ國防計畫ト對照致シマシテ、之ニ應ジ
タ一ツノ計畫ヲ立テナケレバ私ハ此ノ國防
計畫ト云フモノハ一朝大陸ニ事方有ツタ場
合ニ於キマシテハ、師團ヲ移ス上ニ於キマ
シテ非常ニ困難デアル、此ノ戰爭ニ於キマ
シテモ博多港ト大阪港ト皆容易ニ早クナレ
ナクテ作戦上翻艦ヲ來シタト云フヤウナ點
モアリマス、是ハ單ニ私ガ空想的ニ言フノ
デアリマシテハ、此ノ國防計畫ヲ遂行スル
ナラバ此ノ軍隊ヲ動カス、内地ニ飾ツテ置
クンチヤナイ、大陸へ持ツテ行クト云フ關
係カラ言ヒマシテ、内務省トシテハ我國ノ
國策ト致シマシテノ鐵道ノ輸送ノ擴張ハ無
論必要デアリマス、通信モ必要デアリマス
シ、又外地ノ各港灣、釜山トカ、木浦トカ、
鎮南浦トカ、靑島トカ、太清トカ、上海ト
カ云フヤウナ上陸スル地點モ必要デアリマ
スシ、又滿鐵、北支鐵道、朝鮮ノ鐵道ヲ又
變ヘテ行カナケレバイカヌノデアリマスガ、
内務省ノ關係スル限リニ於キマシテハ、是
等ノ軍隊ヲ動カシテ行クニ付キマシテ、非
常ニ重大ナル關係ヲ持ツテ居ルノデ、港灣

午後一時二十分開議
○金井圭章 開會致シマス、午前ニ引續キ
質疑ヲ致シマス——中島君
○中島委員 大臣ニ御致シマスルガ、大
臣ハ本年度出サレマシタ豫算ニ付キマシテ
モ、閣議ニ於キマシテ十分ニ御承知ノコト
デアラウト思ヒマスルガ、百三億ノ中ニハ
非常ニ重大ナル軍備ノ費用ガアリマシテ、
殊ニ陸軍ノ軍備ノ費用ガアルノデアリマス、
其ノ陸軍ノ軍備ノ費用ト致シマシテハ、豫
算ニアリマスル通りニ、之ヲ集計致シマスル
ト、細カイコトハ申上ゲ兼ねルノデアリ
マスガ、兵備ノ改善費、航空、防空費、作
戰資料費、即チ今度ノ新國防計畫ハ此ノ三
ツカラ成ツテ居ルノデアリマス、之ヲ合計
シテ見マスルト、大昭和十五年年度以降四
箇年乃至六箇年間に於テ三十五億九千七百
萬圓ト云フ金ヲ使フコトニナツテ居ルノデ
ス、私ガ豫算總會ニ於テ陸軍大臣ニ質問致
シマシタ時ニ於テハ、此ノ三箇年間に國際
情勢ヲ見テ是ダケノモノヲ計上シテアルト
云フコトデアル、是ハ御承知ノ通り是ダケ
ノ軍隊ヲ日本ノ國內ニ所謂兵備ノ改善ニ依
ツテ作り、ソレカラ作戰資料、又航空防空
ト云フヤウナモノヲ整備スル計畫ヲ致シテ
居ルコトニ付キマシテハ、從來ノ國軍ト一
變シテ状態デアリマシテ、人員ニ於テモ二
十萬ノモノナラバ何十萬要ルカ、是ハ秘密
ニシテ置キマスルガ、數十萬ノ増加ニナツテ
來マスシ、又陸軍ノヤリ方デハ支那ニ於テ
師團ヲ増設シツツ、内地ニ於テハ又補充隊
ト云フモノヲ作ツテ留守部隊ト一精ニナツ
テ相當大キナモノガ出來ツアルノデス、
全ク今ノ生産擴充ノ計畫、今ノ關係ハ昭和十
一二年頃ノ二十萬單位ノ軍隊ヲ稱軸ト致シ

マシタモノデアリマシテ、此ノ國防計畫ヲ
大臣ハ閣議ニ於テ是認サレ、サウシテ本議
會へ提出サレタト致シマシタラバ、此ノ
國防計畫ハ、ソレ支兩面ノ作戰モアルカラ絶對
的ニ必要デアラト陸軍大臣ハ答辯サレテ一
厘一毛モ負カラナイモノデアラト云フヤウ
ナ御答デアリマシタ、サウシマシタル、此ノ
モノガ出來タダゲデハ動カナイ、能ク研究
シテ見マスルト、内務省ニ關係スル點ガ非常
ニ重大デアリマシテ、少クトモ今ノ内務省
ノ土木局ニ於キマスル所ノ港灣關係ニ於キ
マシテ、神戸港トカ、大阪、八幡、門司、
下關、博多ト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、
此ノ國防計畫ト對照致シマシテ、之ニ應ジ
タ一ツノ計畫ヲ立テナケレバ私ハ此ノ國防
計畫ト云フモノハ一朝大陸ニ事方有ツタ場
合ニ於キマシテハ、師團ヲ移ス上ニ於キマ
シテ非常ニ困難デアル、此ノ戰爭ニ於キマ
シテモ博多港ト大阪港ト皆容易ニ早クナレ
ナクテ作戦上翻艦ヲ來シタト云フヤウナ點
モアリマス、是ハ單ニ私ガ空想的ニ言フノ
デアリマシテハ、此ノ國防計畫ヲ遂行スル
ナラバ此ノ軍隊ヲ動カス、内地ニ飾ツテ置
クンチヤナイ、大陸へ持ツテ行クト云フ關
係カラ言ヒマシテ、内務省トシテハ我國ノ
國策ト致シマシテノ鐵道ノ輸送ノ擴張ハ無
論必要デアリマス、通信モ必要デアリマス
シ、又外地ノ各港灣、釜山トカ、木浦トカ、
鎮南浦トカ、靑島トカ、太清トカ、上海ト
カ云フヤウナ上陸スル地點モ必要デアリマ
スシ、又滿鐵、北支鐵道、朝鮮ノ鐵道ヲ又
變ヘテ行カナケレバイカヌノデアリマスガ、
内務省ノ關係スル限リニ於キマシテハ、是
等ノ軍隊ヲ動カシテ行クニ付キマシテ、非
常ニ重大ナル關係ヲ持ツテ居ルノデ、港灣

會議員ノ選舉ナドニ、個々ノ面接ヲヤラズ
ニ選舉ガ出來カドウカト云フヤウナコト
ガ、問題ニナツタルデアリマスガ、大體市
會議員ノ選舉ハ、是ハ大キナ市ニナレバ別
問題デアリマスガ、町村會議員ノ選舉ナド
ハ實際ニ、間接カ直接カ、個々ノ面接ナシ
ニハ選舉ガ行ハレスト云フノガ、私ハ本當
ノコトデアラウト思フノデアリマス、其ノ
時ニモ委員ノ一人カラ、一體内務大臣ハ町
村會議員ノ選舉ニ、個々ノ面接ヲ行ハズニ
出來ルト御考ニナツテ、斯様ナ法規ヲ御出
シニナツタノカ、又ソレハ十分承知シテ居
ルガ、承知セヌヤウナ風ヲ裝ウテ御出シニ
ナツタノカト云フヤウナ、皮肉ナ質問ガ出
シタガ、流石ノ後藤君モ苦笑スルノミデ、
御答辯ガ出來ナカツタコトヲ記憶シテ居リ
マス、私ハ出來レバ選舉ハ最モ精銳ニサシ
タイ、又精銳ニ出來ルヤウナ風ニ制度ヲ改
正ヤスルコトガ必要デアル、斯ウ考ヘテ居
リマスルノデ、斯ウ云フ點ハ十分ニ御研究
ニナツタ上デ、改正案ヲ作製サレルコトガ、
最モ必要デアラウト考ヘルノデアリマス、
又下級ノ自治體ノ選舉ニ付テハ、現行ノ制
度ハ餘リニ歐米ヲ模倣シテ、デモクラシー
ノ色彩ガ強過ギルト思フノデアリマス、
是ハ私ノミナラス、大體私共ノ同僚ノ代議
士諸君ナドモ、十分痛感ヲシテ居ラレルト
思ヒマスルガ、何分代議士ニハ選舉ト云フ
モノガ非常ニ大切ナコトデアリマスルカラ、
減多ナ意見ヲ發表シテ、選舉ノ時ニ又支障ガ
アツテハ困ルト云フヤウナ問題カラ、斯ウ
云フ點ハ十分ニ承知シテ居リナガラ、當局
者ノ耳ニ比較的に入ラス點ガ多いノデアラウ
カト私ハ思フノデアリマス、内務大臣ナド
ハ貴族院ニオ居テゴザイマスカラ、サウ

云フ事ニ付テハ比較的の才耳ニ入ルコトガナ
カラウト思フノデアリマスガ、今日ノ地方
ノ下級自治體ノ現狀ヲ見マスルト、ドウシ
テモ其ノ點ヲ考慮セネバナラスト私ハ考
ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テモ議會ナド
デ餘リサウ云フヤウナ議論ガナイ、寧ロ反
對ノ議論ガ多いカラト云フヤウナコトヲ御
考ヘニナラズニ、其ノ點ハ苦勞人デアラレ
マスル内務大臣ハ十分御考ヘニナツテ、來
ルベキ地方制度ノ改正案ニハ、サウ云フ點
ヲ十分加味サレル必要ガアラウト私ハ考ヘ
ルノデアリマスガ、内務大臣ノ御所見ヲ承
リタイト思ヒマス。

○見五國務大臣 實ハ今議會ニ提案ヲ致シ
マセヌノ、其ノ理由ガ一ツアルノデ、此
ノ議會ヲ通ジマシテ成ベク廣ク御意見ヲ承
リマシテ、其ノ御意見ヲ採入レマシテ、
再檢討ヲ致シタイト思フテ居リマス、只今
ノ御意見ハ有難ク傾聴致シマシタ

○大本委員 其ノ點ゴザイマスガ、議會
ヲ通ジテノ御意見ト云フト、今私ガ申上ゲ
タクヤウナ事情ガ大分アラウト思フノデア
リマスガ、サウ云フヤウナ點ニ付テハ議會
ノ内ノ聲ガナイカラ、サウ云フコトハ別ニ
考慮スル必要ガナイト云フ風ニ御考下セラ
スヤウニ、特ニ内務大臣ニ御願致シタイ、
下級自治體ノ選舉ノ方法ニ付テハ、此ノ儘
デ抛ツテ置イテハ困ルト云フコトハ、大體
私ハ有識者ハ皆痛感シテ居ル所デアラウト
思ヒマスルガ、重ネテ其ノ點ヲ御願申上ゲ
テ置キマス、ソレデハ私ノ質問ハ是デ切
リマス。

○金井圭章 ソレデハ實食ノ爲ニ休憩致シ
マシテ、午後一時カラ開會致シマス
午後零時二十分休憩

○金井圭章 ソレデハ實食ノ爲ニ休憩致シ
マシテ、午後一時カラ開會致シマス
午後零時二十分休憩

○金井圭章 午後二時十分開議
○中島委員 大臣ニ御致シマスルガ、大
臣ハ本年度出サレマシタ豫算ニ付キマシテ
モ、閣議ニ於キマシテ十分ニ御承知ノコト
デアラウト思ヒマスルガ、百三億ノ中ニハ
非常ニ重大ナル軍備ノ費用ガアリマシテ、
殊ニ陸軍ノ軍備ノ費用ガアルノデアリマス、
其ノ陸軍ノ軍備ノ費用ト致シマシテハ、豫
算ニアリマスル通りニ、之ヲ集計致シマスル
ト、細カイコトハ申上ゲ兼ねルノデアリ
マスガ、兵備ノ改善費、航空、防空費、作
戰資料費、即チ今度ノ新國防計畫ハ此ノ三
ツカラ成ツテ居ルノデアリマス、之ヲ合計
シテ見マスルト、大昭和十五年年度以降四
箇年乃至六箇年間に於テ三十五億九千七百
萬圓ト云フ金ヲ使フコトニナツテ居ルノデ
ス、私ガ豫算總會ニ於テ陸軍大臣ニ質問致
シマシタ時ニ於テハ、此ノ三箇年間に國際
情勢ヲ見テ是ダケノモノヲ計上シテアルト
云フコトデアル、是ハ御承知ノ通り是ダケ
ノ軍隊ヲ日本ノ國內ニ所謂兵備ノ改善ニ依
ツテ作り、ソレカラ作戰資料、又航空防空
ト云フヤウナモノヲ整備スル計畫ヲ致シテ
居ルコトニ付キマシテハ、從來ノ國軍ト一
變シテ状態デアリマシテ、人員ニ於テモ二
十萬ノモノナラバ何十萬要ルカ、是ハ秘密
ニシテ置キマスルガ、數十萬ノ増加ニナツテ
來マスシ、又陸軍ノヤリ方デハ支那ニ於テ
師團ヲ増設シツツ、内地ニ於テハ又補充隊
ト云フモノヲ作ツテ留守部隊ト一精ニナツ
テ相當大キナモノガ出來ツアルノデス、
全ク今ノ生産擴充ノ計畫、今ノ關係ハ昭和十
一二年頃ノ二十萬單位ノ軍隊ヲ稱軸ト致シ

マシタモノデアリマシテ、此ノ國防計畫ヲ
大臣ハ閣議ニ於テ是認サレ、サウシテ本議
會へ提出サレタト致シマシタラバ、此ノ
國防計畫ハ、ソレ支兩面ノ作戰モアルカラ絶對
的ニ必要デアラト陸軍大臣ハ答辯サレテ一
厘一毛モ負カラナイモノデアラト云フヤウ
ナ御答デアリマシタ、サウシマシタル、此ノ
モノガ出來タダゲデハ動カナイ、能ク研究
シテ見マスルト、内務省ニ關係スル點ガ非常
ニ重大デアリマシテ、少クトモ今ノ内務省
ノ土木局ニ於キマスル所ノ港灣關係ニ於キ
マシテ、神戸港トカ、大阪、八幡、門司、
下關、博多ト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、
此ノ國防計畫ト對照致シマシテ、之ニ應ジ
タ一ツノ計畫ヲ立テナケレバ私ハ此ノ國防
計畫ト云フモノハ一朝大陸ニ事方有ツタ場
合ニ於キマシテハ、師團ヲ移ス上ニ於キマ
シテ非常ニ困難デアル、此ノ戰爭ニ於キマ
シテモ博多港ト大阪港ト皆容易ニ早クナレ
ナクテ作戦上翻艦ヲ來シタト云フヤウナ點
モアリマス、是ハ單ニ私ガ空想的ニ言フノ
デアリマシテハ、此ノ國防計畫ヲ遂行スル
ナラバ此ノ軍隊ヲ動カス、内地ニ飾ツテ置
クンチヤナイ、大陸へ持ツテ行クト云フ關
係カラ言ヒマシテ、内務省トシテハ我國ノ
國策ト致シマシテノ鐵道ノ輸送ノ擴張ハ無
論必要デアリマス、通信モ必要デアリマス
シ、又外地ノ各港灣、釜山トカ、木浦トカ、
鎮南浦トカ、靑島トカ、太清トカ、上海ト
カ云フヤウナ上陸スル地點モ必要デアリマ
スシ、又滿鐵、北支鐵道、朝鮮ノ鐵道ヲ又
變ヘテ行カナケレバイカヌノデアリマスガ、
内務省ノ關係スル限リニ於キマシテハ、是
等ノ軍隊ヲ動カシテ行クニ付キマシテ、非
常ニ重大ナル關係ヲ持ツテ居ルノデ、港灣

ノ改修ノ政策ト云フモノニ付テ、此ノ國防
計畫ヲ認メテ以上ハ、是ガ動イテ行クヤウ
ニ改修シテ行カケレバナラヌト私ハ考ヘ
ル、閣議ニ於テモ、單ニ新國防計畫ヲ認メ
タト云フ點デハナクシテ、之ヲ動カシテ行ツ
テ、大陸ヘ持ツテ行クニ付キマシテハ、ド
ウ云フヤウナ方針デ行カト云フコトニ付
テ、海峽ノ關係ガ非常ニ私ハ重大ダラウ
ト思ヒマス、其ノ點ヲ解決シナケレバ是ハ
死シタル軍備計畫デアツテ、動カナイ軍
備計畫デアル、新國防計畫ト云フモノハ數
字ハ大キイケレドモ内容ヲ明ニシテ居リマ
ス、是カラ國民ノ前ニハ左程ニ重大ニ響イテ
居リマセヌ、私共内容ニ付テ知ツテ居ル者
ハ、ドウシテモ只今申上ゲマシタ海峽ノ設
備ガ整ハナケレバ動キガ取レナイ、其ノ點
ニ付テドウ御考デアリマセウカ、國防計畫
ニ付テハ、海峽ヲ觀點カテ新國防計畫
ニ伴ウテハ、支兩面作戦ニ於ケル海峽計
畫ニ付テハ、改修計畫ニ付テ一變シテ考
以テヤツテ行カケレバナラヌト思ヒマス
ガ、ドウ御考ニナツテ居リマセウカ

○見玉國務大臣 中島君ノ御質問全ク御尤
ト思フノデアリマス、丁度我國ノ勢力ガ大
陸ニ發展シ、之ニ伴フ國防計畫ガ必要ニナ
ラシテ來タノデアリマス、丁度内地ヲ起點ト
シテ海外ヲ擴ゲテヤウナ形ニナツテ參ツテ
デアリマス、隨テ其ノ先ノ方ト元ヲ察
スベキ總テノ連絡機關、是ノ改修モ無論必
要デアリマスガ、ソレヲ受ケ、又ハソレ
ニ充ツル爲メ我國ニ於ケル海峽ノ設備ガ之
ニ伴ハナケレバナラヌト云フ事柄モ御尤
コトト思フノデアリマス、此ノ新國防計畫

ヲ拜見スルト同時ニ私ノ感シタノハ、只今
御尋ニナルト同ジヤウナ感シテ致シタノデ
アリマス、ソコデ從來其ノ點ニ觸レテド
ウ云フコトヲシテ居ルカト云フコトニナル
デアリマスガ、先ツ申上ゲテ見タイト思ヒ
マスノハ、所謂關門海峽ノ改修ト申シマス
カ、是ガ一ツノ大キナ問題トナルデアリマ
スノハ、日滿支ノ交通上、經濟的、又ハ只
今御話ニナルヤウナ國防的ノ基礎トシテ何
處ヲ修築スベキヤト云フコトヲ決メナケ
レバナラヌノデアリマス、此ノ點ニ付キマ
シテハ、遺憾ナガラ今マデノ所、ハツキリ
此處ヲドウスルト云フマデノ計畫ガアルト
ハ私ハ考ヘテ居リマシタノデアリマス、併シ
ガラ何レニシテモ、只今御話ノヤウナ必要
ガアリマスノデ、遂當リ本年度ニ於キマシ
テハ、此ノ日滿支ノ連絡ニ關シマスル基礎
ヲ何レニ求メ、之ヲ如何ニスベキカト云フ
コトニ對スル調査ニ掛ルベク、故ニ僅カバ
カリノ費用デアリマスガ、豫算ニ計上致シ
テ居ルノデアリマス、是ハ恐ラクハ只今御
話ニナリマシタヤウニ、新國防計畫ニ伴
テ同時ニ是ガ確定セラレナケレバナラヌ
コトト考ヘルノデアリマス、併シ果シテソレ
國防上如何ニ定メラレタカト云フコトニ付
テ、私ハマダ承知ハ致シテ居リマセヌケレ
ドモ、何レニ致シマシテモ、只今御話ノヤウ
ナ事ハ、國防計畫ニ伴ウテ是非其ヤラナケ
レバナラヌ一ツノ、内務省ニ課セラレタ
ノ大キナ問題ト考ヘテ居リマスノデ、只今
御話ニナリマシタ御趣意ニ付テハ、全然御
費成ヲ申上ゲ、且又當初ヨリ其ノ必要ヲ私
モ亦感シテ居ツタ點デアリマスデアリマス

○中島委員 鐵道省ノ方デモヤハリ十箇年
計畫デアル、今下ノ關ト東京間ニ於テ複々
線ヲ作ルコトニナツテ居リマスガ、是モヤ
ハリ計畫ガ長クテ、軍備計畫ニ副ウテ居
ナイ、私共各分科會デ軍備計畫ニ副ウテ居
リマスガ、ヤハリ國策ト致シマシテハ副ハ
セナケレバイカスト思ヒマス、副ハセナケ
レバ、片方ガ「バーバー」ナラヌ、ソレデハ
唯計畫ヲ作ツテ置タケテナラヌ、ソレデハ
一朝事ガアツタ時ニ間ニ合ハナイ、斯ノ如
ク國策全體ニ互リマシテ、サウシタ一ツノ

計畫ガナケレバナラヌ、總理大臣ノ施政方
針ノ演說ノ中ニ、國防國家ノ建設ト云フヤ
ウナ意味ノコトモアリマシタシ、國防ノ充
實ガ先ダ、ソレニ從ツテ生産力擴充等ノ有
ニル政策遂行ハ出來ルノダト言ツテ居リマ
スカラ、ヤハリ是ガ中心ニナル以上ハ、其
ノ他ノ計畫モ是ト同ジ歩調ヲ取ツテ行カ
ケレバナラヌト思ツテ居リマス、大臣ハ此
ノ内閣ニ於テ重要ナ地位ニ居ラレマスガ、
總理ノ副參謀トシテ、大所高所カラ見マシ
テ、諸般ノ計畫ヲ立テラレンコトヲ希望シ
テ置キマス

○見玉國務大臣 中島君ノ御質問デアリマス
ガ、河川ノ性質ニ依リ、又地方勞働力ノ關
係等ニ依リマシテ、之ヲ最モ短クサウシテ經
濟的ニナルニハ何年間ニドウシタ宜イカ
ト云フコトヲ考ヘマシテ、而シテ重點主義ヲ
採用シテ一ツノ河川カラ片ヲ付ケテ行クコ
トハ至極結構ナコトトダ思ヒマス、併シ此
ノ豫算ヲ通シテ見マス、只今御批評ニナ
リマシタ通りニ、稍從來ノ慣例ヲ追ウテ來
タヤウナ姿モ見エナクハナイノデアリマス、
此ノ點ハ將來ニ於テ改ムルコトト致シマシ
テ、今中島君ガ戰時體制ニ副フヤウニ總テ
ノ計畫ヲ立テテ宜イト云フコトニ付テハ、
私モ尚ニ結構ナ御説ト存ジテ居リマス

○中島委員 此ノ點ニ付キマシテハ十六年
度ノ豫算カラハ戰時體制ニ即應シテ重點主
義ニ依リ豫算ニ改メラレマシテ、所謂地方ノ
運動其ノ他ハ斷乎トシテ排撃致シマシテ、土
木費ノ使用ノ能率發揮ニ努メラレンコトヲ
希望致シマス、其ノ事ヲ今日約束シテ置キ
マスカラ、次ノ十六年度ノ豫算マデニハ其
ノ通りニヤツテ載キマスヤウニ、今日此ノ
席デ約束シタコトヲドウカ御忘レナイヤウ
ニ願ヒマス

○見玉國務大臣 今御話ノ新國防計畫ニ伴
テ交通線ト申シマスガ、是ノ完備ガ伴ハ
ナケレバナラヌト云フコトハ、當然ノコト
デアリマス、併シ本年ノ豫算ヲ通シテ見マ
シテ、果シテソレニ適應スルモノガアルカ
ト云フ御尋ニ對シマシテハ、兎モ角モ關門
海峽ノ改修、是ハ技術上ノ點モアルノデ、
サウ早クハ出來ナイデアリマセウカ、豫算
ノ上ヲ通シテ見マス、實際ニ之ニ對應ス
ベキ所ノ現實ニ決ツタ案ハナイノデアリマ
シテ、ソレニ對スル調査ノ費用ヲ取致ス
ニ計上シテ、取急イデ是ガ計畫準備ニ掛
ラウト云フ程度ニ止ツテ居ルノデアリマス

氣が付かない、豫算ノコトヲ知ツテ居ル者ハ割ニ少イ、而シテ政府ハ實行豫算ヲ落スト云フコトニ付キマシテハ發表シナイ、直ダニ實行豫算ヲ落ス、ソレデアアルカラ年度割ハ先ニ延バサレテ行ク、長イモノニナツテ行ク、斯ウ云フヤウナ關係ニナツテ居リマスガ、是等ノ點ニ付キマシテ實行豫算デ又再ビ節減若クハ繰延ヲ行ハレリデアリマスカ、十二年度、十三年度、十四年度ト同ジタ、此ノ十五年度ニ於テモヤル積リデアルカ、此ノ三點ニ付テ明確ナル御答辯ヲ得タイ

○見玉國務大臣 最初ノ御問ノ分ハ政府委員カラ御答ヲ致サセマス、最後ノ實行豫算問題デアリマスガ、是ハ中島君モ既ニ御承知ノ通りニ、大蔵大臣ガ今日場ノ合ニ於テハ實行豫算ハ作ラスト斯ウ云フ事柄ヲ言ハレテ居リマスノデ、私モ大蔵大臣ノ言ハレルコトノ通りト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ今日ノ所ニ於キマシテハ、實行豫算ニ於テ是ガ如何ニナルカト云フコトハ私トシテハ考ヘテ居ラスノデアリマス

○成田政府委員 只今ノ御答ノ前段ニ對シマシテ御答ヲ申上げマス、只今ノ御答ハ土木豫算ニ於ケル努力ト資料トノ問題ニ付デアリマシタ、餘リハツキリシタ數字ヲ申上ゲル材料モナイノデアリマスガ、極大體ヲ申上ゲマシテ、御承知ノ通りト存ジマス、先ツ努力ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ土木事業ノ内容ニ付テ努力ヲ使ヒマスル程度ガ異ナルノデアリマシテ、河川道路ノ如キハ割合ニ努力ヲ使フコトガ多イノデアリマス、港灣ニ於キマシテハ比較的資料ノ方ニ餘計ナモノヲ使フト云フヤウナコトニナツテ居リマスガ、極メテ大雑

把ナ觀察ヲ致シマスルト、土木豫算ノ工事費ノ半額不足ラズガ大體努力費ニナツテ居ルト云フ見當リ付ケテ居ルノデアリマス、本年度ノ土木豫算ハ昨年十四年度ノ豫算ヨリモ殖エテ居リマス、此ノ點ニ關シマシテモ努力ガ得ラレルカドウカト云フ問題ガ起ルノデアリマスガ、從來ノヤリ方ト致シマシテモ、土木事業ハ大體長期ニ於キマスル餘剩努力ヲ利用致シマシテ、施行ヲ致スヤウナ慣行ニナツテ居ルノデアリマシテ、他ノ義務關係ニ非常ナ支障ヲ及ボスヤウナ風ニハ今マデナツテ居リマセシ、サウ云フ心配ハ餘リナイノデアリナカト考ヘテ居ルノデアリマス、昭和十四年度ハ現在進行中デアリマスルガ、昭和十四年度ノ見送シヨ付ケマスルノニ、大體從來ノ程度ノ豫算ヲ消化シテ居ルヤウナ現狀デアリマス、又消化スルダラウト云フ見送シヨ付ケテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ昭和十五年度豫算ニ付キマシテモ、努力ノ不足ニ依リマシテ、豫算ノ消化ヲ來スト云フヤウナコトハ、大體ナイモノト私共考ヘテ居ルノデアリマス

次ニ物資ノ關係ヲモイマスルガ、私共ノ計畫ト致シマシテハ、十五年度ノ豫算ニ付キマシテモ、十四年度程度ノ物資ヲ賁ヘル――物資ガ入ルト云フ建前ノ下ニ豫算ヲ編成シタ譯デアリマス、其ノ程度ノモノハ大體物動計畫ニ於テ配當セラレルトコトニナツテ居ルヤウニ伺ツテ居ルノデアリマス、又資料ニ付キマシテハ、萬々一足ラナイモノガアルト云フヤウナ場合、或ハ昨年カラ十五年度ノ豫算ガ積リテ居ルト云フヤウナ關係ニ付キマシテハ、代用品ヲ成ベクナク多ク使用致シマスルトカ、或ハ工事ノヤ

リ方ヲ變ヘル、順序ヲ變ヘル、土地ヲ買致シマスルトカ、何ト云フヤウナ――資料ヲ使ハナイデ、仕事ノ段取ヲ考ヘルトカ云フヤウナコトモ考ヘマシテ、資料ニ付キマシテハ、從來ヨリモ餘計ナモノト云フコトデナク、豫算ノ執行ヲ、來年度ニ於テハ期シテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○中島委員 政府委員ノ御答ハ洵ニ簡單ニ御答ニナリマシタケレドモ、私共第三者トシテ觀察シテ來マシタ所ニ依ルト、富山縣ニ於テモ、農閑期ニ於テ軍需努力ニ農村勞力ガ取ラレテシマツテ、土木ナンカノ安イ仕事ニハ行カスト言ツテ居ルノヲ見テ來マシタ、十三年度カラ十四年度ニ繰越シタ金額ハドレ位デアリマスカ、全部消化致シテ居リマセウカ、十四年度ハ分ラヌデセウカ、内務省土木豫算トシテ全體ノ繰越金ガアリマスカ、アリマセウカ、十三年度ヨリ十四年度ハ逼迫シテ居ル、十五年度ハ十四年度ヨリ尙ホ勞力物資ガ逼迫シテ來ルト思ヒマス、ソコデ農閑期ノ努力ト言ハレマスガ、農閑期ノ勞力ハ河川ダケデアリマシテ河川モ田舎ニ相當ノ農工業ガ伸ビテ行キ居ル關係カラ申シマシテ、農業デサレ困ツテ居ルノダカラ、土木事業ガ困ツテ居ルノハ確カデアルト思フ、私共富山縣ヲ視テ來タノデアリマスガ、一回九十錢デモ來ナイ、二回五十錢デモ來ナイ、三回ヤツテ二十人募集シテ、之ヲ泊ラシテ小サイ急ヲ要スル河川ノ改修ヲ、十日位デ堪ガ切レテ所ヲ直スト云フヤウナ現狀カラ考ヘテ豫算ガ消化セラレナカツタノチヤナイカト云フコトヲ私共心配スルノデアリマス

ハ、山梨縣ノニ比較シテ見ルト高イ、山梨縣ノ方ハ非常ニ取締ガ厳重デアアル、ソレデ肥料屋ハ意リシテシマツテ、山梨縣ニハ肥料ヲ寄越サス、兵庫縣ニ向ツテ肥料ハ集中シテ居ル狀況デアリマス、肥料一ツニ付テモサウデアリマスルガ、サウ云フヤウニソレカラ品物ニ依リマシテ、非常ニ違ツテ居ル、食料品ノ中デモ米ニ付、或ハ炭ノ如キニ付テハ割合ニ寛大デアリマスルケレドモ、押賣ナドニ付テハ非常ニ嚴格ニナツテ居ルト云フヤウニナツテ居リマシテ、商品別ニ依ツテ違ツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、如何ナル標準ノ下ニドウ云フ方針デ、又商品別ニ依リマシテ、或ハ生活必需品デアアルトカ、或ハ之ニ準ズル物デアアルトカ、贅澤品デアアルトカ云フヤウナコトニ依ツテ標準ヲ設ケテ取締ツテ居ルノデアリマセウカ、皆一律ニ取引ハ全部徹底的ニヤルト云フヤウナ考デアツテ居ルノデアリマセウカ、此ノ取締如何ガ非常ニ物資ノ交流ヲ妨ゲル、同時ニ出テ來ル品モ出テ來ナイヤウニナツテ來ル、今ノ商工省ノ定メテ居ル公定價格、中央物價委員會ガ商工省ニ答申シテ、サウシテ地方物價委員會ガヤツテ居ルノハ、殆ド區々バラバラニナツテ居ル、甚シキハ中央物價委員會ガ定メタモノ、地方ノ物價委員會ガ定メラレタモノヲ、一ツノ縣デハヤツテ居リ、他ノ縣デハヤツテ居ナイ、例ハ八咫嶺、如キハ東京ニ於キマシテハ十二回何ガシヤツテ居ルケレドモ、外ノ縣ハ之ヲ九・一八ノ物價ヲ抑ヘテシマツテ居ル、東京府ダケガ適正物

價ト言ヒマセウカ、新シイ物價デヤツテ居ル、ソレデ餘程價值段ノ開キガ大キイ、細カイ材料ヲ持ツテ居リマスガ、例ヘテ申シマスト、東京府ハ二月二日附ヲ以テ卸賣價格ト致シマシテ、押賣ヲ六圓ト指定シマシテ、一依分ガ二袋デ十二圓ニナツテ居リマシテ、所方埼玉縣邊リニナリマス、九・一八ノ價格デ八圓八十錢抑ヘテ居ル、片一方ニアリマス、ソレデアリマスガ埼玉縣ノ方デハ引合ハナイ、隨テ開取引ガ盛ニ行ハレテ、東京ノ方デハ割合ニ開取引ガ行ハレナイ、此ノ壓搾差ニ付キマシテモ、全國一齊ニヤル方針ヲ執ラナケレバ、完全ナル經濟警察ノ取締ハ私ハ出來スト思フ、一例ヲ舉ガマスと斯ウ云フヤウナ遺リ方デアリマス、是デハ何處ニ方針ガアルカ、私共ニハ經濟警察ノ根本方針ガ分ラナイ、ソレデ犯罪人ハ至ル所ニ振出シテ居リマシテ、四万モ五万モ出テ居ルヤウナ狀況デアリマス、斯ウ云フ風デアリマス、一遍抑ヘタナラバ、其ノ地方ニハモウ品物ガ來マセウ、一遍抑ヘルト其ノ品物ハ動キマセウ、サウ云フヤウナ場合ニハ皆品物ヲ隠シテシマツテ、價格ノ上ガルト持ツテ居ルト云フ狀態デアリマス、思切ツテ大膽ニヤル開取引ヲヤツテ、上手ニヤツタ奴ハ引掛ラヌ、斯ウ云フヤウナ狀況デアリマシテ、國民ノ今日ノ狀態ハ私ガ言フマデモナクモウ慘憺タルモノデ、商賣人モ是ガ爲ニ非常ニ悩マサレテ居ル、是ハ商工省ノ指導方針モ非常ニ惡イノデアリマセウガ、經濟警察ノ取締方針ニ付キマシテモ一定シテ貫ハナケレバ、或縣ニハハウント物資ガ行クノ、或縣ニハ少

シモ物資ガ行カナイト云フヤウナ厚薄ガ澤山出來テ居リマス、此ノ點ニ付キマシテ今後ハドウ云フ方針デ、又之ヲドウ云フヤウニ改善シテ行クノデアリマセウカ、具體的ノ所ヲ御伺シタイ

○見玉國務大臣 經濟警察ノ運用ニ付キマシテハ、私ト致シマシテモ實ハ頗ル苦心ヲシテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ中島君モ能ク御承知下サルコトト申ツテ居リマス、大體ノ根本方針ト致シマシテハ、新シク出來マシタ統制經濟ニ關シマスル個々ノ問題ニ付キマシテ、其ノ問題ノ趣旨、内容ヲ先ツ能ク周知セシムルコトヲ事柄ニ力ヲ盡シマシテ、サウシテ成ベク此ノ法ニ觸レナイヤウナ風ニ努メテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ經濟警察ノ方ノ取扱ト致シマシテハ、成ベク無理ナ事ノナイヤウニ悪性ナ者ハ是ハ別ト致シマシテ、無意識ニ善意ヲ以テ偶々誤ツタト云フヤウナ者ハ、假令其處ニ何等カノ過失ガアリマシテモ、之ニ設論ヲ加ヘマシテ將來ヲ戒メテ置クト云フヤウナ方針ヲ今日ハ實ハ執ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ恐ラタ九割九分位ハ極ク簡易ニ其ノ將來ヲ戒メル程度ニ於テ處理シテ居ルト云フヤウナ狀況デアリマシテ、而シテ公正ナラシメルノニハ、満ニシテ、而シテ公正ナラシメルノニハ、モウ少シ根本ニ互ツテ物價ニ關係ト關係ガ整ヒマセト、今日ノヤウナ亂雜ナ有様ノ對象ト致シマシテ、此ノ不慣レナル經濟警察官ガ之ヲ公正ニ取扱フコトヲ云フコトハ、中々困難ナコトト私ハ始終考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ一面ニ於テハ經濟警察官ノ知識ノ向上ヲ圖リ、而シテ民衆トノ間ニ十分ナ理解ヲ持チナガラ、經濟警察ノ機能ヲ完ウスルコトニ努メルト云フコトニ致スノデアリマスケレドモ、何レニ致シマシテモ、只今中島君ノ御指摘サレマシタルヤウナ地方的ノ色々ノ個々ノ事情ハアラウト思フノデアリマス、之ヲ唯獨リ經濟警察ノミニ依ツテ匡正シヨウト云フ事柄ハ中々困難ナ事柄デアラウト思ヒマス、所謂政府ノ物價政策、或ニ必需品ノ供給ノ關係ヲモ一方ニ於テハ調整シツ、此ノ機能ヲ全ウシテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、今日ニ於テ經濟警察ガ理想通りニ動イテ居ルトハ申上ゲ難ネルト思ツテ居リマス、大體私ガ申上ゲタ點デ御諒願ヒタイト申ツテ居リマス

○中島委員 大臣ノ御答辯ハ抽象的デアリマス、政府委員カラデ結構デアリマスガ、具體的ノ方針ニ付キマシテ御答シタイノデ、經濟警察ト云フモノハ無論物資ノ供給ガ背後ニ巧ク行カレバ出來ナイノデアリマスケレドモ、殆ド全國的ニ全品物ニ於テ九・一八ノ物價ニ違反シテ居ナイモノハナイ、是ダケノ大問題デアツテ、而モ日々犯罪ガ行ハレ、日々檢察サレテ行ク、是ハ大體今申上ゲマシタ壓搾差ダケニ付テモサウデス、一縣ダケハ適正價格ヲ作ツテ、後ハ抛ツテ置イテ九・一八デ取締ツテ行クト云フコトデアルト、標準ガ殆ドナイ、之ヲモウ一遍スツカリ全部ノ適正價格ガ出來ルマデハ、開相場ハ一切取締ラヌト云フ方針デアリマス、ソレモ一ツノ方針デアウ、或ハ又徹底的ニ檢査主義ヲ行クト云フナラバ、是モ一ツノ方針デアウ、或ハ又大手筋ダケヲ抑ヘテ、小物ハ寛大ニ見テ行クト云フノモノ一ツノ方針デアウ、サウ云フ點ヲモウ少シ内務省ト致シマシテハ、具體的ニ決メナケ

レバ、此ノ議會ガ二三箇月ヤツテ居ル間ニハ公定價格モ決リハシナイ、適正價格モ決リハシナイ、議會ノ答辯ニ各關係大臣ハ朝...

安ニ脅サレル状況デアリマスカラ、此ノ議場ヲ通ジテ安心シテ商人ハ商賣ガ出來、消費者ハ消費ガ出來ルヤウニシテ實ヒタイ、物資供給ノ關係ハマダ中々容易ナモノデハ...

ト云フモノガ、現在ノ機構デハ私ハ到底是ハ満足ナ結果ヲ來スコトハ難カシイダラウト思フ、機構ノ改善ニ向テ内務省ノ方デ...

正ニ對スル註文ガアリマシテ、御尤グト云フヤウナ御答辯ヲ爲サツテ居ルヤウデアリマスガ、私ハ是ハ後メテハイカス、若シ選舉...

○山崎政府委員 經濟警察ノ取締ヲスル根柢ニ付キマシテハ、内務大臣ヨリ先程申上ゲマシタ通りデゴザイマスガ、尙ホ私...

○中島委員 是ハ重大ナル問題デアリマスカラ、議會中ト雖モ即時ニ研究サレマシテ、一定ノ取締ノ方針ヲ立テラレ、而シテ又機...

ト又元へ戻ワテシマフノデアリマス、兒童
内務大臣ノ其ノ御心構ハ私共諒トスル點ガ
アルノデアリマス、歸還兵士ナドノ選舉選
反デ引張ツタツト云フコトニナレバ、折角出
証シテ恩賞ニ與ルノガ駄目ニナツテシマ
フ、ソレハ非常ニ堪ヘラレズト云フコトニ付
テハ私共諒ト致シマスケレドモ、其ノ爲ニ
弛シテトハ明白ナ事實デアリマス、其ノ爲ニ
點ヲ御注意願ヒマスルト共ニ、何カ選舉法
ノ改正ヲ行ハサント云フテ居ラレバヤウデア
リマスガ、ソレガアリマスカ、アレバドウ
云フ方向ニ向ツテ御改正ヲナサレバデア
ルカ、ドウ云フ御意見アルカヲ承リタイ
○見五國務大臣 總理大臣ノ言ハレタコト
ハ、選舉法改正委員會デゴザイマシタカ、
アソコデ衆議院ノ選舉法ニ關係致シマシタ
答申ヲシテ居ルモノデアリマスカラ、選舉
ノコトニ關シテハ其ノ點ニ付テ能ク研究シ
テ見ヤウト云フコトヲ言ハレタノデアリマ
シテ、今直チニ選舉法ヲ改正シヨウト云フ
マデノ考ニハ至ツテ居ラスト思フノデアリ
マス、何レニ致シマシテモ衆議院ノ選舉法
ノ改正ト云フ事柄ハ必要ニ迫ラレテ居ルト
私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、是ハ政府
ノ方カラ選舉法ノ改正ヲシヨウト云フコト
ヲ持出スヨリハ、寧ろ衆議院ノ方カラ進
シテ選舉法ヲ改正シヨウチヤナイカト云フ氣
焰ガ上リサウナモノデハナイカト、私個人
トシテハ期待シテ居ラレタノデアリマス
○三電委員 衆議院カラ上リマスル氣焰ハ
元へ戻ル氣焰ニナリマス、其ノ點ニ付キマ
シテハ、貴族院ノ改革ヲ貴族院ガ圖リマス
レバ出來ナイト同ジ事情デアリマシテ、サ
ウ云フ點ヲ御五ニ豫期シナレバ、此ノ非
常時ノ議員トシテ駄目ナコトハ分リ切ツテ

ノ點ヲ考慮致シマシテモ、或ハ又防空等ノ
所謂國防上ノ見地ヲ考慮致シマシテモ、國
土計畫ヲ此ノ際確立サレマシテ、人口、職
業、産業、文化、教育、一切ノコトニ付テ
ノ基本計畫ノ上ニ立脚サレマシテ大キナ編成
替ガ今日必要タラウト考ヘルノデアリマス、
ソレ等ノ總體ノコトニ付テノ内務大臣ノ御
意見ヲ承リタイノデアリマス、詰リ第一
ニ日本ガ今日考慮シナレバナラナイ點
ハ、都市ノ過大ナ膨脹ニ付テ抑制ヲ加ヘナ
ケレバナイト云フ一點デアリマス、特
ニ東京デアルトカ大阪デアルトカ云フ都市
ヲ、是以上擴張マスコトハ、衛生上カラ行
キマシテモ、風紀ノ上カラ行キマシテモ、防
空關係、國防上カラ行キマシテモ、是非
常ニ危イト思フノデアリマス、然ルニ東京
ハ千方戸ノ人口計畫ヲ立テ得タトシテヤ
ウテ居ル、是ハ決シテ國ノ爲ニモ宜イコト
デアリマス、全國ノ人口ノ二割位ガ東京ヘ
集マツテシマフコトニナリマスレバ、一寸
汽車ガ不通ニナツタト云ツテモ、米ノ配給
ニモ困ツテシマフ、炭ノ配給ニモ困ツテシ
マフ、最早所謂腦充血ヲ起シタ人ト同ジ現
象ヲ來シテ居リマス、是ハ色々ノ意味ニ於
テノ健全化ノ見地カラ言ツテ、私ハ宜クナ
イト思フノデアリマス、而モサウ云フ所ニ
限ツテ人口ガ多イカラ「モクラシ」ノ風
味ノ探入レラレマシタ議會ノ空氣ナドヲ見
マスルト、議員モ餘計出ル、運動モ餘計ス
ルト云フコトニナツテ、其處ハバカリ施設
ガ集中シテシマフコトニナツテ、益是ハ放
置シタラユイト云フコトニナリマス、國土
計畫全般ニ付テノ御考ト、人口百万以上ヲ

有スル都市ノ膨脹ヲ抑制スル御考ヲ御持チ
ニナツテ、ソレヲ實際化シテ載キタイト云
フ點、更ニ都市計畫ヲ方々デヤツテ居リマ
シテ、内務省ノ都市計畫局ニ於テヤハリ御
指導ニナツテ居リマスケレドモ、都市計畫
ダケニ付テモ何百万ノ人口ニスル、何千万
ノ人口ニスル、廣サハ一府縣全體ニ付ツテ
行クト云フ建前ノ都市計畫ハ、此ノ際抑制
サレル必要ガ全體トシテアリハシナイカ、
斯ウ考ヘル、此ノ點ニ付テノ御意見ヲ拜聴
シタイト思ヒマス

○見五國務大臣 國土計畫ノ御質問デアリ
マスガ、是ハ大切ナコトデアリ、且又非常
ニムツカシイ問題デアルノデアリマス、近
時大都市及ビ其ノ都市附近ニ於テ、無制限
ニ工業ガ興リ、人口ガ其處ニ集中シテ居ル
現象ヲ見マシテ、是ガ對策ヲ講ジナレバ
ナラスコトハ痛感致シテ居ル所デアルノデ
アリマス、隨ヒマシテ内務省ト致シマシテ
ハ是等ノ計畫ニ對スベク、調査ヲ致スコ
トニ今年カラ致シテ居ルノデアリマス、産
業、土地、人口、保健、防空其ノ他ノ事項
ニ付テ、綜合的ニ調査ヲ致シタイト考ヘテ居
リマス、若シ將來必要ガアリマスレバ、所
謂都市計畫法ト申シマスルカ、國土法ト申
シマスルカ、ソレニ要スル法制ヲモ必要ト
スルノデアリカト考ヘテ居ル次第デアリ
マス、日本全體ノ問題ニ關係致シマシテ、
如何ニ之ヲ調整シテ行クカト云フ事柄ハ、
頗ル大問題ニナリマスルノデ、今日ニ於キ
マシテハ差當リ農村都市ノ關係カラ見マシ
テ、大都市並ニ重要都市ニ集ツテ來ル人口、
又ハ工業其ノ他ノ問題ニ付テ、之ヲ如何
ニシテ處理シテ行クカト云フ事柄ヲ調査ス
ベク致シテ居ルノデアリマス、國土計畫ニ

ハ日本ノ非常ナ跋行的ナ發展ヲ來シテ居ル
一ツデアルト考ヘルノデアリマシテ、港灣政
策全般ニ付テハ、是モヤハリ議會制度ノ一
ツノ非常ナル弊害デアリマシテ、責任ハ議
會ニアルト私ハ思フノデアリマスガ、地
方ガ運動致シマスカラ、決ツタ豫算ヲ以テ
或所ニハ十萬圓ヤツテ或所ニハ二十萬圓ヤ
リ、又或所ニハ三十萬圓ナル、ドレモ是モ
一ツモノニナツタモノハナイ、斯ウ云フ港
灣政策デアツテハ、私ハ非常ニ痛感アルト
考ヘルノデアリマシテ、ヤハリ東亞新秩序
建設ノ立場ニ立チマシテ、日本ノ國土計畫
ト全體ノ港灣ノ利用關係トヲ考慮致シマシ
テ、中島君ノ御意見デアリマセスケレド
モ、重點主義ヲ以テ順位ヲ決メテ、サウシ
テ徹底シテ港ヲ造ツテ行カレバ駄目ダ
ト私共ハ考ヘルノデアリマス、日本ノ今日
ノ港ノ状態ハ、表面ニ於テハマシテハ、東京
港ヲサヘ一億圓モ金ヲ掛ケテ居ル、名古屋
ガ一億圓ノ金ヲ掛ケテ居ル、然ルニ裏日本
ノ港ト來テハ何百万圓ト云フ桁ノ金シカ掛
ケテ居ラスノデアリマシテ、是デハ港ガ出
來ナイノハ當然デアリマス、今日日滿支一
體ノ見地カラ見マシテ、裏日本ノ向ヒ側ノ
北鮮ニ於キマシテハ、御承知ノ通り清津、
羅津、雄基、最近ニ於テハ瑞川、城津ト云
フヤウナ港ガズツト出來テ居ル、將來ハ浦
羅斯德ガ自由港ニナル情勢ガ參リマスナラ
バ、浦羅斯德ヲ加ヘタ向フノ吞吐能力、ソ
レト日本海沿岸ノ港ノ吞吐能力トノ關係ハ
比率ヲ保テセナレバイヤカナイト思フノデ
アリマス、サウ云フ點ニ付テ私共ハ港灣ノ
專家デアリマセヌカラ、何處ニ第一ノ
重點ヲ置クベキカト云フコトハ、是ハ私ハ
専門家ガ綜合的見地ニ立ツテ御立テ下サレ

對スル問題ハ、最初ニ申サゲマシタ通り、重
大デアリ、且又困難ナル問題デアリマスル
ノデ、私ハ他ノ機會ニ於テ一ツユツクリト
御意見ヲ承リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス
○三電委員 内務省ガ國土計畫ニ付テノ豫
算ヲ多少デアリマスルケレドモ、御計上ニ
ナツテ居ルコトハ私非常ニ、欣快ニ存ジテ
居ルノデアリマス、此ノ問題ハ私共自體モ
未定稿ノデアリマシテ、具體的ニソレデ
ハ町ハドノ程度ノ大キサ抑制シタラ宜イカ
ト云フヤウナコトニ付テハ、更ニ是カラ御
教モ乞ハナケレバナラスシ、オ五ニ切込シ
テ考ヘナケレバナラスシ、オ五ニ切込シ
イ案ハ出來上ラナクモ、大方針ヲ其處ニ
置カレマシテ、少クトモ今日ノ大都市ニ
付テハ、抑制ノ方針ヲ斷乎トシテ其ノ政策
ノ上ニ御現ハシヨウヒタイト云フコトヲ私
ハ希望シテ置キマス、同時ニ港灣河川等ノ
問題ニ付キマシテモ、私共其ノ點ヲ痛感ス
ルノデアリマシテ、水ノ問題ニ付キマシテ
ハ、豫算總會ニ於キマシテ提議カラ非常ニ
示唆ニ富シテ御發言ガアツタノデアリマス、
私共ハ今度ノ中國ノ早害ナドヲ見マシテモ、
天カラ降ツテ來マスル雨ヲシマツテ置ク途
ヲ考ヘタナラバ、早害ハ防止出來タト思フ
ノデアリマシテ、其ノ點ニ付テハ私ハ天災
デハナクテ、實ハ中國ノ早害モ人災デアツ
タ部分ガ非常ニ深山アツタト考ヘルノデア
リマス、此ノ點ニ於テ水ニ付キマシテモ、
河川ノ問題ニ付キマシテモ、内務省ト通信
省ノ關係ト農林省トノ關係ガ今マデハ一定
ノ國土計畫ニ依ツテ居リマセヌノデ、バラ
バラニナツテ居リマシテ、場合ニ依ルト相
廻ラシタリ、摩擦ヲシタリ其ノ間旨ヲ行カ
ナカツタ點ガ非常ニ多カツタト思フノデア

リマス、日本ノ水力電氣ハ非常ニ發達シタ
ノデアリマスガ、私ハ水力電氣ノ「ダム」ヲ
見マシテ常ニ遺憾ニ堪ヘナイノハ、「キロ
ワット」ノ單價ヲ安ク建設致シマシタ爲ニ、
魚道ニ付テノ考慮ヲ殆ド拂ハレテ居ラナイ、
或ハソレヲ灌溉用水ニ持ツテ行ケバ非常ニ
農地ヲ殖ヤスコトガ出來ルガ、ソレニ對シ
テノ考慮ガ拂ハレテ居ラナイ、資本主義的
ナ企業ノ下ニ「キロワット」ノ單價ヲ建設費ヲ
安クシタイト云フ一點ダケニ集中サレタ電
氣工程ノ發達デアリマスルガ故ニ、其ノ點
ガ非常ニ遲レテ居ルト私共ハ残念ニ思ツテ
居ルノデアリマス、隨テ水ナドニ付キマシ
テモ、私ハ國土ノ計畫ト共ニ、水力管理法
ト云フヤウナ法律ヲ國土法ニ關聯シテ御考
ヘ下サイマシテ、ソレニ依ツテ内務省ノ河
川改修モ、選省關係ノ電氣ノ關係モ、ソ
レカラ農林省關係ノ灌溉排水ノ關係モ是ト
行ハシテ考ヘテ行ク、ソレニ依ツテ日本ノ
天カラ降リマスル、而モ峽谷ノ多イ日本ノ
水ヲ「パーセント」若クハ百二十「パーセ
ント」ニ利用スルコト云フコトニ持ツテ行ク
コトガ必要ダト考ヘルノデアリマス、斯ウ
云フ點ニ付テ、内務省ガ今管掌シテ居ラレ
マスル河川ノ政策ニ付テ、選省、農林省
其ノ他トノ關係ニ於ケル内閣トシテノ綜合
計畫ヲ御立テニナル必要ガ私ハアルト思フ
ノデアリマス、サウ云フ點ノ關係ニ於テ
河川政策ト云フモノガ現在ニ於テ出來テ居
ルノデアルカ、出來テ居ラヌノデアルカ、出
來テ居ラヌトスレバ至急ヤツテ載キタイト
思ヒマスガ、ソレニ付テノ大臣ノ御所見ヲ
承リタイト思フノデアリマス

ハ日本ノ非常ナ跋行的ナ發展ヲ來シテ居ル
一ツデアルト考ヘルノデアリマシテ、港灣政
策全般ニ付テハ、是モヤハリ議會制度ノ一
ツノ非常ナル弊害デアリマシテ、責任ハ議
會ニアルト私ハ思フノデアリマスガ、地
方ガ運動致シマスカラ、決ツタ豫算ヲ以テ
或所ニハ十萬圓ヤツテ或所ニハ二十萬圓ヤ
リ、又或所ニハ三十萬圓ナル、ドレモ是モ
一ツモノニナツタモノハナイ、斯ウ云フ港
灣政策デアツテハ、私ハ非常ニ痛感アルト
考ヘルノデアリマシテ、ヤハリ東亞新秩序
建設ノ立場ニ立チマシテ、日本ノ國土計畫
ト全體ノ港灣ノ利用關係トヲ考慮致シマシ
テ、中島君ノ御意見デアリマセスケレド
モ、重點主義ヲ以テ順位ヲ決メテ、サウシ
テ徹底シテ港ヲ造ツテ行カレバ駄目ダ
ト私共ハ考ヘルノデアリマス、日本ノ今日
ノ港ノ状態ハ、表面ニ於テハマシテハ、東京
港ヲサヘ一億圓モ金ヲ掛ケテ居ル、名古屋
ガ一億圓ノ金ヲ掛ケテ居ル、然ルニ裏日本
ノ港ト來テハ何百万圓ト云フ桁ノ金シカ掛
ケテ居ラスノデアリマシテ、是デハ港ガ出
來ナイノハ當然デアリマス、今日日滿支一
體ノ見地カラ見マシテ、裏日本ノ向ヒ側ノ
北鮮ニ於キマシテハ、御承知ノ通り清津、
羅津、雄基、最近ニ於テハ瑞川、城津ト云
フヤウナ港ガズツト出來テ居ル、將來ハ浦
羅斯德ガ自由港ニナル情勢ガ參リマスナラ
バ、浦羅斯德ヲ加ヘタ向フノ吞吐能力、ソ
レト日本海沿岸ノ港ノ吞吐能力トノ關係ハ
比率ヲ保テセナレバイヤカナイト思フノデ
アリマス、サウ云フ點ニ付テ私共ハ港灣ノ
專家デアリマセヌカラ、何處ニ第一ノ
重點ヲ置クベキカト云フコトハ、是ハ私ハ
専門家ガ綜合的見地ニ立ツテ御立テ下サレ

第一類第三號 豫算委員第二分科會議錄 第一回 昭和十五年二月十六日

ハ日本ノ非常ナ跋行的ナ發展ヲ來シテ居ル
一ツデアルト考ヘルノデアリマシテ、港灣政
策全般ニ付テハ、是モヤハリ議會制度ノ一
ツノ非常ナル弊害デアリマシテ、責任ハ議
會ニアルト私ハ思フノデアリマスガ、地
方ガ運動致シマスカラ、決ツタ豫算ヲ以テ
或所ニハ十萬圓ヤツテ或所ニハ二十萬圓ヤ
リ、又或所ニハ三十萬圓ナル、ドレモ是モ
一ツモノニナツタモノハナイ、斯ウ云フ港
灣政策デアツテハ、私ハ非常ニ痛感アルト
考ヘルノデアリマシテ、ヤハリ東亞新秩序
建設ノ立場ニ立チマシテ、日本ノ國土計畫
ト全體ノ港灣ノ利用關係トヲ考慮致シマシ
テ、中島君ノ御意見デアリマセスケレド
モ、重點主義ヲ以テ順位ヲ決メテ、サウシ
テ徹底シテ港ヲ造ツテ行カレバ駄目ダ
ト私共ハ考ヘルノデアリマス、日本ノ今日
ノ港ノ状態ハ、表面ニ於テハマシテハ、東京
港ヲサヘ一億圓モ金ヲ掛ケテ居ル、名古屋
ガ一億圓ノ金ヲ掛ケテ居ル、然ルニ裏日本
ノ港ト來テハ何百万圓ト云フ桁ノ金シカ掛
ケテ居ラスノデアリマシテ、是デハ港ガ出
來ナイノハ當然デアリマス、今日日滿支一
體ノ見地カラ見マシテ、裏日本ノ向ヒ側ノ
北鮮ニ於キマシテハ、御承知ノ通り清津、
羅津、雄基、最近ニ於テハ瑞川、城津ト云
フヤウナ港ガズツト出來テ居ル、將來ハ浦
羅斯德ガ自由港ニナル情勢ガ參リマスナラ
バ、浦羅斯德ヲ加ヘタ向フノ吞吐能力、ソ
レト日本海沿岸ノ港ノ吞吐能力トノ關係ハ
比率ヲ保テセナレバイヤカナイト思フノデ
アリマス、サウ云フ點ニ付テ私共ハ港灣ノ
專家デアリマセヌカラ、何處ニ第一ノ
重點ヲ置クベキカト云フコトハ、是ハ私ハ
専門家ガ綜合的見地ニ立ツテ御立テ下サレ

ハ日本ノ非常ナ跋行的ナ發展ヲ來シテ居ル
一ツデアルト考ヘルノデアリマシテ、港灣政
策全般ニ付テハ、是モヤハリ議會制度ノ一
ツノ非常ナル弊害デアリマシテ、責任ハ議
會ニアルト私ハ思フノデアリマスガ、地
方ガ運動致シマスカラ、決ツタ豫算ヲ以テ
或所ニハ十萬圓ヤツテ或所ニハ二十萬圓ヤ
リ、又或所ニハ三十萬圓ナル、ドレモ是モ
一ツモノニナツタモノハナイ、斯ウ云フ港
灣政策デアツテハ、私ハ非常ニ痛感アルト
考ヘルノデアリマシテ、ヤハリ東亞新秩序
建設ノ立場ニ立チマシテ、日本ノ國土計畫
ト全體ノ港灣ノ利用關係トヲ考慮致シマシ
テ、中島君ノ御意見デアリマセスケレド
モ、重點主義ヲ以テ順位ヲ決メテ、サウシ
テ徹底シテ港ヲ造ツテ行カレバ駄目ダ
ト私共ハ考ヘルノデアリマス、日本ノ今日
ノ港ノ状態ハ、表面ニ於テハマシテハ、東京
港ヲサヘ一億圓モ金ヲ掛ケテ居ル、名古屋
ガ一億圓ノ金ヲ掛ケテ居ル、然ルニ裏日本
ノ港ト來テハ何百万圓ト云フ桁ノ金シカ掛
ケテ居ラスノデアリマシテ、是デハ港ガ出
來ナイノハ當然デアリマス、今日日滿支一
體ノ見地カラ見マシテ、裏日本ノ向ヒ側ノ
北鮮ニ於キマシテハ、御承知ノ通り清津、
羅津、雄基、最近ニ於テハ瑞川、城津ト云
フヤウナ港ガズツト出來テ居ル、將來ハ浦
羅斯德ガ自由港ニナル情勢ガ參リマスナラ
バ、浦羅斯德ヲ加ヘタ向フノ吞吐能力、ソ
レト日本海沿岸ノ港ノ吞吐能力トノ關係ハ
比率ヲ保テセナレバイヤカナイト思フノデ
アリマス、サウ云フ點ニ付テ私共ハ港灣ノ
專家デアリマセヌカラ、何處ニ第一ノ
重點ヲ置クベキカト云フコトハ、是ハ私ハ
専門家ガ綜合的見地ニ立ツテ御立テ下サレ

六結構ヲトシテアリマス、信濃ノ港ニ
第一位ヲ置クカ、或ハ伏木ニ置クカ、或ハ
敦賀ニ置クカ、ソレハ一ツ綜合的見地ニ立
ツテ御決ヲ願ハバ宜シイガ、何ニシテモ共
ノ三ツノ港ト共ニ、今日ノ金ノ掛ケ方、今
日ノヤウナ計畫ハ却テ邪魔ニナルト私ハ
思フノデアリマス、信濃港ナドニ付テ考
テ見マシテモ、アノ廣イ背後地ヲ持ツテ居
リマス、ソレカラ干満ノ差ガ一尺ソコ
シカナイト云フヤウナ非常な良イ條件ヲ持
ツテ居リマス、運河ヲ幾ラモ造レルト
云フ好イ條件モ持ツテ居リマスガ、小サイ
三百萬圓トカ四百萬圓トカ云フ計畫デ以
テ、アノ近所ニ工場ガズツト出来テシマフ
ト云フコトデハ、將來私ハ大規模ナ計畫ノ
關係モアリマスカラ、一遍ニドレダケノ金
ヲ出セルト云フコトハ別問題トシテ、私ハ
計畫トシテ大連ガ一億圓以上ノ金ヲ掛ケテ
居ルノデアリカラ、ソレト匹敵スル第何期
計畫ト云フモノヲ決メマシテ、今出スノハ
幾ラデモ宜イガ、根本的ニハ、ソレノ邪魔
ニナラヌヤウニ土地ナドモ取ツテ置キ、其
ノ區域モ制限シテ置クコト云フ行キ方デナ
イト、將來出来上ツタ頃ニハ小サクナツ
テ、又造ル時ニハ工場ヲ打ち壊サナケレバ
ナラヌ、橋ヲ壊サナケレバナラヌ、現ニ新
潟ノ萬代橋ヲ壊サナケレバ運河計畫ハ駄目
ナノデアリマスガ、サウ云フ點ハ全體的ニ
不經濟ナルト考ヘマスノデ、此ノ點ニ付
テ大臣ノ御意見ヲ承リタイ、尙ホ細カイ點
ニ入りマシタノデ、政府委員ノ御答辯モ承
リタイト思フノデアリマス

○見玉國務大臣 港灣ノ問題デアリマス
ガ、今御話ノヤウニ、一面ニ於テハ國土計

畫ノ上カラ大體ノ方針ヲ定メテ行ク必要ガ
アリ、又此ノ時局ニ對シテハマシテ、大陸
發展ノ上カラ此ノ港灣ノ根本方針ヲ定メテ
行ク必要ガアリマスノデ、是モ今年ノ豫算
ニ其ノ必要ノ感ジマシテ、調査費ヲ取ツテ
居ル次第デアリマス、從來港灣ニ關シマシ
テハ、或ル場合ニ於テハ地方的ノ利害關係
ガ先ニナツテ、サウシテ國家全體ノ上カラ
考ヘルト云フコトノ其ノ重點ガ外レテ居ル
場合モナクハナイカト思フノデアリマス、
又ソレガ爲ニ計畫ガ小サクテ、今日ノ時代
ニハ合ハナイデ、却テサウ云フ計畫ヲシタ
ガ爲ニ大發展ヲ妨ゲル例モアルト私ハ思フ
テ居ルノデアリマス、隨テ此ノ港灣ノ計畫
ニ關シマシテハ、只今御話ノ通りデアリマ
スノデ、朝鮮滿洲並ニ北支方面一帶ヲ觀ミ
マシテ、何處ニドウ云フ計畫ヲ以テ港
灣ヲ造ツタラ宜イカト云フコトニ付テハ、
更メテ今年ヨリ檢討ヲ加ヘテ見タイト考ヘ
テ居ルノデアリマス

○三宅委員 只今ノ御答辯デ大變満足シタ
ノデアリマスガ、何ニ致シマシテモ、裏日
本ノ港ニ付キマシテハ、急イテ擴充ヲヤリ
マセスト、對岸トノ吞吐能力ノ關係ニ於テ
非常な缺陷ヲ生ズルト思ヒマスノデ、此ノ
點ニ付テハ一ツ重點主義デ以テ急イテ敷キ
タイト云フコトヲ希望シテ置キマス

ソレカラ私ハ豫算總會ニ於テモ申述ベタ
ノデアリマスガ、日本ノ健全ナル並行ノ發
展ノ見地カラ見マシテモ、日本海ニ而スル
裏日本ト云フモノガ、資本主義ノ發展時代
ニ取殘サレタコトハ日本ノ一番ノ弱點デア
リタイト思フノデアリマス、東北ガ取殘
サレタノ付テハ東北振興ニ關スル國策ガ決
ツタノデアリマスガ、裏日本ガ取殘サレタ

ウ云フ點ニ付テモモウ一步政府ノ力、國ノ
力ガ加ハリマスレバ、ソレガ可能ニナツテ
來ルト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス

更ニ例ハ最近ニ於テハ、流雪溝ト云フ
モノガ出来マシテ、水ニ雪ヲ流スト云フ
コトデ、除雪ノ問題ニ於ケル一ツノ發見ガ
出来テ居ルノデアリマス、雪ノ多い地方ニ
於キマシテハ、屋根ノ雪ヲ降ス爲ニ非常な
金ガ掛ルノデアリマスガ、最近ニ於テハ屋
根ノ雪ガ自然ニ落ちルヤウナ住宅ガ自然ニ
發明サレテ居ルノデアリマス、之ニ少シ科
學ノ力ヲ加ヘレバ、私ハ斯ウ云フヤウナ住
宅ノ問題ニシテモ、除雪ノ問題ニシテモ、
農作ノ問題ニシテモ解決出来ルト思フノ
デアリマス、内務省ノ關係ニ於キマシテ、冬
自動車ガ通ラナイト云フコトハ重大ナコト
デアリマシテ、米ノ供出ヲサセヨウトシテモ、
自動車ガ通ハナイカラ、米ハ一俵ニ俵ツ
機ニ積ンデ、山ノ奥カラ持ツテ來ルト云フ
状態デアリマス、而モ新庄ノ試驗場ノ話ニ
依リマス、軟雪ノ上ヲ通ル自動車ハ最早
技術的ニ可能ニナツタサウデアリマス、之
ニ付テ政府ガ綜合的ニ年二三十萬圓ノ金
ヲ掛ケル、或ハ五六萬圓ノ金ヲ掛ケテ、
總テノ點ニ互ツテ綜合的ナ根本的對策ヲ
考慮スル途ヲ付ケマスナラバ、私ハ雪害問題
ノ如キハ直テ解決付クト思フノデアリマス、
住宅問題ニ付テモ御承知ノ通り去年デシタ
カ一昨年デシタカ、劇場ガ雪ノ爲ニ潰レテ
何百人カ死ンデ居ル、本年ハ雪崩ノ爲ニ富
山縣ノ發電所工事ニ於テモ、亦新潟縣ニ於
テモ朝鮮人ガ何十人ト死ンデ居ルノデアリ
マス、是等ニ付テ除雪費ヲ掛ケズ、安イ金
デ而モ堅牢ナモノガ科學ノ力デ發明サレヌ
譯ハナイト思フノデアリマス、斯ウ云フ點

ニ付テ國土計畫ノ見地カラ行キマシテモ、
年々陳情ヲサセルコトハ私ハ政治ノ要諦デ
ハナイト思フ、陳情シナイデ一ツ根本的ニ立
チ得ルヤウナ綜合的ナ雪害對策ヲ御作り願
ヒタイ、斯ウ云フ風ニ希望スルノデゴザイ
マスガ、其ノ點ニ付テノ御所見ヲ承リタイ
ト思フノデアリマス

○見玉國務大臣 雪害對策ニ付キマシテハ
前年雪害對策調査委員會ニ於テ一應ノ研究
ヲ遂ゲテ其ノ答申ヲ得テ居ルノデアリマス、
只今御話ニナリマシタヤウナ事項ガ果シテ
此ノ調査會ノ問題ニナツタカナラナイカ、
私實ハ承知シテ居ラナイノデアリマスガ、
此ノ問題ハ東北、北陸地方ニ於キマシテ重
大ナル關係ノアル問題デアリマスノデ、只
今ノ御話ヲ參考ニ致シマシテ、如何ニシタ
ナラバ其ノ對策ガ講ゼラレルデアラウカ、
果シテ綜合的ノ調査會ヲ掲ヘルノガ宜イカ
ドウカ、ソレ等ニ付テハ考慮ノ餘地ヲ與ヘ
テ敷キタイト思ヒマス、但シ只今申上ゲマ
シタ通り東北地方ノ發展シナイ所以ノ一ツ
ノ大キナ原因ガ此ノ雪害ニアルト云フ事柄
ハ、全く其ノ通りト考ヘマスノデ、如何ニ
シテ之ヲ除去シ、如何ニ東北地方、北陸地
方ヲ振興セシムベキヤト云フコトニ對シテ
ハ深キ注意ヲ拂ツテ行キタイト考ヘテ居リ
マス

○三宅委員 私ハ調査會デハ駄目ダト思
フ、實ハ此ノ前調査會ガ出来タノデアリマ
スガ、思ヒ付ダケガ市街シマシテモ駄目ダ
ト思フノデアリマシテ、第一自動車ニ付キ
マシテモ、降雪地帯ヲ自動車ガ通ツテ居ル
ノデアリマス、外國デハ樂ニ自動車ガ通
ヒ、滿洲デハ冬ニナツタラ却テ交通ガ良
イ、然ルニ日本特有な軟雪ニ對スル科學的

者が多トモ事前ノ運動モヤウナナ形跡ガアルト、此ノ勸告ヲ背カズニ立ツナラバ皆引ツテ居ルト見エマシテ、半ハ恐ラ作シテ引イテシマツタ、私ノ黨ガハ大分市デ一名立ツタガ、定員三名ノ所ニ七名立ツテ皆下ノ方カラ段々削ラレテ四人ニナツテ、ドウシテモ辭メスト云フ譯テ結局次點ニナツタ、其處タケハ競争ガアツテ他ハ皆競争ハナカツタ、左様ニ無競争工作ヲ非常ニ幹旋スルト同時ニ、演説會ヲ全廢シタ、サウシテ總テ文書ニ依ル挨拶狀ト云フコトヲ強行シタ、二三反對ガアツタサウデアアルガ到頭縣ノ方針ト云フコトデハ強行致シマシタ、之ヲ強行スルコトニ依ツテドウ云フ副効果ガ生レタカト云フト、公然タル戸別訪問或ハ買収ガ行ハレタ、演説會デモヤルト、多少其ノ方ニ精力ヲ投ゲルノデアアルガ、左様ナコトヲヤラナカツタ爲ニ、却テ無競争ニナツテ非常ニ各地ニ紛議ヲ醸シタケレドモ、一面ニ於テ無競争工作ヲ進メテ文書タケニスルト云フノデ、明ニ犯罪事實ト覺シキモノガアリマシテモ、警察デハ之ヲ舉ゲテ居ラナイ、斯ウ云フコトハ地方ノ縣知事アタリノ思ヒ付、或ハ總務部長警察部長等ノ思ヒ付テラレテハ洵ニ迷惑デ、寧ロ言論ヲヤラセテ、サウシテ言ヒタイコトモ言ハセ、聽キタイコトモ聽カシテ、縣會議員選舉ヲヤルノガ宜イ、元來縣會議員ノ權限ハ御承知ノヤウニ薄イカラ、サウ云フ地位ニアル縣會議員ヲ全ク官製ノヤウニシテヤルコトハ、是ハドウモ時代ニ違行スルモノデアアルト云フノデ大分縣デハ非常ニ評判ガ悪い、斯ウ云フ事實ヲ御承知

デアアルカドウカ知リマセヌガ、今後又各地ニ大小無數ノ選舉ガアルコトデアリマセウガ、大體ニ於テ選舉制度ガアル以上ハ、ソレニ制限ヲ設ケテニ拘ラズ其ノ制限ヲ守ラナイト云フ傾向ハ面白クナイと思フ、大分縣ノ中ニハ選入ツタ者ハドウカ知リマセヌガ、選ニ漏レタ者ヲ代表スル者ハ非常ニ不滿ノ感ジテ居リマシテ、此ノ機會ニ内務大臣ノ御意見ヲ聽カシテ實ヒタイト云フ手紙ナドモ澤山來テ居リマシテ、事實ノ有無等ハ分ラナイトシテモ、私ノ申上ゲタ點ガ假ニ事實トスレバ、大臣ハドウ云フ風ナ御感想ガアルカト云フコトヲ御聽カセ願ヒタイスカラ、政府委員カラ御答申シマセ

ノ取締ヲ履行致シタノデアリマス、固ヨリ只今御話ノゴザイマシタヤウニ、選舉ハ何處マデモ自由公正ニ行ハレコトガ本旨デゴザイマスルノデ、官選ノモノニ相成ルヤウナコトガアツテハ是ハ由々々イ大事デアリマスルノデ、將來トモ内務省ト致シマシテハ、選舉ノ自由公正ニ付キマシテハ、之ヲ堅持シテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

以上モウ仲ビナイノデアリマス、斯様ニ優秀ナル開歷、經驗者ノ昇進スル限度ヲ決メテ置クト云フコトハ、私ハ獎勵ニナラヌト思フノデアリマス、小學校ノ教員カラ身ヲ起シテ視察學士ナリ、更ニ手宛アル者ハ之ヲ學務課長トシ、又手宛アル者ハ學務部長ニスル、ソレカラ警察官ニシテモ同様デアリマシテ、手宛ト開歷、人格ニ依リマシテハ、警察部長ニモナレルト云フ途ヲ開カレテハドウデアアルカ、全國全部ノ警察部長ヲサウ云フ風ニシナイデモ、少クトモ警察部長ノ三分ノ一位マデハ特進ヲ認メル、是ハ陸海軍等ニ於キマシテモ、海軍ニ於キマシテハ少佐マデ進メルノデアリマシテ、陸軍デモ年餘サヘ若クテ、途中カラ士官學校ニ入レマスト、一兵卒カラ行キマシテモ、十分士官マデ行ケル途ヲ開ケテ居リマス、戰爭ト云フ直ク勝敗ノ分ルモノニ於テモ指揮官ニナレル途ヲ開ケテ居ル、行政官デアリ、而モ其ノ縣デ十數年堪能シタ者ニ對シマシテハ、最後ハソコマデ行ケルト云フ途ヲ開イテ置ケバ、又勵ミモ付クト存ジマスガ、今ハサウナツテ居ナイ、隨テ文官任用令ノ全國的綜合的ノ改正ガアル時ニ御考慮ニハナルト思ヒマスガ、差當ツテ若シ内務省ガケテ取扱ハレルモノガアルノデアリマシレバ、所謂地方官ハ重大政策ヲ左右スル地位デアリマシマスルカラ、特ニ警察部長ノ如キハ中央ノ命令ヲ遵奉シテヤレバ宜イノデアリマシマスルカラ、サウ云フ者ニ對シテ、或種ノ門戸ヲ開放スル必要ハナイカ、私ハ其ノ必要ガアルト思フノデアリマシマスルガ、大臣ハドウ云フ御考デアリマシカ、伺ヒタイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 只今ノ特別任用ノ範圍ヲ

擴張スルコト云フ問題デアリマスルガ、是ハ他ノ各種ノ官吏トノ關係モアリマスルノデ、官吏制度全般ノ改正ノ時ノ一項目トシテ考ヘマスル方ガ正シ考方ダト思ヒマスルノデ、御意旨ノ點ハ承ツテ置キマスガ、内務省ガケテ其ノ途ヲ開イテ行クト云フコトノ考ハ今日持ツテ居ナイノデアリマス

○田原委員 次ハ新聞統制ノ問題デアリマス、是ハ「バルブ」ノ問題等ガ大體ノ理由ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、副イ新聞、或ハ業報ノ學ヲ又新聞、或ハ其ノ經常中ニ色々好マシカラザル問題ヲ起シタモノニ對シマシテ、自發的ニ整理ヲサセテ居ル、先般ノ豫算總會デアツタカ、本會議員カラ買シテ居ツタヤウデアリマスガ、然ルニ地方ニ行キマスト、所謂弱者者ニナツテ居ル例ガ屬、アル、ヨク大分縣ノ例ヲ引イテ恐縮デスガ大分縣ノ別府ニ日刊新聞ガ十一アツタ、勿論是ハ政黨派ノ代表デアリ、或ハ遊廓ノ代表、「カフエ」ノ代表ノヤウナノガアツテ、全般トシテハ大シテ立派ナ新聞デアリマセヌガ、ソレヲ最初ハ縣ノ方針トシテ話合ヒデ一ツニスル積リデアツタサウデアリマス、別府ノヤウナ所デハ一ツ位日刊新聞ガ必要デアアル、大分縣ノ新聞ガ來ルノデ全國的「ニュース」ハ他ノ新聞ガ分ルケレドモ、地元ノ小サナ「ニュース」ナドハハナリ土地ノ新聞デナイト分ラナイ、色々話合ツタ、所ガヤハリ此ノ十

ノ取締ヲ履行致シタノデアリマス、固ヨリ只今御話ノゴザイマシタヤウニ、選舉ハ何處マデモ自由公正ニ行ハレコトガ本旨デゴザイマスルノデ、官選ノモノニ相成ルヤウナコトガアツテハ是ハ由々々イ大事デアリマスルノデ、將來トモ内務省ト致シマシテハ、選舉ノ自由公正ニ付キマシテハ、之ヲ堅持シテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○田原委員 其ノ整理方法デアリマスガ、恐ラク内務大臣ガサウ云フ考ダト、中々官廳ノ出版物ハ整理ガ付カヌト思ヒマス、是ハ論議ヲスルト時間ヲ要シマスガ、今内務大臣ノ持ツテ居ル權限ヲ以テ發禁ヲシテ、自然ニソレハ何カノ都合デアス云フヤウナ出版ハ出サヌ方ガ宜イト云フコトガ分リマシテ、ソレガケハ止メテシマフト云フコトニナルカラ、サウ云フヤウナ思ヒ切ツタ行動ヲ執ツテ置キタイ、是ハ内務大臣ノ御決意次第デアマルコトト思ヒマスガ、内務大臣ノ御所見ハ如何デアリマシカ

○兒玉國務大臣 地方ノ新聞ノ整理合併ノ

ガ、ドウモ強権ニ依リマシテ、間接ニ言論ノ壓迫ニナルヤウナコトハ、私トシテハ避ケタイト考ヘマス

○田原委員 私人質問ハ是レ終リマス

○金井委員 名川君

○名川委員 私人内務當局ニ對シマシテ、昨年八月行ハレマシタ富山縣ノ衆議院議員補選ノ際ニ於キマス警察官ノ選擧不當干渉並ニ其ノ檢擧ノ不法ノ事實ニ付テ御答致スノデアリマス、是ハ大臣ハ御就任前ノコトゴザイマシテ、無論御承知ナイケド、アラウト思ヒマスカラ、大臣デナクテモ、政府委員ノ御方ヨリ御答下サイマシテ十分デアリマス

昨年富山縣ニ於キマシテ寺島權藏氏ガ失格セラレテ選擧ヲ行フコトニナリマシタ、所ガ富山縣知事ヨリ、此ノ選擧ハ寺島勝勝ツノハ分リ切ツタコトデアアルカラ、石坂ハ立候補ヲ見合ス方ガ宜クハナイカト云フヤウナ意味ノ忠告的輪旋ガアツタノデアリマースルケレドモ、石坂豐一氏之ヲ背ゼズ、遂ニ雙方競争トナリマシタノデ、富山縣知事ハ、其ノ勸告ニ從ハザリシコトニ付テ不平ガアツタノデアリマス、其ノ選擧ニ付キマシテ尚ニ不法極マル干渉ヲ致シタノデアリマス、其ノ一例ヲ舉ゲマス、候補者石坂豐一氏ノ富山市ノ住宅ニハ、五名ノ刑事巡查ヲ夜夜強シテ、滑川町法專寺境内ノ同氏ノ寢泊リスル所ニハ、三名ノ刑事ヲ強シテマシタ、尚又附近ノ家ヲ能ク石坂氏ノ所ニ出入リスル者ガ望見シ得ル場所ニ、警官ガ毎日強シテ居ツタコト云フ事實アリマス、斯ノ如キハ洵ニ選擧妨害モ甚シキモノデアリマシテ、選擧法ノ固ヨリ禁止スル所デアアルコトハ申スマデモナイノデアリマス、

ノミナラズ此ノ石坂派ノ選擧員並ニ勞務者ニ至ルマデ、一々尾行ノ刑事巡查ヲ付ケタ、又魚津町ノ石坂氏ノ選擧事務所ニハ、刑事ヲ入込マセマシテ、其ノ選擧事務所ニ於テフヤウナ狀況ニシテ、非常ニ選擧ノ妨害ヲシタ事實ガアルノデアリマス、ソレカラ選擧ガ終了致シマシテ、壓迫的ニ石坂氏ノ勝利ニ歸シマスルヤ、選擧違反ノ檢擧トシテ、實ニ辛辣言フニ堪ヘザル不法ノ手段ヲ以テ檢擧シタノデアリマス、ソレヲ一々申上ゲマスルト非常ニ長イ時間ヲ要シマスガ、事務長ノ松井小右衛門ヲ五月十一日カラ二十五日マデ、何等法律上ノ原因ナク不法ニ富山署ニ之ヲ留置シタ、村上清四郎モ同様、高安次次五十五日カラ二十五日マデ不法ニ留置シタ、千田健次ハ五月十三日カラヤハリ二十五日マデ、其ノ外中野一、帶刀米次郎、山科榮作、小川久義、平井長作、堀内長作、森井調輔、藤田三郎、渡邊吉、中村貞喜等ニ對シテ何レモ十日乃至十五日間法律上ノ手續ニ依ラズシテ不法ニ之ヲ警察ニ留置シ、而シテ警察ノ註文通りノ供述ヲ強イタ、而モ其ノ中デ小川久義ノ如キハ午前二時頃ニ寢テ居ル所ヘ、寢込ニ飛込シテ夜具ヲ引離シテ、ソレヲ連レテ行ツテ拘留ヲ致シテ居ル、サウ云フヤウナコトニ依テ、夜夜中ニ行ツテ、寢テ居ル者ヲ連レテ行ツタ者ガ六七人モアルノデアリマス、申スマデモナク刑事訴訟法ニ於キマシテハ、現行犯ニ依リ以外ニ於テ、豫審判事ノ令狀ヲシテ拘留スルコトノ出来ヌコトハ論ヲ俟タヌ、然レニ全然社會ノ事情ニ疎ク、選擧ノ事情ニ經驗ノ薄イ所ノ警官ガ、此ノ者ニ違反アリトノ自分ノ先入感ニ依ツテ人ヲ勝手ニ捕ヘテ來テ、法律上ノ手續ニ依ラズシテ之ヲ拘束シテ、自分ノ先入感ニ合シタル供述ヲ爲スマデハ出サナイト云フコトデ、何處マデモ拘束シテイデメル、生身ノ者ハ餘程ノ馬鹿力餘程ノ豪傑デナイ限りハ、之ニ對抗ノ出来ルモノデハアリマセヌ、二重カ三層ノ部屋ニ七人モ八人モ其ノ中ニ抛リ込シテ、殆ド横ニ寝ルコトノ出来ヌヤウナ目ニ遣ハシテ、十日モ十五日モ置イテ、其ノ面會ヲ許サヌノハ無論ノコト、而モソレニ對シテ刑事巡查ガ五人、七人車座ニナツテソレヲイデメル、サウシテ自分ノ先入感ニ合スルヤウナ供述ヲ求メテ選舉違反アリトノ供述ヲセタノデス、而モ甚シキニ至リマシテハ、セツハツノ小學校ノ生徒ヲ小學校ニ行ツテ連出シテ、ソレデレノ訊問ヲ致シテ、ソレガ震ヘ上ツテ其ノ刑罰ヲ言フガ儘ニ心ニモナキ事ヲ言ハタノヲ證據ニシテ、又留置中ノ人々ヲ責メテ、サウシテ不利益ナル聽取書ヲ作ルト云フヤウナコトニ依ツテテツチ上ゲテ事件ヲ檢擧局ニ送ツテ居ルノデアリマス、一體司法警察官ガ行政執行法ニ依ツテ人ヲ檢束シ、サウシテ司法事件ノ取調ヲスルコト云フコトハ不法デアアル、是ハモウ論ヲ俟タナイ、行政執行法ト云フモノハ御承知ノ通りニ瘋癲、白痴、氣狂ヒ、自殺者ト云フヤウナ目前ニ生命ノ危險ニ瀕シテ居ル者ヲ一時警察ニ留置シテ其ノ生命ヲ助ケルト云フノガ行政執行法デアアル、其ノ國民保護ノ法律ヲ國民保護ノ任ニ當ル警官ガ適用シテ、此ノ法律ニ依ツテ人ヲ拘束シ、無辜ノ民ヲ拘束シテ罪ナキ者マデモ罪アルガ如クニ拘束シテ、其ノ苦シクサノ餘リニ無根ノ事實ヲ供述

ニ違反アリトノ自分ノ先入感ニ依ツテ人ヲ勝手ニ捕ヘテ來テ、法律上ノ手續ニ依ラズシテ之ヲ拘束シテ、自分ノ先入感ニ合シタル供述ヲ爲スマデハ出サナイト云フコトデ、何處マデモ拘束シテイデメル、生身ノ者ハ餘程ノ馬鹿力餘程ノ豪傑デナイ限りハ、之ニ對抗ノ出来ルモノデハアリマセヌ、二重カ三層ノ部屋ニ七人モ八人モ其ノ中ニ抛リ込シテ、殆ド横ニ寝ルコトノ出来ヌヤウナ目ニ遣ハシテ、十日モ十五日モ置イテ、其ノ面會ヲ許サヌノハ無論ノコト、而モソレニ對シテ刑事巡查ガ五人、七人車座ニナツテソレヲイデメル、サウシテ自分ノ先入感ニ合スルヤウナ供述ヲ求メテ選舉違反アリトノ供述ヲセタノデス、而モ甚シキニ至リマシテハ、セツハツノ小學校ノ生徒ヲ小學校ニ行ツテ連出シテ、ソレデレノ訊問ヲ致シテ、ソレガ震ヘ上ツテ其ノ刑罰ヲ言フガ儘ニ心ニモナキ事ヲ言ハタノヲ證據ニシテ、又留置中ノ人々ヲ責メテ、サウシテ不利益ナル聽取書ヲ作ルト云フヤウナコトニ依ツテテツチ上ゲテ事件ヲ檢擧局ニ送ツテ居ルノデアリマス、一體司法警察官ガ行政執行法ニ依ツテ人ヲ檢束シ、サウシテ司法事件ノ取調ヲスルコト云フコトハ不法デアアル、是ハモウ論ヲ俟タナイ、行政執行法ト云フモノハ御承知ノ通りニ瘋癲、白痴、氣狂ヒ、自殺者ト云フヤウナ目前ニ生命ノ危險ニ瀕シテ居ル者ヲ一時警察ニ留置シテ其ノ生命ヲ助ケルト云フノガ行政執行法デアアル、其ノ國民保護ノ法律ヲ國民保護ノ任ニ當ル警官ガ適用シテ、此ノ法律ニ依ツテ人ヲ拘束シ、無辜ノ民ヲ拘束シテ罪ナキ者マデモ罪アルガ如クニ拘束シテ、其ノ苦シクサノ餘リニ無根ノ事實ヲ供述

其ノ事實ヲ御認メニナルカドウカ、今後ニ於テ斯ウ云フヤウナ行政執行法ニ依ツテ司法事件ノ關係者ヲ留置スルコト云フヤウナコトハ御止メニナルト云フコト此處デ斷言ナサルカドウカ、ソレヲ御伺スルコトニ致シマス

○山崎政府委員 便宜私カラ御答申上ゲマス、昨年ノ五月十日、富山縣ニ於テ行ハレマシタ衆議院議員ノ再選擧ニ際シマシテ、只今御話ノゴザイマシタヤウニ、當時知事ガ妥協工ヲ行ヒマシタケレドモ、ソレガ旨行カナカタガ爲ニ、極端ニ干渉壓迫ヲ加ヘタト云フヤウナ噂ガ中央デモ、相當私共新聞デモ見マシタシ、耳ニモシタノデアリマス、當時内務省ニ於キマシテハ問題ノ重要性ニ鑑ミマシテ、直チニ内務省ノ事務官ヲ富山縣ニ派遣致シマシテ、當時ノ事情ヲ詳細ニ調査致シタノデアリマス、其ノ結果只今御話ノゴザイマシタ事實ニ付キマシテモ、色々取調ヲ致シタノデアリマスガ、選擧ガ一黨ニ偏シマシテ干渉ニ依ツテ行ハレタト云フヤウナ事實ハナカウツチヤウナ調査ノ報告ニ相成ツテ居リマス、尚ホ只今指摘セラレマシタ事項ノ中ニ或ハ事務官ノ調査漏ニナツテ居ル點モアルカト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、更ニ慎重ニ調査シマシテ、只今御話ノ點ヲ研究ヲ致シマシテ、若シモ誤ツテ居ル點ガゴザイマシタナラバ、今後は正シテ參リタイト存スルデアリマス

尙ホ犯罪搜查ニ付キマシテ行政執行法ヲ適用スルコトノ不當デハナイカト云フ御説デゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、内務省ト致シマシテハ、從來カラ犯罪搜查ニ行政執行法ヲ適用スルコトニ付キマシテ

ハ、是人權ヲ尊重スベキ建前カラ嚴ニ戒メテ參ツテ居ルノデアリマス、只今司法警察官ノ強制留置ノ問題ニ付キマシテハ、名川君御承知ノ通りニ、司法省ニ於ケル司法制度調査會ニ於キマシテ、是ガ問題ノ重要性ニ鑑ミマシテ、慎重ニ考中デゴザイマス、恐ク司法制度調査會ノ結論ヲ俟ツテ此ノ問題ガ適當ニ解決ヲサレルノデアリナイカト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○名川委員 一昨々日デアリマシタカ、司法大臣ノ説明ニ依リマス、富山縣ノ選擧違反檢擧ニ付テ不當ノ處置ガアツタカラシテ、其ノ事ニ付テハ縣當局ニ裁判所ノ方カラサウ云フ不當ノコトガアルコトニ付テ報告ヲシテアルト云フコトノ説明ガアツタノデアリマス、然レニ調ベテ見マス、其ノ檢擧局ガ不當ノ處置ト認メテ行ツテ居ラバ、其ノ後調査其ノ他ノ處罰ヲ受ケル反對ニ、昇進セラレテ居ルノデアリマス、サウ云フ事實ヲ明ニシマシタ、是ハ實ニ驚キ入ツタコトダト思フ、知事其ノモノカラ言ヘバ知事ノ意ノ通りニ動イタノデアリ奴ダト云フコトニナルカモ分リマセヌガ、國家ノ法律ヲ行使シ、國民ノ權利保護ト云フ所カラ行キマス、洵ニ不都合極マルコトデアアル、由來斯ウ云フコトガ兎角各地方ノ長官ニ多イノデアリマス、長官ガ其ノ威權ヲ何處マデモ保持シヨウ、官ノ威嚴ヲ保持シヨウト云フ積リデ、其ノ實官ノ威嚴ニアラズシテ自分個人ノ威嚴ヲ保持シヨウニ何處マデモ横車ヲ通スト云フコトガ常ニアル、其ノ例ハ會テ青森縣ニ於キマシテ、選舉違反檢擧ニ付テ非常ナ人權蹂躪ノ行爲ガアツテ、警察官ガ起訴サレタ、其ノ起訴サレタ警察官ガ保護致

シマシテ、相當ノ給料ヲヤツテ養フテ居ツタ事實ガアルノデアリマス、ナハリ今申シマス通りニ檢擧局ガ調ベテ不當ノ行動ガアリトスル者ヲ、之ニ對シテ行政上ノ相當ノ懲戒ヲ加ヘズシテ、却テ昇進サセタト云フコトハ言語道斷ノ話デアアルト思フ、今御説明ニ依ツテ十分ニ調ベテ適當ノ處置ヲスルト云ハレルノデアリマスカラ、私ハソレニ深く信頼致シマシテ、是非トモ是等ノ事實ニ付テ十分ノ御取調ヲ希望スル次第デアリマス

ソレカラ行政執行法ノ適用デアリマスガ、仰セノ通りニ、警察局長、内務大臣、或ハ司法大臣ヨリ司法事件ニ行政執行法ヲ適用シテハイカスト云フ訓示ガアリマスケレドモ、殆ド其ノ効力ガ無い、彼ノ國務事件ニ於テ鐵道省ノ賣ト云ハレテ居ル工學博士ト非君ナドガ演説ノ嫌疑テ起訴セラレテ一審デ無罪ト確定致シマシタ、ソレ等モ其ノ檢擧ノ初メヲ見ルト、鐵道省ノ屬官或ハ土木業者ナドヲ不法ニ拘束シテ、實ニ言語ニ絶スル拷問ヲ行ツタ、其ノ時ニ其ノ調ベタ土田ト云フ警部ヲ裁判所ヘ喚ビテ調ベタ所ガ、行政執行法ニ依ツテ刑事嫌疑者ヲ檢束シテ居ルコト云フコトハ警視廳デ昔カラヤツテ居ル所ノ慣習デアツテ、決シテ惡イコトトハ思ハスト公言スル、然ラバ斯ウ云フコトヲ禁止シテハ未ダ曾テ聞イタコトモ見タコトモナイト云フコトヲ公言シタコトモ公言ヲ致シテ居ルト云フ程圖々シヤツテ居ル、之ニ付テハ餘程内務省ニ於テ嚴格ニ御取締ヲ賜ハラヌト、其ノ弊害ハ蓋シ今後ニ於テ救フベカラザルモノガ出テ來ヤセヌカト思フ、今日世間ハ表面思想ナドニ於テ

モソシナニ恐ルベキモノハナイヤウニ見エマスケレドモ、スルコトニ依ツテ人權ヲ蹂躪スル爲ニ之ニ反抗ヲ致シ、之ヲ呪フ所ノ劫火ト云フモノハ、相當ニ燃エ擴ガラントシテ居ルト思フノデアリマス、洵ニ恐ルベキコトデアアルト思フノデアリマス、且又日本ガ新建設東亞ノ盟主トナルベキ文明國トシテ、斯ウ云フ不法ノ行爲ヲスルコト云フコトハ、實ニ恥辱極マルコトデアリマスガ故ニ、何處マデモ此ノ點ニ付テハ斷乎トシテ十分ニ御取調ノ程ヲ御願スル次第デアリマス、私ノ御尋スルノハ是ダケデアリマス

○金井委員 本日ハ以上ヲ以テ質疑ヲ終了致シマス、先刻明日ハ午後一時開會スルコトニ申シテ置キマシタガ、豫定ヲ變更致シマシテ、明日モ午前十時カラ開會シ、司法省所管ノ豫算ヲ議題ニ致シタイト存ジマスカラ、左様御承蒙ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時散會

モソシナニ恐ルベキモノハナイヤウニ見エマスケレドモ、スルコトニ依ツテ人權ヲ蹂躪スル爲ニ之ニ反抗ヲ致シ、之ヲ呪フ所ノ劫火ト云フモノハ、相當ニ燃エ擴ガラントシテ居ルト思フノデアリマス、洵ニ恐ルベキコトデアアルト思フノデアリマス、且又日本ガ新建設東亞ノ盟主トナルベキ文明國トシテ、斯ウ云フ不法ノ行爲ヲスルコト云フコトハ、實ニ恥辱極マルコトデアリマスガ故ニ、何處マデモ此ノ點ニ付テハ斷乎トシテ十分ニ御取調ノ程ヲ御願スル次第デアリマス、私ノ御尋スルノハ是ダケデアリマス

○金井委員 本日ハ以上ヲ以テ質疑ヲ終了致シマス、先刻明日ハ午後一時開會スルコトニ申シテ置キマシタガ、豫定ヲ變更致シマシテ、明日モ午前十時カラ開會シ、司法省所管ノ豫算ヲ議題ニ致シタイト存ジマスカラ、左様御承蒙ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時散會

昭和十五年二月十六日印刷

昭和十五年二月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 豫算委員第二分科(內務省及司法省所管)會議錄(速記)第二回

會議

昭和十五年二月十七日(土曜日)午前十時四十七分開議

出席委員左ノ如シ

主査 金井 正夫君

森下 國雄君

堤 康次郎君

名川 侃市君

兼務 田村 秀吉君

田原 春次君

吉田 賢一君

中村三之丞君

大本貞太郎君

三宅 正一君

工藤 鐵男君

小山 亮君

尙達君

星島 二郎君

正得君

坂野 千里君

涉君

石田 壽君

木村 尙達君

星島 二郎君

正得君

坂野 千里君

涉君

石田 壽君

木村 尙達君

星島 二郎君

正得君

坂野 千里君

涉君

石田 壽君

木村 尙達君

星島 二郎君

正得君

坂野 千里君

涉君

石田 壽君

木村 尙達君

星島 二郎君

正得君

坂野 千里君

涉君

石田 壽君

木村 尙達君

星島 二郎君

正得君

坂野 千里君

涉君

石田 壽君

木村 尙達君

星島 二郎君

正得君

坂野 千里君

涉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中司法省所管

○金井主査 開會致シマス、先ツ司法大臣ノ御説明ヲ承リマス

第一類第三號 豫算委員第二分科會議錄

第二回

昭和十五年二月十七日

二五

○木村國務大臣 司法省所管昭和十五年度豫算ニ付テ概要ヲ申上ケマス司法省所管昭和十五年度豫定經費要求額ハ、經常部五百五十三万六千八百八十七圓、臨時部五百五十六万五千三百九圓、合計五千七百一十九圓二千六百六十四圓、經常部ニ於テ二百七十七万二千六百六十四圓、臨時部ニ於テ二百九十九万七千五百九十三圓、合計四百七十七万二千六百五十七圓増加致シマス

今茲ニ本年度ニ於テ新ニ増加スル主ナル事項ヲ擧ゲマスレバ

一、物資供給調整ノ回滑ナル運営ヲ期シ、經濟犯罪ヲ取締安當ニ處理スル爲メ、前年ニ引續キ檢察及裁判ノ機構ノ整備ヲ實施致シマス、價格等統制令ノ施行ニ伴ヒマシテ、價格等統制ノ徹底ヲ圖ルノ要ガアリマス、是ガ經費八十四万九千四百四十四圓ヲ經常部及臨時部ニ計上致シマシタ

一、地代家賃統制令ノ施行ト共ニ借地借家ニ關スル紛争ノ圓滿ナル解決ヲ圖ル爲メ、借地法、借家法及借地借家調停法ノ施行區域ヲ擴張スル必要ガアリマス、是ガ經費十七万四千四百四十四圓ヲ經常部ニ計上致シマシタ

一、現下内外ノ情勢ニ鑑ミ銃後治安ノ完壁ヲ期スル爲メ思想犯罪防止ニ關スル檢察及裁判機構等ノ整備ヲ圖ルノ必要ガアリマス、其ノ所要經費七十一万八千二百二十九圓ヲ經常部及臨時部ニ計上致シマシタ

一、保護觀察所ハ思想犯罪檢察ノ機構強化ト相並シテ之ヲ整備擴充スルノ要ガアリマス、之ガ經費二万三千四百二十八圓ヲ臨時部ニ計上致シマシタ

一、東京少年審判所ノ管轄區域ヲ茨城、栃木、群馬、山梨、静岡ノ各縣ニ擴張シ、大阪少年審判所ノ管轄區域ヲ濠洲、奈良、和歌山ノ各縣ニ擴張スルノ必要ガアリマス、新ニ廣島、少年審判所ヲ設置致シマシト、岡山、廣島、山口、鳥取、島根及ト愛媛ノ各縣ニ少年法中保護處分ニ關スル規定ヲ施行致シマスガ爲メ、是等ノ經費四万八千八百七十七圓ヲ經常部ニ計上致シマシタ

一、少年法中保護處分ニ關スル規定ヲ施行區域ヲ擴張スルニ伴ヒマシテ、矯正院及比同出張所ヲ廣島ニ設置スルノ必要ガアリマス、之ガ經費五万八千二百圓ヲ經常部ニ計上致シマシタ

一、刑務作業ヲ適當ニスル各種軍需品製作註文等増加ノ見込デアリマシテ、之ガ爲メ諸材料購入ニ要スル經費等増加スルノ必要ガアリマス、其ノ所要經費八百三万六千九百九十二圓ヲ經常部及臨時部ニ計上致シマシタ、何卒慎重御審議ノ上御協賛アラントテ希望致シマス

○金井主査 續イテ質疑ヲ許シマス——三宅委員

○三宅委員 私人質問ノ第一ハ借地借家法、及借地借家測定法ノ區域ハドノ程度ニ才擴ゲニナルノデアアルカ、是ハ全國全部ニ擴ゲラレルノデアアルカ、今回擴ゲラレル區域ハドレノ範圍デアアルカ、其ノ範圍ニ付テ先ツ承リタイ

○木村國務大臣 政府委員ヨリ御答致シマス

○坂野政府委員 大體全國ノ半分ニ施行シタイト云フ積リデアリマス、數ヲ擧ゲマスト非常ニ澤山ニナリマスガ、大體只今ノ所東京、大阪、名古屋、横濱、京都、神戸ノ六府縣ニ先ツ施行サレテ居リマシテ、次イデ福岡縣ト廣島縣ニ本年ノ一月カラ施行サレテ居リマス、其ノ他ノ残りノ約半分ニ付テ今回ハ施行スル考デゴザイマス

○三宅委員 大體縣名ダケデモ一ツ御知ラセテ願ヒタイ

○坂野政府委員 北海道、青森縣、岩手縣、此ノ三ツハ中ノ大體大キナ都市ニ施行スル豫定デアリマス、宮城縣ガ全縣ニ互ニ豫定デアリマス、秋田縣ハ秋田市、茨城縣ハ土浦ト水戸市デアリマス、群馬縣、埼玉縣ハ全縣、千葉縣ハ千葉、市川、船橋ノ三市、新潟縣ハ新潟、長岡ノ二市、富山縣ハ富山、高岡ノ二市、石川縣ハ金澤市、山梨縣ハ甲府市、岐阜縣ハ岐阜市、大垣市、静岡縣ハ全縣、三重縣ハ四日市市、和歌山縣ハ和歌山市、島根縣ハ松江市、岡山縣ハ岡山市、山口縣ハ全縣デアリマス、徳島縣ハ徳島市、香川縣ハ高松市、愛媛縣ハ新濱市、長崎縣全縣、熊本縣ハ熊本市、大分縣ハ大分市、鹿兒島縣ハ鹿兒島市、合計八縣全部ト三十三市、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○三宅委員 市ハ何デスカ、市ダケデアリマスカ、其ノ近接ノ町村ナドハ行政區劃ニ

ニ付テ先ツ承リタイ

大體全國ノ半分ニ施行シ

數ヲ擧ゲマス

大體只今ノ所

一月カラ施行サ

約半分ニ付

考デゴザイマス

御知ラ

セテ願ヒタイ

北海道、青森縣、岩手縣、

此ノ三ツハ中ノ大體大キナ都市ニ施行スル

拘ラズ産業上ノ實情ニ即シテオヤリニナルノデスカ、如何デアリマスカ、是ハ尙ホ明確ニ致シマス爲ニ申シマスレバ、例ヘバ新潟市ニ致シマスモ、行政區劃トシテノ新潟市ト云フモノハ十二万バカリデアリマスガ、其ノ近傍ニ新興工場地帯ガズツト出来マシテ、借地借家ノ紛争ト云フモノハ其ノ地帯ノ方ガ多イト云フ事例ガ澤山アル、長岡市ニ付テ言ヘバ、上組村ト云フ村ニナツテ居リマスケレドモ、ソコニ理研ノ大キナ工場ガ出来マシテ、ソコハ住宅會社ヲ作ワテモ供給切レナイト云フヤウナ状態ニナツテ居ル、家賃ノ急騰等ガアリ、色々ナ訴訟ガ起キテ居ル、是等ノ點ニ付テハ行政區劃ヲ考ヘテ居ラレルノデアルカ、行政區劃ニ依ツテ居ラレルノデアルカ、經濟區劃ニ依ツテ居ラレルノデアルカ、其ノ點ヲ一ツ……

○坂野政府委員 御意見御尤デアリマシテ、行政區劃ニ限ラズ、經濟關係モ餘程考慮シテ施行シタイト思ヒマス

○三宅委員 是ハ何月頃カラ實施ニナルノデアリマスカ

○坂野政府委員 豫算ガ通過致シマスレバ、本年ノ七月一日カラ施行シタイト思ヒマス

○三宅委員 借地借家法及ビ調停法ノ施行區域ニ付キマシテハ、私共常ニ全國ニ施行シナケレバイケナイ、最近ノヤウナ急激ナ經濟變動ガアリマスル地方ハ、一年デモ大變ナ違ヒモアルシ、全國的ニヤツテ戴キタイト云フ希望ヲ毎年建議案、請願、色々ノ形デ以テ御願ヲシテ居ラレルノデアリマスガ、此ノ程度ニ於キマシテモ、今度實施サレルコトニナリマシタコトハ、非常ニ喜ビニ存ズル次第デアリマス、出来マスルナラバ、

更ニ全國的ニ——局部的ニハマダノスウ云フモノノ必要ナ地帯ハ澤山アルノデアリマスカラ、全國的ニ一ツ急進ニ實施ヲシテ戴キタイ、此ノ程度ニ擴ゲルト云フコトニナリマスレバ、ヤリ方次第デ非常ニ大キナ費用ヲ請ハナクテモ全國的ニ出来ルト考ヘルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ國務大臣トシテノ大臣ノ御答辯ヲ得テ置キタイト思ヒマス

○木村國務大臣 御意見御尤デアリマスノデ全國的施行ノ方向ニ向ツテ努力シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○三宅委員 借地借家ノ問題ハ其ノ程度ニ致シマシテ、最近ノ統制經濟ニ伴ヒマスル經濟警察ノ違反ノ事件ガ非常ニ多クナツテ來テ居ルノデアリマス、裁判所ノ仕事ト云フモノモ其ノ意味ニ於テ社會事情デアルトカ、經濟事情デアルトカ色々ノ點ニ付テ精通サレテオヤリニナラナケレバナラナイ段階ニ入ツテ來テ居ルト思フノデアリマス、私ハ先ヅ第一ニサウ云フ點ニ付テノ判事檢事等ニ對シマスル經濟的及ビ社會的知識ノ再教育等ニ付テドノ程度ニ御施設ヲヤツテ居ラレルカ、是ガ實情ニ即セズ、事情ヲ知ララバ、經濟關係ノ專業ヲ取締リマスル檢察及ビ裁判ト致シマシテハ、非常ニ弊害ヲ生ズルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テハ經濟警察自體ガ事情ヲ知ラナイノデアリマスガ、併シ其ノ諸君ハ非常ニ低額生活者デアリマスルノデ、サウ云フ意味ニ於テ社會ノ裏モ表モ知ツテ居ルノデアリマス、裁判所ノ中ニ入ツテ居ラレマシテ、特ニ此ノ目マダルシイ狀況デアリマスルカラ、餘程特殊ナ努力ヲ傾注サレナケレバ、其ノ足ラ

ザルナキヲ慎レナケレバナラナイト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ如何ナル措置ヲ御執リニナツテ居ルカ、現在御執リニナツテ居ル措置如何、及ビ是カラ後ノ判事檢事ヲサウ云フ教育ノ習熟ニ付テ、ドウ云フ措置ヲ御執リニナル積リデアアルカ、ヤツテ居ラレバ其ノ施設費用等ハドノ程度ニ取ツテ居ラレルカト云フコトヲ承リタイノデアリマス

○木村國務大臣 最近經濟ノ統制ガ行ハレルニ隨ヒマシテ、其ノ事犯ガ年々殖エテ參リマスノデ、司法省ト致シマシテハ、昭和十三年頃カラ檢事ノ方ニハ經濟統制ニ從フ專門ノ檢事ヲ東京、大阪等ニ指名致シマシテ、是等ノ人ヲシテ總テ事業界ノ事情等ヲ詳シク調査研究サセル所ノ準備ヲ致シマシタガ、其ノ後又ドウシテモ人員ガ足りマセヌノデ、本年度ニモ其ノ方面ニ向ケル爲ニ檢事判事ノ増員ヲ要求シテ居ルヤウナ次第デアリマス、一般ノ施設トシマシテハ一昨年度ゴザイマシタカ、司法研究所ト云フモノヲ建テマシテ、若イ檢事或ハ又實際裁判ニ當ル人等ヲ年々——何人位ニナリマスガ、數ハ後デ政府委員ヲシテ申上ゲサセマスガ、可ナリ多數ノ人間ヲ司法研究所ニ集メマシテ、指導官ヲ以テ是ガ監督ニ當ラシムルノミナラズ、實際ノ社會、經濟事情ニ通ジテ居ル所ノ各方面ノ御方々ノ講演會或ハ座談會等ヲ設ケテ、昨年カラ熱心ニ其ノ方面ノ知識ヲ涵養シ努メテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ經濟事犯ニ付テ經濟警察ノ方面ノ人ハ下情ニ通ジテ居ルガ、判事ノ方ハ却テ下情ニ通ジテ居ナイヤウナ御言葉ガアリマシタガ、一面ニ於テハサウ云フ憾ミモアルカモ知レマセマスガ、檢事ガ事犯ヲ取調ベ

デゴザイマシテ、實務家ノ會同ヲ行ヒマシテ、各地ノ判事ヲ招集致シ、各般ノ裁判檢察ニ關スル事務ノ打合せ或ハ研究ヲ致サセテ居リマス、尙ホ其ノ外司法研究ノ方デハ小社ノ判事ヲ長期研究ト申シマシテ、二箇月ナリ三箇月一定ノ題目ヲ選ンデ研究ヲサセ、其ノ研究報告ヲ各裁判所檢事局ニ配布致シマシテ、極ク少數ノ人ノ特殊ノ研究ヲ廣ク一般ノ判事ニ頒ツト云フヤウナ方法モ講ジテ居リマス、尙又昨今經濟問題ガ非常ニ重要ナ事柄ニナツテ參リマシタカラ、經濟實務家ノ會同ト云フモノヲ本省ニ於テ開催致スコトモアリマス、尙又各控訴院管内ニ於キマシテ「ブロック」的ニ判事ヲ會合致シマシテ、經濟問題ノ裁判檢察上ノ各般ノ研究打合せ、斯ウ云フヤウナコトヲ講ジテ居ルノデアリマス、是等ノ機會ニ於キマシテ、或ハ經濟方面ノ權威者ノ講演ヲ聽クトカ、或ハ座談會ヲ開クトカ斯ウ云フヤウナ方法ヲ講ジマシテ、社會情勢經濟情勢等ノ知識ヲ涵養ト云フコトニ努メテ居ルヤウナ次第デアリマス

○三宅委員 只今ノ大臣及ビ政府委員ノ御答辯ニ依ツテ御心構ヘハ十分ニ了承致シマシタ、確ニ經濟警察ナドト違ヒマシテ、教育ガ違ツテ居リマス、優レテ教育ヲ持タレタ判事デアリマスルカラ、經濟ノサウ云フ事情ニ精通サレマスレバ、是ハモウ善イ運用ガ出来ルトハ當然デアリマス、併シ私マダソレダケノ御處置ハ實ハ足ラナイト思フノデアリマシテ、例ヘバ判事ノ登用試驗ナドニ付テモ、ヤハリ試験ノ科目ナドヲ變更スル必要ガアリハシナイカト思フノデアリマス、或ハ經濟學ニ付テ、或ハ統計學ニ付テ、或ハ衛生學ト言ヒマスガ、生理學ト言ヒマスガ、生物

學ト言フカ、自然科學ニ關スル相當ナ科目ヲ加ヘナケレバ、是カラ後ニ優秀ナ判事ト云フモノハ出ナイト思フノデアリマスガ、判事登用ノ試験制度ニ付テ何等カ御變革ニナル意圖ガアルカナイカ、改革ヲ加ヘラニ承リタイノデアリマス

第二ニハ、サウ云フ點ニ付テ部内ニ「エキスパート」ガ出テ居ルカ出テ居ラスカト云フコトデアリマス、是ハ一ツノ社會的ノ標準ニナルト思ヒマスガ、例ヘバ農村問題トオヤリニナツテ居ル專門地區ノ判事ノ中カラ農學博士ガ出タカドウカ、或ハ又經濟學博士、色々ナ經濟事犯ノ御扱ヒニナツテ居リマス其ノ方面カラ一ツノ研究ニ依リマシテ、司法省部内ニ於ケル如キ研究ノ發表ダトカ色々切實ガアリマスレバ、是ダケ大ナ部員ヲ抱括シテ居ラレマスカラ、サウ云フ點ニ付テハ、私ハサウ云フ見地カラ來ル法學博士デナク統制學博士ト云フヤウナモノガ出來テ來テ宜イダラウト思フノデアリマス、ソレ等ノ者ガ司法部ノ部内ニ於テ頻出シタカ、或ハ今マデ一人モ出ナカツタカ、何人出タカト云フコトモ私ハ一ツノ「シンボライズ」トシテ觀察致シマス方面ダト思ヒマスノデ、御教諭ヒタイト思ヒマス、根本ハ試験制度ニ付テ改革スル意圖ガアルカドウカト云フ點デアリマス

○木村國務大臣 試驗制度ノ問題ニ付キマシテハ、一昨年頃モヤハリ經濟科目ヲ試驗制度ニ加ヘテハドウカト云フヤウナ議論モアリマシテ、現在ニ於キマシテモ司法官ノ試驗制度如何ニスベキカト云フコトハ、考慮ノ餘地アル問題ト考ヘ居リマスガ、今直チニサウ云フ科目ヲ試験ノ科目内ニ加フ

ルカドウカト云フコトニ對シテノ確答ヲ申上ゲル譯ニハ行キマセマス、御意見ハ尤モナコトト思ヒマスカラ、將來司法官試驗制度ノ問題ニ對シマシテハ、ソレ等ノ點モ十分ナル研究ヲ加ヘテ行ツテ見タイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、ソレニ伴ヒマシテ司法部カラ經濟學博士トカ、或ハ統計學博士トカ出タカト云フ御話デアリマスガ、サウ云フ者ハ今マデ一人モ出テ居リマセマス、出テ居リマセマスガ先刻政府委員モ申シマシタヤウニ長期司法研究ト云フ研究制度以外ノ別ノ制度ガアリマシテ、此ノ制度ニ於テハ色々ノ研究ノ結果ヲ致シマシテハ、可ナリニ世ノ中カラ重要視サレテ居ル研究物ガ澤山出テ居リマス、今ハツキリ記憶シマセマスガ、一二ノ例ヲ申シマシテモ、温泉ニ關スル研究ノ如キハ、殆ド有ニル方面カラ其ノ配付ヲ望マレタヤウナ事實モアリマス、其ノ他小作爭議ニ關スル研究ノ如キモ數回行ヒマシテ、何レモ貴重ナ文獻デアリマスガ、唯經濟學博士トカ統計學博士ト云フヤウナ者ハ、本人ガ望マナイ限りハ國家ガ與ヘル制度デアリマセマス、司法部ニ於テハサウ云フモノヲ頂戴シタイト云フ氣持ノ者ハ恐ラクナイダラウト思ヒマスガ、サウ云フ方面ノ形式的ノ證據ハアリマセマスガ、研究サレタ研究物ノ可ナリニ專門的ナ貴重ナ資料デアアルト認メテ居リマス

○三宅委員 判事登用試驗制度ニ付テ、今直チニ確答ハ與ヘラレナイト云フ御言葉デアリマスガ、例ヘバ思想檢事ガ出來ル、農村問題ニ致シマシテモ、ヤハリ農村關係ノ判事ヲ置カレバナラヌト思フノデアリマスガ、農村判事ガ出來ルトカ、經濟警

レノ専門ノ判事ト云フモノヲマダ置イテ居
ラレル事例モナイノデアリマスカラ、中央
ノ判事方地方ニ出レバ農村問題モヤル、ソ
レカラ東京ニ來レバ東京ノ判事モヤルト云
フコトデアリマスカラ無理モナイノデアリ
マスレドモ、日本ノ農業事情ト云フモノ
ハ、非常ニ複雑モ遠シマスシ複雑デアリマ
ス、農家ノ戸數ハ零細農トシテ非常ニ多
クデアリマスシ、非常ニ複雑デアル、一ト
字越シマスレバ、農業慣行ノ違フテ居ル事
例モ澤山アル、私共常ニ地方ニ居テ痛感
致シマスコトハ、漸ク其ノ地方ノ農業事情
ヲ解リ解リナツタ頃ニボント御送リニナ
ツテシマフ、ソレカラ裁判所ノ事情ニ依
ル、非常ニ年寄ツタ判事方地方裁判所ノ支
所ナドニ參リマス、大體見テ居ルト思職ニ
ナル頃ノ人ガヒヨツトオイデニナリマシテ、
サウシテ一ツモ農村問題方分ラズニ調停
オヤリニナツタリ色々シテ居ル事例ガ非常
ニ多クデアリマス、私ハ農村地區ニ出
シニナル判事等ニ付キマシテハ、ヤハリモ
ウ少シ農業事情等ニ付テ精通サレタ人ヲオ
出シニナラズト、是ハ國ノ禍デアルト思
フデアリマシテ、經濟犯罪ノ問題ハ最近ノ
問題デアリマスガ、農村ノ問題ハソレデア
リマス、ソレノミナラズ、私共ハ、是カラ
後ハ農村問題ハ非常ニ喧シクナルト思フ
デアリマス、ナゼ喧シクナルカト云フト、
生産費ガ無茶苦茶ニ高クナツテ來テ居ル
デアリマシテ、到底引合ハナイ、ソコニ物
納小作料トシテノ不合理ガ存在シテ居リマ
ス、肥料代ガ上リマシテモ、米ノ値サハ上
リマスレバ、地主ハ物納取リマシテ小作
料ト非常ニ不勞所得ヲ取ルコトニナルガ、
生産者デアル小作人ハ、半分ハ物納取リマ

テシマツテ、アトノ半分デ肥料代モ勞力費
モ皆出サナケレバナラズノデアリマスカラ、
其ノ點ニ付テ小作ニ關スル紛議ガ非常ニ
多クナツテ來ハシナイカト私ハ心配シテ居
ルデアリマス、其ノ時ニ單ナル契約自由
ト云フ原則ヲ以テ、契約ハ是ダカラドウス
ルト云フヤウナコトデ尺度ヲ持テラズニ、
慣行ヲ知ラズニ御決メニナリマス、非
常ニ禍ガ農村ニ來ルト思フデアリマス、
此ノ點ニ付テ何等カノ用意ヲ御持チニナ
ラストイカスト私ハ思フデアリマス、今
マデハ少クモサウ云フ點ニ付テハ全ク用
意ガ足ラナカツタト私共ハ思フデアリマ
ス、中ニハ非常ニ事情ニ精通サレマシタ
成者ガアラレマシテ、具體的ニ申シマスレ
バ、新潟縣ノ新發田ノ裁判所ノ長嶺判事
如キハ、是ハ實際大家デアリマスカラ宜
クデアリマスガ、新シク來ラレテ一ツモ事
情ヲ御承知ニナラナイト云フコトデ、迷惑
ヲシテ居ルコトガ非常ニ多クデアリマス、
此ノ點ニ付テモ御所見ヲ伺ヒタイノデア
リマス

○木村國務大臣 私最近ノ事情ヲ知りマセ
スカラ、政府委員ヨリ御答申上ゲマス
○坂野政府委員 私カラ申上ゲマス、判事
ガ農村事情ノ知識ニ乏シイノデ、其ノ點ニ
付テ色々勉強サシタイト云フコトハ、是ハ
吾々モ豫テカラ考ヘテ居ル所デゴザイマシ
テ、其ノ方法ト政シマシテ現在ドウ云フヤ
ウナコトヲナツテ居ルカト申シマス、
マア司法研究所ノ點ハ先刻經濟判事ノ所
申上ゲマシタガ、サウ云フモノノ外ニ、調
停主任判事ノ會同ヲ本省デ年ニ二回バカリ
致シテ居リマス、其ノ他ニ各控訴院管内毎
ニ、小作調停主任官ノ會議、所謂各縣ノ小

作官ト調停主任ノ判事トガ控訴院毎ニ會合
致シマシテ、色々ノ情報ヲ持寄リマシテ研
究ヲ致スノデゴザイマス、其ノ際ニハ、私
モ二三回出席シタコトガゴザイマスガ、非
常ニ細カイ色々ナ特殊事情ガ開陳サレマシ
テ、検討ヲサレル、斯ウ云フコトニ依リマ
シテ啓發サレル、又特殊ナ研究ガ出來マシ
タ場合ニハ、其ノ研究ノ書類ヲ配付スル、
斯様ナコトヲ致シマシテ、大體其ノ知識ノ
開發ニ努メテ居ルノデゴザイマスガ、今仰
セニナツタヤウニ、非常ニ農村ハ各處ニ於
テ習慣ガ違ヒマシテ、其處ノ事情ヲ能ク吞
込ムト云フコトガ非常ニ大切ナコトデアリ
マス、ヤハリ其處ノ各任地ニ出來ルダ
ケ長ク居ツテ、色々ナ事情ヲ研究スルト云
フコトガ非常ニ望マシイノデゴザイマス、
所ガ今ノ實情デハ、相當判事不足シテ居
リ、ソレニ從ツテ又各方面ニ擴張サレルト
云フヤウナ事情ガ各方面ニ擴張サレルト
事ノ異動ガ激シク行ハレマス、今仰セ
ラレタヤウナ儲ミガナイトモ言ヘナイト思
フノデゴザイマスガ、是ハ段々充實サレテ來
ルト、將來ハ相當一箇所ニ落著イテ在職ス
ルコトモ出來、又隨テ其ノ地方ノ特殊ナ事
情モ研究ガ出來ルノデハナイカト思フテ居
リマス、其ノ方面ニ出來ルダケ力ヲ盡シタ
イト考ヘテ居ル次第デアリマス

カ、契約面ガサウナツテ居ルカラ、ソレデ
宜イト云フ行キ方デ御行キニナツテ居ル
カ、尺度ヲ御持チニナツテ居ルカ、尺度
ガアルトスレバ、ドウ云フ尺度デアルカト
云フコトヲ承リタイ

○坂野政府委員 今仰セニナツタ尺度ト云
フコトハ、個々ノ判事ハ大體ニ於テ其ノ尺
度ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、唯具體的
ノ事案ハ色々ニ差違ガ出テ參リマス、
其ノ出テ參ツタノニハ色々ニ違フ形ガ現ハ
レテハ居ルト思ヒマスガ、基本的ニハ、先
程申シマシタヤウニ、各控訴院管内デ、小
作主任官ノ打合せヤ色々ナル打合せヲ致シ
マシテ、大體ノ基本ノ觀念ハ持ツテ居ル次
第デゴザイマス

○三宅委員 質問ガ非常ニ漠然トシテ居
マシタ爲ニ御答辯ガヤハリ漠然トシテ居
タト思フデアリマスガ、モウ少シ私共具
體的ニ申上ゲマスガ、例ヘバ茲ニ段ニ付テ
一石三斗ト云フ小作料ガアル、之ニ付テ、
永久ニ引下ゲテ貫ヒタイト云フ要求ガ出
タリ、或ハ一昨年引ノ要求ガ出タリ致シマシ
テ、調停ニ掛カル、其ノ時ニ何ノ尺度デオ
ヤリニナルカ、今マデノ小作調停デアリマ
スト大體ニ於テ基準ガナイノデアリマス、
農林省ニ於キマシテモ、適正ナル小作料
云フモノハ何ニ依ツテ出スカト云フ基準ヲ
示シテ居ラレナイ、調停法ガ出來テ小作法
ガ出來テ居ラナイノデアリマス、其ノ
基準ガナイノデアリマス、合理的小作料ト
云ヘバ幾ラカト云フ基準ガナイノデ、今
マデノ事例ハ大體ニ於テ弱イ方ガ負ケ
テ居ル、マアソレト云フコトデ弱イ方ガ負
ケテ居ルト云フ事例デアツタノデアリマ

○坂野政府委員 今仰セニナツタ尺度ト云
フコトハ、個々ノ判事ハ大體ニ於テ其ノ尺
度ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、唯具體的
ノ事案ハ色々ニ差違ガ出テ參リマス、
其ノ出テ參ツタノニハ色々ニ違フ形ガ現ハ
レテハ居ルト思ヒマスガ、基本的ニハ、先
程申シマシタヤウニ、各控訴院管内デ、小
作主任官ノ打合せヤ色々ナル打合せヲ致シ
マシテ、大體ノ基本ノ觀念ハ持ツテ居ル次
第デゴザイマス

○坂野政府委員 今仰セニナツタ尺度ト云
フコトハ、個々ノ判事ハ大體ニ於テ其ノ尺
度ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、唯具體的
ノ事案ハ色々ニ差違ガ出テ參リマス、
其ノ出テ參ツタノニハ色々ニ違フ形ガ現ハ
レテハ居ルト思ヒマスガ、基本的ニハ、先
程申シマシタヤウニ、各控訴院管内デ、小
作主任官ノ打合せヤ色々ナル打合せヲ致シ
マシテ、大體ノ基本ノ觀念ハ持ツテ居ル次
第デゴザイマス

○坂野政府委員 今仰セニナツタ尺度ト云
フコトハ、個々ノ判事ハ大體ニ於テ其ノ尺
度ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、唯具體的
ノ事案ハ色々ニ差違ガ出テ參リマス、
其ノ出テ參ツタノニハ色々ニ違フ形ガ現ハ
レテハ居ルト思ヒマスガ、基本的ニハ、先
程申シマシタヤウニ、各控訴院管内デ、小
作主任官ノ打合せヤ色々ナル打合せヲ致シ
マシテ、大體ノ基本ノ觀念ハ持ツテ居ル次
第デゴザイマス

○坂野政府委員 今仰セニナツタ尺度ト云
フコトハ、個々ノ判事ハ大體ニ於テ其ノ尺
度ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、唯具體的
ノ事案ハ色々ニ差違ガ出テ參リマス、
其ノ出テ參ツタノニハ色々ニ違フ形ガ現ハ
レテハ居ルト思ヒマスガ、基本的ニハ、先
程申シマシタヤウニ、各控訴院管内デ、小
作主任官ノ打合せヤ色々ナル打合せヲ致シ
マシテ、大體ノ基本ノ觀念ハ持ツテ居ル次
第デゴザイマス

○坂野政府委員 今仰セニナツタ尺度ト云
フコトハ、個々ノ判事ハ大體ニ於テ其ノ尺
度ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、唯具體的
ノ事案ハ色々ニ差違ガ出テ參リマス、
其ノ出テ參ツタノニハ色々ニ違フ形ガ現ハ
レテハ居ルト思ヒマスガ、基本的ニハ、先
程申シマシタヤウニ、各控訴院管内デ、小
作主任官ノ打合せヤ色々ナル打合せヲ致シ
マシテ、大體ノ基本ノ觀念ハ持ツテ居ル次
第デゴザイマス

シケ一ツノ基準ヲ大項目ニ付テハ御持持ニ
ナツテ居ルと思フ、ソレカラ地主ノ方デ
リマスガ、ドウシテモ出サナケレバナラヌ
モノト云ハバ税金デス、是ハ地租稅ガ減り、
戸數割ガナクナツテ大變下ツテ来マシタガ、
此ノ税金ハ一反ニ付テ大體平均ハ幾ラニナ
ツテ居ルト御考ニナツテ居ルカ、サウ云フ
コトノ尺度更ニハナケレバナラヌ、ソレカラ
資本利子、金利一體一反ノ地價ハ、裁判所
デハ何百圓位方適當ナ地價ト御考ニナツ
テ居ルカ、自作農制定ニ於キマシテハ一反四
百圓以上高ク見テハ是ハ自作農トシテ持
テ行ケト云フヤウナ尺度ヲ農林省ハ持ツ
テ居ルノデアリマス、土地ノ値段一反二千
圓ト見テ、利息ヲ八分ニ見ルト云フヤウナ
コトニナレバ、小作料ハ無茶苦茶ニ上ル、
ソシテ儲ケハ農業ニハアリマセヌカラ、農
業ノ金利ハ一體下位ニ見ルカ、地價ハ一
體下位ニ見ルカ、サウ云フ所デ以テ一ツ
ノ基準ガアツテ、調停デアリマスカラ、
成ベク合意セテ方宜イカラ、ドツチモ
急激ニ變化ヲ與ヘナイト云フヤウナ御方針
モ一ツノ心構ヘデアリマセウガ、其ノ裏
ノ基本ト云フモノハ持ツテ居ナケレバナラ
ヌ、ソレモ持ツテマア、
○木村國務大臣 尤モノ御意見デゴザイマ
ス、將來ニ於テサウ云フ點ニ十分注意ヲ致
シマス

○三電委員 大臣カラサウ云フ御答辯ヲ得
マシテ非常ニ感謝致シマスガ、地方ノ實例
ヲ各府縣ニ付テ御調べ下サイマスレバ直ぐ
分ルコトデアリマスカラ、一ツ至急御慮置
ヲ願ヒタイと思ヒマス

ソレカラ私速記録ヲ調べテカラ御同シタ
イト思フコトデアリマスガ、段々時間ガナ
クナリマスカラ、昨年ノ議事録ヲ参照セズ
ニ御同致シマス、ソレハ人権蹂躪ノ問題デ
アリマシテ、大阪デ起キタ事件デアリマス、
去年ノ豫算總會デ川村保太郎君ガ質問サレ
テ前ノ司法大臣ガ善處ヲ約サレテ居ルノデ
アリマスガ、坂本留吉ト云フ人ガ警察ハ引
張ラレマシテ、引張ラレテ居ル中ニ拷問ヲ
受ケマシテ、刑務所ガ警察カニ於テ其處ノ

停ニ當リマシテハ、關係者ノ方面カラ今三
宅君ノ仰セニナツタヤウナ總テノ事情方懸
ヘラレレノハハナイカト私ハ想像致シマス
ガ、サウ云フ三宅君ノ仰セラレタヤウナ各
種ノ小作料ノ決メ方或ハ肥料ノ高、ソレ等
ノ點ニ付テハ有ル材材ガ關係者ノ方カラ
提供サレ、又農林省ノ所謂小作官ハ恐ラク
其ノ附近ニ長ク居リマセウカラ、又其人
カラモ有ル材材ガ提供サレレノハハナイ
カト想像致シマス、少タトモ其ノ調停
致シマス場面ニ提供サレル所ノ材材ガ精細
デアリマスレバ、之ヲ調停スル調停主任官
ガソレダケ材材ヲ見テ、之ニ對シテ裁定ヲ
加フルト云フコトハ、苟モ判事ノ職ニ在リ、
多少農政關係ニ付テ知識ヲ持ツテ居リマス
レバ、其ノ調停ノ關係者ガ何レカラ見テモ
妥當デアラウト思フ所ニ付テ裁トモサセル
ケノ調停作用ハ出來得ルノハハナイカ、是
ハ私實ハ事情ヲ知りマセヌカラ間違ッテ居
カモ知レマセウガ、私ハサウ云フ風ニ考ヘテ
居リマス、併シ貴重御意見デアリマスカラ、
是カラ先其ノ方面ニ對シテモ尚ホ深キ考察
ヲ加ヘマシテ、若シソレ等ノコトガ農林省
トノ關係ニ於テ何等カノ連絡機關デモ設ケ
マシテ、仰セニナルヤウナコトガ出來レバ、
各地方裁判所ニサウ云フモノヲ配付致シマ
シテ、豫テノ心構ヘヲ持テセルト云フコト
モ必要ナコトデハハナイカト考ヘテ居ル次第
デアリマス

○三電委員 大臣ノ御話ハ能ク分リマシタ
ガ、實情ハ全然反對ニナツテ居ルノデス、
ソレハ農林省デモ實ハ考ヘテ居ルノデスガ
小作法ガアリマセヌデ、法定サレタ尺度ガ
實ハ無イノデス、隨テマア、トナツテ居
リマスカラ、或ル場所デハ小作料ガ總收穫

ノ二割五分以下ト云フ所モアリマス、或
ル場所デハ八割モ取ラレテ居ル所ガアル、
收穫ノ少イ地方ノ山地段實ハ高クテ、最近
土地抛棄ノ現象ノ起キテ居リマスノハ、寧
ロ努力ノ剩ツテ居ル山地方カラ起キテ居
ルト云フノハ、小作料ガ高過ギルカラデ、
其ノ點ニ付テハ非常ニ不合理ニナツテ居リ
マシテ、一ツモ合理化ト云フ現象ガ行ハレ
デ居ラナイ、マア、ト云フコトデ瀟灑致
シマシテ、ソレデ今年ノ減免ハ幾ラニスル
小作料ハ幾ラニスル、小作料ノ何十割アツ
タナラバ今度ハ減免ヲスルト云フコトガ一
應決メラレマシテ、收穫ノ二十割ノ何割ノ
時ハト云フコト云フヤウナコトヲ決メマス
ラ、小作人ニハ分リマセヌ爲ニ後カラ紛議
ヲ起シテ居ルト云フ事情ガ非常ニ多イノデ
アリマス、何處ニサウ云フ馬鹿ナコトガ起
キテ居ルカト云フヘバ、結局政治關係デアリ
マシテ、小作人ノ立場ハ農林省デモ知ツテ
居ルノデスケレドモ、地主ノ勢力ガ政治的
ニ非常ニ強ク反映致シマスノデ、其ノ點ハ
顧ミラレテ居ラヌデアリマス、私ガ斯ウ
云フコトヲ承リマシタノハ、特ニ今度小作
統制令ガ出マシテ、一應九月十八日ノ地代
ニ之ヲ抑ヘマシテ、サウシテ後適正小作料
ト云フモノヲ作ラウト云フコトガ第二項ニ
アルノデアリマス、適正小作料ヲ作ルト云
フコトニナレバ、基準ヲ示サナケレバ、村
ノ委員會ニ委セテモ、其處ノ政治的ノ實
力ノ相違トカ、色々デ以テ決マラナイノデ
アリマス、調停ガサウ云フ事情ニナツテ居
リマスノデ、モウモウ情勢ガ来テ居リマ
シテ、農村問題全體ニ涉ツテノ解決ヲ考ヘ
ナケレバナラヌ時期デアリマスノデ、一ツ
政治勢力ニ動カサレルトコトノナイ裁判所ニ

ケレバナラト云フコトデアリマス場合ニ、
委員會デハ結局何モ出來ナイト云フコトニ
ナル、委員會ニ掛ケテ下ラナケレバ、馬鹿
ラシイカラ、土地ヲ抛棄シテ逃ゲル者ガ出
來ルカ、或ハ農村ニ小作人ガ停滞シテ居
レバ小作争議ガ起ルトニナル、争議ナド起
サセズニ筋道ノ正シイ所ニ付テ行カウト
スレバ、調停委員ニシテモ、農地委員ニシ
テモ其ノ選任ノ公平ニスル必要ガアルと思
フノデアリマス、農地委員ニ付テハ是ハ農
林省ノ關係デアリマスノデ、農林省ノ意見
ヲ實シタイと思フデアリマスガ、小作調
停委員ノ選出ガサウ云フ點ニ非常ニ偏頗ニ
ナツテ居リマス部分ニ付テハ、一ツ之ヲ公
正ニ改變シテ裁キタイト云フコトヲ希望ス
ルノデアリマス、ソレニ付テノ御意見ハ如
何デアリマスガ

○木村國務大臣 尤モノ御意見デゴザイマ
ス、將來ニ於テサウ云フ點ニ十分注意ヲ致
シマス

○三電委員 大臣カラサウ云フ御答辯ヲ得
マシテ非常ニ感謝致シマスガ、地方ノ實例
ヲ各府縣ニ付テ御調べ下サイマスレバ直ぐ
分ルコトデアリマスカラ、一ツ至急御慮置
ヲ願ヒタイと思ヒマス

ソレカラ私速記録ヲ調べテカラ御同シタ
イト思フコトデアリマスガ、段々時間ガナ
クナリマスカラ、昨年ノ議事録ヲ参照セズ
ニ御同致シマス、ソレハ人権蹂躪ノ問題デ
アリマシテ、大阪デ起キタ事件デアリマス、
去年ノ豫算總會デ川村保太郎君ガ質問サレ
テ前ノ司法大臣ガ善處ヲ約サレテ居ルノデ
アリマスガ、坂本留吉ト云フ人ガ警察ハ引
張ラレマシテ、引張ラレテ居ル中ニ拷問ヲ
受ケマシテ、刑務所ガ警察カニ於テ其處ノ

停ニ當リマシテハ、關係者ノ方面カラ今三
宅君ノ仰セニナツタヤウナ總テノ事情方懸
ヘラレレノハハナイカト私ハ想像致シマス
ガ、サウ云フ三宅君ノ仰セラレタヤウナ各
種ノ小作料ノ決メ方或ハ肥料ノ高、ソレ等
ノ點ニ付テハ有ル材材ガ關係者ノ方カラ
提供サレ、又農林省ノ所謂小作官ハ恐ラク
其ノ附近ニ長ク居リマセウカラ、又其人
カラモ有ル材材ガ提供サレレノハハナイ
カト想像致シマス、少タトモ其ノ調停
致シマス場面ニ提供サレル所ノ材材ガ精細
デアリマスレバ、之ヲ調停スル調停主任官
ガソレダケ材材ヲ見テ、之ニ對シテ裁定ヲ
加フルト云フコトハ、苟モ判事ノ職ニ在リ、
多少農政關係ニ付テ知識ヲ持ツテ居リマス
レバ、其ノ調停ノ關係者ガ何レカラ見テモ
妥當デアラウト思フ所ニ付テ裁トモサセル
ケノ調停作用ハ出來得ルノハハナイカ、是
ハ私實ハ事情ヲ知りマセヌカラ間違ッテ居
カモ知レマセウガ、私ハサウ云フ風ニ考ヘテ
居リマス、併シ貴重御意見デアリマスカラ、
是カラ先其ノ方面ニ對シテモ尚ホ深キ考察
ヲ加ヘマシテ、若シソレ等ノコトガ農林省
トノ關係ニ於テ何等カノ連絡機關デモ設ケ
マシテ、仰セニナルヤウナコトガ出來レバ、
各地方裁判所ニサウ云フモノヲ配付致シマ
シテ、豫テノ心構ヘヲ持テセルト云フコト
モ必要ナコトデハハナイカト考ヘテ居ル次第
デアリマス

○三電委員 大臣ノ御話ハ能ク分リマシタ
ガ、實情ハ全然反對ニナツテ居ルノデス、
ソレハ農林省デモ實ハ考ヘテ居ルノデスガ
小作法ガアリマセヌデ、法定サレタ尺度ガ
實ハ無イノデス、隨テマア、トナツテ居
リマスカラ、或ル場所デハ小作料ガ總收穫

ナドモ非常ニ憤慨シテ居ルノデアリマスガ、
議會ガ始マルト警察官ガカラ時々喚ンデ調
べルサウデスガ、議會ガ済ムト其ノ僅ニナ
ツテシマフ、ソレデ今上告サレテ居ルサウ
デス、サウ云フ事起デアリマスカラ、一ツ
サウ云フ點ニ付テ、惡イコトハ惡イ、良イ
コトハ良イ、斷乎トシテサウ云フ點ヒタイ
ト思ヒマス、有難ウゴザイマシタ

○金井圭彦 田村君

○田村委員 司法制度ニ付テ刑事、民事ノ
順序デ二二伺ヒタイと思ヒマス、第一ハ刑
事制度ノコトニ付テ、人権蹂躪ニ關スル問
題デアリマスガ、申上ゲルマデモナク、今
我國ハ思想的ニモ非常ニ混亂期ニアル、過
渡期ニアル、サウシテ一方ハ重大ナル東亞
新秩序建設ノ非常時局ヲ擔任シテ、國家國
運ノ興隆ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ大キ
ナ目的ガアル、其ノ根本ハドウシテモ内ニ
民ヲシテ由ラシメ、民心ノ安定スル所ガナ
ケレバナラヌ、所ガ偶々立憲政治、三權ガ
分立シテ居ツテ、亂トシテ司法官存在シ
テ居ル、色々ナ思想ノ動搖、混亂ガアリマ
シテモ司法裁判ガ儼トシテ存在シテ居ルト
云フコトハ、國民ヲシテ由ラシムル所、歸
趨スル所ヲ持タセルノデアリマシテ、斯ウ
云フ過渡的ナ、或ハ思想ノ急激ナ動キノナ
リマス場合ニ、司法制度ノ運用ノ局ニ當ル
人、又其ノ制度ノ完備ニ依ツテ、國民ヲシ
テ最後ニ由ラシムル所ヲ持タシムルト云フ
コトハ、國家ノ運轉、國運ノ興隆、其調ヲ成
スモノデアルト思フノデアリマス、其ノ點
カラ刑事制度ノ上ニ見マスル、私共ハ
今日ノ衆人ニ人権蹂躪ノ聲ガアルト云フコ
トハ、日本ノ國家トシテ洵ニ遺憾ニ堪ヘナ
イト思フノデアリマス、ソレデ人権蹂躪ヲ

於テ、其ノ神ノ如キ鏡ヲ以テ一ツ基準ヲ作
ツテサウ云フコトヲ御願フシテ置ク譯デアリ
マス、ソレニ付テ調停委員ノ選出ガ今日デハ
非常ニ偏頗デアリマシテ、地主側ガ大多數
デアリマス、縣ニ依ツテ違ヒマスガ、大抵
ノ縣ガサウデアリマス、若クハ地主側ノ立
場ノ者ガ調停委員トシテ大多數アル、ソレ
ハ無理モナイ話デアリマシテ、村ノ顔役ト
云フコトニナリマスレバ、結局地主デスカ
ラ、サウ云フ者ガ大多數デアリマス、ソレ
ニ付テ私共ハ、ソレチヤ駄目チヤナイカト
云フコトヲ再々言ウテ居ツタノデアリマス
ガ、今度ノ農地委員ナドニ付キマシテモ其
ノ通りナノデス、農林省デハソレヲ考慮サ
レマシテ、昭和十三年九月九日付農林次官
通牒ニ依リマシテ「市町村農地委員會ノ委
員ハ地主、自作農、小作農其ノ他農地關係
ニ付テ深キ理解ヲ有スル者ノ中ヨリ適正ナル
者ヲ選任スルコト、此ノ場合ニ於テハ可及的
各其ノ一方ニ偏セザルヨウ考慮セラレタキ
コト」ト云フコトガアルノデアリマス、サウ
云フ通牒マデ出シテ居ルニ拘ラズ、實際
ハ村長ニ選バセマスカラ、出テ來ル者ハ政
黨關係モ入りマス、階級的ニハ地主、小
作ノ關係モ入りマス、階級的ニハ地主、小
作ニナツテ居ル、私ノ調べマシタ新潟縣ノ例
ニ依リマス、農地委員會ノ委員ノ比率ハ、地
主六〇％、自作一七％、小作一〇％、
其ノ他二三％ニナツテ居リマス、其ノ他ト
云フ中ニハ、警察官デアルトカ、地主ノ番
頭ヲシテ居ル者トカ、僧侶ト云フ者ガ入ツ
テ居ル、兎ニ角比率ガ壓倒的ニ地主側ニ多
イノデアリマス、隨テ今日デハ小作料ガ高
過ギルノデスカラ、或ル程度マデ下ゲサセナ

如何ニスルカ、無論其ノ局ニ居ルハ、口
ヲ開ケバ制度ヨリモ運用ノ問題デアル、人
宜シキヲ得レバ問題ハナイ、斯ウ言ハレル
ノデアリマスガ、是ハ素人ニ對スル説法デ
アツテ、總テノコトハ制度ノ宜シキト、其
ノ宜シキ制度ヲ運用スル所ノ人ノ宜シキデ
アル、是方兩々相俟ツテ始メテ事ノ運用ハ
萬全ヲ期スルコトガ出來ルト思フノデアリ
マス、何故日本ニ人権蹂躪ト云フ事實ガアリ
又サウ云フ點々タル聲ガ常ニアルノデア
ルカト云フコトハ司法當局トシテハ常ニ深甚
ナル研究ト考慮ヲシテ居ラレト思ヒマス
ガ、私モ辯護士ヲ職トシテ色々ノ事起カラ
扱ツテ居ルコトモアリマスガ、其ノ點カラ
斯ウ云フコトヲ前カラ考ヘテ居リマス、毎
議會毎ニ建議モ致シマシタリ、或ハ色々ノ
委員會ニ於テ司法當局ニ進言致シテ居リマ
スノハ、人権蹂躪ノアルノハナリ制度ノ
上ニ缺陷ガアルト云フコトヲ私共考ヘテ居
ル、私ノ同僚野田文一郎君カラ常ニ檢察廳
ノ獨立、詰リ裁判官ト起訴ヲスル檢察廳
舎ヲ別ニスル、一緒ニ飯ヲ食ウテ居ルカラ、
アレガ起訴シタ以上ハ俺モ多少付合ハナケ
レバナラヌ、是ハ田舎デハヨクアリ得ル
デスガ、サウ云フ弊風ヲ一掃シテ、起訴ス
ル者ト裁判スル者ト何等ノ交流無クシテ、
嚴正ナル裁判ガ出來ルヤウニシナケレバ
ラスト云フ考ノ下ニ、檢察廳ノ獨立ト云フ
コトヲ頻リニ主張シテ居ルノデアリマス
ガ、是モ私ハ人権蹂躪防止ニ關スル一ツノ
方法デアルト思フノデアリマス、人権蹂躪
問題ノ防止ニ對スル御考ニ今申上ゲタ檢
察廳ノ獨立ト云フ點ニ付テドウ云フ御考デ
デアリマスカラ司法大臣ニ承リタイノデアリ
マス

シターツノ基準ヲ大項目ニ付テハ御持チニナツテ居ルと思フ、ソレカラ地主ノ方デア

第一類第三號 豫算委員第二分科會議錄 第二回 昭和十五年二月十七日

○木村國務大臣 最近數年人権蹂躪ニ付テ... 職權濫用トシテ起訴セラレテ居ラヌト云フ... 事實ヲ統計ノ上ニ認ムルノデアリマス...

見テミマス、或ハ國民ヲ撲殺シテシマツタトカ、殺シテシマツタトカ、或ハ誰ガ見テモ明ナリナリト傷害ヲ與ヘタトカ、ドウシテモ免ルルコトガ出來ナイ事實ガ既ニトシテ現ハレタル場合デアリト起訴シテナイ...

事務的ノ考ヘ方ハ離レテ、根本ニ「メス」ヲ入レテ此ノ點ニ深キ御考慮ヲ拂ハレ、斯ウ云フ人権蹂躪防止ノ根本制度ヲ設置シテ裁キタイト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル司法大臣ノ御考ヲ伺ヒタイ、斯ウ云フコトハ既ニ色々ノ形デ私カラモ建議シテ居リマスシ、アチコチカラモ進言シテ居ル管デアリマス、御氣付デアラウト思ヒマスガ、之ニ對スル確乎タル御考ヲ承ルコトガ出來レバ幸デアリマス

ル高利貸ナドモ居ルノデアリマス、ソレハ詰リ現在ノ民事裁判制度ニ對スル一ツノ缺陷ヲ狙フ社會惡徳アルト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ對シテハ民事裁判ヲ出來ルダケ簡易迅速ニ運ブト云フコトガ必要デアラウト思フ、其ノ點ニ對シテハ、無論判事ノ數モ殖ヤサネバイカヌ、裁判所ノ數モ殖ヤサネバイカヌト思フノデアリマス、是モ國民ノ權利ニ關シテ非常ニ重大ナル關係ヲ持ツ居リマスカラ、私ハ司法省ハサウ云フ必要ニ應ジテハ、敢テ豫算ノ要求ニ遠慮セラレル必要ハナイト思フ、私共ハ多年裁判制度ノ完備ノ爲ニハ、司法省ガ率先シテ斯ウ云フコトヲ堂々ト要求スルコトヲ期待シテ居リマス、出テ來レバ微力ナガラモ御協カヲ申上ゲタイト思フテ居ルノデアリマス、現ニ角此ノ民事裁判制度ノ簡易促進ト云フコトハ、殊ニ今日ノ經濟情勢ト云フモノハ、非常ニ變轉ガ急激ヲ極メテ居リマス、之ニ應ジテ得ナイヤウナ裁判制度デハ、出シ運レノ證文見ヤウナモノデ、一向效果ヲ擧ゲルコトハ出來ナイト思フ、時代ノ急激ナ進展ニ應ジテ得ルヤウナ民事裁判制度ノ簡易迅速、斯ウ云フコトニ付テ、如何ナル御考並ニ御準備ガオアリニナリマスカ

ニ調停ヲサセヨウ、解決ヲサセヨウト云フ制度ハ、下手ニ之ヲ運用スルト、民事權、國民ニ對スル權利行使ヲ阻碍シテ、此ノ調停ニ不滿ノ心ヲ殘スト云フヤウナ弊害モナシトハ言ヘナイ、ソコデ調停制度ヲ今後トウスルカ、其ノ範圍ヲドコデ止メテ置イテ、民事制度ノ基礎ヲハツキリスルカト云フコトハ、法曹界ニ關係ヲ持ツテ居ル者ノ最近深ク心ヲ留メル點デアリマスガ、此ノ點ニ對シテ司法大臣カラ明確ナル調停制度ノ運用竝ニ其ノ方法、今後ノ範圍ヲドウ云フヤウニスルカト云フコトニ付テ、明確ナル御方針ナリ、御所見ナリヲ承リタイト思ヒマス

○木村國務大臣 一方ニ紛争ヲ解決スル爲ニ裁判所ガ存在スルト云フコトハ絕對ニ必要デアリマス、同時ニ又仰セラレマシタウナ事件ノ範圍ニ於テハ、國民ガ相互ニ協調シテ、笑ノ裡ニ其ノ争ヲ解決シテ行クト云フ制度モ、是ハ國民相互ノ融和ノ上カラ見マシテモ、實ニ必要ナコトト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ現在ノ調停制度ト云フモノハ、裁判ト相違ビマシテ、ヤハリ紛争解決ノ重要ナル機關トシテ將來ニモ之ヲ持續セラルベキモノト存ジテ居ルノデアリマス、是ハ私ハ實際ノ監督ノ衝ニアリマセナンダノデ、唯私ガ私的方面カラ聞キマス所ニ依リマシテ判斷スルノデアリマスガ、一時調停制度ノ件數ノ多カラシコトヲ求メタヤウナ傾向ガアリマシテ、爲ニ調停ノ結果ニ對シテ稍々不滿ノ聲ヲ耳ニシタコトガアリマス、私ハ唯常識的ニ考ヘマシテ、調停ト云フモノハ、當事者雙方ガ心カラ納得シ、而モ第三者カラ見マシテ、成程斯ウ云フ所デ折レ合ツタカ、最モ宜イコトトダト云フヤウナ點ニ發展スルト云フコトガ、調停ノ本義ト考

昭和十五年二月十七日印刷

ヘテ居リマス、ソコデ調停事件ヲ取扱フ官吏ハ、當ニ其ノ點ヲ念トシテ、事件ノ多カラシコトヲ顧フヨリモ、調停ノ眞意ニ徹シテ解決ヲスルト云フコトニ全力ヲ傾倒スベキモノト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ將來ニ於キマシテモ、私ハサウ云フ方針ニ從ツテ此ノ調停事務ノ施行ヲ監督シテ行キタイト思ツテ居リマス

尙ホ第二點ノ現在ノ調停事件ノ範圍ヲドノ程度マデト云フ御話デアリマスガ、是ハ私甚ダ恥カシイ話デアリマスガ、其ノ點ニ付テ從來餘リ深イ研究ヲ持ツテ居マセヌノデ、此處テ確的ナコトハ申サレマセヌガ、兎ニ角調停制度ノ將來ニ付キマシテハ、能ク研究致シマシタ上デ、是レレノ點ガ必要デアルカドウカト云フコトハ、研究ノ上デ決定シタイト考ヘマスカラ、ドウゾ左様御諒承ヲ願ヒマス

○金井圭奎 田村君終リマシタカ

○田村委員 終リマシタ

○金井圭奎 他ニ質疑ノ通告ガゴザイマセヌノデ、以上ヲ以テ司法省所管ニ對スル質疑ヲ終了スルコトニ致シマス、明後日八午前十時ヨリ第七委員室ニ於テ内務省ノ所管ニ對スル残りノ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、本日は是ニテ散會致シマス

午後零時二十分散會

昭和十五年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第一類 第三號

(六一)

第七十五回帝國議會 院 豫算委員第二分科(内務省及司法省所管) 會議錄(速記)第三回

會議
昭和十五年二月十九日(月曜日)午前十時二十四分開議
出席委員左ノ如シ

主席 金井 正夫君
中村三之丞君 堤 康次郎君
小泉 純也君 名川 侃市君
三宅 正一君
兼務
工藤 鐵男君 松尾 孝之君
石坂 豐一君 田原 春次君
吉田 賢一君 牧野 良三君
小山 亮君

二月十七日本分科所屬員松永東君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日十九日小泉純也君當選シ本分科所屬ト爲リタリ
出席國務大臣左ノ如シ
内務大臣 伯爵兒玉 秀雄君
出席政府委員左ノ如シ
内務政務次官 鶴見 祐輔君
内務參與官 青山 憲三君
内務省神戶局長 中野與吉郎君
内務省地方局長 挾間 茂君
内務省警保局長 山崎 巖君
内務省土木局長 成田 一郎君
内務省計畫局長 松村 光磨君
内務書記官 藤尾 弘吉君
内務書記官 三好 重夫君
北海道廳長官 戸塚九一郎君
主查ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
議員 田中 好君

第一類第三號 豫算委員第二分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中内務省所管
豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中内務省所管

○第一號昭和十五年度歳入歳出豫算追加案中内務省所管
○金井主席 ソレデハ開會致シマス、先ヅ牧野良三君ニ發言ヲ許シマス
○牧野委員 昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算、其ノ中ニ内務省及ビ大藏省所管ト云フノガゴザイマス、内容ハ地方分與税ト分與金ト云フコトニナツテ居リマシテ、一應特別會計所屬照會書ニモ記載シテゴザイマスガ、御說明ヲ願ヒマス、政府委員カラデ結構デゴザイマス
○選尾政府委員 昭和十五年度内務省及大藏省所管ノ地方分與金ノ特別會計ニ付キマシテ簡單ニ御説明申上ゲマス、昭和十五年度ノ歳入歳出ノ豫定計算書ニ付キマシテハ御手許ニ配付シテゴザイマスガ、大體ノ御説明ヲ申シテ置キマス、此ノ會計ハ御覽ノ通りニ歳入ノ豫定額方三億五千三百九十萬二千二百六十四圓デアリマス、其ノ内容ト致シマシテハ、第一ニ租税ノ收入ト致シマシテ地租及ビ營業税ノ收入ヲ掲ゲテ居リマス、此ノ租税ノ收入ノ七千六百五十六萬五千六百四十四圓、是ハ此ノ特別會計ニ直接受入レルコトニナツテ居リマス、サウシテ此ノ受入レマシタ租税ノ收入ガ歳出ノ方ニ

於キマシテ所謂地方分與税分與金ノ中ノ還付税ノ分與金ニ相當スルモノニ相成ル譯デゴザイマス、直接受入レマシタモノヲ直チニ其ノ儘還シテ行ク、斯ウ云フ形ニ相成リマス、ソレカラ其ノ次ニ收入ト致シマシテ一般會計ヨリノ受入金ガゴザイマス、是ガ二億七千七百三十五萬五千六百二十四圓ニ相成ルノデアリマス、此ノ一般會計カラ受入レマシタ金ガ歳出ノ方ニ參リマシテ、大體ニ於テ配付税ノ分與金ニ相當スル額ト相成ル譯デアリマス、歳入ト致シマシテハ只今申上ゲマシタ直接受入レマシタ所ノ租税並ニ一般會計ヨリ受入レマシタ所ノ金額其ノ外雜收入トシテ若干ノ利子收入ヲ見込ラシテ居ル譯デゴザイマス、歳出ト致シマシテ只今申上ゲマシタ地方分與税ノ分與金ト致シマシテ配付税ノ分與金、還付税ノ分與金、其ノ他ノ租税ノ繰戻金並ニ準備金ヲ計上致シテ居リマスヤウナ次第デアリマス、此ノ會計ハ内務省ト大藏省ノ共同主管ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、只今申上ゲマシタヤウニ、收入ノ方ニ於キマシテ、直接ニ此ノ會計ニ受入レマシテ歳入ト致シテ居ルト云フヤウナ事情モゴザイマスノデ、大藏省ノ方面ト内務省ノ方面ヲ切離スベカラザル關係ガゴザイマスカラ、共同主管ニナツテ居ルノデアリマス

○牧野委員 内務省及ビ大藏省ノ共同主管ト云フ特別ノ項目デアツタ爲ニ御説明ヲ願ヒシタノデアリマス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○金井主席 堤君
○堤委員 私ハ先ヅ内務大臣ニ御伺シタインデアリマスガ、内務大臣ハドウ云フ心持デ此ノ際内務大臣ニ御就任ニナラレタカト云フ其ノ心境ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス、ト申シマスルノハ、曾テ齋藤内閣ノ時ニ、齋藤總理ヨリ臺灣總督ニナツテ與レト云フ切ナル御交渉アリマシタ當時私ハ拓務政務次官ヲシテ居テ能ク承知シテ居マスガ、其ノ時ニ乃父ノ名ヲ辱カシメルコトヲ慮レルカラト云フ理由デ御引受ニナラナカッタ、阿部内閣ノ時ニモ切ナル懸望ガアツタケレドモ關係トシテ御就任ニナラナカッタコトヲ聞イテ居リマス、其ノ他時々話ガアリマシテモ、中々出ラレナカッタノハ、偏ニ先代兒玉將軍ノコトヲ御考ヘニナツテ、名譽ヲ辱カシメルコトハ、イカスト云フコトガ、多分ニ心境ヲ支配シテ居ツタト思フノデアリマスガ、此ノ際内務大臣ヲ御引受ニナツタコト云フノハ、餘程大ナル決心ヲ以テ御引受ニナツタノデアラウ、又社會不安ガ日ニ加ツテ來テ、イウ何時下ウ云フ大事件ガ起ルカモ知レナイト云フ、實ニ重大ナル時アルト云フコトヲ深ク考ヘラレタ結果ト思フノデアリマス、私ハ前提トシテアナタニ非常ナ決心ヲ促シタイカラ此ノコトヲ申上ゲルノデアリマスガ、アナタニハ先代兒玉將軍ノコトヲ持出スコトガ、一番利クダラウト思ツテ、之ヲ申上ゲルノデアリマス、今日モ私ハ少シ風邪ヲ引イテ居リマシタケレドモ、是ハ餘程重大間

題ダト思ッテ出テ参リマス時ニ、金子堅太郎氏ノ書イタ日露戦争秘話ト云フ本ヲ更ニ讀ンデ見タノデアリマスガ、此ノ日露戦争ノ時ニハ、我國ノ首腦部デハアノ戦ニハ必ズ勝ツト云フ自信ハ皆ツツテ居ナカッタラシイ、兒玉參謀總長ノ所ヘ金子伯ガ行ツテ聽イテ見ルト、此ノ戦ハ五分五分ダラウ、ドウシテモ四分六分ニ清キ著ケナケレバナラス、六回マデ勝ツテ四回敗ケル所ニ持ツテ行カナケレバナラスト思ツテ、參謀本部デ一月モ兵士ノ寢臺ニモグリ込ンデ、毛布ヲ被ツテ寢テ居ルノダ、實ニ容易ナラス此ノ度ノ戦ヲ言ツテ、苦心シテ居ラレタ事ガアリ、ト現ハレテ居ルノデアリマス、ソレカラ會テ臺灣總督デ居ラレマシタ時ニ、私ハ後藤サンカラ聽イタノデアリマスガ、常ニ兒玉總督ハ小善ト雖モ爲サザル勿レ、小惡ト雖モ爲ス勿レ、兎ニ角臺灣統治ヲ引受ケタ以上、ドンナ小サイ事デモ、善イ事ハ直チニ實行シヨウト云フコトヲ「モット」トシテ居ツタ、ソコデ先ヅ善人ノ善根ヲ培ヘタト云フ奇抜ナコトヲ聞イタノデアリマス、サウシテ一人々々ヲ歸順セシムル事ニ最善ノ努力ヲシタ、民政長官自ラ善社ニ出張モシタ、サウシテ最後ニドウニモ仕様ガナイ者ヲ、演習ヲ見物サスノダト言ウテ城内ニ集メテ、サウシテグルリカラ砲門ヲ開イテ皆殺シニシテシマツタ、是デスツカリ一週ニ始メガ付イテシマツタト云フコトヲ聞イテ、實ニドウモエライ思ヒ切ツタ事ヲラレタモノダ、臺灣統治ニ付テハ中々苦心サレタモノダト云フコトヲ其ノ當時密々ト感ジテ居ツタノデアリマス、小善ト雖モ爲サザル勿レデアリマス、ソコデ私ハ内務大臣ニ最モ小サイ事ダト世間デ思ハレテ居テ最モ大キナ事ガ故ニ一ツ

アルノデス、是ハ何モ豫算委員會デ斯ウ申上ゲズトモ、内務大臣ヲ訪ネテ應接間デ御話申上ゲテモ宜イ譯デスガ、此ノ間黨ノ幹部ノ御招待ヲ受ケタ時ニ、私ハ一寸アナクニ申上ゲテ見タケレドモ、ドウモ餘リピント來ナカッタ、是ハ改マツタ斯ウ云フ席デ言フヨリ外ハ方法ガナイ、斯ウ思ヒマシタ、併シアノ時ハ御忙シイ時デアリ、十分御考ヘニナル暇モナカッタノデアリナイカト思ヒマシタ、一ツ考ヘテ載キタイノハ、小サイ事ノヤウデ大キイノハ芥ノ處理ナノデアリマス、芥ノ處理ノ事ヲ申上ゲル前ニ是ダケノ前提ヲ申上ゲルト云フコトハ、ナニニ小サイ事ダト、アナタノ頭ヲ往來シテシマツタノデハ目的ヲ達シナイカラ、小サイ事デナイト云フコトヲアナタニ十分意識シテ貰フ爲ニ、此ノ前提ヲ申シテ譯ナノデアリマス、ソレハ私ハ市中ヲ通りマシテ、「ガソリン」ノ一滴ハ血ノ一滴ト云フアノ標語ヲヨク見マスガ、其ノ血ノ出ルヤウナアノ「ガソリン」ヲ使ツテ「トラック」ニ芥ヲ滿載シテ走ツテ居ル、其ノ滿載シテ走ツテ居ル所ノモノハ何カト云フト、皆戰時ニ最モ必要ナ資材ナノデアリマス、アノ中ニハ石炭ノ代用トシテ燃エルモノ、肥料トシテ肥シニナルモノ、又再生シテ紙ノ資材トナルモノ、此ノ三ツニ區別セラレルノデアリマス、之ヲ區別スルト皆有用ナ資材デアリ、ソレヲ一掃ニシテシマフト、ドウモ始末ノ惡イモノニナル、之ヲ血ノ一滴ニ相當スル「ガソリン」ヲ使ツテ葉テナケレバナラスト云フ結果ニナル、是ハ市民ノ心懸ケ一ツニ依ツテ出來ル事デアリマス、併シ市民ノ心懸ケト云フコトハ、内務省ガ干涉シタコトデアリナイ、教化運動ガ、斯ウ直ダニ内務省ノ役人ハ言ウテシマフノデアリマス、

デ痰ヲ吐イテソレヲ靴デ踏ル、アノ不道德ナコトヲ見テ實ニ覺醒シテ居ルコトハ永々デアリマシタガ、痰ヲ吐クト罰セラレマスト云フ揭示ガ出マシテカラ、殆ド電車ノ中デ痰ヲ吐ク者ハナクナツタ、ソコデ私ハ警察行政トシテ芥ヲ出スト罰セラレマスト云フコトニ依ツテ此ノ芥ト云フモノヲ絶無ナラシメテ、而シテ公衆ノ衛生ニ資シ、國民ニ勤儉貯蓄、消費節約ノ範ヲ示スト云フコトハ、是ハ非常ニ必要ナコトデアリ、何時モ話ヲスルト内務大臣ハ能ク分ル、ソレハ結構ナコトダト云ツテ警察局長ハ警察當局ト相談スルト、警察行政ニハ立入ルベキモノデアリナイトカ、大學ノ「ノート」ヲ出シテ見テモサウ云フコトハ書イテナイト云フヤウナコトデ何時デモ是ハ行ハレナイ、私ハ山崎警察局長ハ非常ニ尊敬スル、大局ノ見エル方デアツテ、今ハ内務大臣ガ警察局長ニ御相談ニナレバ、必ズ是ハ御同意デアルト思フ、併シソレ以下ハ分ラナイ、又ハハリ大ニ學デ習ツタヤウヲ持出シテ來テ何ヲ言フカ分ラヌ、併シナガラ今マデノ警察行政ノ中ニ經濟警察ト云フモノハナカッタ、所ガ近頃ハ一生懸命働ケルヤウニ稼業ノ爲ニ働クト、儲ケ過ギタト云ツテ經濟警察ニ引懸ルト云フノデアツテ、警察行政モ時ト時代ニ依ツテ變化シテ來ルノデアリマスカラ、是ハ一ツ内務大臣ハ是非ヤツテ貫ヒタイ、小善ト雖モナサザル勿レ、是ハ決シテ小サイコトデハナイノデアリマス、サウシテ國民ニ貯蓄ヲ強イルト云フ精神ノ影響モ實ニ偉大ナモノデアリマスカラ、今日ハ一ツヤルト云フ答辯ヲ聽クマデ私ハ之ヲ質問スル積リデアリマス

御質問ガアツタノデアリマスガ、私ガ御説明申上ゲルヨリモ、堤君ノ御話ノ方ガヨリ徹底シタル御話ノヤウニ承ツテ居リマシテ、私トシテハ、洵ニ感激ニ堪ヘナイノデアリマス、御話ノ通りニ齋藤内閣ノ時ニ臺灣ニ行ケト云フ御内意ハアツタノデアリマシケレドモ、只今堤君ノ御話ニナリマシタヤウナ理由ニ依ツテ御断リヲ申上ゲタノデアリマス、阿部内閣ノ時ニモ何カヤレト云フヤウナ内閣ノ相談ガアツタサウデアリマシケレドモ、其ノ時ニハ幾ラカ組織ニ關係ヲ致シテ居ツタモノデアリカラ、内閣ノ産婆役ガ關係ニナルト云フ事柄ハ慎ムベキコトナリト夙ニ考ヘテ居リマシタノデ、是モ御断リヲスベク決心ヲ致シテ居ツタノデアリマス、而シテ今回御引受スル場合ニ於キマシテハ、自分ハ御引受スルヤウナ気分ハ毫モナカッタノデアリマス、例ニ米内大將ガ組織ニ當リマシテ突然私ヲ呼ンデ心カラ切ナル御話ガアツタノデアリマシケレドモ、私ハ他トマデモ御断リヲ申上ゲタイト云フ気分ハ今堤君ノ御指摘ニナリマシタ通りニ、會テ父ガ内務大臣タリシコトガアツタノデアリマスノデ、ソコニ思ヒ至リマシテ、私ノ如キ不肖ノ者ガ此ノ重大時局ニ出テ、一面ニ於テハ父ノ顔ニ泥ヲ塗リ、一面ニ於テハ國家民心ノ爲ニナラスヤウナコトガアリテ居ルイカスト思ヒマシテ、御断リヲ積リテ居ツタノデアリマス、併シ米内サンノ誠意ニ時局ノ重大性ニ鑑ミマシテ、是ハ命懸ケデ一ツ働イテ見ナケレバナラス時ガ來タト云フヤウナ気分ガ致シマシテ、不肖ノ私ハ御引受シタヤウナ次第デアリマス、隨ヒマシテ私ノ決心ノアル所ハ自ラ御諒承下サルコトト思ツテ居リマス、唯私ノ最モ

川氏が司法大臣に對シテ、豫算總會ニ於テ質問セラレタ其ノ事ニ端ヲ發シテ居ルノデアリマス、今朝電話ヲ打合セマシテ、名川氏ノ出席ヲ求めテアルノデアリマス。名川氏ハ出席ヲ拒ミテ、此ノ貴重ナリキ際ニ私ラ、取敢テ内務大臣ノ所信ヲ伺フテ置キタリ。司法大臣、實ハ此ノ事ハ私ニ直接關係ノアルコトデアリマシテ、餘リ伺ヒタクナインデアリマス、又私ハ役人上リデアリマシテ、此處ニ居ラレモトモ違ヒマシテ、私ハ餘リ役人ヲ罵倒スルコトヲ好マナイノデアリマス。實ハ此ノ事ハ私ニ直接關係ノアルコトデアリマシテ、餘リ伺ヒタクナインデアリマス。實ハ此ノ事ハ私ニ直接關係ノアルコトデアリマシテ、餘リ伺ヒタクナインデアリマス、先日名川氏ガ司法大臣に對シテ、一黨ノ幹事長ガ責任ヲ以テ質問シテ居ルコトヲ等閑ニ付シテ居ルデハナイカ、其ノ間ニ人権蹂躪ノコトナドモアルガ、之ヲドウシテ居ルカ、之ニ對シテ司法大臣ハ答辯ニ立タレテ、自分ハ其ノ當時幹事長トシテ問題ヲ取扱フツタ、ソレヲ檢事ノ事カラ總テ調ベテ見タ、内務省モ調ベタ、司法省モ調ベタト云フ答辯ヲシタ、其ノ速記ガ地方新聞ニ出タ、是ハ私ノ無デス、サウスルト邊邊ト云フ特高課長ガ「木村法相ノ答辯ハ七百警察官ヲ侮辱」シテ居ル「人権蹂躪」ノ事實ナク嚴戒云々ハ噓ガ、當時ノ縣警務課長邊邊特高課長憤慨シテ斯ウ言フテ居ル、十四日衆議院豫算總會ニ於テ名川氏代議士(政友久原派)ハ檢察事務改善ニ關シ、昨年五月十日執行サレタ本縣衆議院議員補選選舉違反事件取調ノ際人権蹂躪ノ事實アツト云フツタニ對シテ、木村法相ハ「當時ノ警察部長ヲ嚴戒シタ」ト云フツテ居ルガ、此ノ木村法相ノ言辭ハ事實無根デアリ、當時ノ警察部長大島弘夫氏ハ「現在内

務省外事課長ノ椅子ニ在ツテ斯ルコトナシト聲明シテ居ル、大島君ハ此ノ邊ニ來テ居ルカモ知ラセズ、又同問題ニ付テ當時縣警務課長デアツタ現職特高課長邊邊英氏ハ憤慨シテ大ノ如ク語ル「昨年五月ノ衆議院議員選舉違反事件ハ石坂豐一代議士派ノ違反デアルガ、人権蹂躪ノ事實絕對ニナカッタコトヲ斷言スル、又當時ノ大島警察部長ハ絕對ニ嚴戒モサレナケレバ調戒モ受ケテ居ナイ、又内務省カラ同問題ニ對シテ先日照會アツタ時モ人権蹂躪ノ事實ナイコトヲ回答シタアリ、當時富山地方檢察正デアツタ高橋久衛氏モ人権蹂躪ノ事實ハ絕對ニナカッタコトヲ聲明シテ居ル、警察部長ヲ嚴戒ニシタト云フ木村法相ノ言辭ハ實ニ不可解デアリ、縣下七百警察官ヲ侮辱セルモノデアアル、又斯ル問題ヲ起シタ石坂代議士ニ對シテ取ルベキ手段モアルガ、相手ニシテモ仕方ガナイカラ相手ニセヌ積リデアアル、小學生童ノ取調ヲシタコトハ、決シテ人権蹂躪デハナイ、取調ベタト云フコトヲ認メテ居ルカラ斯ウ云フコトヲ言フノデス、「村上清四郎(選舉違反被疑者)ノ子供ヲ調ベタノハ其ノ子供デナケレバ判ラナイコトガアツタカラ學校テ調ベタコトヲ絕對ニ人権蹂躪ト云フベキコトデハナイ、斯ウ語ツテ居ル、是ハ木村司法大臣ニ問フコトハ勿論デアリマスカラ、出席ヲ要求シテ問フコトモアリマスガ、内務大臣トシテハ地方ノ官憲ガ斯ノ如キコトヲ暴言シテ、其ノ影響ヲ云フモノハ地方ニ如何ナル影響ヲ與ヘルモノデアルカ御考ヘニナレバ分ルデアラウ、新聞ノ記事ハ別ダト仰シテ居ルカモ知ラナイガ、此ノ新聞ノ記者ニモ私ハ聴イテ見マシタ、絕對

ニ邊邊ト云フ人が言フツテ居ル、邊邊ト云フハ近々滿洲ニ行クノ徒ニテ食ヲ言ウタノカモ知ラセズ、皆ツンモ御考ヘニナレバ分ルガ、兎角地方ノ警察官ト云フモノハ鳥ナキ里ノ獨逸人威張ツテ居ルカラ、斯ウ云フ風ニ當局大臣ヲ罵倒シテ居ルガ、是ガ地方民ニ影響スルコトヲ考ヘナケレバナラヌ、之ニ對シテ内務大臣ハ如何ニ御考デアリマセウカ、自分ノ部下ニ於テコレ位ノコトハ宜イト云フ御考デアリマセウカ、或ハソレガ間違ツテ居ルト云フ御考デアリマセウカ、此ノ事實ニ對シテドウ云フ御考デアルカラ總シタイデアリマス、是ハ更ニ司法大臣ノ御考モ總シタイト思ヒマスガ、今私ノ質問時間ガアリマシタカラ此ノ質問ヲシタイデアリマス、是ハ私ノ問題ヲ取扱フツテ居ルコトデアリマスカラ、餘リ好イ氣ハシマセウガ、是ハ私ノコトヲ言フツテ居ルノデアリマセズ、私ノ黨トシテ責任ヲ持ツテ幹事長カラ此ノ取調ノコトヲ當局ニ具申シテ居ルデアリマス、内務省ニ人権蹂躪ガアツタコト云フコトヲ認メバ、ナカッタコトヲハ當リ前デアリマスガ、是ハナイトハ言ヘマイト思フ、是ハ誰デモ知ツテ居ルコトデ、色々ナコトヲ調ベラレタ、事件ニナウタ人ハ十五人デアリマスケレドモ、五十九人ノ人ヲ調ベタノデアリマスカラ、有名ナ事件デアリマス、唯子供ヲ調ベタト云フコトニ付テハ、兒童ニ對シテ心ヲ傷ケ、數日間學校マデモ休シタノデアリマスカラ、文部大臣ニモ關係ノアルコトデスガ、ソレナニ事ヲ荒立テテ、此ノ事ヲ問ヒ質ス考ヘ持ツテ居ルナカッタノデス、ケレドモ、餘リニ生々シイ事實デアリマスカラ、此ノ議會開會中ニ之ヲ質問シテ置カスト、政治ガ明ルク

ナラスト思ヒマス、ソコデ之ヲ此處ニ持ツテ來タノデス、名川君ガ居ツテ與レレバ宜イノデアリマスガ、居リマセウカラ取急ギ之ヲ御伺スル次第デアリマス。
○兒玉國務大臣 今初メテサウ云フコトヲ私ハ伺ツタノデアリマス、此ノ事ハ一ツ能ク取調ベマシテ御返事ヲ申上ゲマス、輕彈ミニ之ニ對シテ批評ヲ加ヘルト云フコトハ輕率ノヤウニ考ヘマスカラ、暫ク取調ノ時間ヲ與ヘテ戴イテ、何レ取調ベタ上テ御返事申上ゲマス。
○石坂委員 取調ベラレタ其ノ結果、其ノ處分ハドウナル積リデアルカ、滿洲ニ行ク者ハ逃ガシテ少シモ札サヌ、大體人権蹂躪スル連中ハ是マデモ澤山蒙疆地方ニ逃ゲテ行ツテ居ル、サウ云フコトヲシテ後ハドウナルマスカ、ソレカラ人権蹂躪ノ張本人デアツタ人ガツイ最近警部カラ警視ニ代ツテ行ツタ、假ニ木村法相ノ言ハレル通り警告ヲ發セラレタカモ知ラセズガ、其ノ警告ヲ發セラレタ人ハ皆榮進シテ居ル、斯ウ云フコトニナレバ、人権蹂躪ヲヤラス者ハ損ダト云フコトニナル、其ノ邊ノコトモ能ク御調在下イマシテ、サウシテアナト部下デアルカラ何デモ被テモ庇護スルコトナシニ、正シク處罰ヲ嚴正ニシテ、流石兒玉内務大臣デアアルト云フヤウニ明ルクシテ戴キタイノデス、オダテ上ゲルノデモ何デモアリマセズ、正シクシテ戴キタイ、私ハアナトニ本當ニ御願シタイ
○兒玉國務大臣 委細承致シマシタ
○今井三宣 次ハ吉田君ニ質疑ヲ許シマスガ、ドレ位ノ時間デアリマスカ——實ハ午中デ済シタイノデ、甚ダ制限ヲシテ恐縮

デスガ、短イ時間デ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス——吉田君
○吉田委員 私ハ村ノ行政機構ノ改革ノ問題ニ付テ、少シ質シテ見タイト思ヒマス、事變勃發以來村内ニ豫期セザリシ統後ノ事業ヲ初メ、多大ノ事業ガ殖エテ参リマシタ、ソコデ或ハ村長トシテ活動シ、村長ハ同時ニ又軍人會長デアリ、或ハ産業組合ノ理事デアリ、或ハ又農會長デアリ、ト云フ風ニ兼務シテ居ル地方モゴザイマス、或ハ又ソレノ人ガ特別ニ其ノ任ニ當ツテ居リマス、多クノ事ガ村全體ニ拘ハルヤウナ場合ニハ、何處デモ見マサル如ク村中一致シテヤラネバナリマセズ、斯ウ云フヤウナ極ナ專近ナ例ハ、出征ノ見送カラ、或ハ遺骨ノ出迎ヘ、村葬カラ、或ハ出征者ノ家族ノ爲ニ種種ノ努力ノ提供、其ノ他補助等、可ナリ廣汎ノ範圍ニ互リマシテ、事務ハ幅廣シテ來マシタ、是ハ戰時下ニ於ケル事變以來生ジマシタ特異ナ農村ノ状態デアリハシマスルガ、同時ニ考ヘマスト云フト、是カラ村ハ經濟ノ方面ニ於キマシテモ、又具體的ノ農業ノ増産ニ致シマシテモ、或ハ之ニ伴フ資材ノ分配或ハ金融ノ問題、或ハ軍事上ノ豫備訓練トモ云フベキ青年學校ノ問題、教育ノ問題、或ハ又土木ノ問題等々、今後事變ニ依ツテ生ジマシタ此ノ複雑多端ナ村ノ諸事業ト云フモノハ、事變ガ終ラザルマシテモ、相當多クナツテ行ク趨勢ニアルモノト存ゼラレマス、然ルニ現状ニ於キマシテハ、例ヘバ村長ガ村全體カラ考ヘテ、是ハ一例ヲ舉ゲマスト、政府カラ増産ノ指令カラテ居ル、何トカシテ此ノ村モ餘計ニ米麥ヲ作ラネバナラヌ、斯ウ云フヤウナ問題ガ假ニアルトシマシテモ、之ヲ農會長ニ諮リ、

又資材方面ニ付キマシテハ、産業組合ニ之ヲ諮リ、色々連絡ヲ取ツテ行カネバナリマセズ、是ハホソノ一ツノ例デゴザイマス、ソコデ私ハ進ミマシテ、從來村ハ本來ナラバ村長ガ中樞ノ最高ノ機關デアリマシテ、村長中心ニ村ノ一切ノ計畫ガ樹テラレナケレバナラヌト云フ時ニ、ドウモ此ノ中心點ガアチラニモ、コチラニモ——例ヘバ農業ノ方面ハ農會ガ中心點デアアル、併シソレハ村全體ノ運命、産業經濟政治全般ニ關係スル、又一般經濟ニ付テハ、産業組合ガ中心ニナツテ是ガ全般ニ關係シテ居ル、行政ノ方面ハ村長ガ中心デアアル、ケレドモ空位ヲ據シテ居ルヤウナ場合ガアル、斯ウ云フヤウナコトヲ屢ニ散見スルノデアリマス、就キマシテハ其ノ例ハ深山アリマスガ、一例ヲ採ツテ見マスルト、此ノ事變來輻輳シテ参リマサル諸般ノ事務ヲ圓滑ニ有テ適切ニ遂行スル爲ニ、アチラコチラデア村ノ全體協議會ガ出來テ居リマス、此ノ全體協議會ニ付テ、例ヘバ奈良縣ノ南葛城郡被上村ノ全體協議會ノ如キハ、名前ハ戰時對策協議會ト云フ風ニ稱シテ居リマスガ、是ナソノカモ時代ノ必要ニ依リマシテ、色々ノ重要ナ問題ヲ皆對策協議會デ協議シテ居リマス、村長、村會議員、農會長、軍人會、産業組合、全部寄ツテ居リマス、ソコデ私ハ將來ノ村ノ建設ノ建前カラト、行政機構、法制ノ根據ナドガ非常ニ古イ時代ニ出來マシタコト等ニ鑑ミマシテ、何トカ法ニ法律上ノ一ツヲ改革ヲ遂ゲテ、サウシテ實際ノ必要ニ應ズルヤウニ改メナケレバナラヌと思ツテ居ルノデアリマス、其ノ一點トシマシテ、村長ニモツト經濟上ノ力ヲ付與スルヤウニ、村行政ノ中心ニ經濟上ノ力ヲ付與スルヤウ

ナコトガ一番重大デハナイデアラウカ、先ツサウ云フ風ニ考ヘタノデアリマス、併シソレニ付テ考フベキ對案トシマシテハ、例ヘバ農會ヲ村ニ吸收スルコトヲ云フヤウナ方法ハドウデアラウカ、或ハ産業組合ノ構成ヲ變ヘマシテ、村ニ或ル部分ヲ吸收シテ行クト云フ、例ヘバ金融ヲ除キマシテ其ノ他ノ組合ヲ吸收スルコトハドウデアラウカ、斯ウ云フコトモ種々考ヘラレマスケレドモ、ドウモ私ラモ適當ナ最後ノ案ヲ得ナイノデアリマス、併シ現實ニ於キマシテハ先以テ例ヘバ農會用資材ノ配給、農村全體ノ問題ダガ、併シ村長ニハ産業組合等ノ關係モアツテ、思フヤウニ權限ヲ與ラナイラシト云フヤウナ點モアリマス、何カ法ニ先以テ經濟上方面ニ於ケル權限ヲ村長ニ付與スルコトヲ云フコトニ依ツテ、村行政機構ノ根柢ヲ強化スル、斯ウ云フ風ニ爲スベキ必要ガアルノデアリハナイカト云フコトヲ痛感シテ居ルノデゴザイマス、此ノ點ト、ソレカラ前ニ述べマシタ綜合的ニ村ガ協議會ヲヤウナモノヲ作ツテ居リマスガ、最近ノ活動狀況、此ノ二點ニ付テ一ツ先ツ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス。
○兒玉國務大臣 今日時局ニ伴ヒマシテ、町村ノ各般ノ事務ガ非常ニ煩ニテ來、而モ其ノ結果トシテ村内ニ於ケル色々ノ事業ガ統制セラレナイコトノ弊ニ陥ツテ居ルコトハ、只今モ御話ニナリマシタヤウナ大體ノ情勢ト私共モ考ヘテ居リマス、而シテ段々ニ町村ガ從來トハ形ヲ異ニ致シマシテ、經濟本位ニナツテ行クコトヲ趨勢ナルコトモ認メザルヲ得ナイ點ト信ジテ居リマス、隨ヒマシテ御話ニナリマシタヤウナ實際ナ事變並ニ將來町村ガ經濟的活動ニ向ツテ、愈々其ノ力ヲ伸バシテ行カナケレバナラヌト

云フ見地ヨリ致シマシテ、地方制度改正ヲスベキ點ニ於キマシテハ、特ニ其ノ點ヲ考慮ニ入レテ、制度ノ建前ノ根本ニ致シテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、今日ノ儘ニ於キマシテハ今御話ノ通りニ直グサマ之ヲ村長ノ下ニ統制シテ行クト云フ事柄ヘ、事實上困難ナ事情ガアリマス、今御話ニナリマシタヤウニ、町村ノ全體協議會ノヤウナモノニ依リマシテ、取敢ズ之ヲ總括シテ、統制アル活動ヲスベク處理シテ行クト云フコトハ、至極適切ノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、又今日ノ時代ニ於キマシテハ、各町村ニ依リマシテ模樣モ違ヒマセウケレドモ、大體ニ於テ今ノヤウナ御話ノコトガ一番良イ方法デハナイカト云フ風ニ、今御話ヲ承リマシテ特ニ痛感スル次第デアリマス。
○吉田委員 ソレニ付キマシテ例ヘバ長野縣ニ於キマシテハ、部落協會ト云フモノガアリマシテ、大字ヲ中心ニ致シマシテ、小サナ全體協議會ガアチラコチラニ出來テ居リマス、或ハ斯ウ云フヤウナ地方々々ノ特色ヲ持ツテ居ルノ面ハ自今現狀ダと思ヒマスノデ、若シ出來マストナラバ、全國ニ自然發生致シテ居リマス諸種ノ協議會ヲ早急ニ内務省ニ於キマシテハ系統的ニ其ノ活動狀況ト將來性等ニ付テ御調查ヲ願ヒマシテ、何トカ内務省ガ一歩先ンジテ指導的ニ見地カラ之ヲ發展向上セシメマシテ、將來地方制度ノ改正ガ實現セラレマス時ニハ、現實ニ即シテ實效ヲ舉ゲテ行クト云フ風ニ積極的ニ指導サレルヤウニ調査且ツ指令ヲサツテ居ルト云フコトナラ別デゴザイマスガ、マダト云フコトデゴザイマスレバ、是

第一類第三號 豫算委員第二分科會議錄

第三回 昭和十五年二月十九日

非ソレヲ希望シタイノデアリマスガ、御所見ヲ伺ヒマス。
○見玉國務大臣 只今御話ノ自然的ニ發達シテ居ル實情ニ即シテ制度ニ付キマシテハ、内務省ニ於テハ從來ヨリ注意ヲ拂ヒマシテ、十分ノ研究ヲ致シテ居ルデアリマスガ、併シ今後時局ノ變遷ニ從ヒマシテ、地方地方ニ依ツテ色々サウ云フ便宜のデアリ、又ヒマスノデ、此ノ點ハ將來モ十分ノ調査研究ヲ致シマシテ、來ルベキ制度ヲ改正ノ時ノ參考ニスルコトニ努メタト云フテ居リマス。

○吉田委員 ソレカラ次ニ河川流水ノ問題ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、私ハ昨年ノ西日本ノ農村ノ早害ノ實情ヲ具サニ調査研究ヲ致シマシテ、寫真ノ結論ハ、將來ノ恒久的ノ對策ト致シマシテ、流水ヲ適當ニ統制シ、積極的ニ是ガ利用ノ對策ヲ樹立スルト云フコトガ重大ナル根本的ナル點デアリト考ヘタノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、農林分科會ノ方ニ於テモ、農林省ニ積極的ナ是ヘノ對策ヲ要望致シテ置イタノデアリマスガ、今日ノ法制上、主管官廳ハ河川法等ニ依リマシテ、内務省ト存ジテ居リマスノデ、内務省ガ積極的ニ此ノ河川開發ト云ヒマスガ、時代ノ趨勢ニ應ジマシテ、必要ナル施設ヲ積極的ニナサレ、又從來ノ長年ノ間ノ慣行トナツテ居リマス流水ノ使用ノ權利ト云フヤウナモノガ、現實ノ必要カラ見ルナラバ、洵ニ不合理ナル狀態ニ放置サレテ居ルト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ調査ノ根本ノ御方針ト、ソレカラ尙ホ言ヒ忘レマシタガ、單リ農村ガケデハゴザイマセズニ、工業トノ關係ニ於キマシテ、流水ノ利用價值ガ

激増シツツアリマスコトハ、最近ノ電力問題ガ洪水ノ原因トスルヤウナ事情ニ徴シテ見マシテモ、是ハ申スマデモアリアラズ、殊ニ我國ニ於キマシテハ流水ノ量ガ諸國ニ較ベテ非常ニ多イト專門家カラモ承ツテ居リマスノデ、私ハ主トシテ農村ノ見地カラ積極的ニ全國ノ流水ヲ利用スル計畫ヲ立テテ載クト云フコトノ必要ヲ感ジテ居リマスノデ、之ニ付テ一ツ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス。

○見玉國務大臣 河水ノ統制ニ關スル問題デアリマスガ、御話ノ通りデアリマスノデ、内務省ニ於キマシテハ兩三年前ヨリ河水統制調査ニ關シテハ兩三ノ計畫ヲ致シマシテ、全國ニ互リマスル主ナル河川並ニ湖水六十有餘ニ對シテ色々調査ヲ進メテ居ルデアリマス、其ノ主ナル方針ト致シマシテハ、上流ニ必要ナルダムヲ造リマシテ、其ノ下流ニ於テハ工業用水、或ハ其ノ他發電、耕地ニ對スル水ノ分配等ヲ考慮致シマシテ、適當ナル地位ニダムヲ築ヘテ、之ヲ統制シテ行カウ、斯ウ云フヤウナ大體ノ方針ヲ以チマシテ、今日進シテ居ルデアリマス、今回豫算ニ計上致シマシタ諸川モ極々最近終ヘタ部分ガ段々ニ出テ居ルコトニナツテ居リマスノデ、將來モ其ノ計畫ヲ以テ進シテ行キタイト思フテ居リマス、只今ノ御話モアリマシタ通り、之ニ伴ヒマシテ河川ノ問題モ亦必要ナルデアリマシテ、一面ニ於テハ砂防、一面ニ於テハ河水統制方針ニ依リマシテ、調査ノ結果ト致シマシテ、河川其ノモノニ對シテ上流ニダムヲ作ル、サウシテ是等ノ水ノ分配ヲ適當ニシテ行ク、大體斯ウ云フ方針ヲ今日執リツツアリマス。

○吉田委員 其ノ點ニ付テ實ハ大臣ニ御伺シタイノデアリマスガ、私ハ日本ノ河川ノ流水ノ利用ノ致シ方、設備ノ規模如何ニ依リマシテハ、是ハ物動計畫ノ根本ニナリ、動力ノ最大ノモノニナルト云フコトヲ考ヘテ居リマスノデ、各省バラバラニ專門的ナ御調査ヲナサルノデハナクシテ、全日本ノ河川ノ流水ヲ徹底的ニ、模範的ニ、最高度ノ規模ニ於テ調査ヲ進メルト云フ風ニ、何トカ主管ノ内務省ニ於キマシテ中心ニナリ御提唱ニナルカ致シマシテ、左様ナ方向ヘ調査ヲ持ツテ行クヤウニ出來ナイモノデアリマセウカ、一ツ御所見ヲ拜聴シタイト思ヒマス。

○吉田委員 河川ノ問題ハ日本ノ將來ノ産業ノ上ニ於キマシテモ、生産擴充ノ見地カラ致シマシテモ、天惠ノ動力デアリ、天惠ノ原料デアリ、天惠ノ肥料デアリ、ゴザイマシテ、實ハ河川ノ問題ハ究メレバ究メテ程不可思議ナル多クノ力ヲ蓄藏シテ居ルノデアリマス、私ハ昨年滿洲ノ松花江ノ「ダム」ヲ三日掛カツテ見タノデアリマスガ、アノ「ダム」ガ完成シ、アノ發電所ガ全滿ニ行渡ルト云フコトニナツタ暎ハ、滿洲ノ五箇年計畫ハ概然ト輝イテ其ノ效果ヲ舉ゲルト感ジテ歸ツタノデアリマス、就キマシテ私ノ希ヒ又知リタイ點ハ、政府ニ於キマシテ御調査モ結構デアリマスケレドモ、非常ニ重大ナル使命ヲ持つテ居ル此ノ河川流水ノ問題デアリ、隨テ又直接ニハ「ダム」ノ築造ノ問題ニ歸スルト思ヒマスガ、凡ソ何時頃ニ其ノ調査ヲ終ヘ、又ドノ位ノ規模ヲ以テ將來ノ流水利用ノ計畫ヲ樹立シテ行カウト云フヤウナ抱負ガ政府ニオアリナノデセウカ、凡ソ此ノ河水事業ト云フモノハ、歴史ニ依ツテ見マシテモ、明治初年以來毎年ソレ／＼ニ行ハレテ、何時モ盡キスノデアリマスガ、劃期的ナル時代ノ必要ニ應ズルト云フ此ノ觀點カラ、私ハ特ニ重要性ヲ考ヘテ居リマスノデ、豫メ政府ノ抱負ノ輪廓、大體何時頃ト云フ見透シ、サウ云フヤウナモノニ付テ御所見ヲ承レバ尙ホ結構デアリマス。

國ノ六十幾ツカノ河川、此ノ中ニハ湖モノヲテ居ルノデアリマスガ、是ノ調査ヲヤツテ居ルノデアリマス、其ノ中既ニ調査完了致シタモノガアリ、ソレニ付キマシテ既ニ土木事業ノ豫算トシテ豫算化サレツツアルモノモアルノデアリマス、大體五箇年間ノ計畫ヲ以チマシテ、全國ノ主要ナル河川ニ付キマシテハ調査ヲ完了シタイト考ヘテ只今實施中デアリマス。

○吉田委員 只今ノ御話デアリマスガ、御尋シマシタ要點ノモウ一ツハ、調査ハ五箇年間ヲ完了ノ豫定モ結構デアリマスガ、進んで調査ノ後ニハ、ドノ位ノ規模ニ於テ河川ノ利用ガ目論マレテ居ルカ、其ノ目論見ノ輪廓ガ知リタイノデアリマス。

○成田政府委員 重ネテ御尋デアリマスガ、調査ニ付キマシテハ、個々ノ河川ニ付テ、如何ナル「ダム」ヲ造ツタラ宜イカ、又造ツタ其ノ「ダム」ニ依リマシテ、ドレ程ノ水量ガ入ツテ來ルカ、又其ノ水ヲ灌溉ニドレ程使フカ、或ハ發電用ノ水トシテドレ程使ヒ得ルカト云フコトヲ、一ツ／＼ノ河川ニ付テ大體調査シテ居ルデアリマス、其ノ調査ニ豫算ニ盛込シテ行クト云フヤウナヤリ方デアリマシテ、十五年度ノ豫算ニ只今要求シテ居リマス諸名川ノ河川改修事業ノ如キハ、此ノ河川統制ノ結果豫算化サレタモノノ一ツノ例デアリマス。

○吉田委員 ドウモ御答辯ニ不満足デアリマスガ、ソレデハ斯様ニ伺ツテ見マセウ、「ソビエト」ニ於テハ五箇年計畫ノ精ニ著ク前ニ、全國ノ電化ヲ計畫致シマシテ、各方面ノ「ブレイン」ヲ集メテ極メテ大任担ナ劃期的ナ調査ヲ何百回ニ互ツテ進メテ參ツタ事

實ガアルノデアリマス、單ナル從來ノ河川利用ト云フヤウナ見地カラ御尋スルナラバ、今日ハ止メテ御尋デアツクノデアリマスガ、日本ノ將來ヲ考ヘテ見マシタ時ニ、物動ヲ將來ヲ考ヘテ見マシタ時ニ、此ノ天惠ノ流水ヲ最新ノ科學ノ力、經濟ノ力、一切ヲ綜合統一致シマシテ、之ヲ利用シナケレバナラスト斯様ナ考ヲ以テ御尋シタノデアリマス、ソコデ調査ト云フノハ内務省ノ所謂專門ノオ役人ノミデナサルノデアリマスカ、ソレトモ電力ノ技術方面或ハ農業ノ技術方面、或ハ工業ノ綜合的ナ技術方面或ハ産業ノ有ニル角度カラスル調査、斯様ナ有ニル智能ガ河川ニ向ツテ集中サレルト云フヤウナ方向ニ進ムノデアリマセウカ、或ハ單ニ流水ノ分量トカ、其ノ邊ノ地質ノ狀況トカ云フ從來ノ範圍ニ止マルノデアリマセウカ、重ネテ御尋シタイ。

○成田政府委員 只今ノ御尋ニ御答致シマス、昭和十二年度カラヤツテ居リマス河水ノ統制ノ調査ト申シマスノハ、内務省ガケデアリマセズノデ、電力關係ニ於キマシテハ通信省モ同様ノ調査費ヲ取ツテ居リマス、又農業用水ノ關係ニ於キマシテハ、農林省モ同様ノ經費ヲ取ツテ居ルノデアリマシテ、内務省ト致シマシテハ、全般的ナル統制ノ立場カラ、内務省ノ土木局トシテ河水ノ統制ノ調査ヲヤツテ居リマス、只今御尋モアリマシタガ、根本的ナル全般的ナル調査ト致シマシテハ、河川筋ニ於ケル雨量、水位、水量、流量ト云フヤウナモノヲ調査致シマスシ、更ニ突進シテ先程御説明致シマシタヤウノドウ云フ方面ニ如何ニ此ノ水ガ利用出來ルカト云フコトニ付キマシテ、内務省トシテモ調査致シマスガ、一方ニ於

キマシテ通信省ノ調査、或ハ農林省ノ調査ト眺メ合セマシテ、時々協議會ヲ開イテ全般的ニ河川ノ利用、利水ト云フコトニ付テ調査ヲ進メテ居ル次第デアリマス。

御話ノ中ニゴザイマシタ立看板ヲ貼札ニ變ヘルト云フコト、ソレカラ演說會ノ通告ノ爲ニスル貼札ノ總テノ制限、是ダケノ規定ヲ變更致シタノデアリマス、是ハ無論全國的ノ省令ニ依ル取締デゴザイマスカラ、統一一致シテ居ルモノト考ヘテ居リマス、唯其ノ他ニ、只今御話ノゴザイマシタヤウニ、府縣ニ依リマシテハ、選舉權正委員デアルトカ、或ハ地方ノ有志ノ申合ニ依ツテ協定ヲシテ、其ノ協定ニ基イテ選舉ノ運動ヲ行ツタ所ガアルノデアリマス、併シナガラ是ハ無論地方ノ特殊ノ事情ニ依ルモノデアリマシテ、本省トシテハ別ニ指示ヲシテヤツタコトデアリナイコトヲ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス。

ケレドモ、ソレガ極端ニ走ツテ街頭ニ選舉ノ「ピラ」一枚モ見ルコトガ出来ナイト云フヤウナコトデハ、如何ニ棄權防止ヲ叫ンデモ、選舉ニ對スル興味ヲ殺イテハ、何處ニ棄權防止ノ實ヲ舉ゲルコトガ出来ルカ、又申合事項ナルモノニ付テ、候補者ト別ニ會見シテ其ノ意見ヲ徵スルト、反對ノ點ガ多クアルケレドモ、警察部ヲ作ラレタル要綱ニ反對スレバ、干渉ヲ受ケテ選舉ニ不利デアルト云フヤウナコトヲ交、申シテ居ル眞ニ候補者自身カラ發意サレテ申合事項デアリ、ソレガ候補者總テノ欣然トシテ實コトハナイノデアリマスガ、私共何等申ス至リマシテハ、知事、警察部長ガ原案ヲ作リ申合事項トシテ協議シタト云フコトハ名フモノガ強行サレテ居ル事實ハ到ル處ニ之ヲ散見スルコトガ出来ルノデアリマス、ソコデ明年ノ衆議院議員選舉ニ於テハ各縣知事ガ思ヒ〜申合事項ヲ作ツテ、之ヲ強行スルト云フヤウナ弊害ヲ除去スル爲ニ、今日カラ豫メ政府ニ於カレマシテ、此ノ戰時下如何ナル選舉ヲ行フベキデアルカ、是ハ内務省令ノ改正デ出来ルコトデアリマスカラ、概シテハナイナラ使ハナイ、或ハ演說會場ヲ統一シテ立會演說ヲ行ハシメルナラ行ハシメルコトハ勿論結構デアリマスガ、是ハ一方ニ官憲ヲ選舉干渉ノ弊ニ陥ラシメズ候補者自身ノ所謂自主的統制ト戰時下ノ無駄排除ト云フモノガ渾然ト一體ヲ成シ、選舉ノ精神ニモ觸レズ、又戰時下ト云フ特殊ノ時代ニ於ケル選舉ニ相應シテ空氣ヲ醸シ出スヤウナ對策ヲ今カラ考慮サレテ置ク必要ガアリハシナイカト考ヘルノデアリマス、

私共立會演說或ハ推薦狀ノ發送ノ禁止、或ハ看板ノ撤去ト云フガ如キコトニハ勿論賛成デアリマス、唯ソレヲ候補者モ選舉民モ官憲モ眞ニ理解協力ノ上ニ立ツテ、ソレガ全國的ニ整然タル統一ヲ以テ不公平ナク行ハレナケレバナラナイト私共ハ考ヘテ居リマス、此ノ點カラ内務大臣ニ於カレマシテハ、來年當然選舉ノアルコトハ今日カラ確定致シテ居ル事實デアリマスカラ、ソコニ戰時下選舉對策トシテ臨時ノ便法ヲ御考ニナリマシテ、或ハ内務、司法兩當局或ハ政黨出身ノ其ノ方ノ權威者ヲ集メテ、委員會デモ拵ヘ、今日カラ豫メ研究シテ置ク、サウシテ戰時下ノ選舉對策トシテハ特別ナル選舉ガ行ハレナケレバナラナイ、其ノ見地カラ明年ノ衆議院議員ノ總選舉ハ、物資不足ノ建前、或ハ色々ナ方面カラ斯ウ云フ特殊ナ臨時の選舉ヲヤルダント云フコトヲ、事前ニ國民大衆ニモ、候補者ニモ、取締官憲ニモ徹底セシメテ置ク必要ガアリハシナイカト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、内務大臣ノ御答辯ヲ御願致シタイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 來年度ノ總選舉ニ付キマシテハ實ハマダソコマデ思ヒガ至ツテ居ラナイノデアリマス、只今御話ヲ承リマシタ其ノ御趣旨至極私ハ同意デアリノデアリマス、飽マデモ選舉ガ公正ニ行ハレ、而シテ戰時下ニ相應シテヤウナ選舉ガ行ハレルト云フ事柄ヲ希望シテ已マナイノデアリマス、如何ニシテ其ノ目的ヲ達シ得ルカト云フコトニ付キマシテハ、獨リ政府ノミナラズ皆様方ノ御意見ヲ承リマシテ、成ベク早ク其ノ適切ナル方針ヲ決定スルヤウナ風ニ致シタイト思ツテ居リマス、ソレガ爲ニ必要ガアレバ委員會ヲ作ルト云フ事柄モ亦一ツノ良イ方法デハナイカト考ヘテ居リマス

○小山委員 簡單ニ御答シマスガ、先般衆議院ノ本會議議行ハレマシタ齋藤隆夫君ノ演說ノ大意ノ記事ガ、日本デハ日本國內ノ新聞ハ悉ク之ヲ禁止サレマシタ、嚴重ニ字句ヲ使フテハイケナイト云フヤウナ表達シテ取締ラレテ居リマス、然ルニ不思議ナコトニ外國通信員ガ外國ノ新聞ニ此ノ記事ヲドン〜送リマスノハ内務省ノ方デハ御取締ニナラナイ、隨テ「ニューヨーク・ヘラルド、トリビュン」ハ「日本ノ對支政策議會デ攻撃サル」ト云フ、戰争ニ關スル議會ノ討論、日本ノ議論ニツニ分レ、齋藤氏議員辭任、トカ或ハ「絶望ノ爆發」ト云フヤウナ字ヲ使フテ大々的ニ報導サレテ居リマス、又日本ノ國中デ發行スル新聞デモ「ジャパン・アドバタイザ」ハ「協力四日ト覺エテ居リマスガ、支那事變ノ本質ヲ衡イタル齋藤議員ノ勇氣ヲ賞讃ス」ト云フ記事デ、一面大々的ニ取扱ツテ居リマス、日本デ發行シテ居ル所ノ外字新聞ニ斯ウ云フ記事ガ載ツテ居ルト云フコトヲドウシテ御取締ニナラナイノデスカ、國內ノ、日本人ノ經營シテ居ル新聞ハ全部取締マラレルガ、外國新聞ニ對シテハ取締ガ寛大デアルト云フヤウナコトガ若シアツタトシタナラバ、私ハ是ハ重大ナコトニナリハセヌカト考ヘマスガ、内務大臣ノ之ニ對スル明確ナ御答辯ヲ御願致シマス

ルト云フコトハ、是ハ非常ニ不適當ナコトデアルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ今後ニ於キマシテ、斯ウ云フ邦字新聞ト外國新聞トノ記事ノ取扱ニ付テ差別ノ生ジマセヌヤウニ、特別ノ方法ヲ實ハ考究ヲ致シタイト考ヘテ、目下事務當局ニ於キマシテ、ソレゾレ研究ヲ致シテ居ル所デゴザイマス

○小山委員 警保局長ノ御答辯デアリマスガ、日本ノ國中ニ發行セラルル新聞ノ見出しガ、日支事變ノ本質ヲ衝ケル齋藤隆夫氏ノ勇氣ヲ賞讃ス〜ト云フヤウナ見出しデ出テ居ルコトヲ其ノ儘ニ放置サレルノデアリマスガ、斯様ナ見出しデ以テド〜ト國內ニ發行スル新聞ニ書クコトヲ是カラ考究スル、是カラ考究スル所デハナイ、斯様ナ見出しガアルト云フコトヲ見タラバ、直チニソレヲ取締ルコトハ、議長ガ其ノ速記録ヲ切ル切ラナイニ拘ラナイト思フ、斯様ナ事柄ガ出タ場合ニ直チニアナタノ方デオ差止メニナルカ、發賣禁止ニナサラナケレバナラナイト思フガ、賞讃スト云フヤウナ見出しデ出テ居ルノヲ、ドウ云フ譯デオ拾置キニナツタノカ、伺ヒタイ

○山崎政府委員 只今御話ノ通りニ「ジャパン・タイムズ」ノ記事ハ極メテ不適當ダト思ヒマス、併シ事情ハ先程申上ゲタ通りニ、二版訂正ヲ命ズル處分ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、決シテ全然之ヲ等閑ニ附シタノデハナイコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○山崎政府委員 經濟警察ノ取締ノ方針ニ付キマシテ、過日中島委員ヨリ御答ガゴザイマシタ際ニ申上ゲマシタ通り、大體ノ方針ト致シマシテハ、指導防犯ト云フ點ニ主カヲ置イテテ居ルノデアリマス、併シナガラ犯罪ガ非常ニ重大デアリ又惡質ノ場トニナツタノデアリマスガ、元々労働者ガ澤山居ラナイノニソレヲ取締シヨウトスルノデアルカラ無理デス、是ハ神戸銀行ガ「レボ」バックシテ、其ノ綿製品ノ配給ヲ受ケルダケノ金ヲ貸出シテ、神戸銀行ニ所屬シテ居ル倉庫ニ之ヲ預ケテ配給シヨウトシタケレドモ、元々是ハ無理デアツテ、段々日子ガ経ツテ來テ、一定ノ期限マデニハ配給スルコトガ出来ナイデ、倉庫ニ其ノ品物ガ山ノヤウニ止ツテ居ツタ、其ノ爲ニ非常ニ多額ノ倉庫料ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトニナリマシタノデ、海員組合ノ幹部ハ此ノ綿製品ヲ當然其ノ期間内ニ配給出來テケレバ政府ニ返還シナケレバナラヌノヲ返還セズニ、神戸、大阪附近ノ商人ニ聞取引デ賣出シテ居ル、海上ノ労働者ニ配給シナケレバナラヌ所ノ多額ノ綿製品ヲ、政府ヲ僞ツテ民間ニ運シ〜ト賣出シテ居ル事實ガアリマス、兵庫縣ノ警察デハ既ニ此ノ事ヲ嗅キ付ケテ捜査ヲ進メマシテ、犯人ヲ擧ゲテ居ル、所ガ犯人ハ、不思議ナコトニハ、不正ナコトヲヤツテ綿製品ヲ賣出シタ方ノ犯人ヲ擧ゲネバナラナイノヲ擧ゲナイデ、買ツタ方ノ連中ダケヲ警察ニ擧ゲテ居ル、買ツタ人間ガアレバ買ツタ人間ガナクテハナラナイ、賣ツタ人間ガ少シモ處分ヲサレナイデ買ツタ人間ダケガドン處分サレル、斯様ナ不可思議ナ事實ガアリマス、現ニ神戸ノ洋服商業組合、是等ガ海員組合ノ幹部カラ連絡ヲ執ツテ買ツタノデアリマスガ、其ノ理事長ノ渡邊某ト云フノガ司法處分ヲ受ケテ居ルノデス、然ルニ賣ツタ人間ハナクモ受ケテ居ナイ、私ガ聞ク所ニ依ルト、此ノ問題ガ一タビ兵庫縣ノ警察ノ方ニ問題ニナツテ、ソレガ神

合ニ於テハ、是ハ徹底的ナ取締ヲ致シマス...

○小山委員 念ノ爲ニ御參考マデニ申上...

○兒玉國務大臣 取調ベタ上ニ於キマシ...

○金井重彦 小山君宜シヨゴザイマスカ...

○小山委員 宜シヨゴザイマスカ、終リマシ...

○金井重彦 田中君カラ委員外ノ質問ヲ申...

○田中好吉 私家員外テ飛入ツテ來マシ...

ソレカラモウズツ續ケテ質問ダケ致シ...

○田中好吉 土木會議ノ意見ヲ尊重スル...

私共ハ非常ニ遺憾ニ思ウテ居タルヲ...

○成田政府委員 普通ノ河川改修ト砂防工...

問題ニ付キマシテハ、今日ノ公債政策ト深...

○田中好吉 勿論經濟界ニ關係ハゴザイ...

ザイマシテ言フニ足リナイ、左様ニ考ヘ...

ソレカラモウツ申上テ御意見ヲ承リ...

五ニ河川ト砂防ノ區別ニ付テ争ヒ起シ...

○見玉國務大臣 實ハ其ノ地方債ノ起債...

ノ方法ニ付キマシテ、傾斜地バカリ...

○田中好吉 土木會議ノ意見ヲ尊重スル...

○成田政府委員 普通ノ河川改修ト砂防工...

問題ニ付キマシテハ、今日ノ公債政策ト深...

砂防工事ト云フモノガ、一ツノ河川ニ付テ
巴拉ノニナリナクヤウニ、ソコノ結ビ付
ガ付キ、サウシテ一體トシテノ效果ガ舉ル
ヤウニ十分努力シテ行キタイと思ヒマス

○田中好者 土木局長ハ新任セラレテカラ
マダ日ガ淺イノデ、 Streck ナコト申スノハ
如何カト思ヒマスガ、實際ナモノガ出來
テ居ル、山間部ハ政府ガ補助シテ砂防工
事ヲ行ヒ、其ノ次ノ二十町程ト云フモノハ
何等ヤツテ居ナイ、而シテ災害復舊工事ト
シテ其ノ下流一里半ハ、中小河川トシテ政
府ガ補助シテ居ル、途中ノ間ガ抜ケテ居ル、
其處ニハ災害補助トシテ國庫カラ金ヲ貰
フ、災害補助トシテ原狀回復デ原狀通り
直スト云フダケデアル、サウシマス、折角
下流ニハ澤山ノ補助ヲ出サレテ護岸工事ヲ
行ヒ、上流ノ山間部モ砂防工事ヲ行ヒ、所
ガ途中ガ抜ケテ居ルカラ何等効果ガナク、
コナノコトデハドウシテモイケマスガ、
ソレハ内部ニ爭ガアルト云フコトヲ大臣ハ
一ツ頭ニ入ラレテ、 Streck ナ爲ニ完全ニ河
川ガ維持セラレナイト云フコトハ頗ル遺憾
デアリマスルカラ、土木局長ハ私ガ今申シ
マシキヤウニ、其ノ災害復舊ニ関係スル
所ニ付テモ、上下流ノ工事ト相観シテ、何
等カノ方法ヲ取ル御意思ガゴザイマセウ
カ、ヤハリハ又研究ヲシテ置イテ考ヘル
ト云フヤウナコトデアリマセウカ、此處デ
明確ニ御説明ヲ願ヒタイ

○児玉國務大臣 今ノ御話、私至極御尤ダ
ト思ヒマスノデ、御趣旨ニ副フヤウナ風ニ、
一ツ取計ツテ見マセウ

○田中好者 ドウカーツ御願致シマス、私
ハ飛入りマシテ甚ダ失禮致シマシタ、是デ
止メマス

テ、物資生活ノ脅威、資源ノ潤滑、之ニ對
シテ如何ニ人心ハ安んゼザルモノガアルカ
ト云フコトヲ、深く御考ヘナサイマシテ、
之ニ對スル對策ヲ具體化スルコトガ必要ナ
リト考ヘマスルガ、私ハ内務大臣ニ對シテ
其ノ御決心ヲ一ツ伺ヒタイデアリマス

○兒玉國務大臣 工藤君ノ只今ノ御話ニ
ハ、全然私ハ共鳴スルノデアリマス、今日
私ニ課セラレタル責任ト致シマシテハ、ド
ウシテモ人心ノ安定ヲ圖ルト云フ事柄ヲ、
最大急務ト考ヘテ居ルノデアリマス、從來
往々色々ノ事變ガ起ツタコトモアルノデア
リマスレドモ、多クハ局部的ノ問題ニ屬
シテ居ツタノデアリマス、然ルニ今日ノ世
相ヲ見マスルト、何レモ生活問題ニ即シタ
不安不平等アルノデアリマシテ、萬一此ノ
不滿不平等ガ分ナリトモ安ラケナクナルニ
テズンバ、此ノ重大時局ヲ背負ツテ立ツ
テ、此ノ難局ヲ打開スベク統制ノ國民ヲシ
テ堅忍持久セシムルコトハ出來ナイト深ク
考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ考ヘテ居リ
マスルガ故ニ、私ハ全般的ニ地方ト云ハズ
都市ト云ハズ、何處ニ民ノ不平ガアルカト
云フ事柄ヲ能ク聞イテ見、實際ノ方面ニ
向ツテ斯ウスレバ斯ウナルノデアナイカト
云フ出來ルダケノ方策ヲ考ヘマシテ、而シ
テ人心ノ安定ニ向ツテ出來ルダケノ努力ヲ
拂ツテ見タイト考ヘテ居リマス、殊ニ地方
ニ於キマスル各縣廳ト他ノ産業團體トノ
協同ノ如キ、又官吏ノ不親切デアルト云フガ
如キ、洵ニ恐ルベキ結果ヲ來ス因デアリマ
スノデ、是等ニ對シマシテハ、飽クマデモ
間違ツテ居ル所ハ正シテ行カケレバナラ
ズト考ヘテ居リマス、殊ニ此ノ統制經濟ガ
行ハレマシテ、官廳ガ權力ト事業ノ兩方ヲ

シナケレバナラヌヤウナコトニ相成リマシ
タノデ、往々ニシテ官吏方不馴レテ爲ニ人
民ニ不平ヲ感ジサセルコトモアリマセウ
シ、ソレカラ又官吏方何方力備クナツタヤ
ウナ氣分デ不親切ヲ態度ヲ執ルト云フコトモ
アリ得ルコトダト思フノデアリマス、此ノ
點ハ又官吏獨善ト稱セラレル點ダト思フノ
デアリマスルガ、之ニハ官吏ニ對シテ同情
スベキ點モアリマスルケレドモ、深ク官吏
ソレ自身ガ反省ヲシナケレバナラヌ點ガ深
山アルト私ハ考ヘテ居リマスノデ、私ノ如
ク、地方官ヲ通ジマシテ澤山ノ官吏ヲ統
制シテ行キ、而シテ其ノ一舉一動ガ國民ノ
利害關係ニ直接影響スベキ所ノ立場ニアリ
マスル者ト致シマシテハ、只今工藤君ノ御
話ノ通りニ出來ルダケ一ツ力ヲ盡シマシ
テ、時局突破ノ爲ニ私ノ渾身ノ努力ヲ捧
ゲテ見タイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○工藤委員 時節柄御奉公ノ御精神ハ私共
モ左様デアルト、平生ヨリ常ニ伯爵ノ人格
ヲ信ジテ居ル者デスカラ、特ニ其ノ點今ノ
御話ハ意義アルモノト思ヒマシタ、マア
色々ノ細カイトモアルガ、大概ハソレデ
盡キテ居ルノデスカレドモ、此ノ間蒲田ノ
方面ノ産業界ノ状況ヲ私ニ知ラシテ果レタ
者ガアルガ、先ヅ蒲田方面約七十ノ工場
ト云フモノガ休業、賣物ト云フヤウ
ナ狀態ニナツテ居ル、此處ニ數千人ノ職工
ガアルノデアリマス、一面ニ於テハ其處ニ
アラズモガナノ工場モ濫設セラレカモ知
ラズケレドモ、今日工場ニ對スル政府ノ方
針ト云フモノガ、大工場ニ吸収シヨウト云
フコトデアラカク、大工場ノモノニ對シテ
ハ相當力ヲ入レテ居ル、例ハハ餘リ深ク考
ヘズニアノ勅令ハ出タノカモ知ラズガ、勞

アル、其ノ運用上ノ弊害ヲ伴フモノニ付テ
ハ、其ノ人ヲソコニ得ザルコト、或ハ又更
ニ考ヘルナラバ、行政機構ノ上ノ缺陷モア
ルコトガ澤山アルノデス、デスカラ當局者
ガ少シク注意シタラバ、サウ云フコトナ
シニ安定ヲセシメテモ宜イモノモ、隨テソ
コニ悪イ結果ヲ生ムト云フコトハ澤山アリ
マス、是ハ中央デモサウデスカラ、私共地方
ヲ歩イテ見テ、各組合ノ幹部其ノ他ニ會ッ
テ聽イテ見ルト、露々トシテ各方面ニ對ス
ル非難ガアル、就中官廳ニ對スル非難ト云
フモノハ非常ニアル、私等ハ公平ニ冷靜
ニ、出來ルダケ國民ヲシテ安ンジテ、自分ノ
家業ニ親シマシテ、サウシテ統制ノ護リヲ
全ウセシムル爲ニハ、相當ニ吾々同僚モ皆苦
勞シテ居リマスレドモ、中ニハ捨テテ置
カレヌコトガアル、ソレレ内務省ノ關係ト
シテハ、此ノ人心ノ安定ヲ圖ルト云フ方
ニ、餘力ヲ入レテ戴カナケレバ、モウ社
會ハ麻痺ノ爲ニ非常ナル迷惑ヲ感ズルコト
ニナルノデス、澤山ノ原因モアリマセウ
ガ、斯ウ云フ點特ニ私ノ内務大臣ニ御注
意願ヒタイノハ、物資ノ關係カラ地方官廳
居ルガ、各主任者ノ間ノ意見ノ一致セザル
コト、又非常ニ多岐多端ニ互互爲ニ、從來ナ
ラバ一ツノ課デ處理シタモノガ、三ツモ四
ツモデ合議ヲシナケレバナラヌ、合議モ當
然デアリマスガ、是ガ爲ニ時間ヲ要スル、
時間ヲ要スルダケナラバマダ宜イガ、甚ダ
シキハ向フ方ヘ先ニ陳情シテ、コツチヲ
後週ニシタラハ何ノコトダト云フヤウ
ナ、感情問題カラ入ツテ來ル、非常ニ困リ
抜イタ擧句、願ル所ガナイカラ、其ノ當局

働者ノ移動ノ制限ノ如キハ是デス、是ハ大
衆黨人モ口喧シク申シテ居リマスガ、アノ
通りデス、大工場ノ資本家ガアノ法律規則
ニ依ツテ工場ニ取ツテハ洵ニ都合ノ好イ條
件デ自分ノ工場ニ釘付シヨウ、斯ウ言フ、
然ルニ其ノ職工ハ必ずシモ其處ニ居タイト
云フ氣分デモナイ、サウシテ何方外ニ、必
ズシモ生活上不當ナル欲望ガアルノデハナ
ク、ヨリ以上條件ノ好イ處ニ行カウトスル
ト、釘付セラレテ居ル爲ニ、ドウスルコト
モ出來ナイ、而モ大工場ハドウナツテ居
カト云フト、政府カラ受ケテ居ル所ノ特
權、特殊ヲ持ツテ受ケテ居ル所ノ特
權、特殊ニシテ其ノ工場ダケデ仕事ヲシテ居
ルノデハナイ、皆餘所ヘ下請ヲサシテ、ソレ
ヲ集メテ、謂ハバ「ブローカー」ヲヤツテ居
ルノガ殆ド仕事ノ大部分デアル、例ハバ官
廳ニ對シテ責任アル數量ヲ製造加工シテ
納ムルト云フト其ノ中ノ半分恐ラク三分ノ
二ガ下請工場ニ出シテ轉取ツテ居ルニ過
ギナイ、其ノ轉取ツテ居ル工場ハ斯ノ如
クニシテ労働者ニ對スル待遇ノ上カラ、法
律ノ保護ニ安ンジテ、段々惡イ物ヲ造ル、
隨テ是等ノヤウチ者ハドウ云フ考ヲ持ツカ
ト云フコトヲ私ハ今日實際恐レマス、此ノ
産業界ノ其ノ方面ニ餘程深イ注意ヲ拂ハナ
カレバ、私ハ不測ノ禍ガ起ツテ來サシナイ
カト思フ、私ハ直接會フト相當責任ノアル
人ガ相當責任ヲ陳情ヲシテ居ル、ソレデア
ルカラ其ノ由ツテ來ル所ノ原因ヲ究メタナ
ラバ様々アリマセウケレドモ、サウ云フヤ
ウナコトニモ深ク注意ヲ拂ツテ見タイト
云フノガ私ノ一ツノ例デス

ソレカラ近來言論ニ對スル内務省ノ干渉
ハヒドイト云ハレテ居ル、併シソレハ内務

者ニ陳情スルト、今度ハウルサガ、ウル
サガツタ擧句ハドウスルカト云フト、才前
等ソノナニ困ラナラ、滿洲力支那ヘ行ツテ
ヤウカラ宜カラウト云フ工合デ、如何ニモ
異民族ニ對スルヤウナ態度ヲ以テ接スルコ
トヲ往々耳ニスル、是ハ様々ナ角度カラ御調
査ニナツテ、其ノ弊害ヲ除クヤウナコトモ
考ヘテ貴ハナケレバナラヌガ、先ヅ第一ニ
私ハ斯ウ云フ非常ノ際、人心動モスレバ安
ラカナラザル時ニ當ツテ、官吏ノ態度ト云
フモノハ、餘程親切丁寧ニ、謂ハバ憐レム
ベキ願ル所ノナイソレ等ノ階級ノ爲ニ、若
クハ其ノ代表者ニ向ツテ、本當ノ愛撫ノ念
ヲ以テ行カケレバ、人心ハ離反スル、ソ
レハ中央政府ニ居ル方々ハ忙シイカラ、
時々隨分亂暴ナコトモ言ヒマス、是モ急ハ
急デスカラ、地方ニ至ルトソノナモノデハハ
イ、是ハ若シ内務省ニ地方官ヲ監督スル方
法アリトスレバ、此ノ際之ヲ強化擴充シ
テ、以テ人心ヲ安定セシムルヤウナ方策ヲ
御考ヘニナルコトガ、私ハ必要ダラウト思
フ、先刻堤君カラ言ハレタ通り、内務大臣
ノ御先代ノ國家ニ對スル御功勞ハ洵ニ偉大
ナルモノデアツテ、アノ國家ノ大戦争、大
事業ヲ爲シテ、而シテ内務大臣ヲ兼任シ
テ、エライ御骨折ニナツタ、而シテ今日ノ兒
玉伯爵ハ此ノ難局ニ、進ンデ御當リニナラ
ヌカモ知レナイケレドモ、國家ニ御奉公ノ
爲ニヤラウト云フ御決心ヲナシタ以上ハ、
ドウシテモ私ハ人心ノ安定問題ニ全力ヲ入
レテ貴ヒタイ、山モ必要、川モ必要、何モ
彼モ必要デアルケレドモ、人心安ラカナラ
ズシテ、ドウシテ統制ノ護リヲ全ウシマ
ス、ココガ私ハ内務大臣ハ國務大臣トシテ
モ、此ノ點ニ對シテ相當ナル覺悟ヲ持ツ

省ダケノ干渉デアラカ、後ロニ魔ノ手ガア
ルノカ、ソレハ私ハ論ジナイ、恐ラクハ内
務省トシテハ此ノ點マデハ宜カラウ、人心
ノ上カラ見テ此ノ點マデハ宜カラウト思
テモ、或ハ内務省以外ノ魔ノ手ガ其處ニ及
ンデ居ルカモ知レナイ、ソレハ「一ツ」奇々怪々ナ
ルコトハ、右翼ノ言動ト認メラルベキモノ
ニ對シテハ頗ル寛大ニ見エル、是ハ右翼左
翼ト云フコトヲ今ハ論ズル時デハナイケレ
ドモ、苟且ニモ政府ハ一定ノ方針ヲ下ニ所
謂確固不拔ノ國策ヲ下ニスルト國民ニ教
へ、議會ニ於テ聲明シテ居ル事柄ガ、例ヘ
バ外交ナドノ問題デモサウデス、新聞ハ印
刷シテ之ヲ頒布スルノハ相當ノ保護ノ下ニ
アル法律モ保護スル、ソレハ「一ツ」權利
ダ、ケレドモ私ハソレヲ言フノデアナイ、
怪文書類ノコト、竝ニ市中ノ立看板ノコト
デス、或人ガ實ニ面白イ事ヲ説明シテ與レ
タガ、アア云フ立看板ヲ多クノ人ノ目ニ著
タ所ニ立テサセテ治安上差支ナイノカト或
ル政府ノ人ニ聽イタ所ガ、アレハ丁度北海
道漂流スル氷山ノヤウナモノダ、アレ位ノ
氷ノ頭ヲ出シテ居ルト先ヅ其ノ下ガドウデ
アルカト云フコトガ測畫出來ル、其ノ北海
道氷山ト同様ノ意味ニ於テ之ヲ許シテ居ル
ンダト云フ、ソレモ亦一ツノ見方デアリマ
スケレドモ、餘リニ斯ウ云フ點ガ亂雜デア
ル、一體内務省モ意氣地ガナイ、内務省ガ
意氣地ガナイト云フノハ、此ノ右翼ニ對ス
ル態度デス、併シ是モ日本國民ノ一部デ、
國家ノ爲ニ斯ウシテ見タイト云フ赤誠ヲ持
ツテ居ル人々デアラカラ、是ハ悉クサウシ
ナサイト言フノデアナイ、アノ立看板ヲ一
遍市中ニ立テルノニ何ガ掛ルカト云フト三
千圓ハ掛ル、物好キチ人モアルモノダガ、

省ダケノ干渉デアラカ、後ロニ魔ノ手ガア
ルノカ、ソレハ私ハ論ジナイ、恐ラクハ内
務省トシテハ此ノ點マデハ宜カラウ、人心
ノ上カラ見テ此ノ點マデハ宜カラウト思
テモ、或ハ内務省以外ノ魔ノ手ガ其處ニ及
ンデ居ルカモ知レナイ、ソレハ「一ツ」奇々怪々ナ
ルコトハ、右翼ノ言動ト認メラルベキモノ
ニ對シテハ頗ル寛大ニ見エル、是ハ右翼左
翼ト云フコトヲ今ハ論ズル時デハナイケレ
ドモ、苟且ニモ政府ハ一定ノ方針ヲ下ニ所
謂確固不拔ノ國策ヲ下ニスルト國民ニ教
へ、議會ニ於テ聲明シテ居ル事柄ガ、例ヘ
バ外交ナドノ問題デモサウデス、新聞ハ印
刷シテ之ヲ頒布スルノハ相當ノ保護ノ下ニ
アル法律モ保護スル、ソレハ「一ツ」權利
ダ、ケレドモ私ハソレヲ言フノデアナイ、
怪文書類ノコト、竝ニ市中ノ立看板ノコト
デス、或人ガ實ニ面白イ事ヲ説明シテ與レ
タガ、アア云フ立看板ヲ多クノ人ノ目ニ著
タ所ニ立テサセテ治安上差支ナイノカト或
ル政府ノ人ニ聽イタ所ガ、アレハ丁度北海
道漂流スル氷山ノヤウナモノダ、アレ位ノ
氷ノ頭ヲ出シテ居ルト先ヅ其ノ下ガドウデ
アルカト云フコトガ測畫出來ル、其ノ北海
道氷山ト同様ノ意味ニ於テ之ヲ許シテ居ル
ンダト云フ、ソレモ亦一ツノ見方デアリマ
スケレドモ、餘リニ斯ウ云フ點ガ亂雜デア
ル、一體内務省モ意氣地ガナイ、内務省ガ
意氣地ガナイト云フノハ、此ノ右翼ニ對ス
ル態度デス、併シ是モ日本國民ノ一部デ、
國家ノ爲ニ斯ウシテ見タイト云フ赤誠ヲ持
ツテ居ル人々デアラカラ、是ハ悉クサウシ
ナサイト言フノデアナイ、アノ立看板ヲ一
遍市中ニ立テルノニ何ガ掛ルカト云フト三
千圓ハ掛ル、物好キチ人モアルモノダガ、

省ダケノ干渉デアラカ、後ロニ魔ノ手ガア
ルノカ、ソレハ私ハ論ジナイ、恐ラクハ内
務省トシテハ此ノ點マデハ宜カラウ、人心
ノ上カラ見テ此ノ點マデハ宜カラウト思
テモ、或ハ内務省以外ノ魔ノ手ガ其處ニ及
ンデ居ルカモ知レナイ、ソレハ「一ツ」奇々怪々ナ
ルコトハ、右翼ノ言動ト認メラルベキモノ
ニ對シテハ頗ル寛大ニ見エル、是ハ右翼左
翼ト云フコトヲ今ハ論ズル時デハナイケレ
ドモ、苟且ニモ政府ハ一定ノ方針ヲ下ニ所
謂確固不拔ノ國策ヲ下ニスルト國民ニ教
へ、議會ニ於テ聲明シテ居ル事柄ガ、例ヘ
バ外交ナドノ問題デモサウデス、新聞ハ印
刷シテ之ヲ頒布スルノハ相當ノ保護ノ下ニ
アル法律モ保護スル、ソレハ「一ツ」權利
ダ、ケレドモ私ハソレヲ言フノデアナイ、
怪文書類ノコト、竝ニ市中ノ立看板ノコト
デス、或人ガ實ニ面白イ事ヲ説明シテ與レ
タガ、アア云フ立看板ヲ多クノ人ノ目ニ著
タ所ニ立テサセテ治安上差支ナイノカト或
ル政府ノ人ニ聽イタ所ガ、アレハ丁度北海
道漂流スル氷山ノヤウナモノダ、アレ位ノ
氷ノ頭ヲ出シテ居ルト先ヅ其ノ下ガドウデ
アルカト云フコトガ測畫出來ル、其ノ北海
道氷山ト同様ノ意味ニ於テ之ヲ許シテ居ル
ンダト云フ、ソレモ亦一ツノ見方デアリマ
スケレドモ、餘リニ斯ウ云フ點ガ亂雜デア
ル、一體内務省モ意氣地ガナイ、内務省ガ
意氣地ガナイト云フノハ、此ノ右翼ニ對ス
ル態度デス、併シ是モ日本國民ノ一部デ、
國家ノ爲ニ斯ウシテ見タイト云フ赤誠ヲ持
ツテ居ル人々デアラカラ、是ハ悉クサウシ
ナサイト言フノデアナイ、アノ立看板ヲ一
遍市中ニ立テルノニ何ガ掛ルカト云フト三
千圓ハ掛ル、物好キチ人モアルモノダガ、

省ダケノ干渉デアラカ、後ロニ魔ノ手ガア
ルノカ、ソレハ私ハ論ジナイ、恐ラクハ内
務省トシテハ此ノ點マデハ宜カラウ、人心
ノ上カラ見テ此ノ點マデハ宜カラウト思
テモ、或ハ内務省以外ノ魔ノ手ガ其處ニ及
ンデ居ルカモ知レナイ、ソレハ「一ツ」奇々怪々ナ
ルコトハ、右翼ノ言動ト認メラルベキモノ
ニ對シテハ頗ル寛大ニ見エル、是ハ右翼左
翼ト云フコトヲ今ハ論ズル時デハナイケレ
ドモ、苟且ニモ政府ハ一定ノ方針ヲ下ニ所
謂確固不拔ノ國策ヲ下ニスルト國民ニ教
へ、議會ニ於テ聲明シテ居ル事柄ガ、例ヘ
バ外交ナドノ問題デモサウデス、新聞ハ印
刷シテ之ヲ頒布スルノハ相當ノ保護ノ下ニ
アル法律モ保護スル、ソレハ「一ツ」權利
ダ、ケレドモ私ハソレヲ言フノデアナイ、
怪文書類ノコト、竝ニ市中ノ立看板ノコト
デス、或人ガ實ニ面白イ事ヲ説明シテ與レ
タガ、アア云フ立看板ヲ多クノ人ノ目ニ著
タ所ニ立テサセテ治安上差支ナイノカト或
ル政府ノ人ニ聽イタ所ガ、アレハ丁度北海
道漂流スル氷山ノヤウナモノダ、アレ位ノ
氷ノ頭ヲ出シテ居ルト先ヅ其ノ下ガドウデ
アルカト云フコトガ測畫出來ル、其ノ北海
道氷山ト同様ノ意味ニ於テ之ヲ許シテ居ル
ンダト云フ、ソレモ亦一ツノ見方デアリマ
スケレドモ、餘リニ斯ウ云フ點ガ亂雜デア
ル、一體内務省モ意氣地ガナイ、内務省ガ
意氣地ガナイト云フノハ、此ノ右翼ニ對ス
ル態度デス、併シ是モ日本國民ノ一部デ、
國家ノ爲ニ斯ウシテ見タイト云フ赤誠ヲ持
ツテ居ル人々デアラカラ、是ハ悉クサウシ
ナサイト言フノデアナイ、アノ立看板ヲ一
遍市中ニ立テルノニ何ガ掛ルカト云フト三
千圓ハ掛ル、物好キチ人モアルモノダガ、

三千圓ト云ヘバ代議士一人ノ歳費タ、是ガ三日四日ヲ消エテシマフ、其ノ金ハ何處カラ出スカ、ソレデモ國家ニ確ニ利益デアラト云フナラバ三千万圓ガ三千万圓モ構ハナイケレドモ、徒ニ或ル一派ヲ攻撃スルトカ、徒ニ或ル政府ヲ攻撃スルニ過ギナイモハ、ドレダケ國家ニ利益ヲ與ヘマスカ、自ラ文書ニ付テモ言論ニ付テモ法律ノ命ズル所ノ相當ノ取扱ヲシナケレバナラヌコトニナツテ居ルケレドモ、サウ云フモノヲ吾々ノ目カラ見ルト、モウ少シ人心ヲ安定スル爲ニ社會ノ秩序、公安ノ保持スル爲ニ、サウ云フ方面ニモ警備局アタリガ力ヲ入レテ見タラドウカ、殊ニ山崎君ナドモ斯ウ云フ問題ハ普段カラ非常ニ御心配ニナラレテ居ルノダカラ、急ニドウスルト云フコトハ出来ナイダラウガ、實ヲ言ヘバ是ハ少シ甘ナカシテシマツタ、之ヲ今急ニヤルコトハ容易チヤアリマセスガ、今ニ於テ之ニ對スル相當ナル制裁トハ申シマセスガ、之ヲ正サナケレバ、段々禍ト云フモノハ増長スル、議會ノ言論ヲ行動ニマデ干渉スルノデス、脅迫狀ガ来ル、議會ハ御承知ノ通り何ガ一番大事カト云フト、吾々自體ノ自由ヲ失フ、隨テ開會中ハ議院ノ承諾ナクシテ逮捕監禁ハ現行犯以外ハ出来ナイ、ソレト言論ノ自由デス、異ツタ意見ノアル儘ヲ議會ニ移シテ、自由ニ發表スル、自由ノ意思ト云フモノヲ以テ異レル儘、アリノ儘ニ現ハシテ之ニ依ツテ眞理ヲ發見シテ國家ニ奉公スルノガ言論機關デアリマス、此ノ議會ノ言論ニ對シテスラ、動モスレバ、サウ云フ系統カラ干渉ヲ加ヘテ来ル、本當ニ國家ノ爲ニ眞理ヲ發見シテ、晝夜兼行努力シテ居ル行動ニ對シテ、動モスレバ種々ナル壓

カヲ加ヘテ、サウシテ立憲政治ノ本體ヲ破壊スルガ如キ行動ハ皆院外カラ来ル、固ヨリ政府ノ一部ニソシクナモノガアルカナイカ、私共推測ノ限リデハナイガ、兎角院外ノ一種ノ運動者ト云フモノガ、サウ云フ所ヲ中心ニシテ働イテ居ル、是ハ言論ニ對シテ人心ノ安定ヲ缺クヤウナ例トシテ私ハ内務當局者、大臣デモ思召ガアルナラバ其ノ方針ノアル所ノ御言明ヲ願ヒタイ

○兒玉國務大臣 最初ニ工場ノ問題デアリマス、最近都市ヲ中心トシタ工業ノ發達ニ伴ヒマシテ、各所ニ工場ガ起ツテ来テ居リマスノデ、普通デサヘモ色々ソコニ弊風弊害ガ醸成サレル處ガアル所デアリマス上ニ、今日物價ガ少イ、電力ガ少イ、物價高イト云フヤウナコトデ、動モスレバ、工場内ニ不安ノ氣分ガ漲ラントスル處ハ十分ニアルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテモ工場主並ニ労働者ノ現狀ニ鑑ミマシテ、適當ナル法ヲ講ジテ、出来ルダケ安心ヲ與ヘルヤウナ風ニシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

言論ノ問題デアリマスルガ、無論言論ノ自由ハ飽マデ尊重シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、唯御承知ノ外交軍事等ニ關シ、又經濟上ノ或ル問題ニ關係シマシテ、治安ノ維持上必要ナル場合ニ之ニ制限ヲ加ヘルコトハ已ムヲ得ナイノデアリマスルケレドモ、何レニ致シマシテモ國民ガ今日ノ事態ヲ能ク理解シ、サウシテ又國民ノ聲ガ能ク上下ニ通ズルヤウニシナケレバ、茲ニ血管硬化ノ生ジマスノデ、其ノ血管硬化ノ結果ハ即チ、茲ニ國民ノ不平トナリ、只今工藤君ノ指摘サレタヤウナ結果ヲ生ズルノデアリマスカラ、出来マス範圍内ニ於テ言論

ノ暢達ヲ圖ラナケレバナラヌコトハ無論ノコトデアリマス、而シテ此ノ取締ノ點ニ關シテ魔ノ手ガ加ツテ居ルノデハナイカト云フヤウナ御説デアリマスケレドモ、是ハ全然ナイト確言ヲ申上ゲテ置キマス

ソレカラ右翼ノ問題デアリマスガ、右翼デアラウガ左翼デアラウガ、荷モ國家ノ正義ニ基キテ行ハレル所ノ運動ナリ言論ナリハ、是ハ飽マデモ助長シテ行カナケレバラスト思ヒマス、併シ荷モ治安ヲ紊サヤウナコトデアリマスレバ、右翼デアラウガ左翼デアラウガ、是ハ十分ニ取締ラナケレバナラヌノハ是亦工藤君ノ仰シヤル通りデアリマス

立憲板ノ問題デアリマスガ、是ハ工藤君通りヲ歩イタラ今日稍、御目ニ付タダラウト思ヒマスガ、昨今ハ如何デゴヤイマセウカ、少シハ御氣ニ召シタヤウナコトニナツテ居リハシナイカト思ヒマス

ソレカラ院外ノ運動ガ院内ニ影響ヲ及ボス、是ハ嚴ニ戒メナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、言論ノ自由ハ立憲政治ノ最大要諦デアリマスノデ、之ニ對シテハ嚴ニ院外運動ニ依ツテ院内ガ動カサレルヤウナコトガアツテハナリマセス、此ノ點ニ付テハオ五ニ注意シナケレバナラヌ點ガ多クアルト思ヒマス

○工藤委員 イマ一言ヲ以テ結論ト致シマス、洵ニ立憲政治ノ實體ニ關シテ深キ御關心ヲ持ツテ居ル點ハ明瞭デアツテ、是ハ内務大臣其ノ人ヲ得タルモノナリトシテ安心致シマス、立憲板ノ問題、ソレカラ「ボスター」ハ、是ハ近頃ハ少シ段々良クナツテ居ルガ、ナクナレバ尙宜イ、先ツ兒玉内務大臣時代ニ多少トモ良クナツテ来ト云フト

イガ、多ク信ズル者ハ低級ナ者デス、謂ハバ何カ口火ガ點イテ治安デモ紊レルヤウナコトニナツテ、市中ガ騒擾ニ陥ツタ時ニ第一ニ驅付ケテ行ク者ハ附和雷同ノ仲間デアル、思慮ノ乏シイ者デアル、インテリ階級ニアラザル思慮ノ乏シイ者、之ニ應ジテ若シ何か事ガ有ル時ニハ附和雷同シテ参加スル階級ガアア云フモノヲ見レバ、成程ト思フ、ソレガ一番危イ、インテリ階級ハ自ラヲ制スル力ガアルケレドモ、ソレ等ノ階級ニハ自ラヲ制スル力ガナイ、唯サウ云フコトヲ盲信シテ行ク階級ガ一番危イ、デアルカラ街頭ノ文書等ニ付テハ其ノ點ヲ特ニ御考ニナラナケレバ、イカヌト思フ、私ハ折々淺草公園ニ行ク、彼處ニ私ノ郷里ノ者デ醫者ヲヤツテ居ル友人ガ居ルノデ、時々行クノデスガ、アノ淺草公園ニハ天氣ノ好イ時ニハ一組二組ノ演説ヲヤツテ居ル者ガアル、時々ソレヲ聴イテ見ルノデスガ、何か實ル爲ニヤツテ居ルヤウデアルケレドモ、言論ハ中々巧イ、院外團ノ人ラシイ、何ヲ言フカト云フト、外交ノ攻撃、政治ノ攻撃デス、米内ハドウトカ阿部ハドウトカ、外交ガドウトカ何トカ盛ニヤツテ居ル、是ハ何モ七千万ノ日本國民ノ中ノ一部ガ聴イテ居ルノダカラ何デモナイト思フカモ知レナイケレドモ、ソレ等ガ散ラバツテ珍シイコト過激ナ事ヲ言フモノダカラ、皆聴イテ郷里ニ歸リ、友達ナドニ言フ、段々ソレカラソレト傳ツテ行ク、重箱ノ隅ヲ揚子デホジルヤウナ政治ハ私ノ欲セザル所デス、併シナガラ荷モ治安ニ關係ノアル點ニ付テハ、微細ナ所ニ心ヲ配ラナケレバナラヌ、弊ノ穴カラ堤ガ崩レト申シマスガ、サウ云フ詭ハナクテモ、餘程人心ノ動向ヲ察ス

ルコトガ特ニ必要デアラウト思ヒマス、例ヲ言フト際限アリマセスケレドモ、大體ニ於テ斯ウ云フ人心ノイラノシテ居ル時ニハ、治安官吏、保安官吏ト云フモノハ、相當細ナ點ニ心ヲ注イデ、吾々モ言論ヲ慎マナケレバナラヌデアラウケレドモ、サウ云フ方面ニヨリ以上注意ヲ拂ハナケレバ、言論ニ依ツテ受ケル人心不安ヲ除クコトハ出来ナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、私ハ内務大臣ニ特ニ信賴シテ、此ノ人心ノ非常ニ不安ナル今日ニ當ツテハ、人心ヲ安定セシムル爲ニ、大小ノ官吏、中央地方ノ官吏ハ此ノ國民ノ心ヲ深キ同情ヲ拂ツテ、生活ノ資源ハ潤滑シテ来ル、生活ニ困ツテ居ル者ニ哀憫ノ情ヲ加ヘテ政治ヲヤツテ行クコトガ私ハ今日必要ダラウト思フ、昔カラ言ウテ居ル、吏風興ラズンバ民風振ハズ、此ノ吏風ヲ作興スルニ付テ歴代内閣ハ骨ヲ折ツテ居ルケレドモ、是ハ固ヨリ政府トシテハ訓令或ハ通牒、訓示、其ノ他ノ方法ニ依ツテ行ク外仕方ガナイ、然ラザル限リ身ヲ以テ率キル、所ガ人間ト云フモノハ腕ノアル人ハ碌ナ人ハナイ、手腕ガアレバ人格ガ缺ケテ居ル、サウ云フ時代デアリマスカラ、内務省ニ於テハ特ニ人心ノ不安ニハ各方面ニ互ツテ注意セラレテ、國民ガ生活ニ對シテ深キ不安ヲ持ツテ居ル今日ニ當ツテハ、私ハ内務省ハ訓令デモ宜シイ、訓示デモ宜シイ、何カノ方法ヲ以テ、時節柄人心ヲ作興スル具體的ノ方法ヲ以テ進マレンコトヲ、私ハ此ノ際結論トシテ内務大臣ニ要望申上ゲマス

○兒玉國務大臣 私モ人靜マツテ夜靜ニ目ヲ開イテ見マス、實ニ不安ニ堪ヘナイ點ヲ感ジマス、飽クマデモ人心安定ニ渾身ノ盡力ヲ致シタイト云フトヲ以テ御答ニ代ヘル次第デアリマス

○工藤委員 ソレデハ是デ止メマセウ

○金井至查 私モ實ハ一言御尋致シタイノデゴザイマスケレドモ、時間ガ来テ居リマスカラ本日ハ是ニテ終了致シマシテ、明後日ハ午前十時カラ内務省及ビ司法省所管ノ豫算案ニ付キ討論及ビ採決ヲ致シマス、其ノ前ニ羽田君カラ内務省ニ對シテ極ク短カイ時間ニ於テ御尋致シタイト云フトヲ申出テ居リマスノデ之ヲ御許シ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後一時十四分散會

Main body of the document containing the meeting minutes, organized into several columns of vertical text.

昭和十五年二月十九日印刷

昭和十五年二月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會

豫算委員第二分科(內務省及)會議錄(速記)第四回

會 議
昭和十五年二月二十一日(水曜日)午前十時
三十分開議

出席委員左ノ如シ

主査 金井 正夫君
中村三之丞君
大本貞太郎君
三宅 正一君

兼務

石坂 豐一君
出席國務大臣左ノ如シ
司法大臣 木村 尚達君
內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君

出席政府委員左ノ如シ
內務政務次官 鶴見 祐輔君
內務參事官 青山 憲三君
內務省神戶局長 中野與吉郎君
內務省地方局長 挾間 茂君
內務省警保局長 山崎 巖君
內務省土木局長 成田 一郎君
內務省計畫局長 松村 光磨君
內務書記官 瀨尾 弘吉君
內務書記官 三好 重夫君
北海道廳長官 戶塚九一郎君
司法政務次官 星島 二郎君
司法參事官子爵 高木 正得君
司法省民事局長 坂野 千里君
司法省刑事局長 黒川 涉君
司法書記官 石田 壽君

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
議員 羽田武嗣郎君

第二期第三號

豫算委員第二分科會議錄

第四回

昭和十五年二月二十一日

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中內務省及司法省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中內務省所管

○金井主査 只今カラ會議ヲ開キマス、此ノ際委員外ヨリ質疑ノ希望ガゴザイマスカラ之ヲ許シマス——羽田君

○羽田武嗣郎君 私極ク簡單ニ申上ゲマスカラ御許願ヒマス、私ガ御申上ゲタイノハ、明年度ノ內務省ノ豫算ニ於キマシテ、圖書課ノ擴充ノ豫算ガ相當多額ニ計上サレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、此ノ擴充ノ規模ト目的並ニ仕事ノ範圍等ニ付キマシテ、一寸此ノ際御伺シタイト思ヒマス

○山崎政府委員 來年度、只今羽田君ノ御答アリマシタ通り圖書課ノ陣容ヲ擴充スルコトニ相成ツテ居リマス、御承知ノ通りニ從來檢閲ニ付キマシテハ、圖書ノ檢閱ハ警保局内ニ於キマシテ圖書課ガ主管致シテ居ツタノデアリマス、然ルニ「フィルム」ノ檢閲ニ付キマシテハ、是レ又御承知ノ通りニ警務課ニ於テ之ヲ主管致シテ居ツタノデアリマス、段々キツテ見マスルト、ドウシテモ、此ノ檢閲ノ事務ハ一ツノ課ニ統一シマスコトガ、檢閲ノ完備ヲ期シマス上ニ於テ非常ニ其ノ必要ガ痛感サレテ參ツタノデアリマス、隨ヒマシテ來年度ヨリ圖書課ヲ更ニ擴充致シマシテ、從來來任ノ課長デアリマシタ所ヲ勅任ノ課長ニ致

シマト共ニ、檢閲官ト云フ特ニ官ヲ設ケマシテ、經驗ノ深イ方面カラ檢閲官ヲ採用致シマシテ、サウシテ檢閲ノ陣容ノ完備ヲ期シマスト共ニ、事務ノ敏活、適正ヲ圖ツテ參リタイ、斯ウ云フ趣旨ニ於テ圖書課ノ擴充ヲ計畫致シタ次第デアリマス

○羽田武嗣郎君 檢閲官ノ増員ハドノ位増員サレテ居リマスカ

○山崎政府委員 檢閲官ハ五人増員致スコトニナツテ居リマス

○羽田武嗣郎君 今マデ「フィルム」ノ方ニ五人位使ハレテ居ツタノデスカ、ソレトモ警務課主管ノ「フィルム」檢閲ヲ移スコトニ依ツテ、ソレニ便乗シタ譯デハアリマスマイガ、今マデ三人ナラ三人デ間ニ合ツタモ、五人ニナルノカ、ソコノ所ヲ一寸伺ヒマス

○山崎政府委員 只今申上ゲマシタヤウニ「フィルム」檢閲ヲ圖書課ニ統一シマスト共ニ從來ノ檢閲ニ付キマシテモ、不十分ノ點ヲ漸次擴充致シマシテ、サウシテ事務ノ敏活ト適正ヲ圖ツテ行キタイ、斯ウ云フ趣旨デ増員致シタノデアリマス、隨テ「フィルム」檢閲ヲ合併致シマスダケデ増員スルト云フ趣旨デハナイノデアリマス、從來ノ圖書課自體ノ陣容ヲ強化シテ行ク、斯ウ云フ趣旨デアルコトヲ御承願ツテ置キマス

○羽田武嗣郎君 外部ニ於テ憶測スル所ニ依ルト、此ノ増員整備サレタ人員ヲ以テ、地方ノ新聞等ニ積極的ニ統制ヲ加ヘルダラウト云フヤウナコトモ言ハレテ居ルノデア

リマスガ、此ノ點ニ付テドウ云フ新聞統制ノ御方針カ承リタイノデアリマス

○山崎政府委員 新聞統制ニ付キマシテハ、豫算總會又ハ當分科會ニ於キマシテ、度々內務大臣ヨリ御答辯ヲ申上ゲタノデアリマスガ、一昨年以來新聞紙ニシテ内容ノ充實セズ、及ビ社會風教上面白クナイヤウナモノガ相當アリマシテ、之ニ付キマシテハ其ノ存在價值モ疑ハシクアリマスノデ、中央地方連絡ヲ取リマシテ、相當ノ統制ヲ加ヘテ參ツテ居ルノデアリマス、昨年末マデノ狀況ヲ申上ゲマスト、自發的ニ廢刊シタノガ九百二十一、其ノ他相當數ノ廢刊ヲ見テ居リマシテ、全國的ニ約一千位ノ新聞ガ整理サレテ居ルノデアリマス、併シナガラ殆ド是等ハ極ク小規模ノ新聞ガ多イノデアリマシテ、其ノ内容ニ付キマシテモ、相當考究ヲ要スベキ内容ノモノガ、殆ド大部分ヲ占メテ居ルヤウナ狀況デアリマス、隨ヒマシテ此ノ方針ニ付キマシテハ、無論此ノ議會ニ於テモ御質問ノ出マシタヤウニ、強制的ニ一縣一新聞ト云フヤウナコトヲ方針トシテ進ムノデアリナイノデアリマシテ、無論其ノ新聞ノ内容ニ於テ如何ハシイモノガゴザイマスレバ、從來ノ方針通りニヤハリ統制ヲ加ヘテ行キタイ、此ノ方針ヲ以テ今後モ進んで行キタイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、大體其ノ方針ヲ踏襲シテ行ク積リデ居リマス

○羽田武嗣郎君 新聞ノ統制ニ付キマシテハ、其ノ如何ハシイモノハ整理シナケレバ

ナラスシ、又國策ニ副ハナイモノハ整理スル必要ガアリマス...

尚ホ大阪トカ、九州等ニハ相當檢閲上大キナ新聞ガアリマシテ...

○山崎政府委員 今回ノ増員ハ、主トシテ内務本省ノ檢閲陣容ノ整備ニ充テル豫定ニ...

熊ヲ明白ニ理解サセ、サウシテ總力ヲソコニ集中スルコトハ出來ナイ...

ト存ジテ居リマス。次ニ私ハ檢閲機構ノ問題ニ付テ御質問致シタイノデアリマス...

○羽田武副郎君 次ニ私ハ檢閲機構ノ問題ニ付テ御質問致シタイノデアリマス...

自分達ノ頭デ、唯風紀上ノ見地ト云フヤウナコト、或ハ思想上ノ見地モアリマセウガ...

立場カラ諸問題關ラ檢閲機構ノ外ニ御設ケニナツテ、サウシテ問題ニナツタモノニ付キ...

思フノデアリス、就キマシテハ内務省トカ、或ハ逓信省、或ハ外務省...

○見玉國務大臣 只今ノ檢閲機構ノ問題ニ付テデアリマスガ、今御話ノ通り...

○見玉國務大臣 只今ノ御話ノ古典並ニ物語物等ニ付テノ檢閲ハ餘程其ノ時代ノ民族...

上役所ノ御都合デヤルト云フコトナクテ、制度上ニサウ云フ委員ノ法制ヲ御持チ...

ナル言論ヲ整理シテ行クト云フコトト、一面ニ於テハ此ノ宣傳機關ノ樹立ヲ圖ツテ...

○羽田武副郎君 此ノ問題ニ付テハモウ是以上ハ申シマセウケレドモ、唯學者ナド...

○見玉國務大臣 御意見一應御尤デアリマスガ、問題ノ起リマシタ時ニ其ノ問題ニ...

○見玉國務大臣 御意見一應御尤デアリマスガ、問題ノ起リマシタ時ニ其ノ問題ニ...